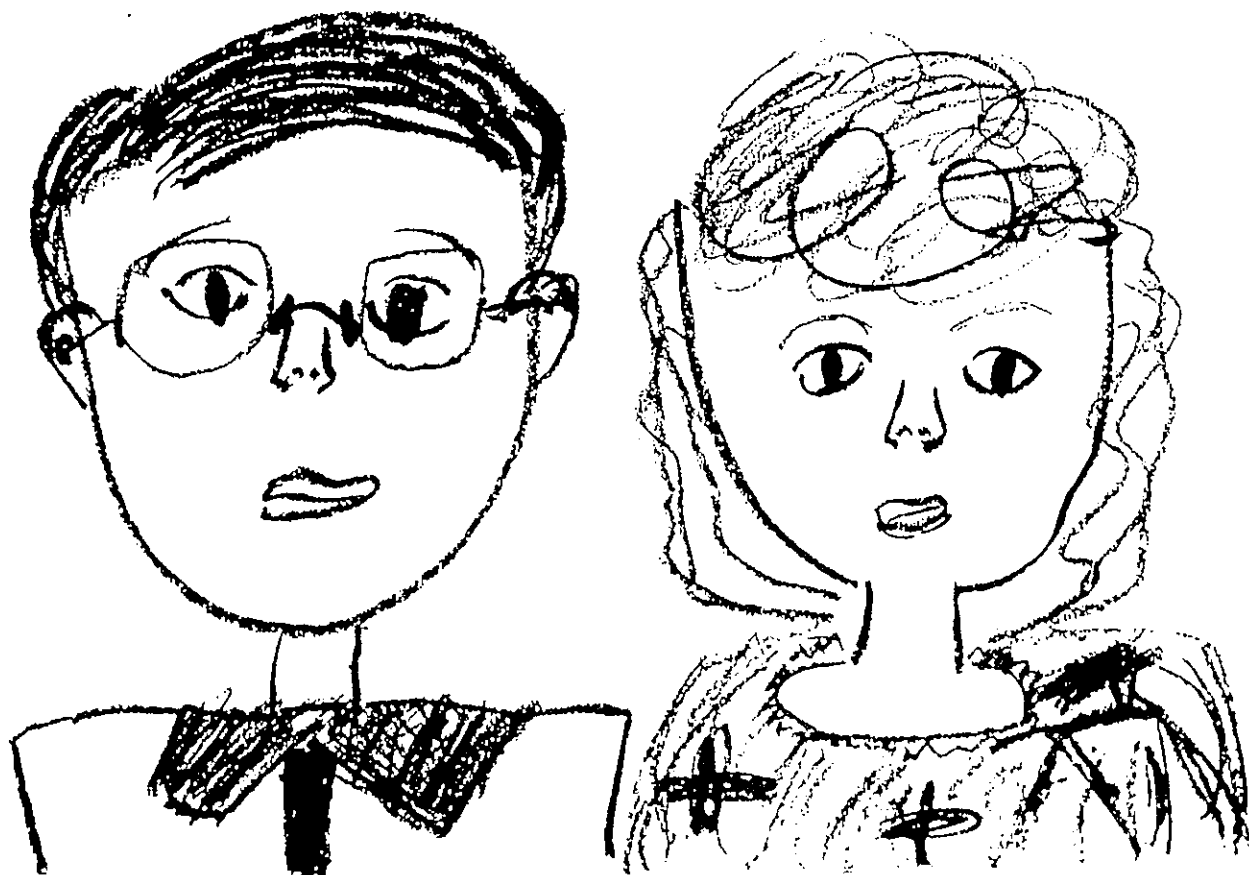


家庭教育の指導のためにⅡ

—今、親に求められているもの—

》親の後ろ姿を求めて《



❁ 福岡県教育委員会
⌘ 福岡県立社会教育総合センター
福岡県家庭教育企画推進委員会

は じ め に

校内暴力・家庭内暴力という言葉に代わって、青少年問題は“いじめ”という単語に集約されるがのごとき昨今です。これらの非健全な状況を生むに至った原因については、すでに様々な分野で議論されているところですが、その因って立つ立場によって、家庭・学校・社会、あるいは子ども自身等のそれぞれの責任が問われています。

しかし、少なくとも1人の人間が、その生の端緒である1個の細胞であるときから、親たる者の非常に重大な影響のもとで成長することは否定されないでしょう。先人は、“親の背を見て子は育つ”と表現しています。手あかがつくほど言い古されながら、人はこの言葉をどれほど真剣に受け止めているのでしょうか。

さて、福岡県では、昭和54年度から昭和58年度まで、家庭教育総合セミナー事業を実施し、親子のかかわりを通じて、親の養育態度・行動の実態を明らかにしてきました。その結果、今の子どもたちには、広い意味での基本的な生活習慣が確立されていないと思われることそれは、親の“無意識の過保護”、“一部放任”などといった養育態度・行動に大きな原因があると考えられることが指摘されています。昭和59年度の家庭教育総合推進事業では、その結果を基に、これからの子育てのあり方とその啓発方法について指導資料を作成し、配布したところです。

本年度は、これらの問題のキーストーン、すなわち“親の後ろ姿”が今どうなっているのかを明らかにしようと試みました。種々の制約によって、本年度のこの指導資料には、その概要を示すにとどめざるを得ませんが、今回のこの成果に基づき、引き続き一層の調査研究を進めていく予定です。

本書に関する御指導御助言を賜れば幸いです。

昭和61年3月

福岡県立社会教育総合センター

所長 安倍 徹

も く じ

福岡県における小・中学生をもつ親の日常生活の実態

序 章	調 査 の 概 要	1
1	調 査 の 目 的	1
2	調 査 の 方 法	3
3	分 析 の 基 本 的 な 視 点	5
第 1 章	親の日常生活の態度	6
1	規 則 正 しい 生 活	7
2	食 生 活	14
3	テ レ ビ と 読 書	17
4	生 活 技 術	25
5	本 章 の ま と め	29
第 2 章	親の社会生活の実態	31
1	近 所 づ き あ い	32
2	社 会 的 活 動	37
3	新 聞 ・ 広 報	42
4	道 徳 的 行 動	45
5	本 章 の ま と め	48
第 3 章	親の生活観と養育者観の実態	49
1	生 活 に つ い て の 自 己 評 価	50
2	良 い 親 の 条 件	64
3	親 の 資 質	68
4	本 章 の ま と め	71
第 4 章	結 論 と 今 後 の 課 題	73
資 料	75
資料1	小・中学生をもつ親の日常生活についてのアンケート（調査票）	
資料2	調査結果集計表	
資料3	調査結果概要	
資料4	昭和60年度家庭教育総合推進事業	

〔表紙絵 志免町 稲永万里子ちゃん（6歳3月）〕

福岡県における小・中学生をもつ親の日常生活の実態

序章 調査の概要

1 調査の目的

本県では、家庭教育総合セミナー事業の一環として、昭和56年度及び57年度に、「福岡県における小学生をもつ父親・母親の養育態度・行動に関する実態」について調査を行い、さらに昭和58年度及び59年度には、「福岡県における中学生をもつ父親・母親の養育態度・行動に関する実態」について調査を行った。

これらの一連の調査の結果明らかになったことは、今日の小・中学生たちの示す意識や行動は、その両親の考え方やその養育の仕方と密接な関連があるということである。例えば、基本的な生活習慣が十分に身につけていない子どもたちの親は、一般に自分の子どもに対して過保護な傾向にあるという実態が見出された。しかしながら、その親たちの意識としては、自分は過保護ではないと思いつけていることも明確にされ、そこに現実的な様相としての「実態」とその「意識」の間にズレあるいはギャップが存在していたのである。このようなズレあるいはギャップの存在は、子どもの健全な発達を望んでいる親や養育者にとっては望ましいことであるとは言えない。

もう1つ重要な結果は、先の過保護傾向と裏腹のことであるが、子どもの「しつけ」を十分にすることができず、放任している親がかなりいたということである。これは、自分の子どもであるにもかかわらず、その養育に自信がなく、どのような処置を施せばよいのかが皆目わからない親が増えていることを示していると思われる。この場合においても、親自身の「意識」としては、自分が放任主義であるとは思っていないということが見出され、過保護の場合と同じように「行動」との間にズレがみられたのである。

一方、今日の学校や社会の環境的状况をみみると、そこにはいろいろな構造的矛盾や荒廃が露呈してきている。特に、新聞やテレビなどのマスコミでは、毎日と言っていいほど、子どもたちにかかわる問題が報道されている。つい最近までは、非行万引きや校内暴力、家庭内暴力等の問題が主流を占めていたが、最近では「いじめ」や「体罰」の問題が著しく増えてきている。これらの憂慮すべき諸問題の解決のため、文部省をはじめ、学校や行政関係者など各界の諸団体がそれぞれ努力している。しかしながら、こういった努力にもかかわらず、これらの問題に対する抜本的な解決策は現在のところまだ見出されていないのが現状である。

ところで、今日のこういった子どもたちの問題行動は一体こういったところにその起因があるのだろうか。このような子どもたちの問題行動の原因を考えていった場合、かれら自身にその原因があることが一般的に言われるが、その原因が親の側にもあることが往々にしてあることがある。つまり、親が日頃こういった生活をし、また、こういった信念をもって子どもを育てようとしてい

るのか、あるいは、どのような目的や目標をもって自分の人生を送ろうとしているのか、こういったことが、自分の子どもの行動やその生き方に重大な影響を与えているのである。すなわち、親の生活のあり方や生活観、養育観などが、子どもの生活や行動、思考に密接な関連をもち、その子ども的一生を左右しているといっても過言ではない。したがって、親の日頃の生活のあり方や養育観を調べ、それらと子どもの生活や行動との関係を検討することは、かれらの健全な発育のために意義あることであるに違いない。

そこで、本調査では、まず小学生や中学生をもつ親が一体どのような日常生活を送り、どういった生活観や養育観をもって生活しているのか、その実態を明らかにしようとする。そして、親としての望ましい生活のあり方や生活観、養育観のもち方を探ることにした。

2 調査の方法

(1) 調査対象

本調査は、福岡県下の小学校と中学校の児童・生徒の親約2,800人を対象にして実施した。回答者数は、2,730人であった。しかしながら、この中で信頼性が低いと思われる回答が、142件あり、集計分析の対象とした回答は、2,588件である。

ここで、信頼性が低いと思われる回答とは、①問15で1又は2と答えながら問17に答えているもの、②問15で3又は4と答えながら問16に答えているもの、③問15が無回答であるのに問16又は問17に答えているもの、④問18及び問19で1と答えながら問20に答えているものをいう。

なお、サンプルの内訳を親の年齢別、子どもの人数別、居住地域別、子どもの学校別で分類すると、表1・2・3・4のとおりであった。ただし、表3では、水巻町家庭教育学級のサンプル(12件)は省かれている。また、表4では、小学生も中学生ももたないと答えた親が21人いた。

表1 親の年齢別サンプル数

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	NA	合計
父親	5	354	572	40	6	977
母親	16	938	599	14	8	1,575
NA	0	10	6	9	11	36
合計	21	1,302	1,177	63	25	2,588

表2 子どもの人数別サンプル数

	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人以上	NA	合計
父親	83	534	307	44	4	2	0	0	0	3	977
母親	135	864	495	60	12	6	0	1	0	2	1,575
NA	8	17	4	0	0	1	0	0	0	6	36
合計	226	1,415	806	104	16	9	0	1	0	11	2,588

表3 居住地域別サンプル数

	都市地域			都市周辺地域 (粕屋郡)	筑豊地域 (田川市 嘉穂郡)	筑後地域 (浮羽・三井 三潴郡)	合計
	福岡市	北九州市					
父親	310	159	151	229	269	168	976
母親	443	252	191	455	428	240	1,566
NA	9	6	3	6	17	2	34
合計	762	417	345	690	714	410	2,576

表4 子どもの学校別サンプル数

	小学生だけの親	中学生だけの親	小学生も中学生ももつ親	NA	合計
父親	244	83	646	4	977
母親	321	125	1,119	10	1,575
NA	11	5	13	7	36
合計	576	213	1,773	21	2,588

(2) 調査の方法

本調査は、質問総数 38 項目からなる質問紙「小・中学生をもつ親の日常生活についてのアンケート」によって行った。この質問紙の内容構成は、表5に示すとおりである。

表5 質問紙の構成

質問のカテゴリー	日常生活	社会生活	生活観と養育観
質問の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・規則正しい生活 ・食生活 ・テレビと読書 ・生活技術の使用 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的活動 ・近所付き合い ・新聞・広報への関心 ・道徳的行動 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活についての自己評価 ・生活観 ・親の条件
質問項目数	12問	15問	11問

この質問紙の構成は、基本的には、①親の日常生活の実態を問う質問、②親の社会生活の実態を問う質問、③親の生活観と養育観を問う質問、の3つの部分から成り立っている。そして、これらの各質問カテゴリーごとに、それぞれ質問項目が構成されている。①のカテゴリーでは、「規則正しい生活」として、問1, 2, 3の3項目、「食生活」として、問27, 28の2項目、「テレビと読書」として、問7, 8, 9, 10, 11の5項目、「生活技術の使用」として、問34, 35の2項目、の合計12項目が用意された。②のカテゴリーでは、「社会的活動」として、問15, 16, 17, 18, 19, 20の6項目、「近所付き合い」として、問21, 22, 23, 24の4項目、「新聞・広報への関心」として、問12, 13, 14の3項目、「道徳的行動」として、問25, 26の2項目、の合計15項目が用意された。また、③のカテゴリーでは、「生活についての自己評価」として、問4, 5, 6, 33の4項目、「生活観」として、問29, 30, 31, 32の4項目、「親の条件」として、問36, 37, 38の3項目、の合計11項目が用意された。これら質問項目の具体的な内容は、本文及び本指導資料の最後に付している。

3 分析の基本的な視点

結果の分析は、基本的には2の(2)で示した質問紙の各質問項目の構成に従って行った。また、この際、親全体の結果とともに、父親・母親の差や親の年齢別、もっている子どもの人数別、居住地域別及び子どもの学校別にも整理した。しかしながら、サンプル数の偏りのため、年齢別では主に30歳代と40歳代、子どもの人数別では1人あるいは2人、3人の子どもをもっている場合しか分析していない。また、居住地域別では、都市地域を都市部として、又は福岡市と北九州市に分けて分析した。

第1章 親の日常生活の実態

子どもは、日常生活の中からさまざまなことを学び、成長していく。特に、日常生活における親の姿勢や生き様は、その子どもの成長に大きくかかわっている。今日、子どもたちの心身発達障害の実態が種々報告されている。例えば、基本的な生活習慣が確立されないままに成長していき、学校生活や社会生活等に不適應を起す。偏食、間食過多、食生活の乱れによる身体的異常の増加、テレビの普及に伴う外遊び、運動遊びの減少、活字離れによる感性の低下、自己表現力の低下、そして、脳の発達に大きくかかわる指先の技能の低下等々数えあげればきりが無い。では、この子どもたちを育てている親の日常生活の実態はどうであろうか。ここでは、親の日常生活の実態をみることによって、子育てのあり方を考えてみたい。

1 規則正しい生活

(1) 親の意識

親の日常生活態度や行動は、子どもの成長に強い影響を与えているといわれている。では、親自身は、自らの日常生活をどのように評価しているかをみてみよう。

図1 1.あなたは、毎日規則正しい生活をしていると思いますか。

※親の年齢別

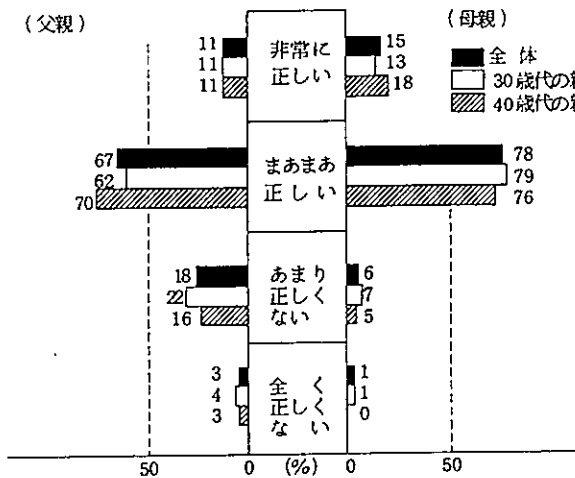
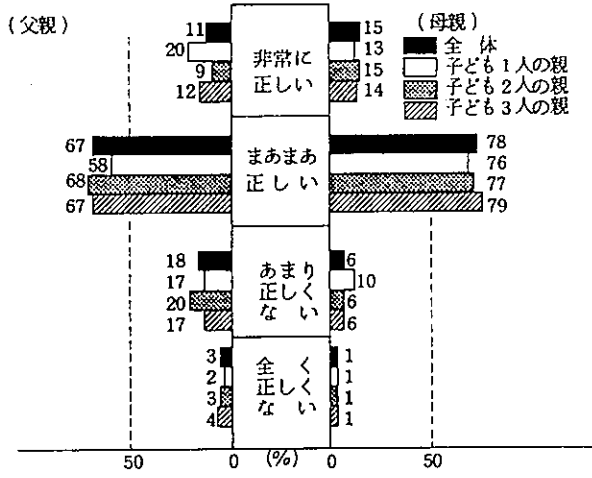


図2 1.あなたは、毎日規則正しい生活をしていると思いますか。

※子どもの人数別



父親と母親を比較した場合、母親の方が規則正しい生活をしていると思うと回答した者の割合が高くなっている。ちなみに、図1をみると、父親は、「非常に正しい」、「まあまあ正しい」を合わせると78%であるが、母親は93%という割合になる。

次に、親の年齢別の特徴をみてみると、40歳代の父親が、30歳代の父親に比べて規則正しい生活をしていると思っている者の割合がやや高くなっている。母親については、年齢による違いはみられなかった。

それでは、子どもの人数によって差があるかどうかみてみよう。図2で明らかなように、父親の場合、「非常に正しい」と回答した者の割合は、子ども1人の場合に高くなっている。ただし、「非常に正しい」と「まあまあ正しい」を合わせると、子ども1人の父親は78%、子ども2人の父親は77%、子ども3人の父親は79%となり、その差はみられないようである。

さらに、小学生だけの親と中学生だけの親を比べてみると、中学生だけの父親・母親の方が、非常に規則正しい生活をしていると回答した者の割合は高い。ちなみに、図3をみると、「非常に正

図3 1.あなたは、毎日規則正しい生活をしていると思いますか。

※子どもの学校別

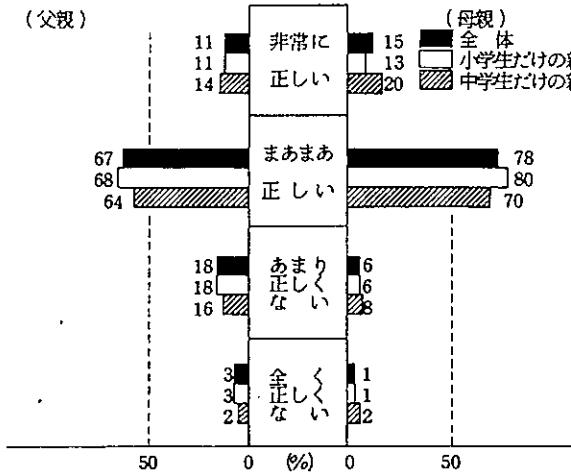
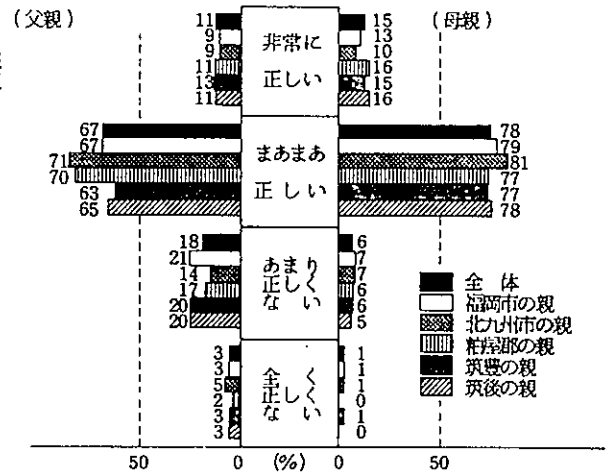


図4 1.あなたは、毎日規則正しい生活をしていると思いますか。

※居住地域別



「非常に正しい」と回答した者は、小学生だけの父親は11%、同母親は13%、中学生だけの父親は14%、同母親は20%となっている。ただし、「非常に正しい」と「まあまあ正しい」を合わせると、わずかに、小学生だけの父親・母親の方が割合が高くなる。

つづいて、地域によって違いがあるかどうかをみてみよう。「非常に正しい」と回答した者の割合は、父親の場合は9%から13%、母親の場合は10%から16%で、居住地域による違いがわずかにみられるようである。また、「非常に正しい」と「まあまあ正しい」を合わせてみると、母親の場合には、割合はほとんど変わらないが、父親の場合には、福岡市・筑豊・筑後が76%、北九州市が80%、粕屋郡81%とわずかの違いがみられる。

(2) 起床時刻

近年、遅寝遅起きの傾向がみられるといわれているが、果たしてどうであろうか。まず、起床時刻についてみてみよう。

父親と母親を比較した場合、母親の早起き傾向が目立つ。ちなみに、図5をみると、6時半以前に起床する者は、父親は43%、母親は70%の割合となっている。次に、30歳代の親と40歳代の親を比較してみよう。6時半以前に起床する者は、父親の場合、30歳代は35%、40歳代は47%となる。母親の場合は、30歳代は65%、40歳代は77%となり、父親・母親とも40歳代の方が早起きの割合が高くなっている。

それでは、子どもの人数によって起床時刻に違いがあるかどうかを図6でみてみよう。6時半以前に起床する者は、父親の場合、子ども1人は50%、子ども2人は41%、子ども3人は45%となり、母親の場合は、子ども1人は58%、子ども2人は69%、子ども3人は75%となっている。父親の場合は子ども1人の場合に早起きが目立つが、母親の場合には、子どもが多いほど早起きの

図5 2.あなたは、ふだん何時ごろ起きていますか。(土・日を除く)

※親の年齢別

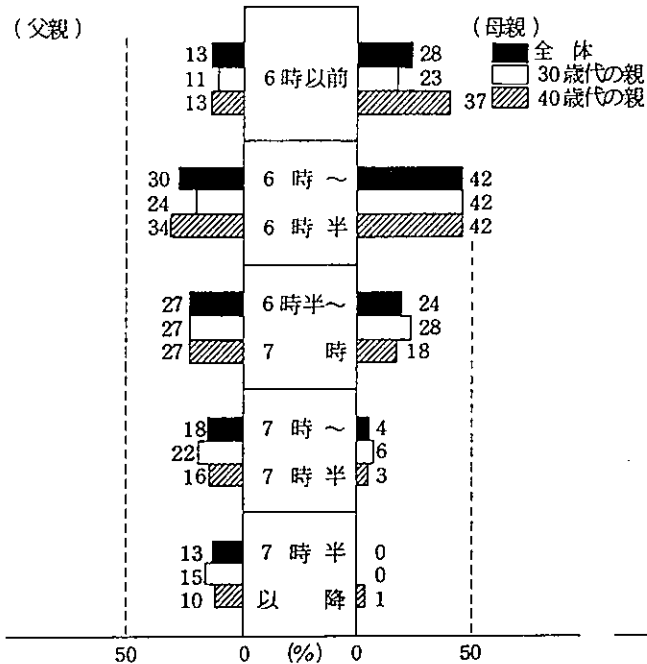
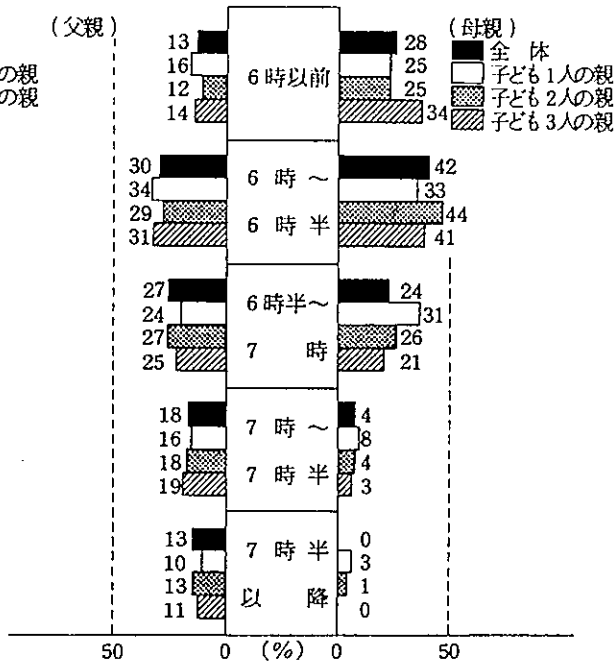


図6 2.あなたは、ふだん何時ごろ起きていますか。(土・日を除く)

※子どもの人数別



割合が高くなっている。

さらに、子どもが小学生の場合と中学生の場合の違いをみてみよう。図7で明らかのように6時

図7 2.あなたは、ふだん何時ごろ起きていますか。(土・日を除く)

※子どもの学校別

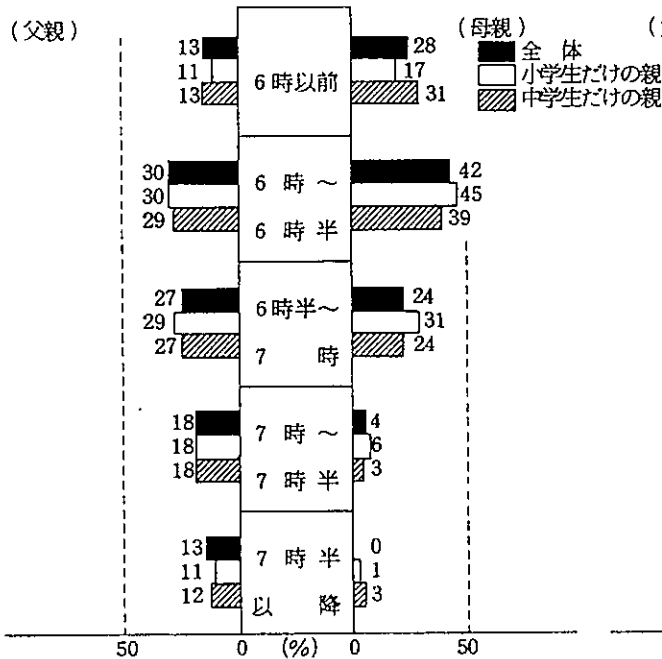
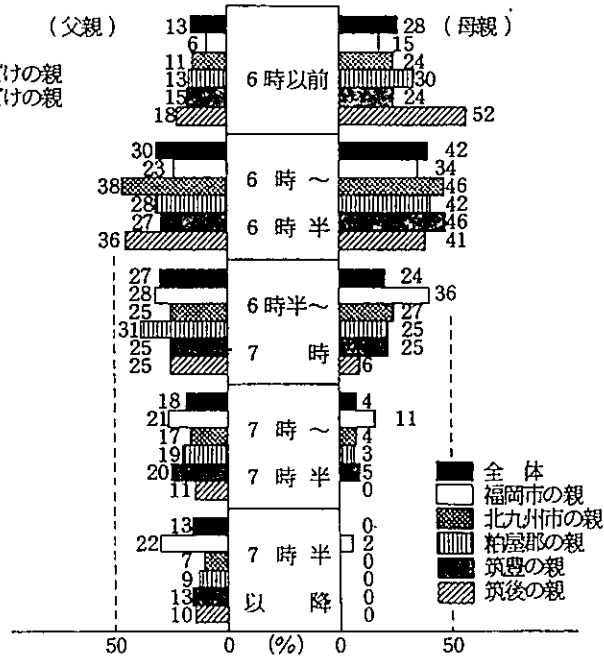


図8 2.あなたは、ふだん何時ごろ起きていますか。(土・日を除く)

※居住地域別



以前に起床する者は、父親の場合は、わずかな違いであるが、母親の場合には、中学生だけの母親の割合がきわめて高い。さらに、6時半以前に起床する者をも、小学生だけの母親が62%であるのに対し、中学生だけの母親は70%となり、やはり、中学生だけの母親の起床時刻の早いことがうかがわれる。

つづいて、起床時刻を地域別にみてみよう。図8によって6時半以前に起床する者をもてみると、父親の場合、福岡市29%、北九州市49%、粕屋郡41%、筑豊42%、筑後54%と、地域によってかなりの違いがみられる。母親の場合も、福岡市49%、北九州市70%、粕屋郡72%、筑豊70%、筑後93%となり、同じくかなりの地域差がみられる。特に、福岡市で母親の割合が低く、筑後において母親の割合がかなり高くなっている。

(3) 就寝時刻

子どもたちに宵っばりの遅起きが目立つと言われているが、親の就寝時刻はどうであろうか、みてみよう。

図9 3.あなたは、ふだん何時ごろ寝ていますか。(土・日を除く)

※親の年齢別

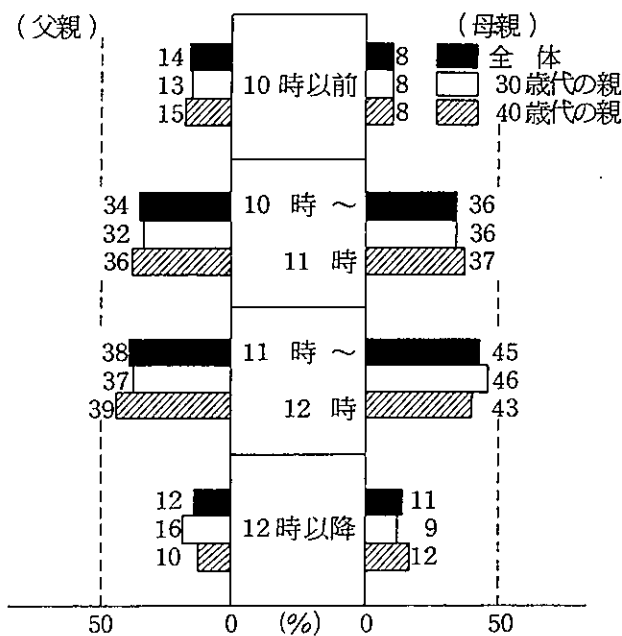
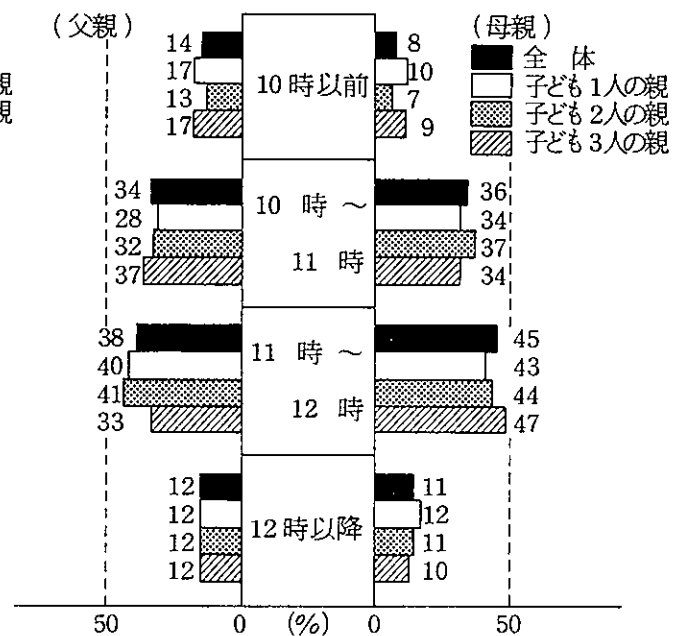


図10 3.あなたは、ふだん何時ごろ寝ていますか。(土・日を除く)

※子どもの人数別



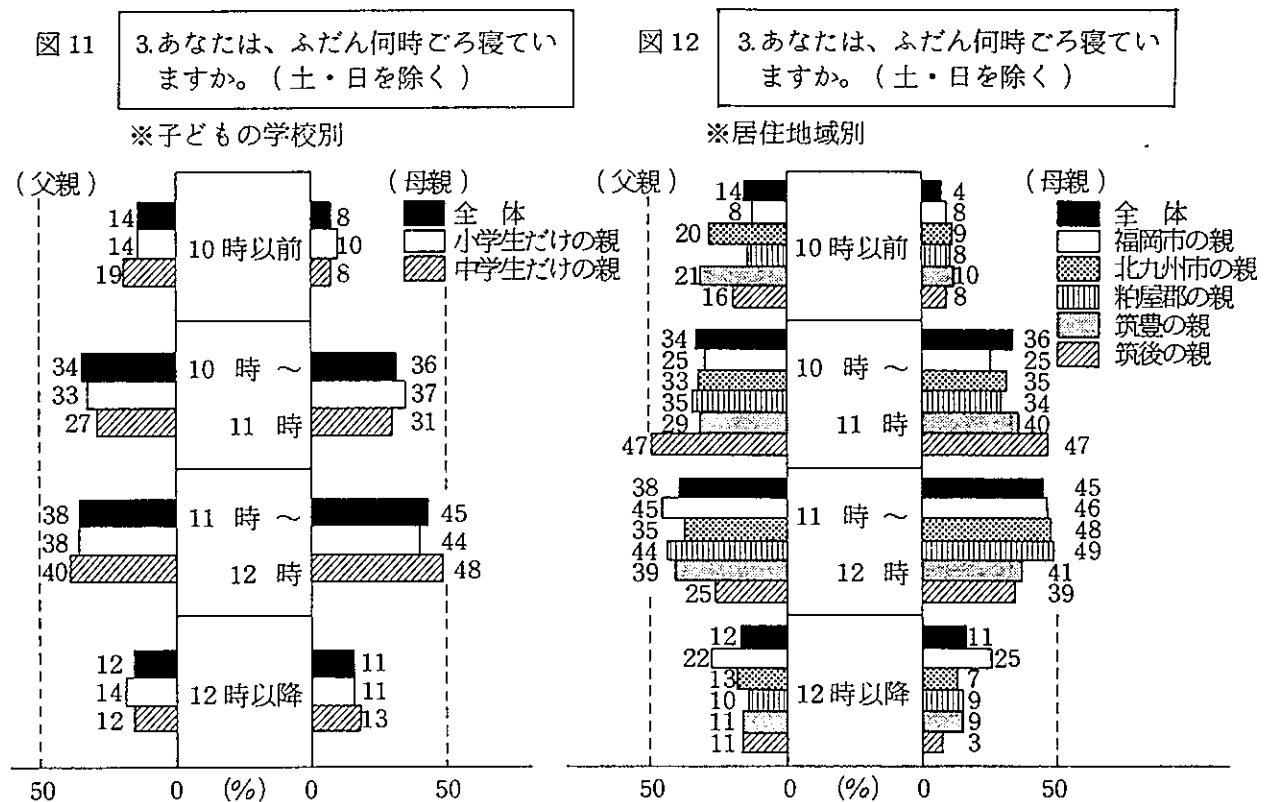
父親と母親の就寝時刻を比べた場合、母親の方が遅くまで起きている割合がやや高い。ちなみに図9をみると、11時以降に就寝する者は、父親が50%、母親が56%といった割合である。

次に、30歳代の親と40歳代の親とを比較してみよう。父親の場合、11時以降に就寝する者は、30歳代で53%、40歳代で49%と、30歳代の父親の方がわずかに高い割合となる。母親の場合、ともに55%で、年齢による差は全くみられなかった。

さらに、子どもの人数による親の就寝時刻の差異を図10でみると、11時以降に就寝する者は、父親の場合、子ども1人は52%、子ども2人は53%、子ども3人は45%という割合になる。母親の場合、子ども1人、子ども2人はともに55%、子ども3人は57%となる。このことから、父親の場合は、子ども3人の場合が、子ども1人や子ども2人の場合に比べて、11時以前に就寝する者がやや多いようであるが、母親の場合は、子どもの人数による違いはみられなかった。

それでは、小学生だけの親と中学生だけの親ではどうだろうか。図11で明らかのように、10時以前の就寝者は、父親の場合は中学生だけの場合が、母親の場合は小学生だけの場合が、それぞれ割合がやや高くなっている。11時以降に就寝する者についてみると、父親の場合は、その割合は共に52%であるが、母親の場合は、小学生だけの場合55%、中学生だけの場合61%と、中学生だけの母親の方に就寝時刻の遅い者がやや多いようである。

つづいて、地域別にみると、図12から11時以降に就寝する者は、父親の場合、福岡市67%、北九州市48%、粕屋郡54%、筑豊49%、筑後39%と、地域によってかなりのちがいがあった。母親の場合は、福岡市71%、北九州市55%、粕屋郡58%、筑豊50%、筑後45%となり、父親の場合と同様に地域による違いがみられた。特に、12時以降に就寝する者については、筑後の親の割合が高くなっている。



(4) 睡眠時間

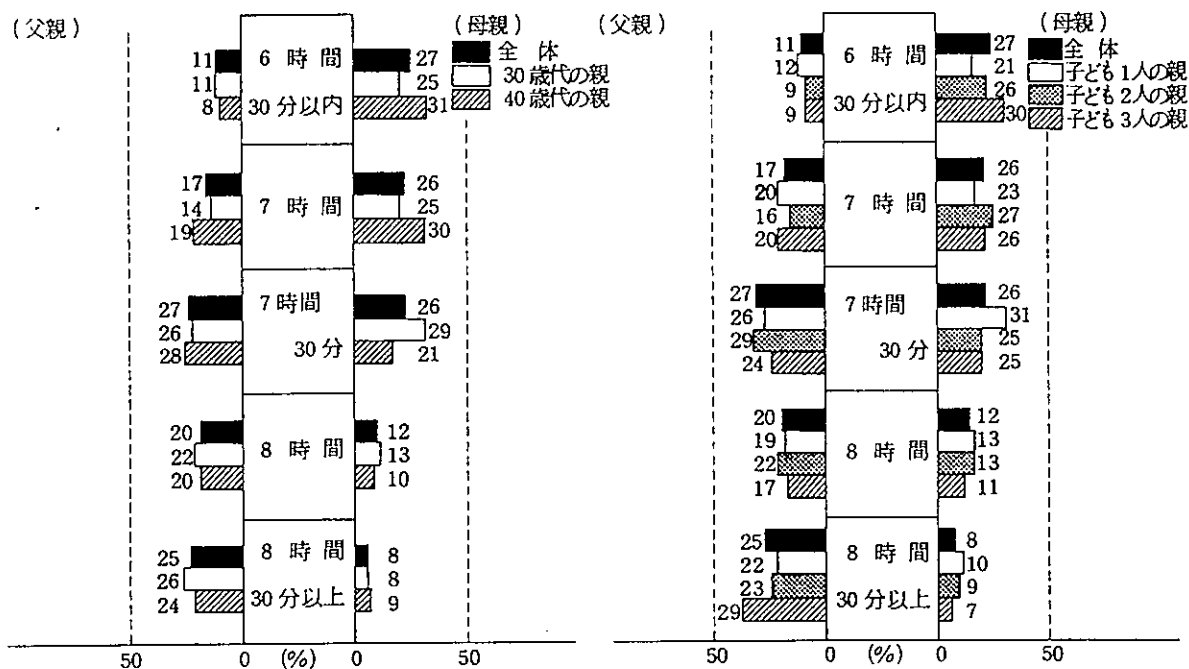
睡眠によって疲労が回復され、新しい生活への活力が生産される。睡眠不足は健康の維持や心身の働きに大きな影響を及ぼすといわれている。では、父親・母親の睡眠時間の実態はどうであろうか、みてみよう。なお、睡眠時間は、問2の起床時刻及び問3の就寝時刻からの推定である。

図13 問2及び問3による推定睡眠時間

図14 問2及び問3による推定睡眠時間

※親の年齢別

※子どもの人数別



父親と母親を比べた場合、母親の方が睡眠時間の短い者が多い。ちなみに、図13をみると、睡眠時間が7時間以内の者は、父親が28%、母親が53%となっている。睡眠時間が8時間以上の者は、父親が45%、母親が20%といった割合である。

次に、親の年齢別の特徴をみると、睡眠時間が7時間以内の者は、母親の場合、40歳代が61%、30歳代が50%で、40歳代に睡眠時間の短い者が多いようである。父親の場合も、40歳代の方が、睡眠時間がやや短い傾向がみられる。

それでは、次に、子どもの人数別に睡眠時間を比べてみよう。父親の場合、睡眠時間が7時間以内の者の割合は、子ども1人の場合32%、子ども2人の場合25%、子ども3人の場合29%となっている。逆に、8時間以上の者の割合は、子ども1人の場合41%、子ども2人の場合45%、子ども3人の場合46%となっており、子ども1人の父親の方が、睡眠時間がやや短いようである。母親の場合は、睡眠時間が7時間以内の者の割合は、子ども1人の場合44%、子ども2人の場合53%、子ども3人の場合56%となっている。8時間以上の者の割合は、子ども1人の場合23%

図 15 問 2 及び問 3 による推定睡眠時間

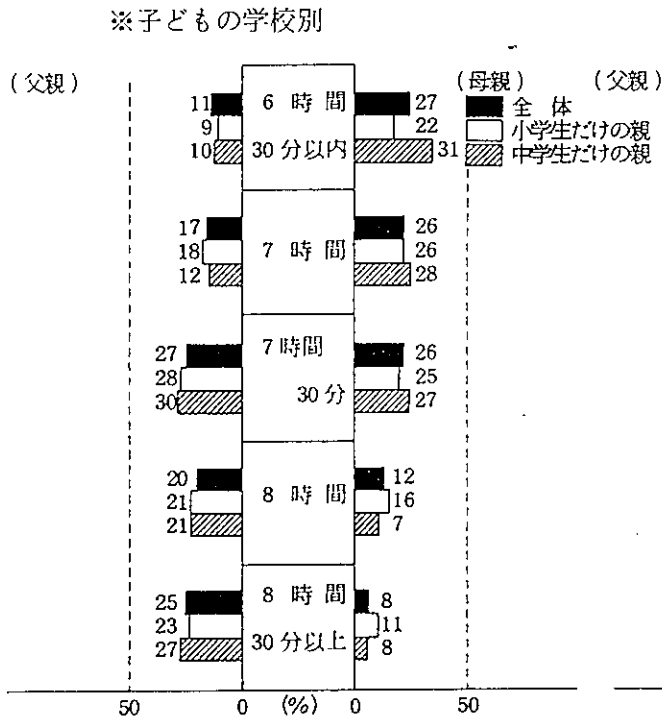
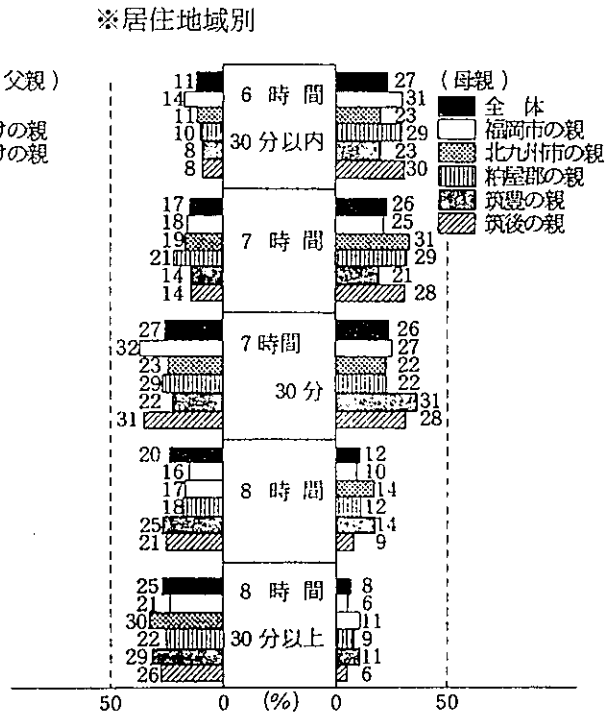


図 16 問 2 及び問 3 による推定睡眠時間



％、子ども 2 人の場合 22％、子ども 3 人の場合 18％となり、子どもの数が多くなるにつれて母親の睡眠時間が短くなっている。

さらに、小学生だけの親と中学生だけの親を比べると、図 15 から明らかなように、父親の場合、小学生だけの父親の方が睡眠時間がやや短い傾向がうかがわれる。母親の場合は、睡眠時間が 7 時間以内の者の割合は、小学生だけの場合 48％、中学生だけの場合 59％となり、逆に、8 時間以上の者の割合は、小学生だけの場合 27％、中学生だけの場合 15％となって、中学生だけの母親の方が睡眠時間が明らかに短い。

つづいて、地域別にみてみよう。図 16 から睡眠時間が 7 時間以内の者の割合は、父親の場合、福岡市 32％、北九州市 30％、粕屋郡 31％、筑豊 22％、筑後 22％であり、8 時間以上の者の割合は、福岡市 37％、北九州市 47％、粕屋郡 40％、筑豊 54％、筑後 47％となる。

睡眠時間が 7 時間以内の者の割合は、福岡市 56％、北九州市 54％、粕屋郡 58％、筑豊 44％、筑後 58％となっている。

2 食生活

(1) 食物の後始末

日本は現在、飽食の時代といわれているほど、多種多様の食料品があふれている。学校給食では、カロリーの摂り過ぎが問題となり、基準摂取カロリーを落とすほどである。このような日本の状況とは裏腹に、地球上では飢えのために多くの人々が苦しんでいる。親は、子どもたちに、「地球上では、飢えのため多くの人が苦しんでいるのだから食物を粗末にはいけない」と言う。

ところが、図17をみると、49%の親が、まだ食べられる食物を捨てることが、「よくある」、「時々ある」と答えている。父親・母親別にみると、父親が「よくある」、「時々ある」を合わせて36%であるのに対し、母親は56%とずいぶん多い。これは、母親の方が食事の仕度や後始末等に直接携わることが多いからだろうと考えられる。

次に、親の年齢別にしてみると、30歳代の親が「よくある」、「時々ある」を合わせて54%であるのに、40歳代では43%と、年齢が高い方がその率が低い。これは、30歳代と40歳代では、育った時代背景がずいぶん違うので、その影響も否定できない。

さらに、子どもの人数によってしてみると、子どもが1人よりも2人、2人よりも3人と、子どもの数が多いほど「よくある」、「時々ある」と答えた者の割合が低くなっている。やはり、家族が増えれば、それだけ経済観念も増すということだろうか。

では、小学生だけの親と中学生だけの親を比べてみよう。「よくある」、「時々ある」を合わせて、小学生だけの親は50%、中学生だけの親は49%と、ほとんど差はみられない。

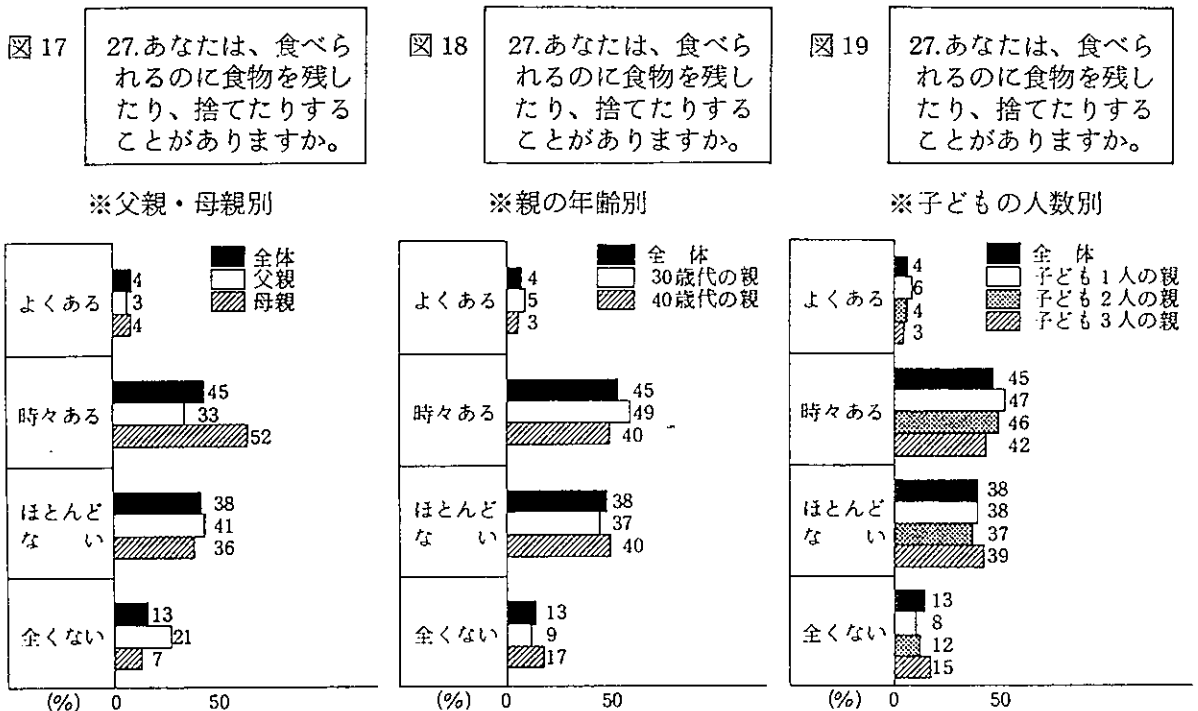


図 20 あなたは、食べられるのに食物を残したり捨てたりすることがありますか。

※子どもの学校別

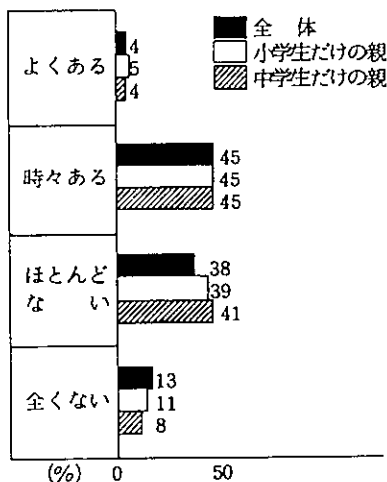
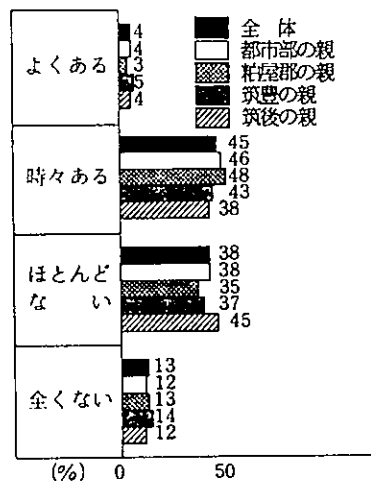


図 21 あなたは、食べられるのに食物を残したり捨てたりすることがありますか。

※居住地域別



また、地域別にみると、「よくある」、「時々ある」が、都市部51%、粕屋部51%、筑豊48%、筑後42%となっている。都市部及びそれに隣接する粕屋部よりも筑豊、筑後の方がその率は低い。これは、都市部では、食品の種類・量とも多く、手に入りやすいということや、昔からの生産地と消費地の物に対する考え方に幾分の差が関係あるのではないかと考えられる。

(2) 間食

全体では、「よくある」、「時々ある」を合わせて68%である。父親と母親を比べてみると、父親は50%、母親は79%と、母親の方が多い。

図 22 28.あなたは、間食をすることがありますか。

※父親・母親別

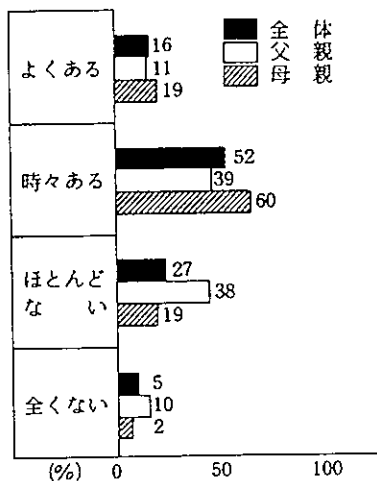


図 23 28.あなたは、間食をすることがありますか。

※親の年齢別

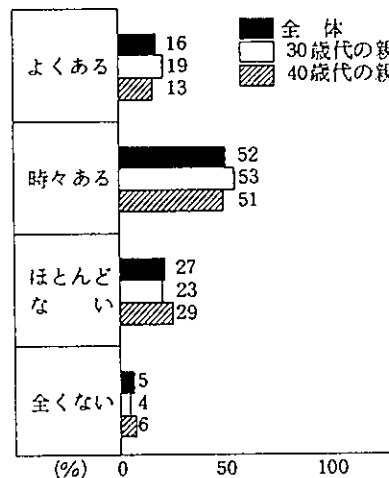


図 24 28.あなたは、間食をすることがありますか。

※子どもの人数別

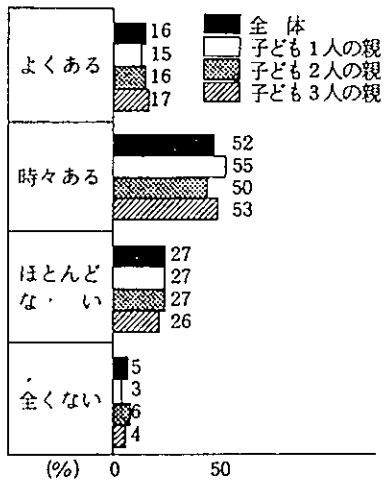


図 25 28.あなたは、間食をすることがありますか。

※子どもの学校別

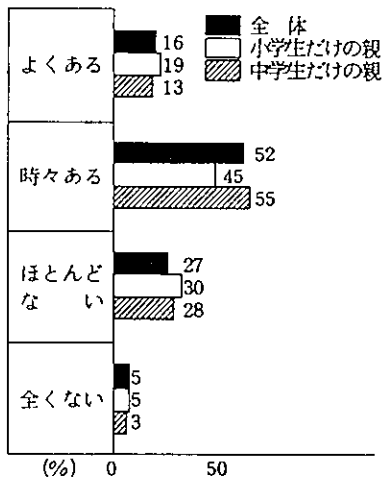
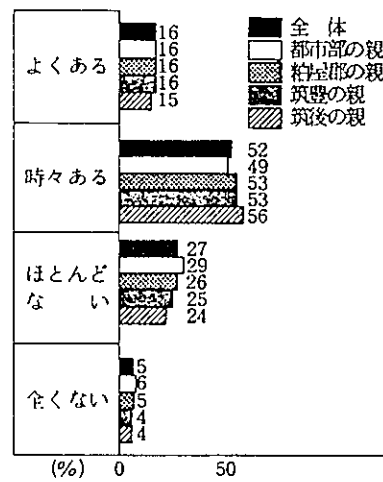


図 26 28.あなたは、間食をすることがありますか。

※居住地域別



年齢別にみると、「よくある」、「時々ある」が30歳代で72%、40歳代で64%、と年齢の高い方がその割合は低い。

このことを、小学生だけの親と中学生だけの親の比較でみてみると、「よくある」と答えた者の割合は、小学生だけの親で19%、中学生だけの親で13%となっている。これらを合わせて考えてみると、子どもが中学生になると、母親も外に出る機会が多くなることと関係があるのではなかろうか。

子どもの人数別にみてみると、「よくある」と「時々ある」を合わせて、子ども1人の場合70%、子ども2人の場合66%、子ども3人の場合70%と、そう大きな差はみられない。

また、地域別にみると、「よくある」と「時々ある」を合わせて、都市部が64%であるのに対し、粕屋郡69%、筑豊69%、筑後71%と、郡部の方がその割合が高くなっている。しかし、「よくある」に限ってみれば、ほとんど変わらず、「時々ある」が、都市部より郡部でその割合が高くなっている。したがって、間食に対する問題意識は、わずかだが都市部の方が高いのではないかと考えられる。

3 テレビと読書

福岡県でテレビが放送されて、昭和 61 年 4 月 1 日で 30 年になる。テレビ放送の開始以降に生まれた人も、日本の人口の大部分を占めるようになった。テレビは、昭和 32 年ごろから「成長期」に入り、37 年ごろから 46 年ごろまでの「発展期」を経て、現在の「安定期」に入るのである。そして、今や音声多重・文字多重・衛星放送をはじめ、CATV、キャプテンなどのニューメディア時代を迎えた。

情報化時代の現在、マスコミュニケーションの中でテレビほど国民の生活に深く浸透し、大きな影響を与えているものはない。昭和 35 年当時、国民平均で 1 日（平日）に 1 時間半であったラジオの聴取時間は、テレビ受信機の普及に伴って、昭和 40 年には 30 分足らずにまで減少し、代わって、1 時間弱であったテレビの視聴時間が 3 時間近くに増えた。ラジオを聞く人が目に見えて減少したのは昭和 36 年あたりからであり、一方、テレビ受信契約数は、昭和 42 年 12 月に全国で 2 千万台を超えてしまった。

人々のテレビに対する認識は、娯楽・報道・教育・教養についての評価である。例えば、「家族の団らんに役立つ」、「世の中の動きにとり残されずにすむ」、「政治や社会の重要な問題について、どう考え、どう対処したらよいかかわかる」の 3 点について効用を認める人が多い。

テレビの視聴時間は、昭和 47 年以降大きくは変化していないが、最近の調査では、減少のきざしが見られる。昭和 60 年 6 月の NHK の視聴率調査によると、1 日（週平均）のテレビ視聴時間は、3 時間（NHK 58 分、民放 2 時間 2 分）となっており、この 10 年間の中で最も少なくなった。テレビを見る時間が「少なくなった」という人は、レジャー活動の活発な傾向があり、テレビ視聴以外の余暇活動に向かう人が増えたことと、婦人の家庭外就労の増加などが、減少の一因と考えられる。と同時に、現在のテレビに対する不満として、放送内容のマンネリ化、質の低下などをあげる人が多い。より高度化し、多様化していく視聴者のニーズに十分応えていないことも減少の一因といえよう。

一方、テレビの見方にも変化が生じてきている。その 1 つは、個人視聴の増加であり、もう 1 つは、選択視聴の増加である。その他、家族数の減少、1 人住まいの増加、子どもやお年寄りで個室を持つ人が増えたことなど、居住条件の変化が影響しているものと思われる。

以下、今回のアンケート調査の結果とその他の調査とを比較しながらみてみよう。

(1) テレビの視聴時間

図 27 7.あなたは、テレビを1日にどのくらい見ていますか。(土・日を除く)

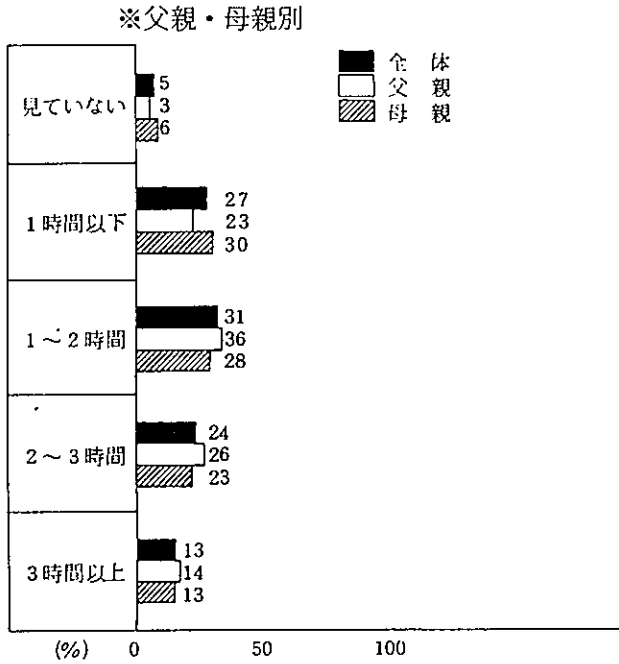
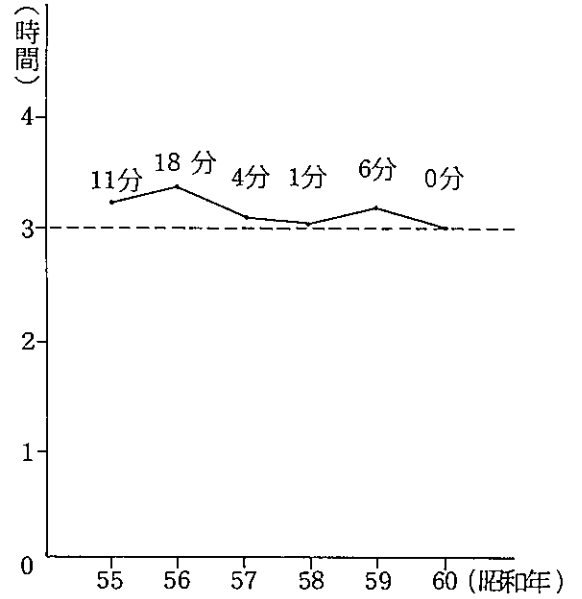


図 28 NHK視聴率調査による1日(週平均)のテレビ視聴時間 (NHK+民送)



本県の場合、テレビの視聴時間は、全体で見ると「1～2時間」が31%と一番多く、「2～3時間」と合わせると55%となり、過半数を占めている。NHK視聴率調査と比較してみても、平

図 29 7.あなたは、テレビを1日にどのくらい見ていますか。(土・日を除く)

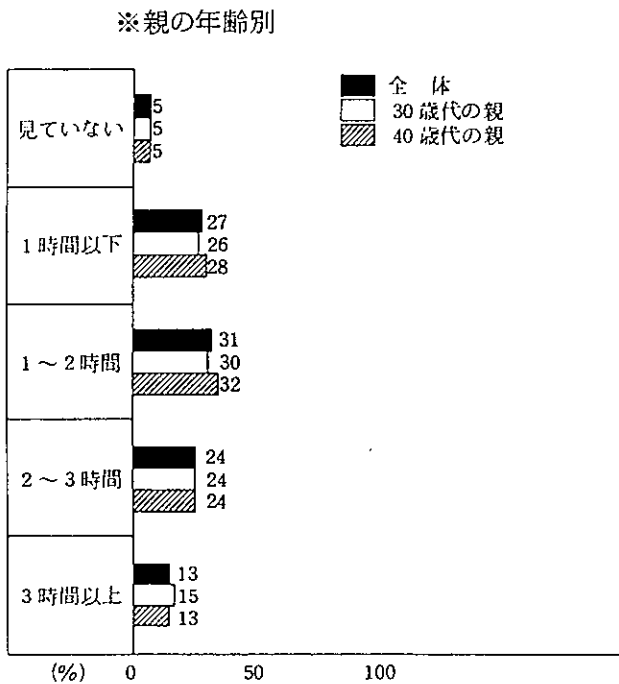


図 30 7.あなたは、テレビを1日にどのくらい見えていますか。(土・日を除く)

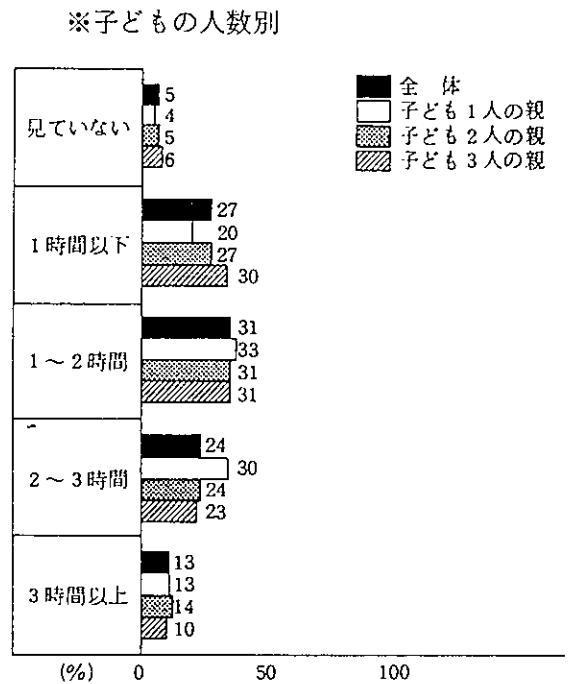


図 31 7.あなたは、テレビを1日にどのくらい見えていますか。(土・日を除く)

※子どもの学校別

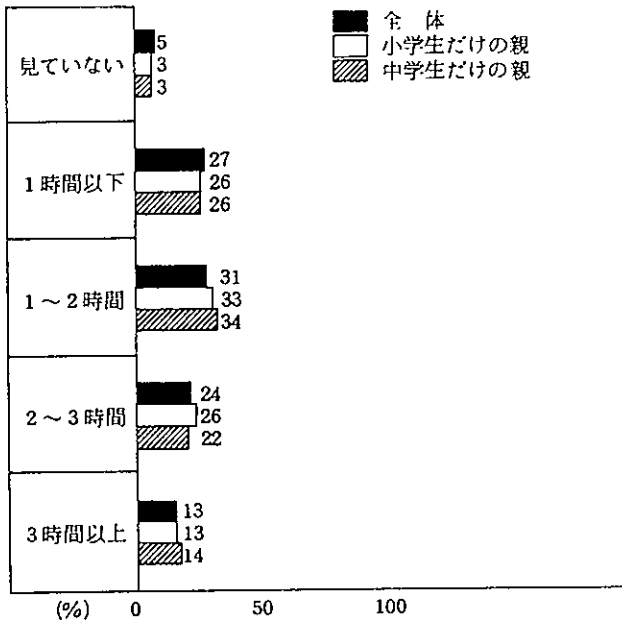
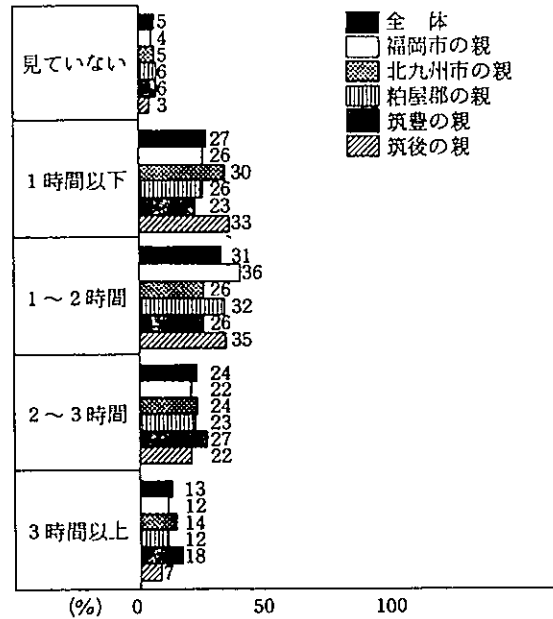


図 32 7.あなたは、テレビを1日にどのくらい見えていますか。(土・日を除く)

※居住地域別



均的な視聴時間といえよう。

父親と母親を比べると、「見えていない」と「1時間以下」は、母親の方の割合が高く、「1～2時間」、「2～3時間」視聴する者の割合は、父親の方が高い。

年齢別にみると、30歳代の親と40歳代の親とでは、ほとんど差がない。

また、子どもの人数別でみると、子ども1人の親が、子ども2～3人の親よりも長時間見ている。

子どもの学校別ではほとんど差がないが、小学生だけの親の方が、「2～3時間」視聴する者の割合が、中学生だけの親よりわずかに高い。

地域別では、「見えていない」と「1時間以下」を合わせて35%以上になるのは、北九州市と筑後の親であるが、「1～2時間」と「2～3時間」を合わせると、すべての地域で50%以上の親が視聴しており、特に、福岡市の58%と筑後の57%が高い割合になっている。

(2) 食事時間のテレビ視聴

最近、テレビの見方が変わってきたといわれている。下表に示すように、NHK世論調査部の行

表 6 ながら視聴を100とした値 (%)

(昭和55年国民生活時間調査)

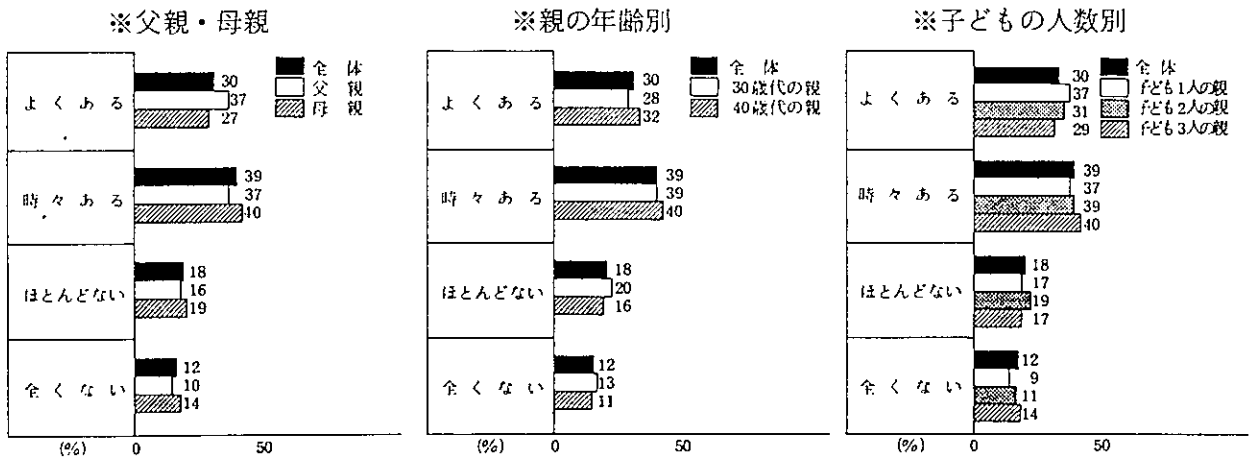
	国民	農林漁業者	自営業者	勤め人	家庭婦人	生徒・学生
食 事	41	52	42	46	31	54
家 事	32	29	19	22	53	7
仕 事	7	4	26	6	4	0
学 業	1	0	0	0	0	11
身のまわりの用事	7	4	4	9	4	13
新聞・雑誌・本	9	6	8	13	5	9

った昭和55年度国民生活時間調査の結果をみても、自営業者や家庭婦人は、視聴時間の半分以上はほかの行動をしながらの「ながら視聴」であり、とくに家庭婦人は「ながら視聴」が過半数を超えているし、その中で多いのが「食事や家事をしながら」で、テレビと食事との関係が密着したものとなっている。

図33 8.あなたは、テレビを見ながら食事をすることがありますか。

図34 8.あなたは、テレビを見ながら食事をすることがありますか。

図35 8.あなたは、テレビを見ながら食事をすることがありますか。



今回の調査結果をみても、全体の69%の人が食事をしながらテレビを見るのが「よくある」又は「時々ある」と答えており、「ながら視聴」が多いことを裏付けている。

父親と母親では、「よくある」が父親37%と、母親より10%も多い。

親の年齢別にみると、40歳代の親が「よくある」、「時々ある」を合わせて72%と30歳代の親より5%割合が高い。

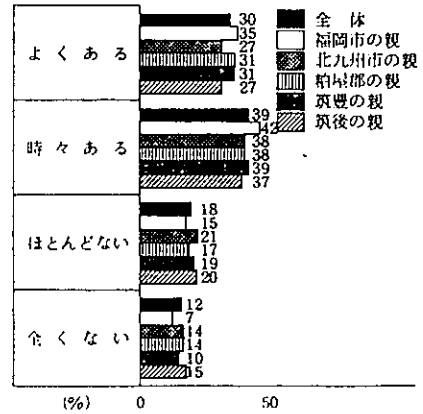
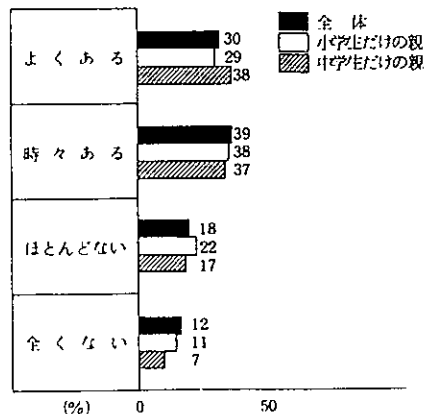
また、子どもの人数別にみても、子どもの数が少ない親ほど「ながら視聴」が多い。

図36 8.あなたは、テレビを見ながら食事をすることがありますか。

図37 8.あなたは、テレビを見ながら食事をすることがありますか。

※子どもの学校別

※居住地域別



小学生だけの親と中学生だけの親とでは、中学生だけの親の方が「よくある」と答えた者の割合が高くなっている。

地域別では、福岡市の親が、「よくある」と「時々ある」を合わせて77%と他の地域に比べて多い。

(3) テレビ視聴の態度

テレビ視聴の態度に関しては、全体では、ついダラダラとテレビを見て後悔することが「よくある」、「時々ある」が合わせて41%となっている。一方、「ほとんどない」「全くない」は58%である。

図 38 9.あなたは、ついダラダラとテレビを見て後悔することがありますか。

※父親・母親別

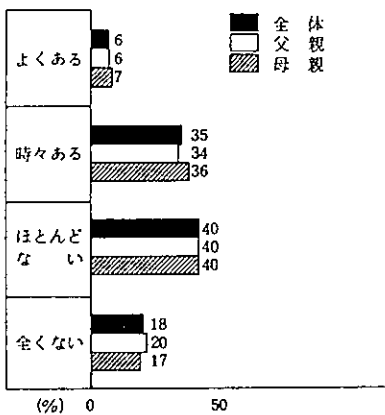


図 39 9.あなたは、ついダラダラとテレビを見て後悔することがありますか。

※親の年齢別

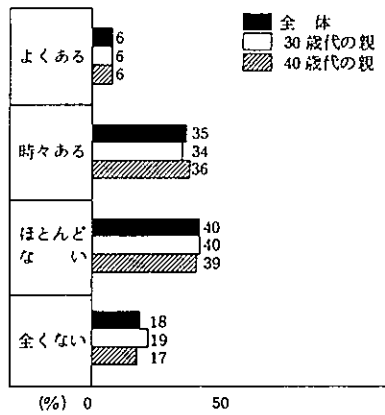
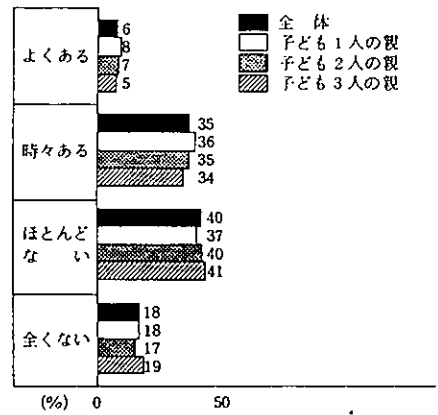


図 40 9.あなたは、ついダラダラとテレビを見て後悔することがありますか。

※子どもの人数別



この結果は、父親・母親別、親の年齢別、子どもの人数別、子どもの学級別、地域別にみても、ほとんど特徴的なものはなく、同じような傾向を示している。

図 41 9.あなたは、ついダラダラとテレビを見て後悔することがありますか。

※子どもの学校別

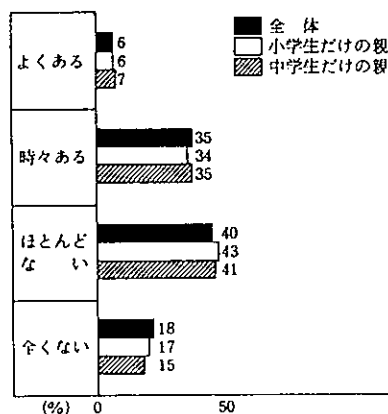
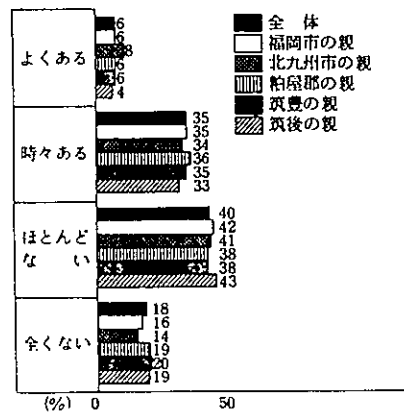


図 42 9.あなたは、ついダラダラとテレビを見て後悔することがありますか。

※居住地域別



(4) 読 書 (単行本の小説やエッセーなど)

親たちは、どのくらい単行本の小説やエッセーなどを読んでいるのだろうか。「よく読む」、「時々読む」を合わせると、全体では61%の親が読んでいる。

ここでの特徴は、父親と母親の差が大きいということである。「よく読む」、「時々読む」を合わせると、父親より母親の方が16%も割合が高くなっていることが図43からわかる。これは、母親の方が子どもに関する本をよく読んでいるからだろうか。それにしても、「ほとんど読まない」、「全く読まない」父親が約半数の49%もあるということは、どういうことだろうか。考えさせられる数字である。

図43 10.あなたは、単行本の小説やエッセーなどを読むことがありますか。

※父親・母親別

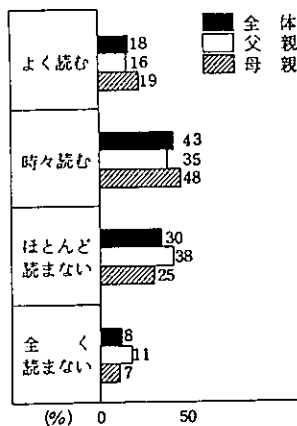


図44 10.あなたは、単行本の小説やエッセーなどを読むことがありますか。

※親の年齢別

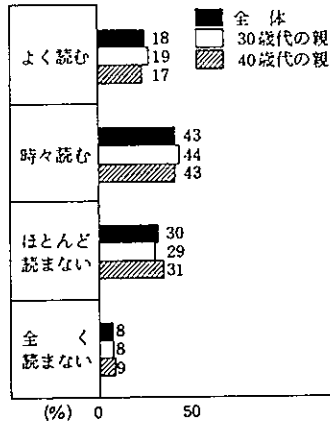


図45 10.あなたは、単行本の小説やエッセーなどを読むことがありますか。

※子どもの人数別

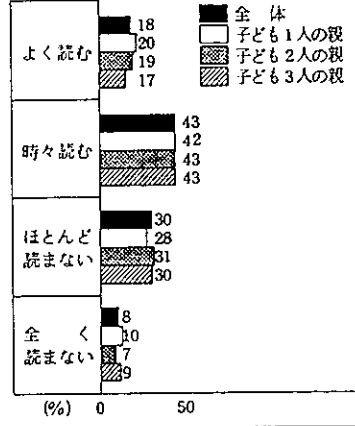


図46 10.あなたは、単行本の小説やエッセーなどを読むことがありますか。

※子どもの学校別

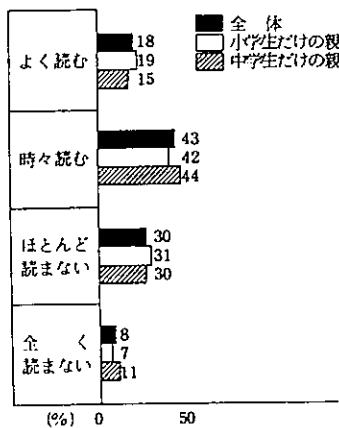
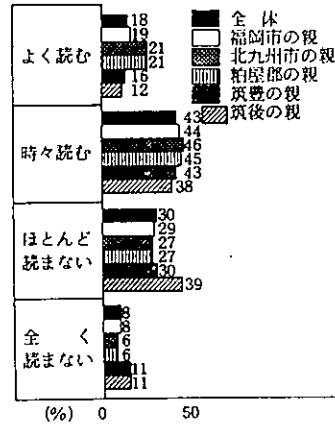


図47 10.あなたは、単行本の小説やエッセーなどを読むことがありますか。

※居住地域別



親の年齢別、子どもの人数別ではあまり違いがない。

小学生だけの親と中学生だけの親を比べてみると、「よく読む」、「時々読む」を合わせて、2%ほど小学生だけの親の方が割合が高い。

一方、地域別にみると、「よく読む」、「時々読む」を合わせると、筑後が50%と他地域より割合が低く、筑豊が59%であり、福岡市63%、粕屋郡66%、北九州市67%とよく読まれていることがわかる。

国民生活時間調査によると、成人男子で平日に「新聞・雑誌・本」を読む者の割合は72%で、ここしばらくはほとんど変わっていない。成人女子は、男子に比べると行為者率や平均時間が少ないが、段々と増え続けている。

図 48 成人の「新聞・雑誌・本」

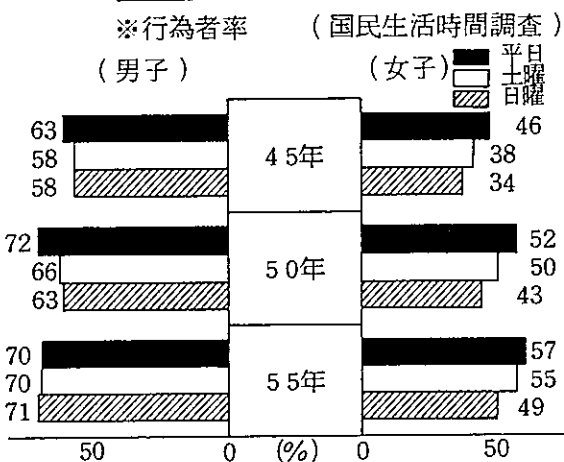
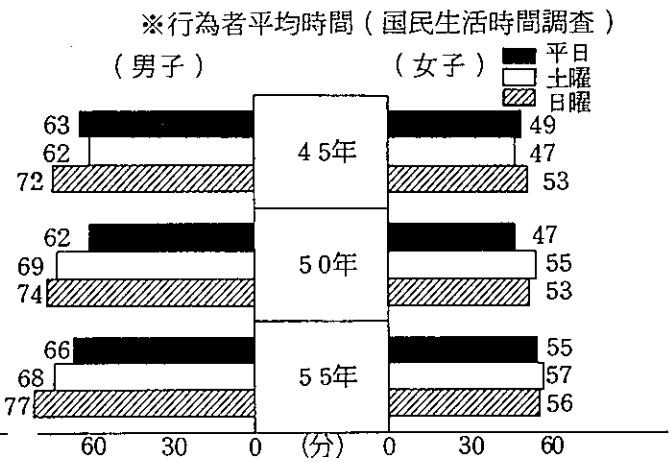


図 49 成人の「新聞・雑誌・本」



(5) 読 書 (漫画本や肩のこらない週刊紙)

図 50 11.あなたは、漫画本や肩のこらない週刊紙を読むことがありますか。

※父親・母親別

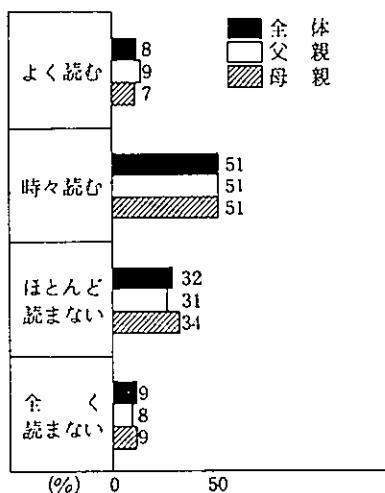
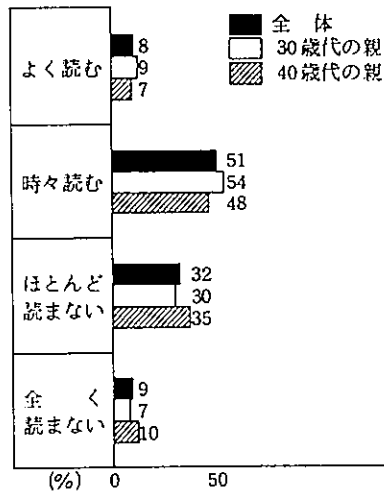


図 51 11.あなたは、漫画本や肩のこらない週刊紙を読むことがありますか。

※親の年齢別



「よく読む」、「時々読む」は、全体で59%であり、父親・母親の別、子どもの人数別による差はあまり出ていない。

年齢別にみると、「よく読む」、「時々読む」が、30歳代の親63%、40歳代の親55%と若い親の方が、漫画本などをよく読んでいることがわかる。

小学生だけの親と中学生だけの親では、「よく読む」、「時々読む」が、それぞれ62%、57%と、小学生だけの親の方が5%ほど割合が高くなっている。

地域別では、「よく読む」、「時々読む」が北九州市で55%とわずかに低いが、最高の筑後でも61%であり、地域による特性はあまりない。

図 52

11.あなたは、漫画本や肩のこらない週刊誌を読むことがありますか。

※ 子どもの人数別

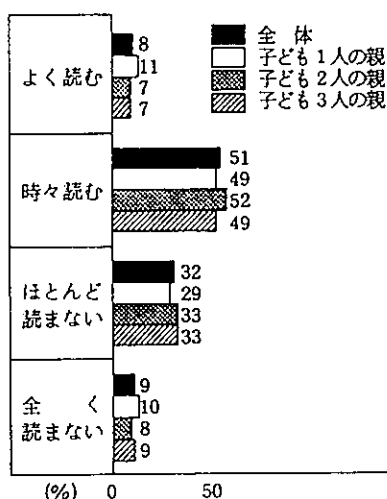


図 53

11.あなたは、漫画本や肩のこらない週刊誌を読むことがありますか。

※子どもの学校別

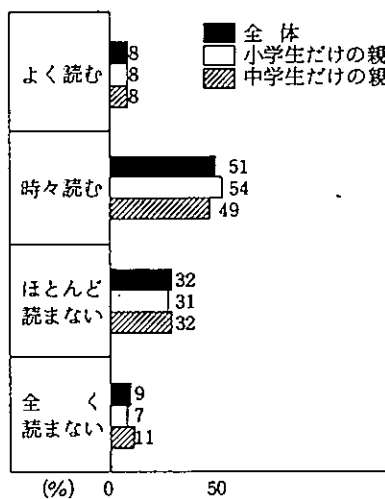
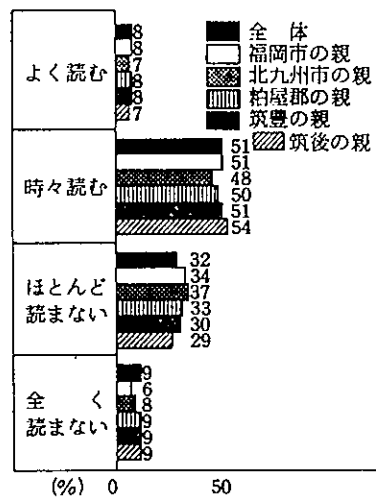


図 54

11.あなたは、漫画本や肩のこらない週刊誌を読むことがありますか。

※居住地域別



4 生活技術

昭和59年3月の文部省の調査では、「ナイフで物の皮を上手にむく」、「ボタンを針と糸でつける」等が、あまりできない、いわゆる不器用な子どもがふえていることが報告された。では、親の方は、日常生活の中でどのようになっているだろうか。今回、大工道具と裁縫道具の使用度からそのことをみてみよう。

(1) 大工道具の使用度

大工道具（かなづちやノコなど）の使用についてみると、全体では、この半年間に使用したことが「よくある」、「時々ある」と答えた者が70%となっている。

父親と母親を比べてみると、「よくある」、「時々ある」を合わせて、父親が83%であるのに対し、母親は62%となっており、次にみる裁縫道具の使用度ほどの差はみられない。

親の年齢別にみると、「よくある」、「時々ある」は、30歳代の親で65%、40歳代の親で74%と、年齢の高い方がその使用度も高くなっている。ここで、その使用度を父親に限ってしてみると、「よくある」、「時々ある」が30歳代で78%、40歳代で86%と、かなり高い割合である。

次に、子どもの人数別にみると、「よくある」、「時々ある」の割合は、母親では、子ども1人の場合59%、子ども2人の場合61%、子ども3人の場合63%であり、父親では、それぞれ77%、84%、85%となっており、父親・母親とも子どもの人数に比例してその使用度も高くなっている。

図 55

34. あなたは、大工道具（かなづちやノコなど）をこの半年の間に使ったことがありますか。

※父親・母親別

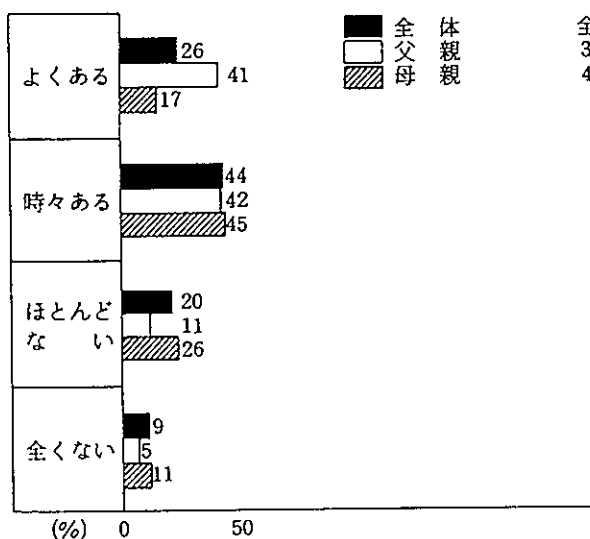


図 56

34. あなたは、大工道具（かなづちやノコなど）をこの半年の間に使ったことがありますか。

※親の年齢別

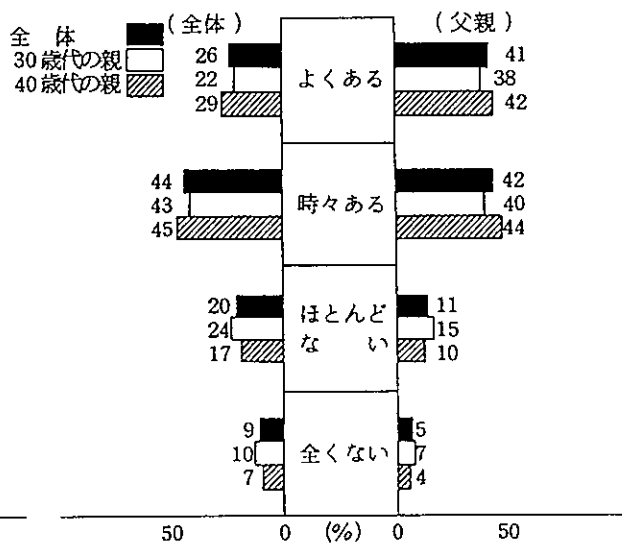


図 57 34.あなたは、大工道具（かなづちやノコなど）をこの半年の間に使ったことがありますか。

※子どもの人数別

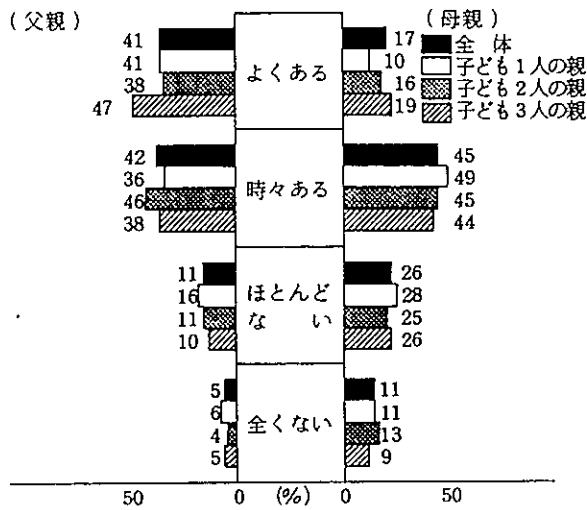
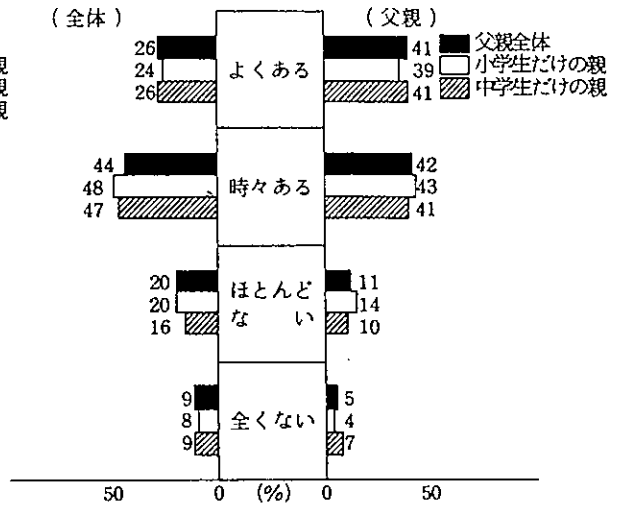


図 58 34.あなたは、大工道具（かなづちやノコなど）をこの半年の間に使ったことがありますか。

※子どもの学校別

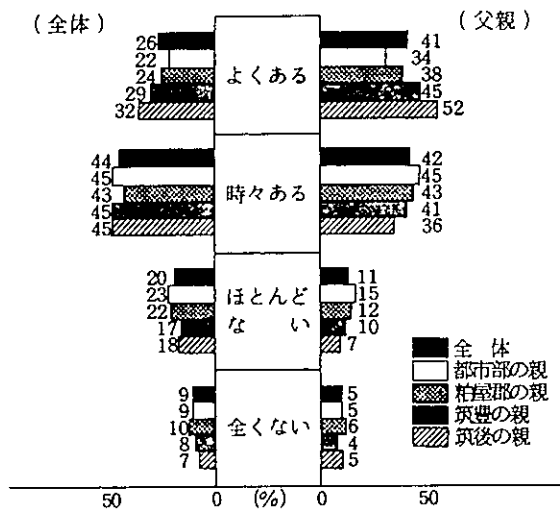


次に、小学生だけをもつ親と中学生だけをもつ親を比べてみると、「よくある」、「時々ある」がそれぞれ50%、49%とほとんど変わらず、父親に限ってみても、共に82%で全く差はない。

地域別にみると、「よくある」、「時々ある」を合わせて、都市部及びその近郊である粕屋郡の親が共に67%であるのに対し、筑豊74%、筑後77%と都市部以外の地域の方が使用度が高い。これを父親に限ってみると、都市部79%、粕屋郡81%、筑豊86%、筑後89%と、都市部よりその他の地域でその使用度は高くなっていることがはっきりする。

図 59 34.あなたは、大工道具（かなづちやノコなど）をこの半年の間に使ったことがありますか。

※居住地域別



(2) 裁縫道具の使用度

裁縫道具（針や糸など）の使用についてみると、この半年間に使用したことが「よくある」、「時々ある」と答えた者が、全体で71%である。

図 60 35.あなたは、裁縫道具（針や糸など）をこの半年の間に使ったことがありますか。

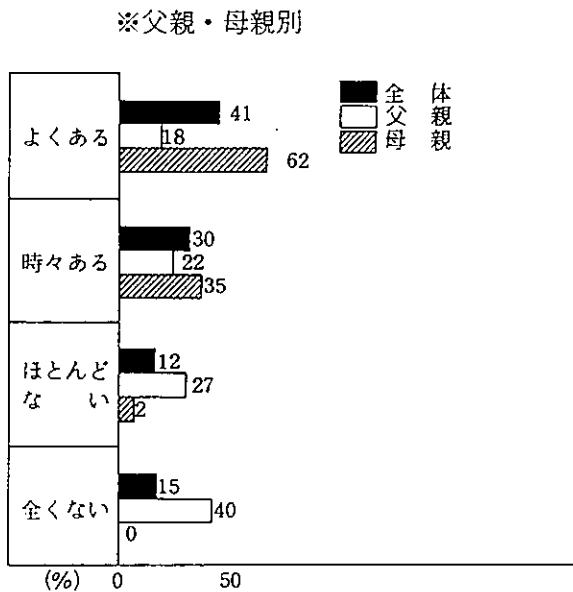
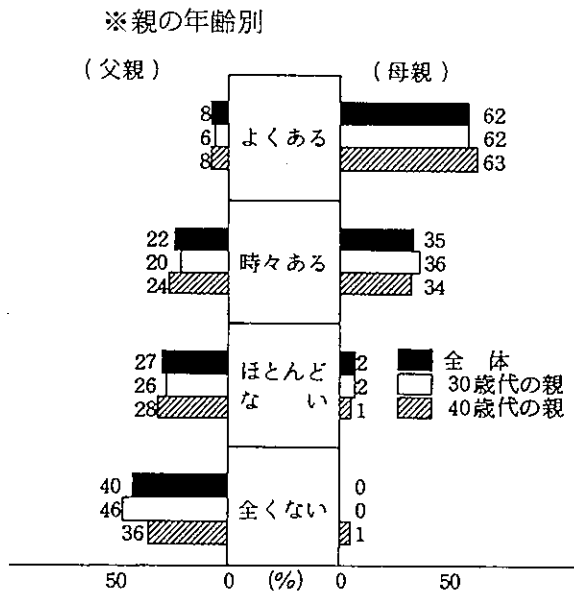


図 61 35.あなたは、裁縫道具（針や糸など）をこの半年の間に使ったことがありますか。



父親・母親別にみると、父親で「よくある」、「時々ある」と答えた者の割合は30%と低く、母親では97%とかなり高い割合になっている。しかし、「ほとんどない」と答えた母親も2%あり、現代では、裁縫道具を使おうと思わなければ、使わないでも生活していけるようになったということであろう。

次に、親の年齢別にみると、「よくある」、「時々ある」が、30歳代の母親が98%、40歳代の母親が97%とほぼ同じ割合であるが、父親では30歳代が26%、40歳代が32%となっている。

子どもの人数別にみると、「よくある」、「時々ある」と答えた母親は、子ども1人の場合100%、子ども2人の場合96%、子ども3人の場合98%と、子ども2人の場合と子ども3人の場合で幾分その割合は低くなるが、これを父親でみると、子ども1人の場合24%、子ども2人の場合29%、子ども3人の場合31%と、子どもの人数に比例して割合も高くなっている。

次に、小学生だけの親と中学生だけの親ではどうかというと、「よくある」、「時々ある」と答えた者が、小学生だけの母親では99%、中学生だけの母親では97%と、中学生だけの親の方がわずかに低くなっているのに対し、父親の場合は、小学生だけの父親では24%、中学生だけの父親では31%と、母親の場合とは逆になっている。これは、母親が家庭外に仕事をもつ割合等とあわせて考えてみる必要がある。

図 62 35.あなたは、裁縫道具（針や糸など）をこの半年の間に使ったことがありますか。

※子どもの人数別

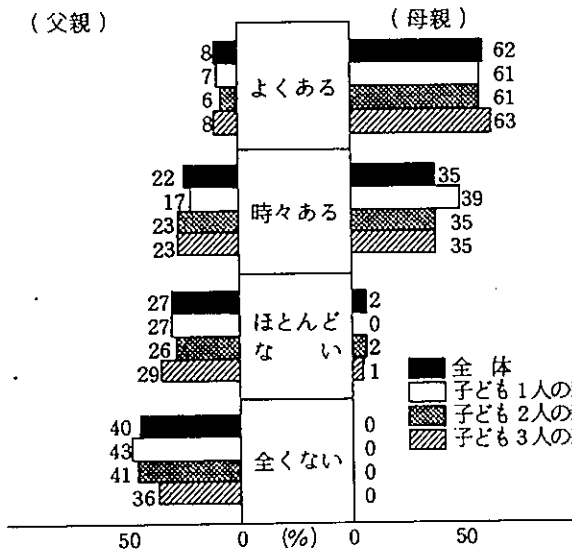
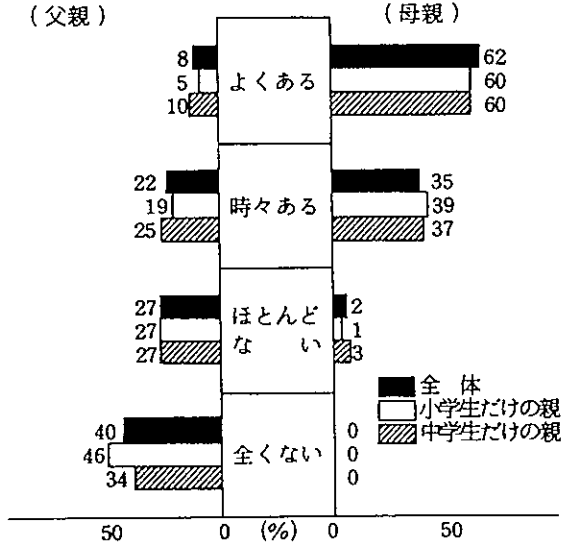


図 63 35.あなたは、裁縫道具（針や糸など）をこの半年の間に使ったことがありますか。

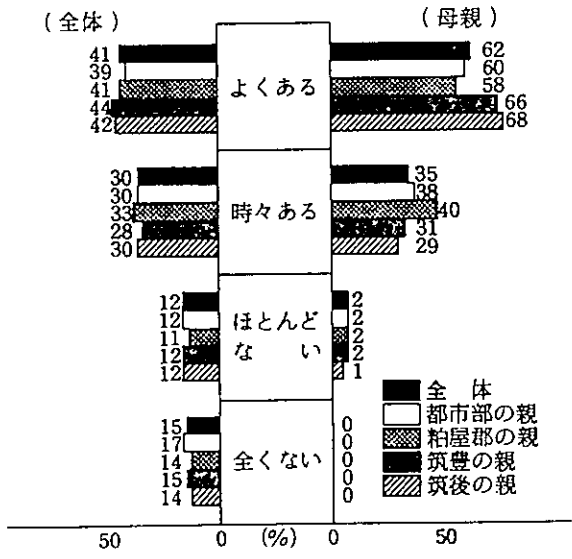
※子どもの学級別



最後に地域別にみると「よくある」と答えた母親は、都市部とそれに隣接する粕屋郡よりも筑豊筑後で割合が高くなっており、これは、大工道具の使用とほぼ同じ傾向である。

図 64 35.あなたは、裁縫道具（針や糸など）をこの半年の間に使ったことがありますか。

※居住地域別



5 本章のまとめ

親の日常生活の実態をみると、それがいかに子どもの生活に影響しているかがよくわかる。最近の子どもたちは、テレビやラジオの長時間視聴、それに伴う遅寝遅起き、食欲もなく、排便もしないまますっきりしない頭で登校するといった生活リズムの乱れが問題になっていて、親もこのことではかなり問題意識をもつようになってきた。しかし、このような子どもの生活リズムの乱れや健康には関心を示す親も、例えば、夜11時以降に就寝する者が54%という今回の調査結果にみるように、自分の生活リズムの乱れや健康については、案外関心が薄かったり、子どもにテレビの見方をやかましく注意するわりには、自分の視聴態度はルーズであったりする。また、タオルが上手にしぼれない、リンゴの皮が上手にむけないなどと、不器用になった子どもたちを、問題だ、問題だという一方では、親自身が手先を使うことが少なくなっている。

近年、家庭内暴力、校内暴力、いじめ等子どもの荒れが問題になっているが、いじめの例をとってみても、子どもたちの感性はどうなっているのだろうかと考えてしまう。豊かな感性、それは、幼いころからの親の豊かなかかわりによって培われる。例えば、感性を育てるものの1つに読書があるが、親の読書傾向をみると、小説やエッセーを「よく読む」親というのは、全体の81%と実に少ない。また、いじめられている子どもが親にも話せず、1人で悩み苦しむ場合も多いようであるが、家庭の団らん、話し合いの機会が極めて少なくなっていることも、その解決を妨げる一因となっているのではあるまいか。今回の調査でも、食事をしながらテレビをみる者が非常に多いという結果が出ているが、家族全員が顔を合わせる食事の時、手は黙々と食卓にある食物を口に運び、目は一様にテレビに釘づけ、食事がすむとそれぞれ自分の部屋へ、という有様では、「元気がないようだけれど、どうかしたの？」などという問いかけも出てこないだろう。やはり、子どもが何でも話せる雰囲気づくりが大切である。もう1つの解決を妨げるものに、子どもたちの遊びの形の変化がある。かつては異年齢集団での遊びが中心であり、その中で、年上の者は年下の者をかばい、いじめ等も年上の仲間に相談することにより解決していくといった方法で、上手に処理されていたのであるが、今では遊びも同年齢の仲間に限られることが多く、それさえも時間的にはずいぶん少なくなってきた。そして、このようなことが、いじめられても相談する友達をもたず、1人で悩んだり、わずらわしい人間関係から逃れて1人で機械相手の遊びやテレビゲーム等にのめり込む子どもの増加にますます拍車をかけることになっているのではなかろうか。

“子どもは親の後ろ姿をみて育つ”といわれる。今回の調査でも、食べられるのに食物を残したり、捨てたりすることが、「よくある」、「時々ある」と答えた親が、全体の49%もあった。昭和56年度に本県家庭教育総合セミナー事業で実施した調査結果では、「あなたは、お子さんが食物をそまつにしたり、文句を言ったり、好き嫌いしたり、残したりしたときしかっていますか」とい

う質問に対して、「よくしかっている」、「時々しかっている」と答えた親が、父親で91.8%、母親で94.6%と、父親・母親とも割合がずいぶん高かった。このことと今回の調査結果とを照らし合わせてみると、親の養育態度と実際の行動の矛盾がかなりはっきりしてくる。

手先を使うことについても、現在の日本の社会では、大工道具や裁縫道具を使わなくても生活するには困らないかもしれない。しかし、例えば、ナイフを使って、削る・むく・切るという単純な動作の訓練から、新しいものを創造するという脳の発達があり、精神的な成長があるのである。それゆえ、我々大人が次代を担う子どもたちに何を残せるか、何を残さなければならないかを考えるとき、次の世代がより豊かであるためにも我々大人は、意図的・意識的に手先を使い、そのことを子どもたちに教えていかなければならない。

子どもを育てるということについては、親自身が日常の生活を大切にし、小さな努力を積み重ねていくことによって、子どもにまねられるに足る後ろ姿をもつことが必要ではないだろうか。

第2章 親の社会生活の実態

子どもたちの生活時間帯は、家庭生活・学校生活と社会間における生活とに大別され、さまざまな事象を見聞しながら、体験し学習している。本来、豊かな環境を用意し、良い影響を与えなければならない責務を大人は負わされているのであるが、現実の社会環境は子どもたちにとって十分に配慮されたものとはいえず、社会問題として論議されているところである。

人が環境を創り、その環境が人を創るといわれるが、親や地域社会の大人たちの日常生活における何気ない行動の積み重ねが、子どもの成長には重要な意味をもつ学習素材として、善悪にかかわらずさらされている。

いま、生活の周囲を見ると、経済的には豊かであるが、ものの豊かさが、心の貧しさを誘発しているともいわれている。

ちなみに、親が社会的行事や行動にどのくらいかかわっているか？

地域社会や、国・県・市町村の情報をどのくらい享受しているか？

近隣とのつきあいやお年寄りにどのような態度で接しているか？

等々が、家庭以外の場においての基本的な生活習慣としての生き方を示す事例ともなる。

本章では、親の社会生活の実態を見てみることにした。

1 近所づきあい

近年とくに、近隣近会における連帯感の欠除や人間関係の疎外が進んでいるといわれる。一般には、核家族化や少子家族化への傾向が顕著に現われており、生活技術や文化の継承への努力が以前に比較して減少していることに気付かないでいる。

日常生活において不可欠の技術や年中行事の知識や社会生活上の規範の習得などは、社会集団とのかかわり、とくに近所づきあいの中から親によって家庭にもち込まれるものが多いと思われる。子どもたちは、自然にそのことを体得していく。

子どもたちにとっては、何気なく繰り返される生活のすべてが生活学習として重要な意味をもっていることに留意されなければならない。

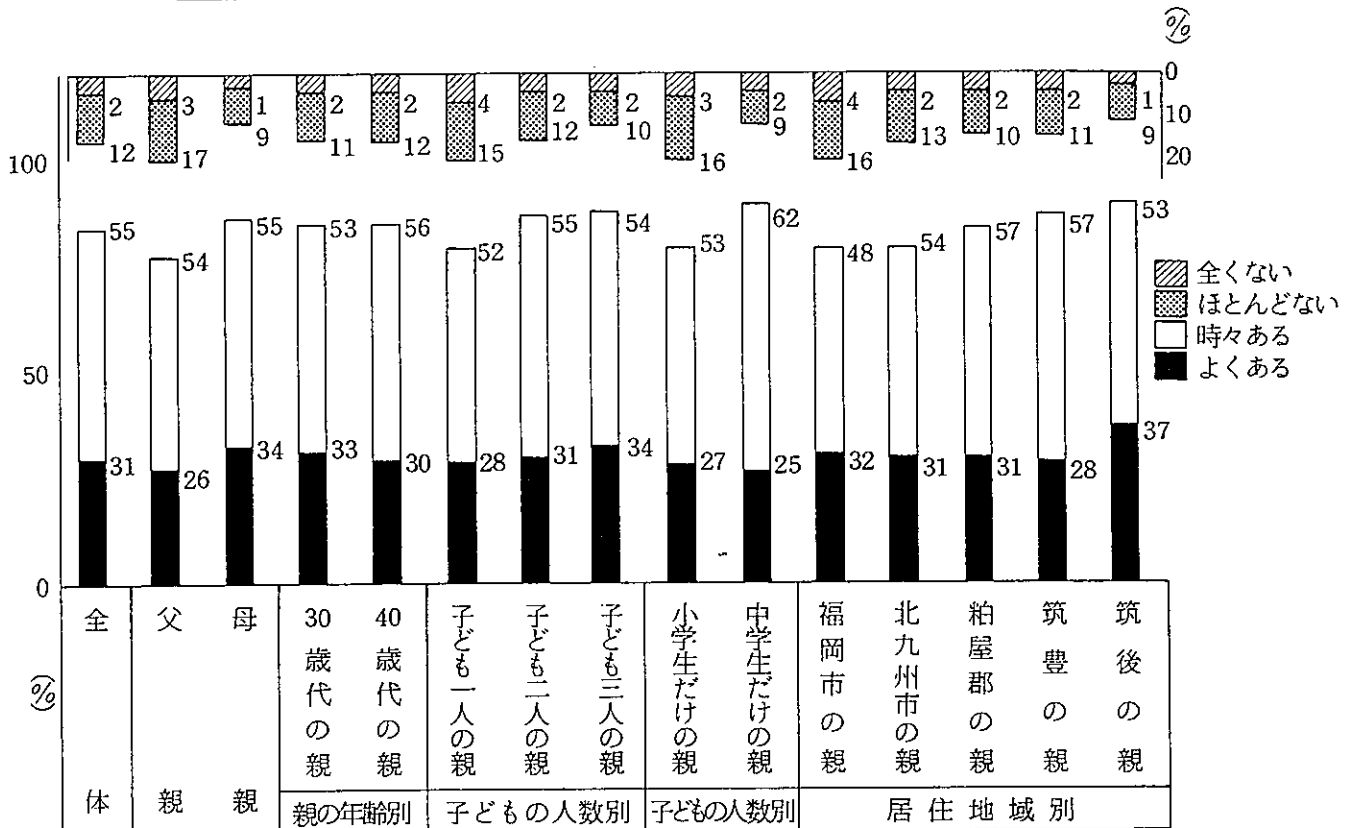
ここでは、日常生活圏における親の交流関係と生活態度についてみてみた。

(1) 近隣との雑談

隣近所の人との雑談については、図 65 でみるように、どの領域からみてもほとんどの親が 80～90%の割合で「よくある」又は「時々ある」と答えている。

父親と子ども 1 人の親では、80%と若干低い数値が出ている。父親の場合は仕事で在宅時間の

図 65 21.あなたは、隣近所の人と雑談をすることがありますか。



短いことや具体的な生活の話題や地域活動への参加ができにくいことなどが理由であろうと思われる。ちなみに、後で述べるPTAの世話役等の経験が全くないと答えた父親が71%であり、同じく全くないと答えた子ども1人の親が58%という高率であることから判断できる。換言すれば雑談が「ほとんどない」「全くない」と答えた20%の父親と子ども1人の親については、隣近所の人とは日常的にあいさつをかわすのみで、儀礼的な交流しかしていないことがうかがえる。

さらに、中学生だけの親よりも小学生だけの親の方が、隣近所の人と話をすることが少ない。

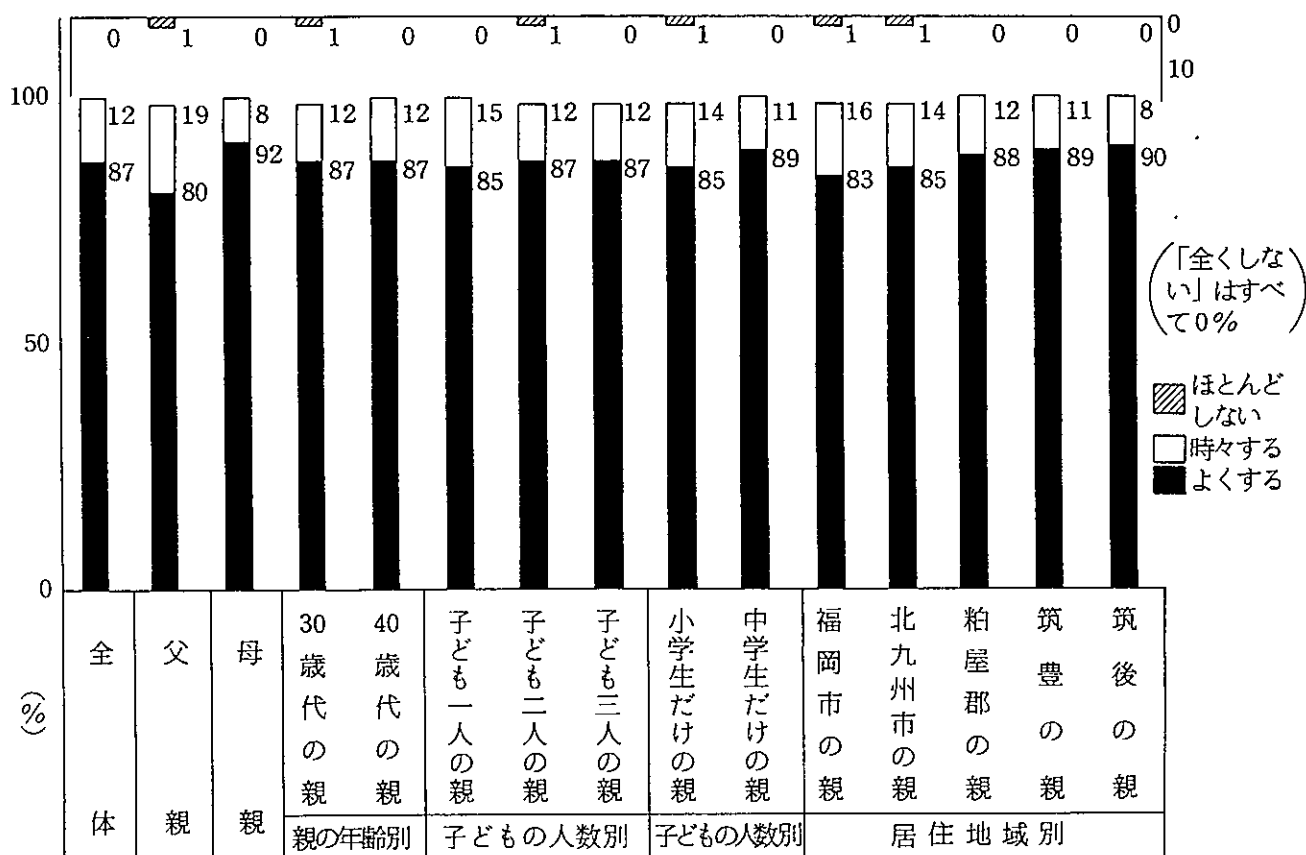
地域別にみると、特に福岡市の親の20%が、立話も「ほとんどない」か「全くない」と答えているのが注目される。

(2) 近隣とのあいさつ

昭和51年、福岡県がオアシス運動を提唱、全国的に波及し、大きな運動として展開されている。あいさつ運動は、町角にあいさつ通りを設置をする町内会が続々と生まれるなど、着実に成果をあげている。

今回の調査においても、全体的に98~100%の割合で、互いに声をかけたり、あいさつをかわしている。

図66 22.あなたは、近所の人たちと出会ったとき、あいさつしたり声をかわしたりしますか。



(3) 近隣への訪問

次に、日常生活の中で気軽に行き来できる家の軒数をみてみよう。

図 66 から、ほぼ 100% の親が少なくとも行きずりに近所の人とあいさつをかわしていることがわかったが、気軽に訪問できる家が近所に「全くない」と答えた者が、全体で 14% いた。父親の場合は、母親にくらべて多く 23% である。

図 67 23. あなたは、気軽に行き来できる家を近所に何軒くらいもっていますか。

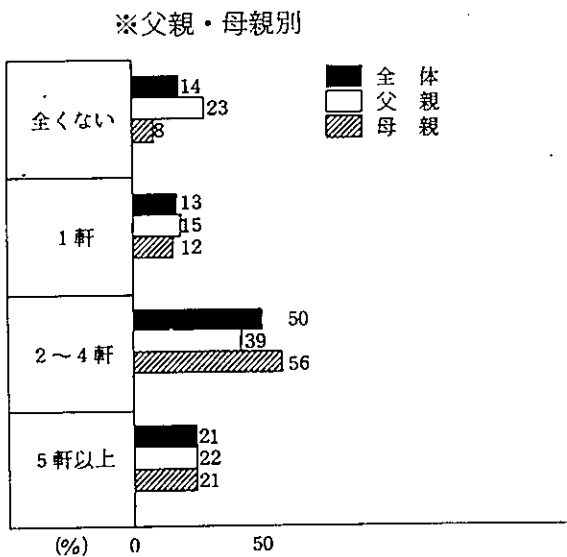
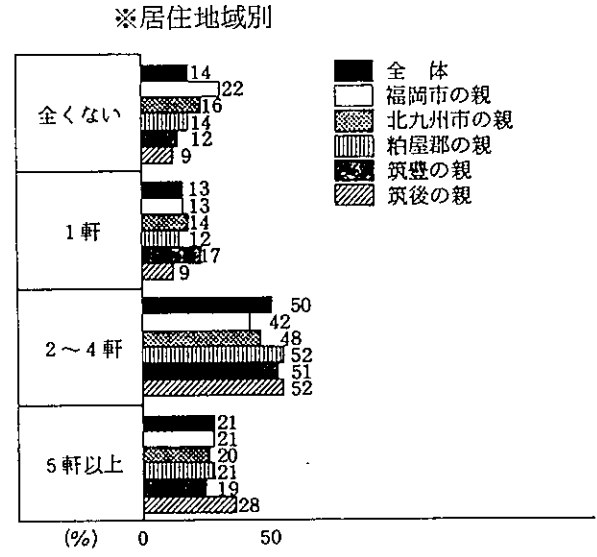


図 68 23. あなたは、気軽に行き来できる家を近所に何軒くらいもっていますか。



(注) 「2～4軒」は、選抜肢「2軒」「3軒」「4軒」の合計である(図 68 も同じ)

地域別にみると、「全くない」と答えた者は、福岡市 22%、北九州市 16%と、やはり都市部でその割合が高い。逆に、筑後で 9%、「1軒」と答えた者を合わせても 18% しかないことから、都市化が進むにつれて、隣人関係が希薄になりつつあることがうかがえる。

行き来できる家が 2～4軒と答えた者が全体で 50% である。更に、「5軒以上」と答えた者は全体で 21% であり、特に、筑後の親が 28% と高い割合を示している。

隣近所とのつきあいは、昔から「遠い親類よりも近くの他人」といわれてきた。老人の孤独死が伝えられたり、隣人訴訟のニュースをきいたりするこのごろ、子どもたちはどう感じているだろうか。九州大学社会学研究室による全国五大都市での大規模なアンケート調査によると、約 30% の人が親しい近所づきあいが全くなく、60～70% の人が「都会は孤独」と感じているという結果が報じられている。

(4) 近隣への意識

最近では、お互いの生活に不介入という意識が強くなり、家庭生活においても「子ども部屋」が設けられると、親子間でもプライバシーの問題が生じてくるといわれる。子ども部屋の功罪はともかく、近隣社会の人間関係では、疎外現象や連帯感の欠如が問題となってきている。

図 69

24.あなたは、近所づきあいをわずらわしいと思うことがありますか。

※父親・母親別

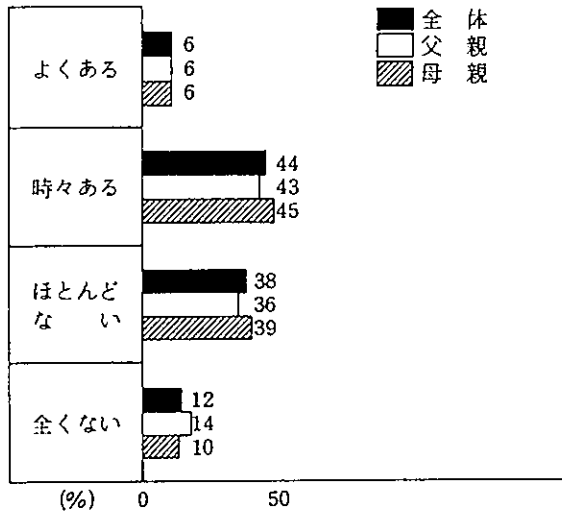
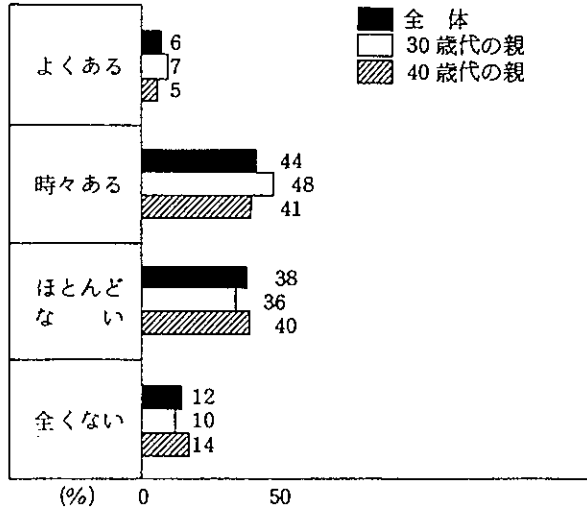


図 70

24.あなたは、近所づきあいをわずらわしいと思うことがありますか。

※親の年齢別



今回の調査によると、近所づきあいをわずらわしいと思うことが「よくある」又は「時々ある」と答えた親と、「ほとんどない」又は「全くない」と答えた親が、全体ではそれぞれ50%ずつである。

親の年齢別では、30歳代の親の55%、子どもの学校別では、小学生だけの親の56%が「よくある」又は「時々ある」と答えており、高い割合となっている。逆に、40歳代の親及び子ども1人の親は46%と、約10%ほど低くなっている。

図 71

24.あなたは、近所づきあいをわずらわしいと思うことがありますか。

※子どもの人数別

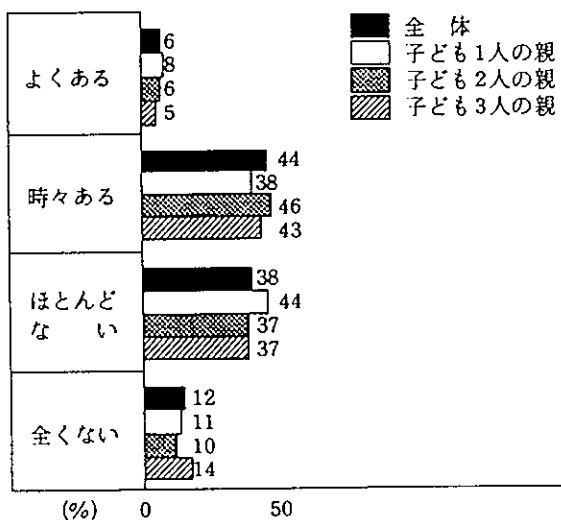
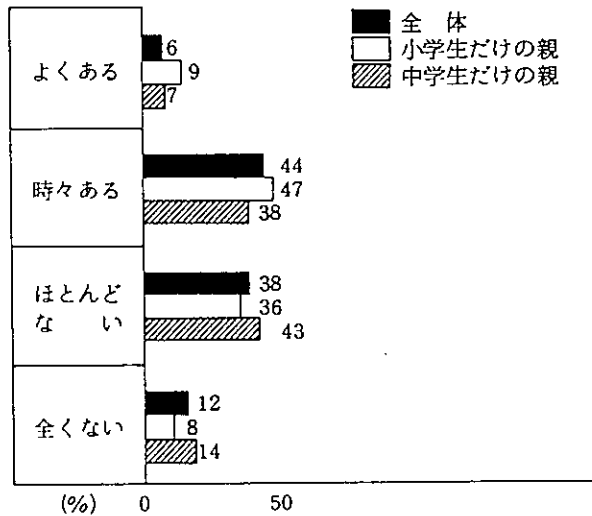


図 72

24.あなたは、近所づきあいをわずらわしいと思うことがありますか。

※子どもの学校別



子どもには異年齢間の集団生活を体験させることが大切なことはよく知られている。しかし、実際には幼稚園・保育所や小学校でも同年齢の仲間と遊ぶことが多く、成長する過程の中で、異年齢の仲間と遊ぶ経験、いわゆる「タテ社会」の体験が少なくなっていることが、集団の中での生活を対応しにくくしてきている。

家庭生活の中でも、子どもたちには十分に親の目が行き届き、必要以上に手をかけ、基本的な生活習慣を確立する機会を失っている。更に、日常生活の中で見聞する親の生活態度の中にさえ、近所づきあいのわずらわしさなどが顕著に現われてくるのであれば、子どもたちの社会集団への対応に大きな影響を与えることは容易に考えられることである。

2 社会的活動

親の無意識の言動が、子育てに強い影響を与えるといわれる。「今、親に求められているもの」すなわち、親自身の生き方を考える中で、親の社会的活動の実態を考察してみよう。

(1) 地域への参加

地域の行事や集会への参加状況について、「いつも参加している」は、やはり父親は仕事で忙しいのか、母親に比較して少ない。しかし、全体でも34%と、3割強の積極性しかない。

図 73 15.あなたは、地域の行事や集会に参加していますか。

※父親・母親別

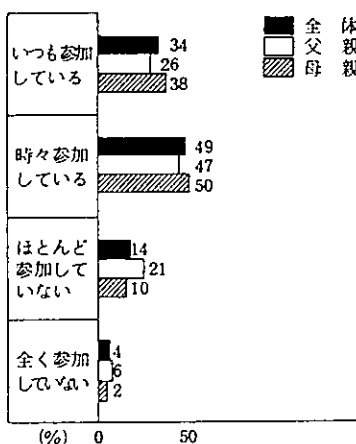


図 74 15.あなたは、地域の行事や集会に参加していますか。

※親の年齢別

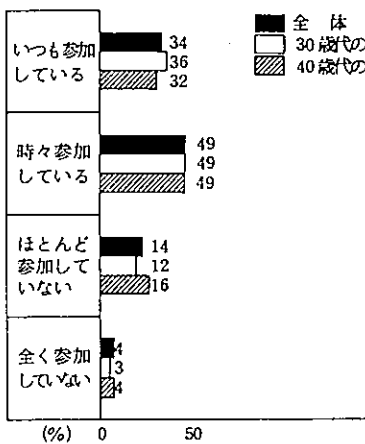
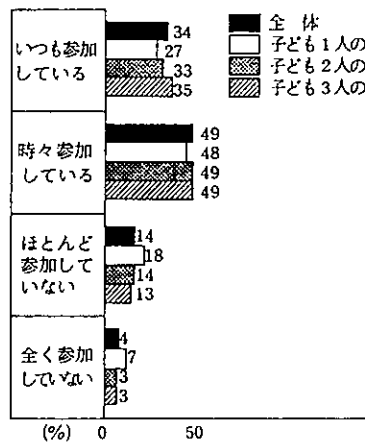


図 75 15.あなたは、地域の行事や集会に参加していますか。

※子どもの人数別



親の年齢別では、ほとんど変わらないが、子どもの人数別にみると、子どもの人数が増えるほど

図 76 15.あなたは、地域の行事や集会に参加していますか。

※子どもの学校別

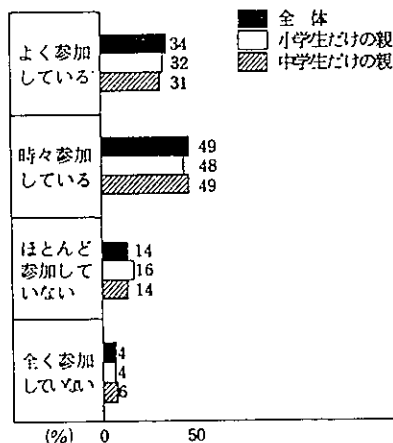
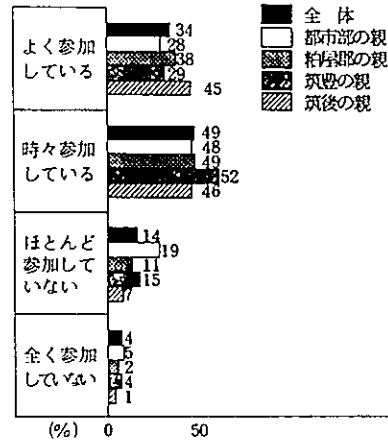


図 77 15.あなたは、地域の行事や集会に参加していますか。

※居住地域別



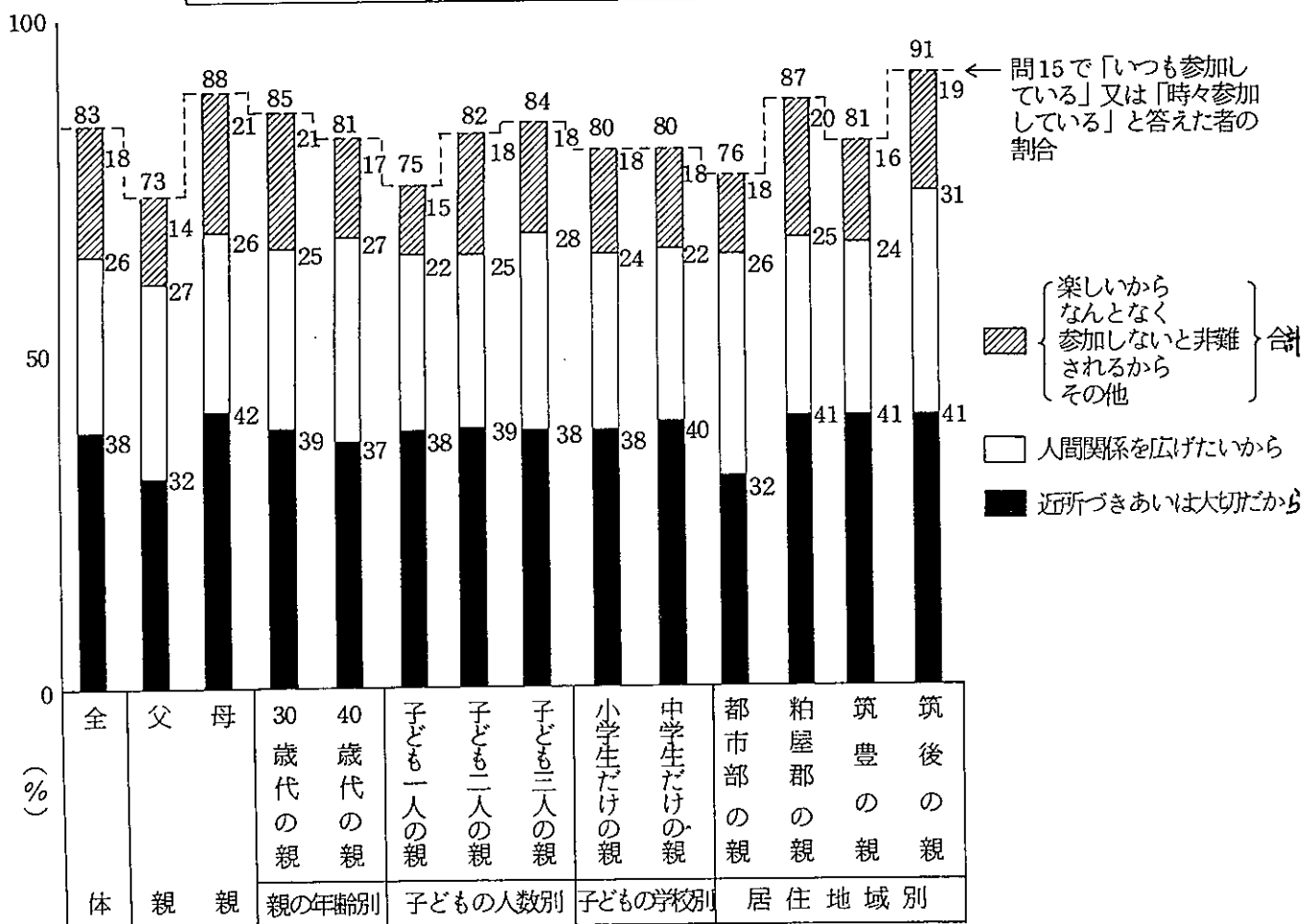
参加が多くなっている実態は、子どもの関係で機会が多くなったのか、積極的な意識をもってきたのであろうか。

次に、小学生だけの親と中学生だけの親を比較した場合、ほとんど差はみられない。又、地域別にみると、都市部よりその他の地域の方が、参加は多くみられる。

(2) 参加の理由

次に、地域の行事や集会に参加する理由をみると、近所づきあいを含めた人間関係が参加していると答えた者の80%近くを占めている。理由をそれぞれの領域で比較してみても、父親・母親の別、親の年齢別、子どもの人数別、子どもの学校別では、ほとんど差がみられない。「近所づきあいは大切だから」という理由については、やはり、都市部よりその他の地域の方がやや多い。参加の理由が義理で形だけの付き合いにならないように願いたいものである。

図 73 16.あなたが、地域の行事や集会に参加するのは次のどの理由からですか。



(3) 不参加の理由

不参加の理由についてみると、父親・母親とも「忙しいから」が50%を超えている。他の理由は、「面倒だから」、「なんとなく」など、理由とは言い難いものばかりである。地域別にみた場合、

図 74 17.あなたが地域の行事や集会に参加しないのは次のどの理由からですか。

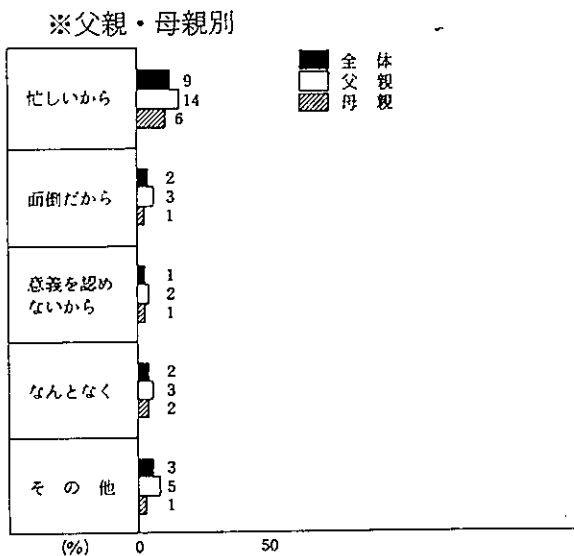
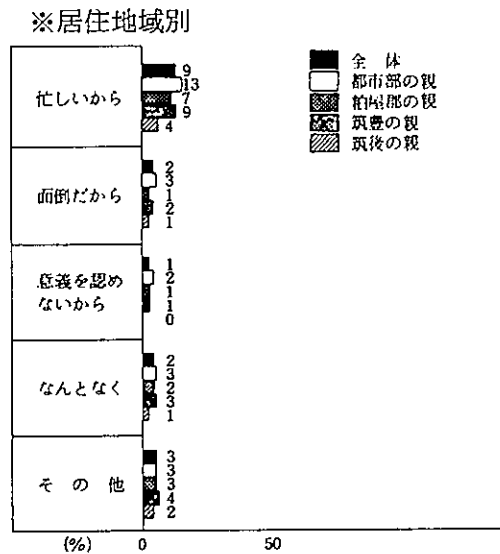


図 75 17.あなたが地域の行事や集会に参加しないのは次のどの理由からですか。



都市部もその他の地域も同程度の割合である。

(4) 地域の世話役

地域の世話役をしたことが「全くない」と答えた父親は、母親に比較して2倍強である。また、子どもの人数別にみると、地域活動への参加と同じく、子ども1人の親で「全くない」と答えた割合が高い。地域的にみると、地域活動への参加が少ない都市部の方が、やはり経験が少ない。

図 76 18.あなたは、町内会や育成会(子ども会)の役員など地域の世話役を何かしたことがありますか。

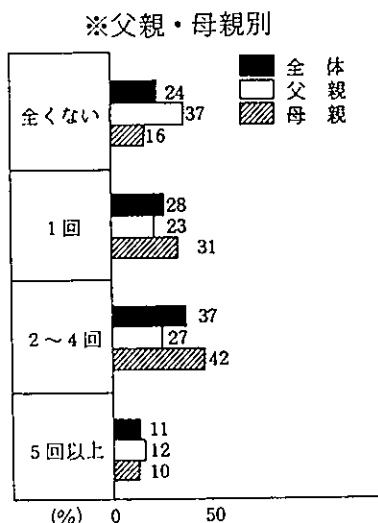


図 77 18.あなたは、町内会や育成会(子ども会)の役員など地域の世話役を何かしたことがありますか。

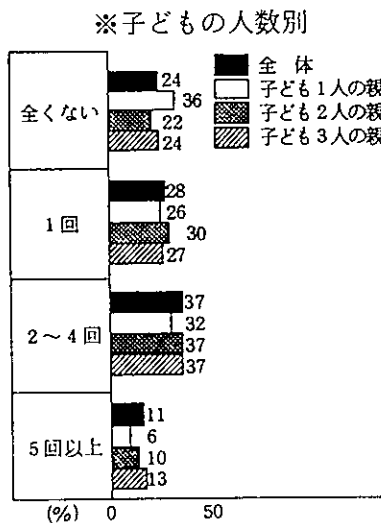
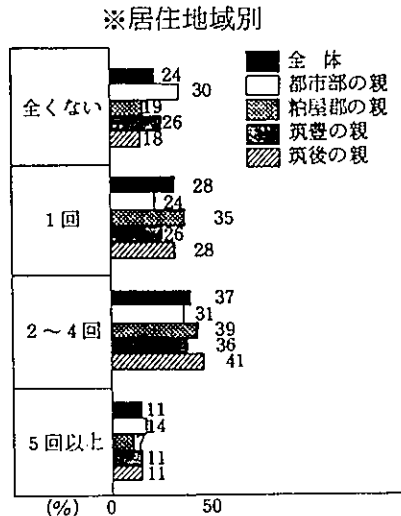


図 78 18.あなたは、町内会や育成会(子ども会)の役員など地域の世話役を何かしたことがありますか。



(注) 「2~4回」は、選択肢「2回」「3回」「4回」の合計である。(図77. 図78も同じ)

(5) P T A の世話役

父親と母親を比較してみると、父親の「全くない」が71%と、予想どおりといえる実態である。まさに、父親不在、母親P T Aである。

図 79 19.あなたは、P T Aの世話役を何かしたことがありますか。

※父親・母親別

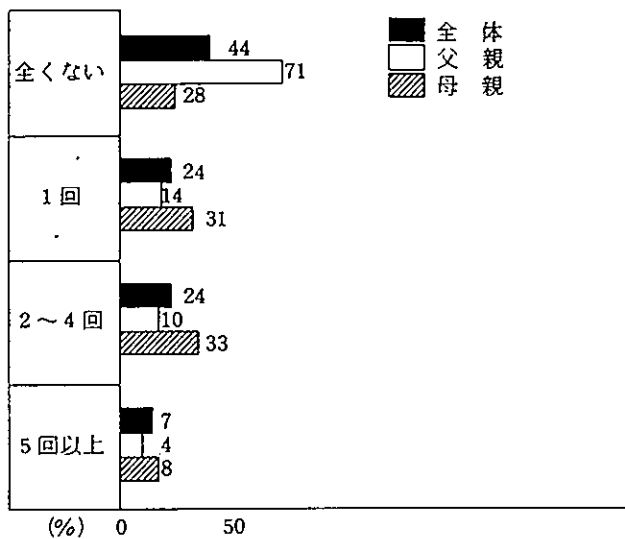
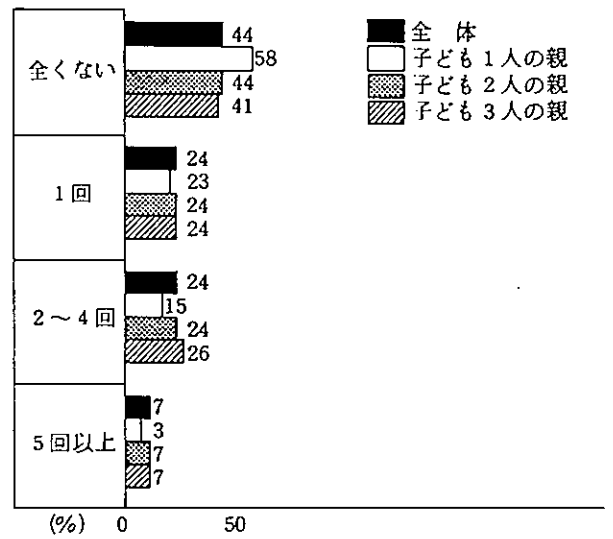


図 80 19.あなたは、P T Aの世話役を何かしたことがありますか。

※子どもの人数別



ここでも、子ども1人の親ほど、又、小学生だけの親ほど「全くない」と答えた者の割合が高い傾向がある。地域別にみた場合、特に、筑後において「全くない」の割合が低いことが目立つ。

図 81 19.あなたは、P T Aの世話役を何かしたことがありますか。

※子どもの学校別

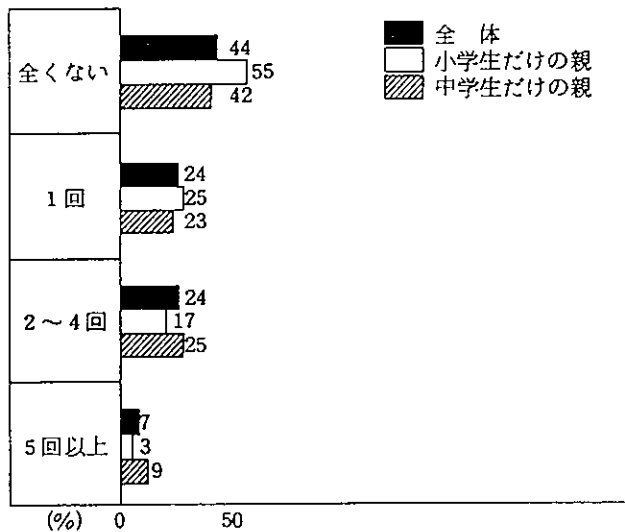
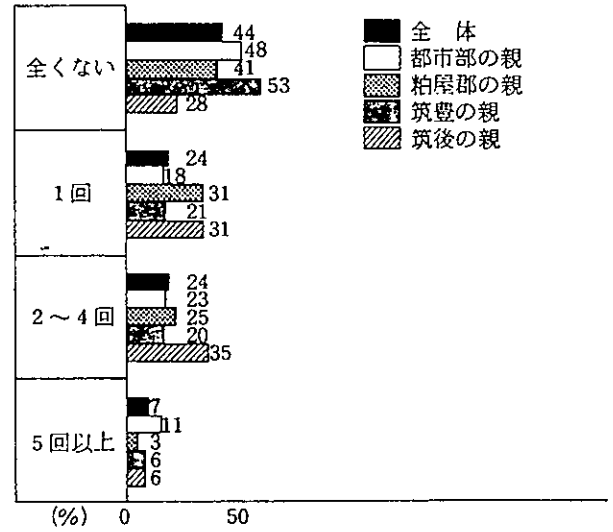


図 82 19.あなたは、P T Aの世話役を何かしたことがありますか。

※居住地域別

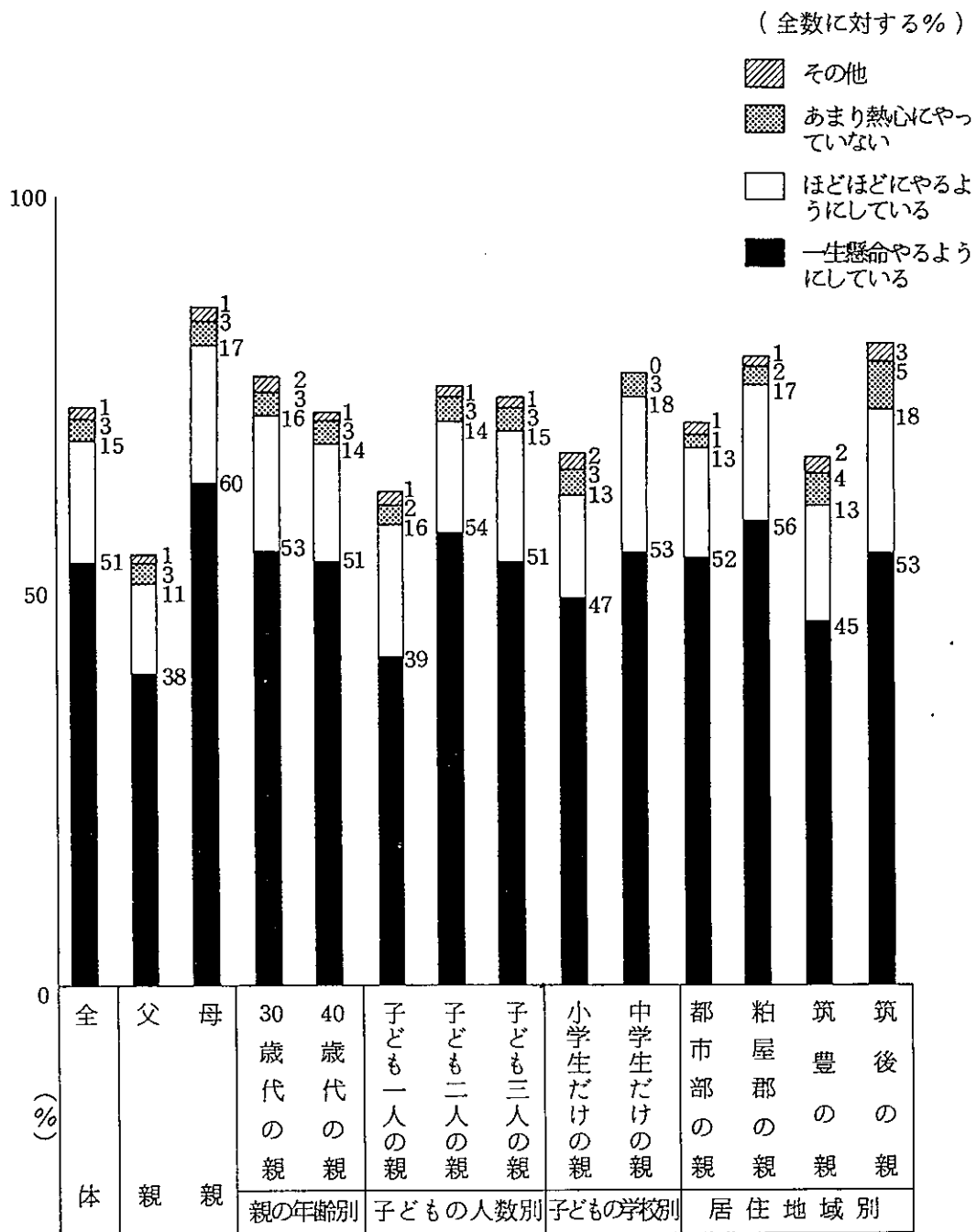


(6) 世話役の果たし方

最後に、地域やPTAの世話役になった場合に、どのようにその努力を果たしているかみてみよう。

図83によると、父親・母親の別、親の年齢別、子どもの人数別や学校別、さらに、地域別にみてもほとんど同じで、この問いに答えた者の67～78%が「一生懸命やるようにしている」と答えている。

図83 20.あなたは、地域やPTAの世話役になった場合、どのようにその役を果たしていますか。



3 新聞・広報への関心

親は、新聞の政治面や社会面、市町村の発行する広報紙、学校からもらうプリントなどを、どのくらい関心をもって読んでいるのかをみてみよう。

(1) 新聞の政治面や社会面

新聞の政治面や社会面は、どのくらい読まれているだろうか。

図 84 12.あなたは、新聞の政治面や社会面を読んでいますか。

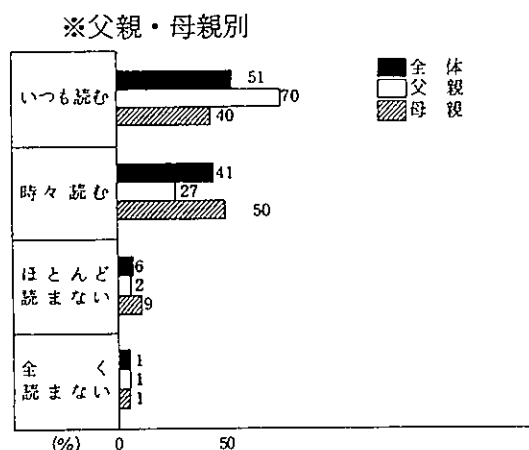
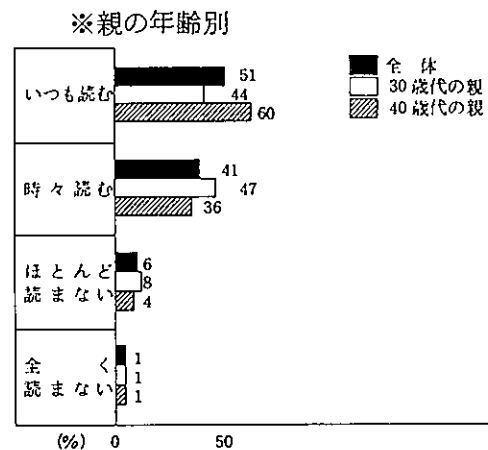


図 85 12.あなたは、新聞の政治面や社会面を読んでいますか。



全体として、新聞の政治面や社会面を「いつも読む」と答えた者は、図 84 に示すように 51% となっている。また、「時々読む」と答えた者は 41% で、両方を合わせると 92% と高い割合になる。

父親と母親を比べた場合、父親の方が「いつも読む」と答えた者の割合が 70% と高く、母親は 40% である。また、この傾向は、第 1 章の 3 「テレビと読書」のところでも明らかになったように、テレビを 1 日に見る時間は父親の方が長いことと同様である。しかし、単行本やエッセーなどは、母親の方がよく読んでおり、母親の活字離れというよりも新聞の政治面や社会面には、母親よりも父親の方が関心が強いからであると思われる。

次に、親の年齢別の特徴をみてみると、40 歳代の親が 30 歳代の親に比べて、「いつも読む」と答えた者の割合が高くなっている。図 85 をみると、30 歳代が 44%、40 歳代が 60% となっている。年齢の高い方が、関心が高くなっているようである。

(2) 市町村の広報紙

市町村の発行する広報紙には、市町村長部局の事業のお知らせを中心としたもの、社会的な行事や公民館の事業などの行事表、学習や行事への参加を呼びかける募集ちらし、公民館報（公民館だより）等さまざまなものがある。市町村では、その幾つかを発行したり、複数のものを合わせて発行したりしている。このように身近な市町村の広報紙が、どのくらい読まれているかをみてみよう。

図 86 13.あなたは、市町村の発行する広報紙を読んでいますか。

※父親・母親別

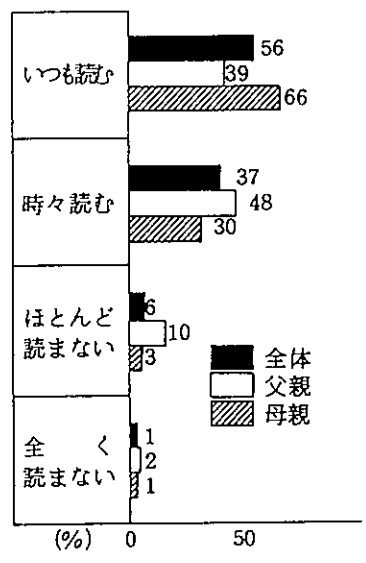


図 87 13.あなたは、市町村の発行する広報紙を読んでいますか。

※子どもの人数別

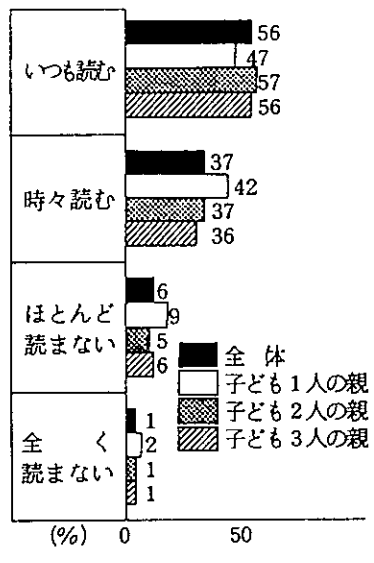
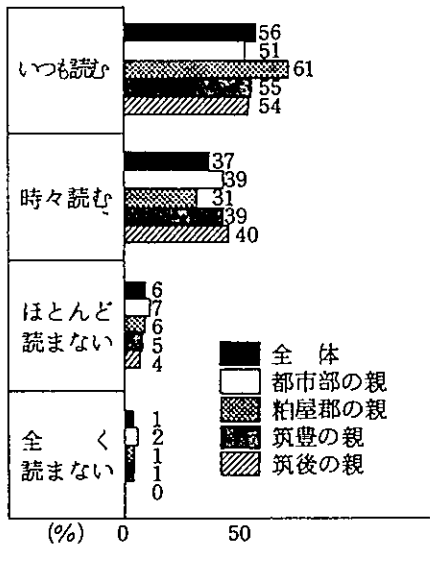


図 88 13.あなたは、市町村の発行する広報紙を読んでいますか。

※居住地域別



全体では、図 86 に示すように 56% の者が「いつも読む」と答えている。これは、新聞の政治面や社会面を「いつも読む」と答えた割合よりも高く、身近な広報紙の方がよく読まれている。「時々読む」と答えた者の割合 37% と合わせると 94% と、これも高い割合になる。

父親と母親を比べた場合、「いつも読む」と答えた者の割合は、新聞の場合とは逆で、父親よりも母親の方が高い。市町村が発行し、身近な情報を伝える広報紙への関心が母親の方が高いということであろう。

次に、子どもの人数によって比べてみよう。図 87 によると、子ども 1 人の親より、子ども 2 人又は 3 人の親の方が、「いつも読む」と答えた者の割合が高くなっている。

それでは、居住地域別にみてみよう。図 88 によって、「いつも読む」と答えた者の割合は、都市部よりその他の地域、特に、粕屋郡で高くなっているのがわかる。

(3) 学校のプリント

学校が子どもを通して家庭に配布するプリントには、学校だより、PTA だより、保健だより、学級通信、その他連絡通知などがあるが、これらのプリントは一体どのくらい読まれているだろうか。

図 89 をみると、全体では、学校からもらうプリントを「いつも読む」と答えた者の割合は 72% である。子どもの教育に直接かかわる学校のプリントは、新聞 (51%) や市町村の広報紙 (56%) に比べて、かなり高い割合になっている。しかし、「ほとんど読まない」又は「全く読まない」と答えた者も 7% もいた。

図 89 14.あなたは、お子さんが学校からもらってくるプリント(学級だよりやPTAからの連絡プリントなど)を読んでいますか。

※父親・母親別

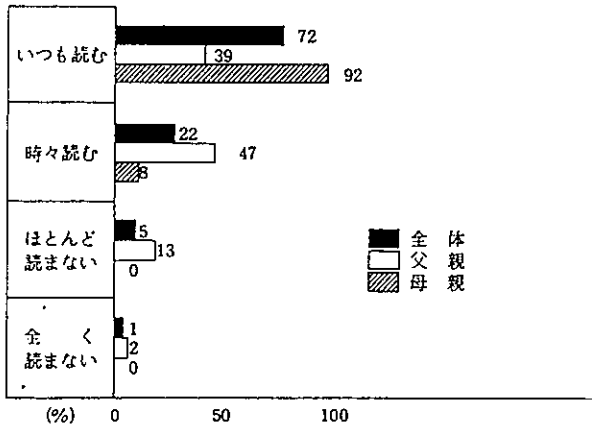
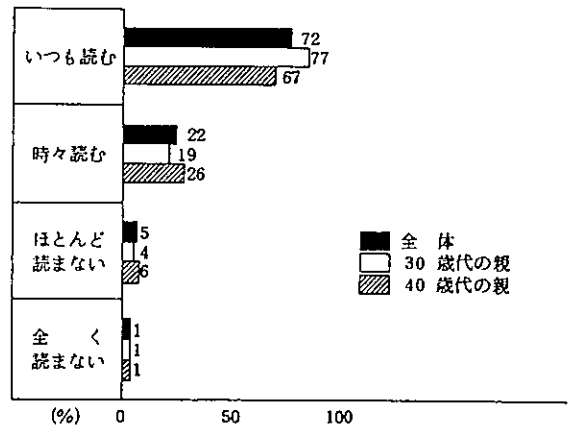


図 90 14.あなたは、お子さんが学校からもらってくるプリント(学級だよりやPTAからの連絡プリントなど)を読んでいますか。

※親の年齢別



父親と母親を比べた場合、「いつも読む」と答えた者の割合は、母親の方がはるかに高くなっている。しかも、母親の場合、「いつも読む」と「時々読む」を合わせると100%という割合になり、母親の関心の高さを示している。

次に、親の年齢別の特徴をみると、「いつも読む」と答えた者は、30歳代で77%、40歳代で67%となっている。親の年齢が高くなると、学校慣れからだろうか、学校からのプリントへの関心が低くなっている。

子どもの人数別では、割合はほとんど同じである。

最後に、子どもの学校別にみても、図92から明らかなように、小学生だけの親の方が中学生だけの親よりも、「いつも読む」と答えた者の割合が高い。

図 91 14.あなたは、お子さんが学校からもらってくるプリント(学級だよりやPTAからの連絡プリントなど)を読んでいますか。

※子どもの人数別

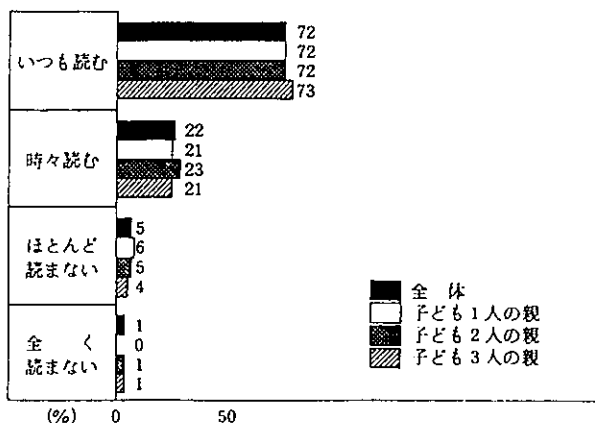
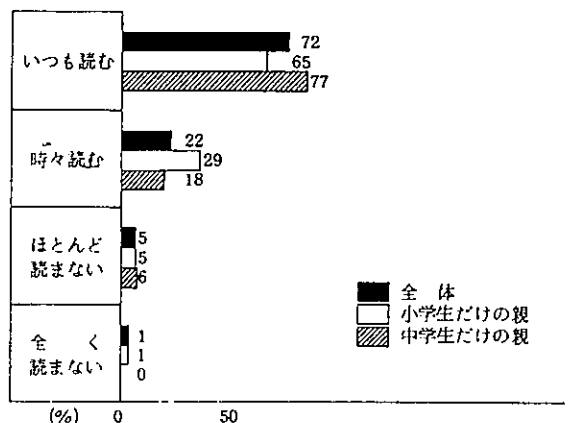


図 92 14.あなたは、お子さんが学校からもらってくるプリント(学級だよりやPTAからの連絡プリントなど)を読んでいますか。

※子どもの学級別



4 道徳的行動

(1) 車内におけるお年寄りへの対応

公衆道徳のなさを嘆かれている方が多いようであるが、電車やバスの中でお年寄りが荷物を持って立っているのを見たときの対応についてみてみよう。

図 93

25.あなたは、電車やバスの中でお年寄りが荷物を持って立っているのを見たらしめますか。(あなた自身は席にすわっているとして)

※親の年齢別

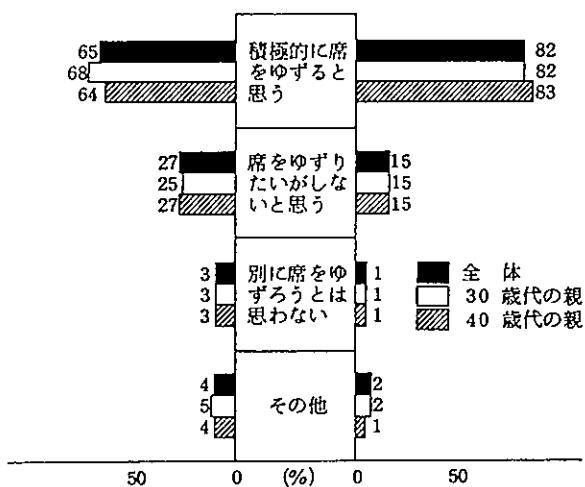
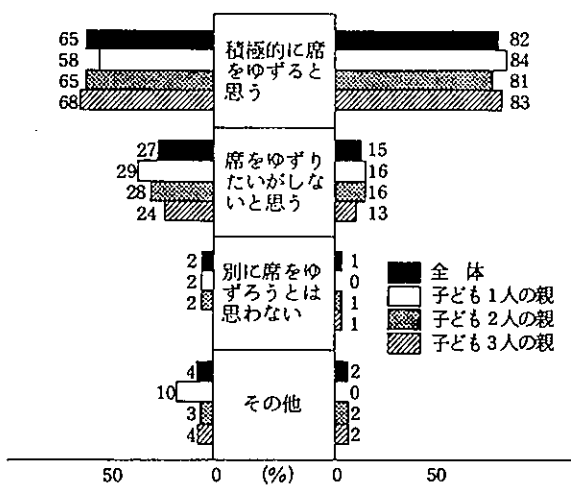


図 94

25.あなたは、電車やバスの中でお年寄りが荷物を持って立っているのを見たらしめますか。(あなた自身は席にすわっているとして)

※子どもの人数別



父親と母親とを比較した場合、「積極的に席をゆずったり、荷物を持ってあげたりすると思う」と答えた者は、母親の方が割合が高い、図 93 をみると、積極的にゆずると思うと答えた割合は、父親 65%、母親 82%となっている。さらに、「席をゆずったり、荷物を持ってあげたいと思うが、実際には声をかけないと思う」と答えた割合を合わせると、父親で 92%、母親で 97%となり、ほとんどの親は、お年寄りに対していたわりの心をもっているようである。また、年齢による違いはほとんどみられない。

次に、子どもの人数によって、お年寄りへの対応に差がみられるかどうかをみると、図 94 から明らかなように、父親において積極的にゆずると思うと答えた割合は、子どもの人数の多い父親の方が高いようである。母親においては、子どもの人数の多少によって、その対応に差異はみられない。

それでは、小学生だけの親の場合と中学生だけの親の場合をくらべてみよう。図 95 から明らかなように、積極的にゆずると思うと答えた割合は、父親・母親とも子どもの学校別による差はみられない。

図 95 25.あなたは、電車やバスの中でお年寄りが荷物を持って立っているのを見たらどうしますか。(あなた自身は席にすわっているとして)

※子どもの学校別

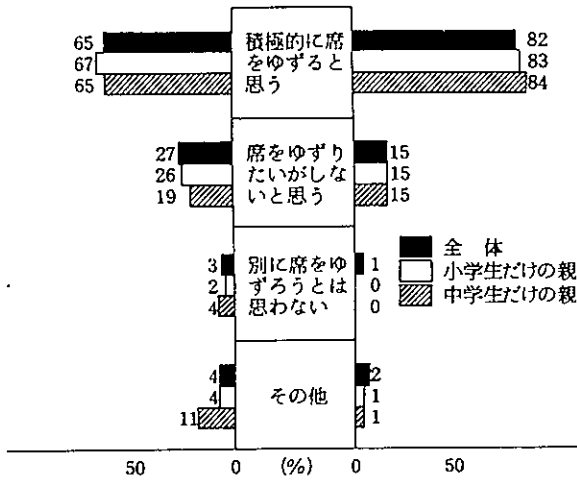
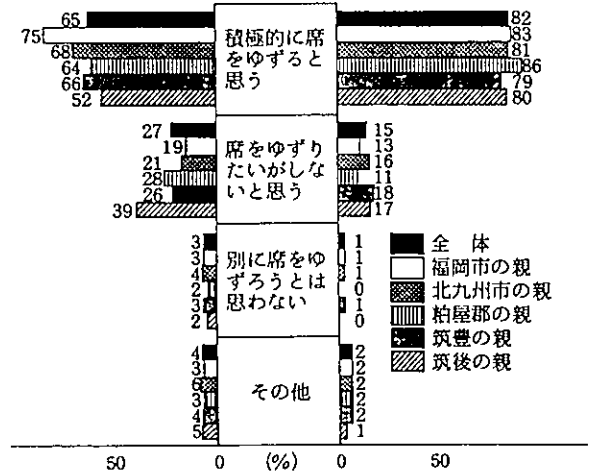


図 96 25.あなたは、電車やバスの中でお年寄りが荷物を持って立っているのを見たらどうしますか。(あなた自身は席にすわっているとして)

※居住地域別



さらに、地域別の特徴をみてみよう。図 96 から明らかなように、積極的にゆずると思うと答えた割合は、父親の場合、地域によってかなりの差がみられた。母親の場合も、わずかだがやはり違いがみられる。

(2) 高校生の喫煙への対応

高校生が電車やバスの中で喫煙しているのを見た場合、かかわりを恐れて、見て見ぬふりをする社会的風潮が指摘されているが、その対応についてみてみよう。

図 97 26.あなたは、電車やバスの中で高校生がタバコを吸っているのを見たらどうしますか。

※親の年齢別

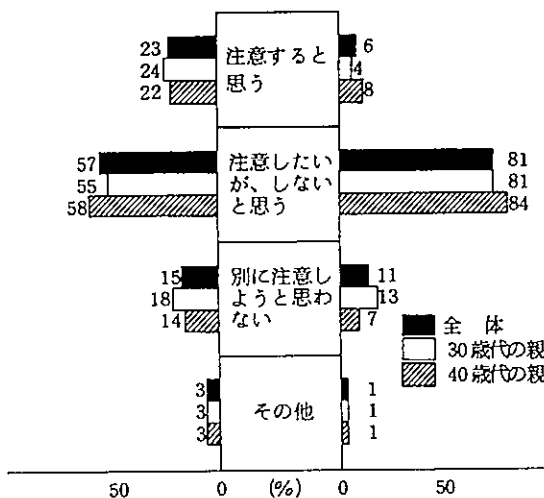
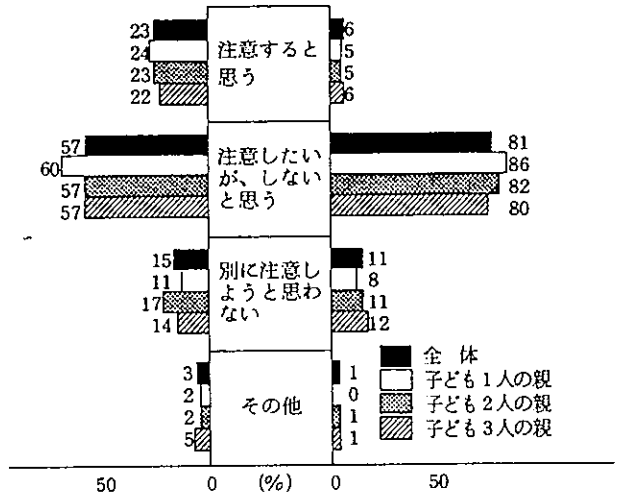


図 98 26.あなたは、電車やバスの中で高校生がタバコを吸っているのを見たらどうしますか。

※子どもの人数別



母親と父親を比べた場合、「やめるように注意すると思う」と答えた者の割合は、母親より父親に多い。逆に、「注意したいと思うが、実際にはしないと思う」と答えた者は母親で割合が高くなっている。これらのことから、注意したい気持はあるが、相手の反応を心配して声をかけられないことが明らかであろう。特に、「別に注意しようとは思わない」と答えた割合がかなり高いことに注目しなければならない。

親の年齢のちがいによる差は、ほとんどみられない。

次に、子ども的人数によるちがいで、その対応に差があるかどうかをみてみよう。図98の、注意すると思う者と注意したいがしないと思う者を合わせると、子ども1人の父親84%、子ども2人の父親80%、子ども3人の父親78%であり、また、子ども1人の母親91%、子ども2人の母親87%、子ども3人の母親85%である。このことから、子ども1人の親の方が、子ども2人又は3人の親に比べて、注意したいと思う者の割合が高いようである。

さらに、子どもの学校別に親の対応をみてみよう。この点については、図99から明らかなように、中学生の親の方が注意すると思う者の割合が高いことがうかがわれる。また、注意しようとは思わないと答えた者の割合は、中学生の親の方が低い。これらのことは、子どもの年齢が高校生の年齢に近い親ほど関心が高いことを示している。

それでは、図100で地域別の特徴をみてみよう。注意しようと思う者と注意しようとは思わない者の割合をみていくと、父親・母親ともに地域差が伺われる。特に、筑豊の親は、注意すると思う者と注意しようとは思わない者の割合がいずれも高く、すなわち、「注意したいがしないと思う」と答えた者が少なく、関心の高い者も多いがうすい者も多いことを現わしているようである。

図99

26.あなたは、電車やバスの中で高校生がタバコを吸っているのを見たらどうしますか。

※子どもの学校別

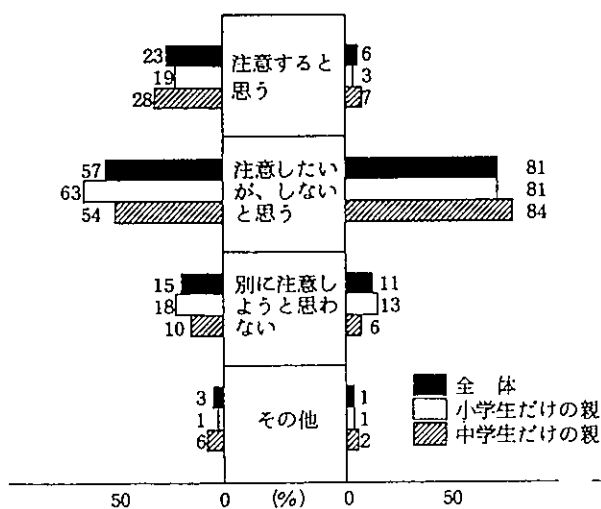
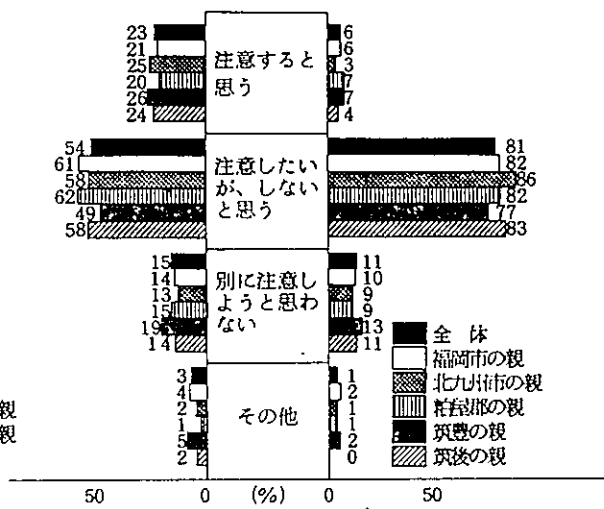


図100

26.あなたは、電車やバスの中で高校生がタバコを吸っているのを見たらどうしますか。

※居住地域別



5 本章のまとめ

ここでは、子どもの親たちが社会においてどのような生活の実態であるのかを知ろうとした。親の、家庭を離れたところで営む生活の実態をみる中で印象づけられるのは、家庭内での生活も同様であるが、日常的な生活行動の中に子どもの成長に大きく影響し、関与する要素の多いことに留意しなければならないということである。

家庭にあっては、子どもに対する過剰な親の気くぼりや手出しが「無意識のうちに過保護の現象を生じていること」が指摘されたが、そのことは家庭をはなれた社会生活における連帯感の欠陥や、人間疎外が顕著にあらわれるなどの現象とも全く無関係ではないと思われる。

P T Aや地域における子ども会活動等に多くのボランティアや世話人が、いわゆる子どもたちの欠損体験を補完する行動等を企画して活躍しているが、一般的に親たちは、直接世話人やリーダーとして積極的に関与しようとはしないといわれ、しばしば話題となっている。

親たちが団体活動や社会的行事に参加し、世話役としての活動に対する理解を深くすることは、子どもたちとの会話にも広い領域で対応することができることになる。また、子どもたちも、地域社会の一員として社会参加への意欲を喚起し、異年齢集団の中での生活の規模等を体験することにもなる。

さて、近隣社会の人間関係を密にしようとする近所づきあいについては、ほとんどの者が隣近所の者とあいさつをしており、86%の者が雑談をかわすなどのおつきあいをしていることがわかった。しかし、近所に親しく訪問できる家を「全くもたない」か、「1軒」と回答した者が全体で27%もあり、とくに小学生だけの親が20%とやや多く、地域別で高いのは福岡市の22%である。このことは表面は非常に良いように見えてはいるが、本音のところでは近隣関係が薄いのではないかと危惧されるところである。

お隣りの冷蔵庫の中味までわかってしまっているおつきあいが現実にあるときくが、お互いに思いやりのある関係でありたいものである。

日常の家族関係が濃密であることが、子どもたちの学校内や社会生活の過ごし方にも深く影響していることは誰もが否定しないことである。質問25・26で用意した道徳的行動においても、全体で75%の者が積極的に電車やバスでのお年寄りに対する思いやりのある行動に出ると答えており、高校生の喫煙に対しても注意するか、または、したいと思うがどうしても直接注意することができなくて、はかゆく思っている人々が85%いる。社会全体の道徳的規範の向上と実践活動への希求が切実に表われている。

子どもたちは、大人社会の現象を冷厳に見つめており、やがて、それに倣うものである。

第3章 親の生活観と養育者観の実態

過保護という子育ての実態と、甘くはないという親の意識との間にズレがある現状が、「無意識の過保護」という表現によって指摘されている（昭和55年度福岡県家庭教育総合セミナー報告書）。そのことは、親が子育てに関する状況判断の仕方や養育者としての自己評価の基準にあいまいな部分をもっているということである。家庭教育をより良くするためには、個々の子育てを担っている親自身が確固とした養育者観をもつことが大切である。

“子は親の鏡”と言われてきたように、親自身の生活態度と意識が日常のふれあいを通して子どもたちに反映する、という考え方は、多くの人が認めるところである。この点からも、親は養育者としての明確な自己認識をもつ必要がある。例えば、いま、子どもたちは大人になりたくないと思っており、成長を拒否している。目の前にいる親を見れば、大人になっても仕事が大変であるとしか見え、大人になることに何の魅力も感じられない一方、子どもたちは過保護による快適な生活を楽しんでいる。成長とは、より良いものへの変化が期待されるとき、具体的には「親のようになりたい」という願いがあるときに達成される。いま、子どもたちにとって、現実の大人、親のようになることが、魅力ある成長とは実感できなくなっている。

このように考えてくると、親という養育者には、保護的要素の他に、成長の目標を具現したモデル的要素も大きな資質として求められている。明日に向かって今日を努力することが成長の実践であり、その営みがどれほど素晴らしい歓びを与えてくれるものであるかを子どもに教えていくためには、親自身が明日に向かって積極的な姿勢を示さなければならない。

第1章及び第2章では、親自身の日常生活と社会生活という空間的な広がりをもった場における具体的個別的な行動様式についてみてきた。子どもの目から見て、「親は言うこととすることがくい違っている」とみえてしまう部分はないであろうかという反省の視点でもある。親はすべてに完べきである必要はないし、不可能でもある。ただ、自らもまだ未熟であることを知っていることが大事な点である。そこで、この第3章ではまず初めに、日常生活の中で直接子育てに関係した場面において、親の至らなさを表わすような調査項目について考えていく。

次に、未来をしっかりと意識した上で、現在を見るという時間的な成長軸の視点から、具体的な行動を支配している総体的な意識の部分を自己評価した結果を考えてみる。そして、最後に、養育者としての父親像と母親像が親自身にとってどのように概念化されているのかをみることにする。

1 生活についての自己評価

(1) 衝動買い

まず初めに、親がどの程度自分を抑制しているかをみてみよう。養育上、親自身の我慢の程度が子どもへ課せられる我慢のものさしになるからである。

過保護の1つの事例として、子どもが特に要求していないのに、親の方から先にものを与え過ぎる傾向が指摘されている（昭和56年度福岡県家庭教育総合セミナー事業報告書）。その調査結果をみると、父親の45%、母親の78%が要求がないのに与えていると答えている。それでは、親自身についてはどうなっているであろうか。

図 101 29.あなたは、あまり必要でないものでも欲しいと思ったらつい買ってしてしまうことがありますか。

※父親・母親別

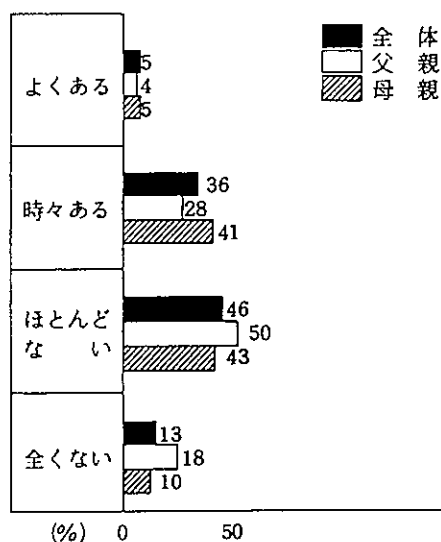


図 102 29.あなたは、あまり必要でないものでも欲しいと思ったらつい買ってしてしまうことがありますか。

※親の年齢別

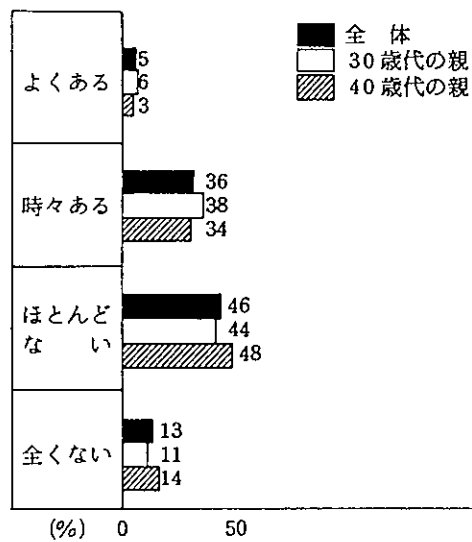


図 101 によれば、あまり必要でないものでもつい買ってしてしまうことがある親の割合は、「よくある」と「時々ある」を合わせて41%である。この傾向は、父親では32%、母親では46%という数字が示すように、母親の方に強い。しかし、いずれにしても、前述の子どもに与える割合と比べてみると、自分自身に対してよりも子どもに対して甘い傾向がみられ、過保護な一面が浮きぼりにされた結果といえる。さらに付け加えれば、母親の方が甘くなる傾向が強い。「全くない」と答えた父親の割合が18%と比較的高い割合になっていることについては、父親が我慢しているということもあろうが、他に、特に欲しいものがない、価格的につい買えるようなものではない、あるいは、買物の機会が少ないといったことの原因などが考えられる。

年齢別では、「よくある」と「時々ある」を合わせた割合は、30歳代の親で44%、40歳代で

図 103

29.あなたは、あまり必要でないものでも欲しいと思ったらつい買ってしてしまうことがありますか。

※子どもの人数別

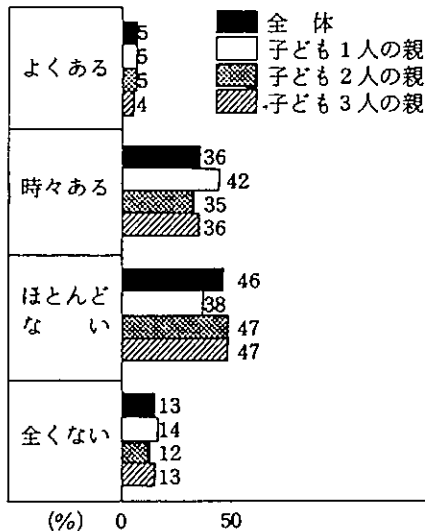
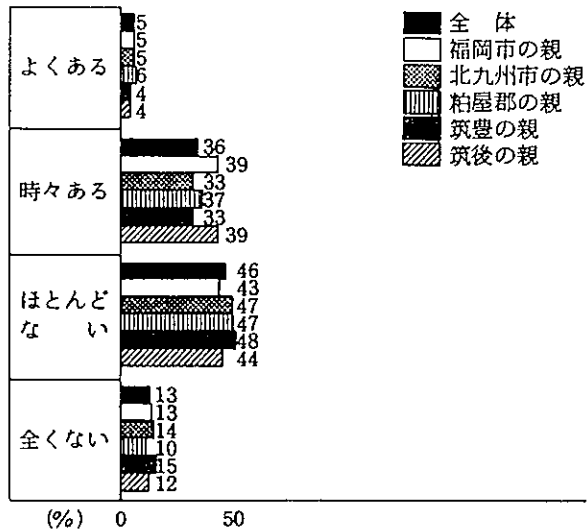


図 104

29.あなたは、あまり必要でないものでも欲しいと思ったらつい買ってしてしまうことがありますか。

※居住地域別



37%である。40歳代になるとあれもこれも欲しいという生活状況にはないことが大きな要因となっていると考えられる。子どもの人数による違いでは、この買ってしまう割合は、子ども1人の親で47%、2人又は3人の親で40%であり、前者がやや多くなっている。

地域別にみると、福岡市・粕屋郡・筑後の親がほぼ同じ傾向をもち、「よくある」と「時々ある」を合わせた割合は43%である。北九州市と筑豊の親では38%とやや低くなっている。消費生活圏としての地域的な特徴を反映しているといえる。

(2) 禁止事項の違反

もっと日常一般の場で、親は養育上のモデルである自分を甘やかしていることはないかどうかをみてみよう。

図105にみられるように、子どもに日頃いけないと言っていることをつい自分でしてしまうことが「よくある」又は「時々ある」と答えた親の割合は全体で61%である。父親・母親別にみると、父親で58%、母親で64%という割合であり、母親の方が高い割合になっている。一方、「全くない」と言いきれぬ親は4%である。これでは、親は自分自身でさえほとんど守りきれぬ子どもに押しつけているのではないかと考えさせられる。

親の年齢別では、30歳代の親が66%、40歳代の親が58%の割合でしてはいけないことをしている。また、子どもの人数による差異についてみると、「よくある」と「時々ある」を合わせて、子ども1人の場合が63%、子ども2人の場合が63%、子ども3人の場合が59%であって、子ども3人の親がわずかに少ない。3人も子どもを育てていれば、「いけないこと」の内容や程度が実際に合ったものに修正され、守りやすくなるためかもしれない。

図 105

30.あなたは、お子さんに日頃いけないと言っていることをつい自分でしてしまうことがありますか。

※父親・母親別

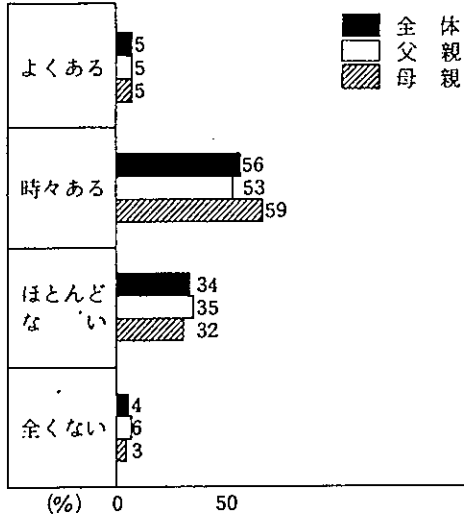
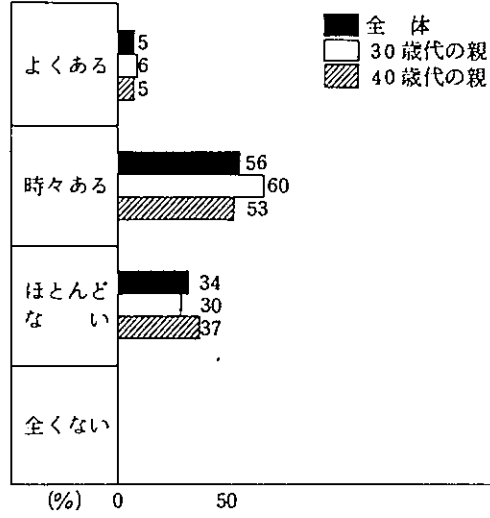


図 106

30.あなたは、お子さんに日頃いけないと言っていることをつい自分でしてしまうことがありますか。

※親の年齢別



地域別にみると、図 108 に示したとおりである。「よくある」と「時々ある」を合わせた割合は、北九州市が 69%、粕屋郡が 63%、福岡市が 61%、筑豊が 59%、筑後が 56% といった順であった。地域的な傾向は明らかではないが、このバラツキがどのような要因によるものであるのか、今後注目されてよい。

全体として、してはいけないと言っていることを親自身が十分に守りきれていないことがわかる。親に対して、もっと自己管理を訴える必要があるが、別の視点も考えられる。それは、親が具体的

図 107

30.あなたは、お子さんに日頃いけないと言っていることをつい自分でしてしまうことがありますか。

※子どもの人数別

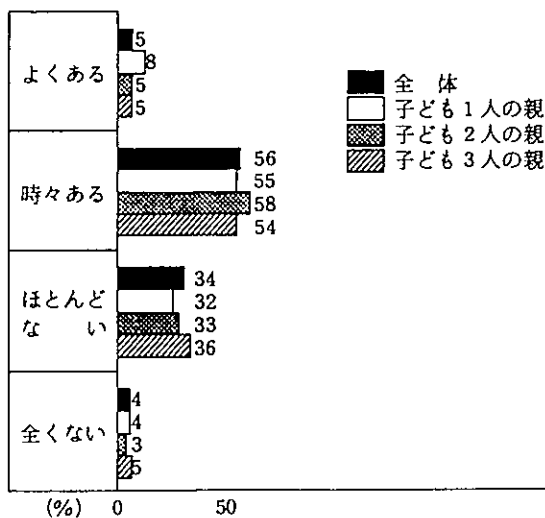
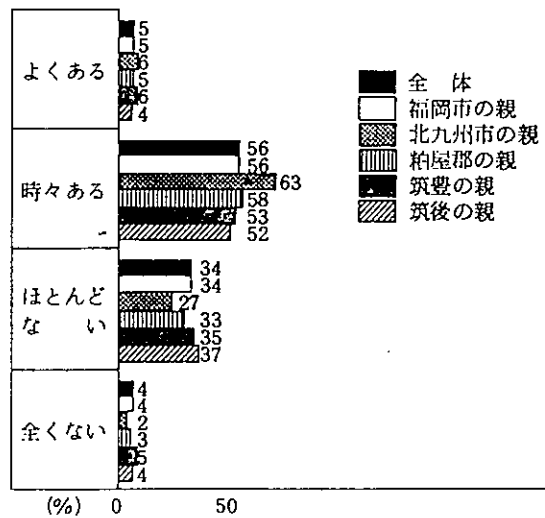


図 108

30.あなたは、お子さんに日頃いけないと言っていることをつい自分でしてしまうことがありますか。

※居住地域別



にどのようなことをしてはいけないことであると考えているのかを吟味することである。一般的に
 いて、親は子どもに対してはかなり厳しく、かつ、細かく「してはいけないこと」を想定してい
 ると思われる。つまり、大人である親自身すら守りきれないほど過度である可能性がある。本当に
 いけないことであるのなら、すべての親と子がしてはならないはずである。

(3) 八つ当たり

子どもが嫌い、やがて失望していく親のしかり方に、親の八つ当たりがある。これは、しかり方
 の悪い例としてよく引き合いに出される。親は、このように家族にあたってしまう頻度をどの程度
 であると自覚しているのであろうか。

図 109

31.あなたは、ものごとが思うように
 いかないときに、イライラして家族
 にあたってたりすることがありますか。

※父親・母親別

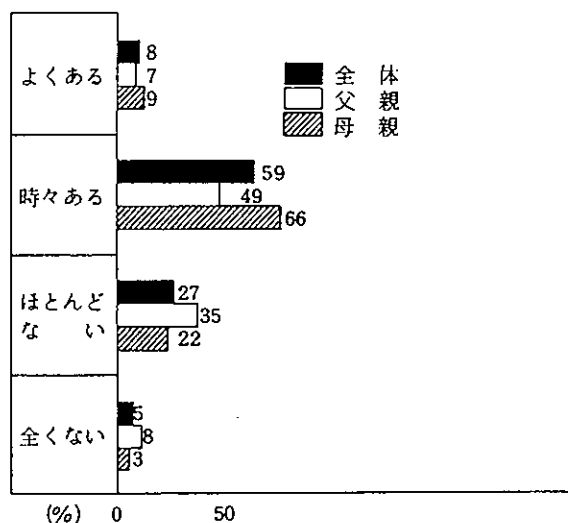


図 110

31.あなたは、ものごとが思うように
 いかないときに、イライラして家族
 にあたってたりすることがありますか。

※親の年齢別

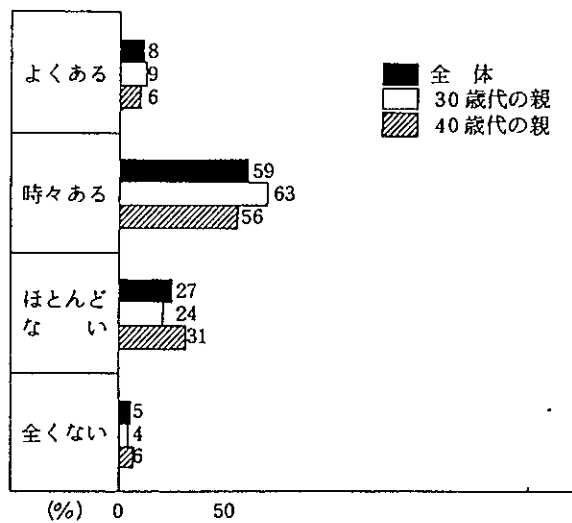


図 109 に示したように、ものごとがうまくいかなかったときに家族にあたってることが「よくある」親が 8%、「時々ある」親が 59%である。この両者を合わせると 67%となる。このすべてが子どもに向けられているわけではなく、夫婦間のものもあるであろう。しかし、直接間接と問わず、家族関係のきまずさは子どもへの影響が大きいことを考えると、この 7割という割合は注意すべきである。特に、母親の場合、「よくある」と「時々ある」を合わせると 75%、つまり 4人中 3人の母親が家族の誰かにあっている。母親は子どもと接触する機会が多いし、子どものちょっとした行動が引き金となって子どもにあたってしまうこともあると推察される。一方、父親の場合は、母親より低いとはいえ 56%である。

子どもたちについて言われている「耐性がない」、「我慢ができない」といった指摘は、そのまま親自身に対しても成り立っている。親自身がもう少し上手なストレス解消法を身につけて欲しい。

図 111 31.あなたは、ものごとが思うように
いかないときに、イライラして家族
にあたったりすることがありますか。

※子どもの人数別

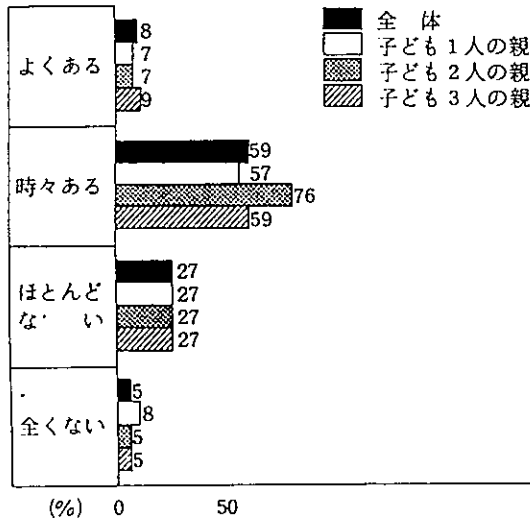
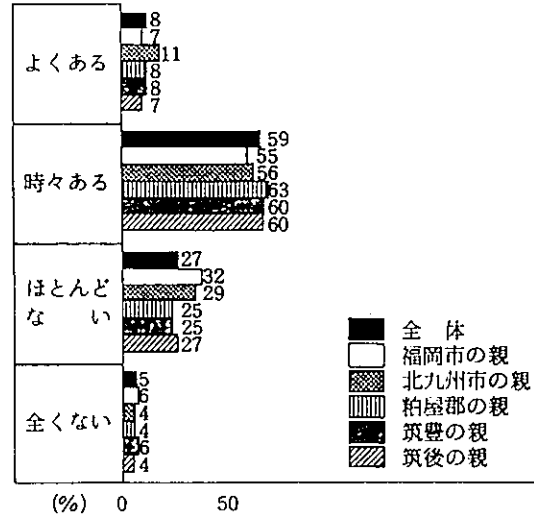


図 112 31.あなたは、ものごとが思うように
いかないときに、イライラして家族
にあたったりすることがありますか。

※居住地域別



親の年齢別にみると、30歳代の親の方が40歳代の親よりも家族にあたる割合が高い。40歳代の親の方が落ち着いているようである。また、子どもの人数による差異はほとんどみられず、全体の割合と同じである。ただ、子ども2人又は3人の親の方がややあたり方が多い。子どもとのかかわりが親のイライラを爆発させる引き金になっている場合が多いからであろう。

地域別では、図112に示したように、「よくある」が北九州市で11%と特に高く、福岡市及び筑後がそれぞれ7%と割合が低い。「よくある」と「時々ある」を合わせた割合は、粕屋郡が71%で最も高く、福岡市が62%で最低である。傾向としては、相対的に都市部の方が家族にあたる割合は少ないようである。

これまでみてきたように、養育者としての親も自分自身を完全にはコントロールできていない。だからといって決してあきらめたり、悩んだりしてはいけない。親子ともども前向きに努めていくプロセスこそが大事なのである。不十分な現実を正しく自覚することから前進は始まる。現状に満足しては停滞があるのみである。そういう意味で、今回の調査結果は希望的でさえある。なぜなら、親が自分の弱点を知っているからである。

(4) 生活の充実感

次に、気力という側面から親のもつ意識をみることにする。子どもたちが無気力になっているといわれている中で、親の方はどうなのであろう。ここで、気力が充実した状態とはどういうものと考えるかが問題となる。もちろん、簡単に表わすことはできないが、ここでは毎日の生活が充実し、仕事に喜びを感じ、将来の目標に向かって努力している自分を自覚できている状態であると考えことにする。このことは、流れにまかせて日々を過ごす消極的な生活ではなくて、自分の人生を自

図113 4.あなたは、毎日の生活が充実していると思いますか。

※父親・母親別

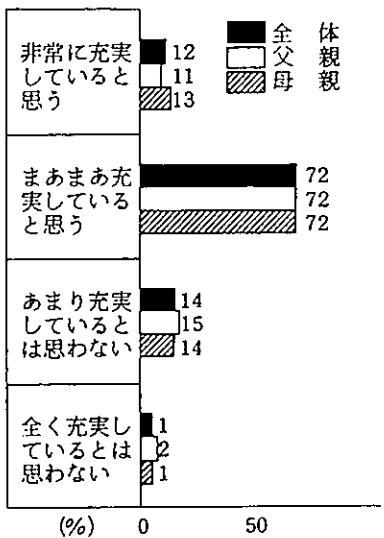


図114 4.あなたは、毎日の生活が充実していると思いますか。

※親の年齢別

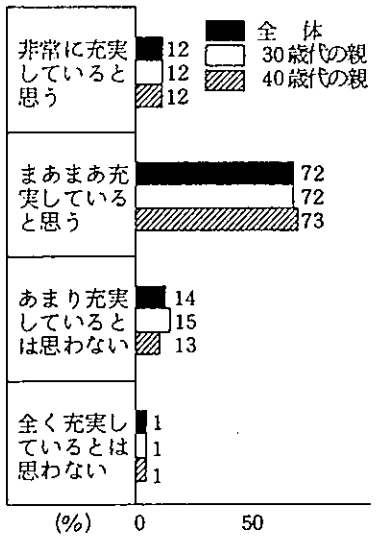
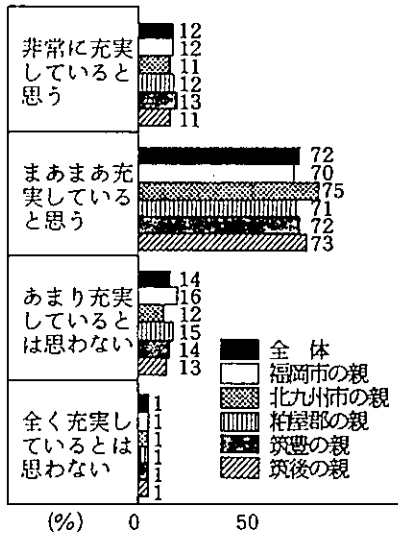


図115 4.あなたは、毎日の生活が充実していると思いますか。

※親の居住地域別



分の足で歩いている親の姿こそが、子どもの成長の目標になり得るという認識に基づく。

今日一日が充実していれば、「さあ、明日もがんばろう」という気持ちがわいてくる。図113に示したように、毎日の生活が「非常に充実していると思う」と答えた親は、全体の14%であり、「まあまあ充実していると思う」と答えた親が72%である。大多数の親が中流の生活意識のもとで充実感を味わっているという一般の認識のとおりである。

父親と母親の間ではほとんど差異は認められず、全体の傾向とほぼ同じである。価値観や感性に関しては性による違いがあるという認識に従えば、この一致を単純に同質とみなすのは問題であるが、たとえその内容に異質なものが含まれている可能性があったとしても、現実の生活が父親と母親、つまり男性にも女性にも同程度の充実感をもたらしているという事実は注目すべき点である。

親の年齢別にみても、全く差異がない。また、地域別にみても全体の傾向との違いはたかだか2%以内におさまってしまう。

特徴的なことは、図116に示した結果である。子どもの人数による違いをみると、子ども1人の親で「非常に充実」と答えた者の割合が17%であることが目をひく。また、子どもの学校別でも、中学生のみの親で同じく「非常に充実」と答えた者の割合が17%となっている。子どもの人数や年齢が、親の毎日の生活の充実感に影響を及ぼしていると思われる。例えば、子どもが1人だけの場合には対象がはっきりしているということや、中学生にまで子どもを育てた親ではこの先の進路の問題はさておき、とにかく育てあげたという満足感が生じるということなどが考えられる。逆に、子どもの数が多く、低年齢の場合には子育てに手がかかって充実感を味わっている暇もないと

図 116 4.あなたは、毎日の生活が充実していると思いますか。

※子どもの人数別

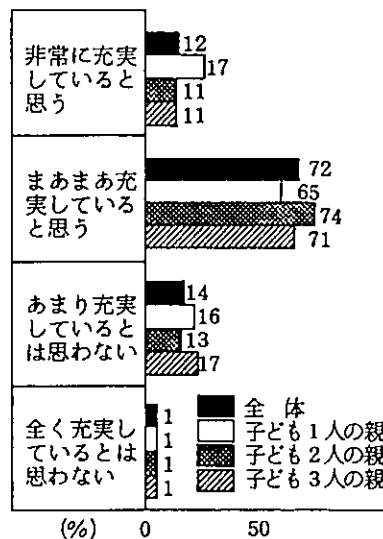
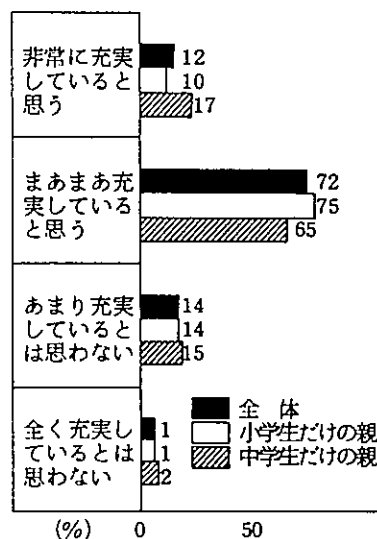


図 117 4.あなたは、毎日の生活が充実していると思いますか。

※子どもの学校別



いうことであろう。

(5) 仕事(役割)のやりがい

それでは、生活の大きな部分を占める仕事や役割についての充実感はどうであろうか。自分の仕事について「非常にやりがいを感じている」親が28%、「まあまあやりがいを感じている」親が61%であり、この2つを合わせると89%、約9割に達する。特に、4人に1人が「非常に感じる」と答えている。しかしながら、この結果と前にみた「毎日の生活が非常に充実していると思う」親の割合12%を比較すると、自分の仕事に非常にやりがいを感じていても、そのことがそのまま生活の充実感につながってはいない、といえるのである。ただ、このくい違いは意識の上でのわずかな程度の差であって、「まあまあ」と答えたものまで含めると、仕事のやりがい(89%)と生活の充実感(86%)は、同程度になっている。

父親と母親の違いは、「非常に」の割合に現れている。つまり、父親では34%で約3人に1人、母親では24%で約4人に1人の割合である。この差については、仕事や役割の内容の相違を考慮に入れる必要があるだろう。「非常に」と「まあまあ」を合わせると、父親・母親ともに89%である。

親の年齢別にみると、30歳代の親よりも40歳代の親の方が、仕事にやりがいを感じている割合がやや高いといえる。仕事上の責任の増加とやりがいの相関が伺える。

また、子どもの学校別にみても、中学生だけの親で、「非常に」と「まあまあ」を合わせると92%であり、小学生だけの親の場合の88%よりも高い割合になっている。子どもの人数による差異はほとんどなく、全体の傾向と同じである。子どもの状況(人数や学校別など)と仕事のやりがいの間には、特に相関はないと考える方が自然であろう。

図 118 5.あなたは、自分の仕事（役割）にやりがいを感じていますか。

※父親・母親別

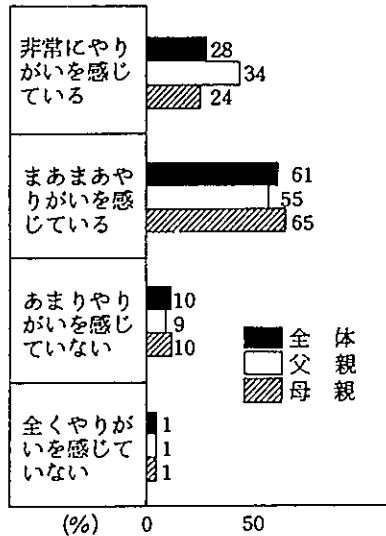
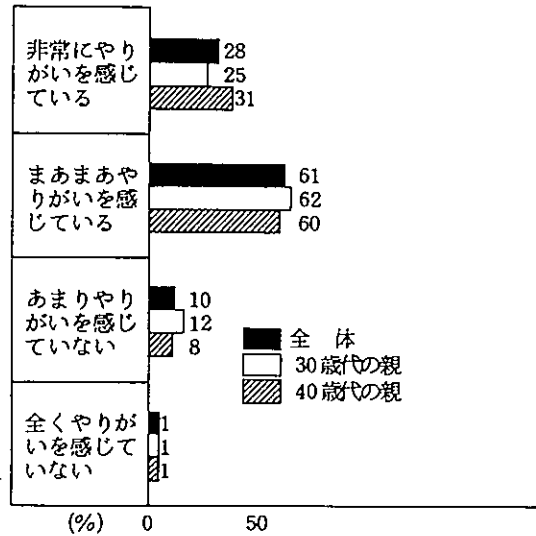


図 119 5.あなたは、自分の仕事（役割）にやりがいを感じていますか。

※親の年齢別



地域別にしてみると、やりがいを感じている親は88～90%であり、地域の特徴は強く現れていない。しかし、「非常に」と答えた者の割合については違いがみられる。最も多いのが筑後の30%で、最も少ないのが北九州市の24%である。また、同じ都市部とはいえ、福岡市と北九州市では福岡市の方がやりがいを感じている程度が高くなっている。

どの分類をみても、「あまりやりがいを感じていない」と答えた親の割合は10%程度である。早くやりがいが見えるようになってほしいものである。「全くやりがいを感じていない」という割

図 120 5.あなたは、自分の仕事（役割）にやりがいを感じていますか。

※子どもの人数別

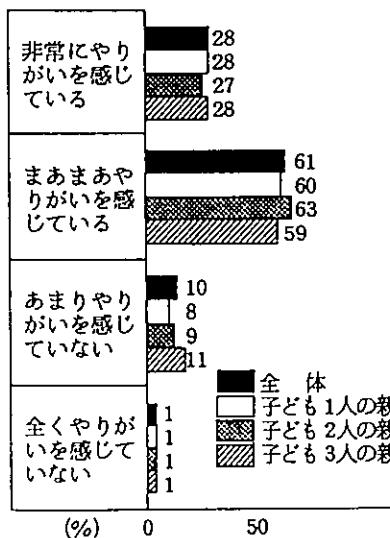


図 121 5.あなたは、自分の仕事（役割）にやりがいを感じていますか。

※子どもの学校別

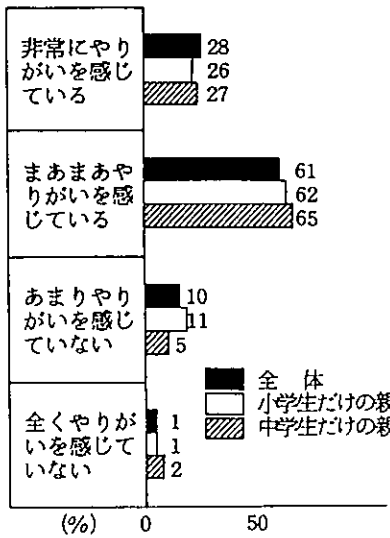
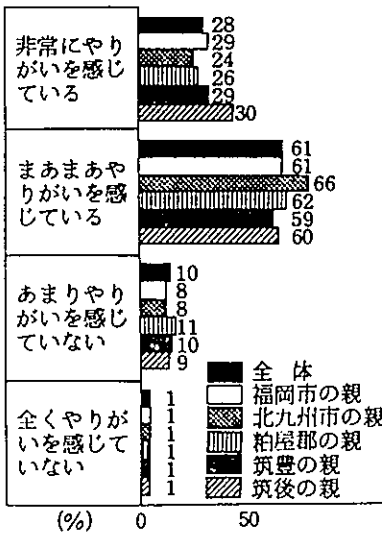


図 122 5.あなたは、自分の仕事（役割）にやりがいを感じていますか。

※居住地域別



合は1%である。食べるために仕方なく仕事をするとか、必要最少限の役割を果たしておけばよいという考え方は、極めて特異なものとなっている。

(6) 仕事(役割)への耐性

仕事や役割にやりがいを感じてはいても、現実には常に順調に事がはこぶというわけではない。うまくいかないことがあって気が滅入ると、自分の気持の整理に集中して家族への気使いも失われてしまう。イライラして家族にあたってしまうことも起こる。

それでは、仕事あるいは家事や育児がいやになることはどの程度あるだろうか。

図123 32.あなたは、仕事あるいは家事や育児がいやになることがありますか。

※父親・母親別

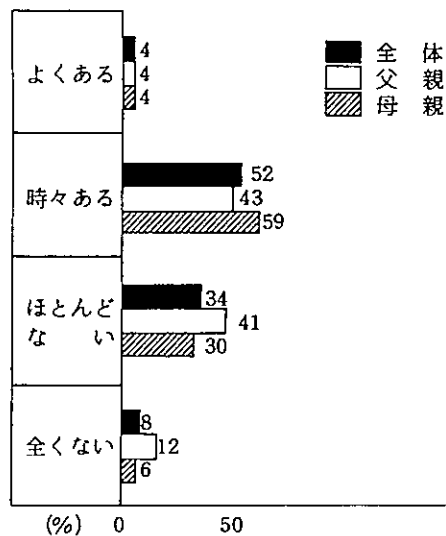


図124 32.あなたは、仕事あるいは家育や育児がいやになることがありますか。

※子どもの人数別

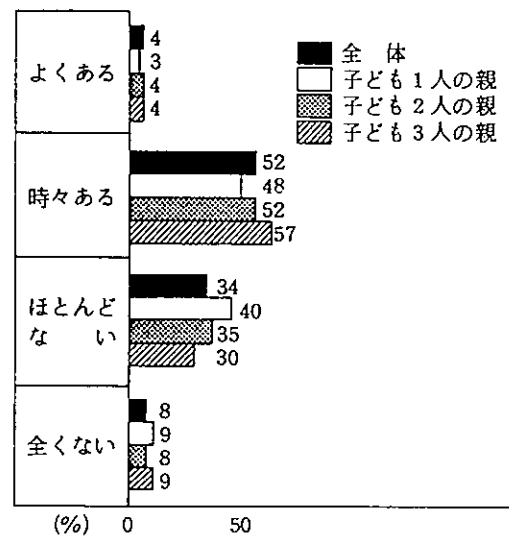


図123によると、いやになることが「よくある」と「時々ある」を合わせて56%となる。「ほとんどない」又は「全くない」と答えた耐性の比較的高い親は合わせて42%である。

父親と母親ではかなりの差がみられる。「よくある」と「時々ある」を合わせた割合は、父親では47%、母親では63%である。この16%の差は、同じ尺度の上で評価されるべきではない。例えば、父親と母親が現実担当している仕事(役割)の相違が背景にある場合があるからである。この点に関連して、「よくある」と「時々ある」を合わせた割合が、子ども1人の場合51%、子ども2人の場合56%、子ども3人の場合61%と、子どもの人数に比例していることを指摘しておこう。

親の年齢別では、30歳代の親の方がいやになることが多くなっている。40歳代の安定した(すべき)年齢に達しても、いやになることがあると答えた者の割合は52%である。

地域別では、都市部でいやになる割合がやや高いようであるが、全体の傾向と大きな大差はない。仕事や家事などがいやになれば、イライラしてつい家族にあたってしまうという図式が考えられ

図125

32.あなたは、仕事あるいは家事や育事がいやになることがありますか。

※親の年齢別

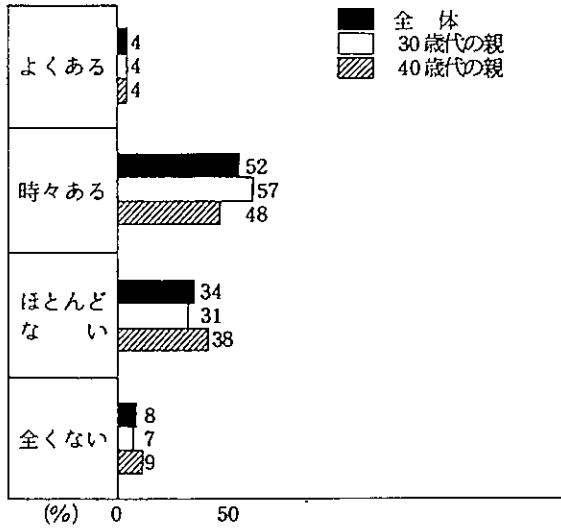
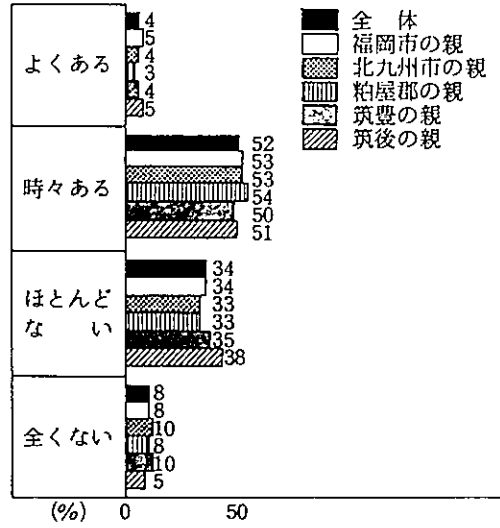


図126

32.あなたは、仕事あるいは家事や育事がいやになることがありますか。

※居住地域別

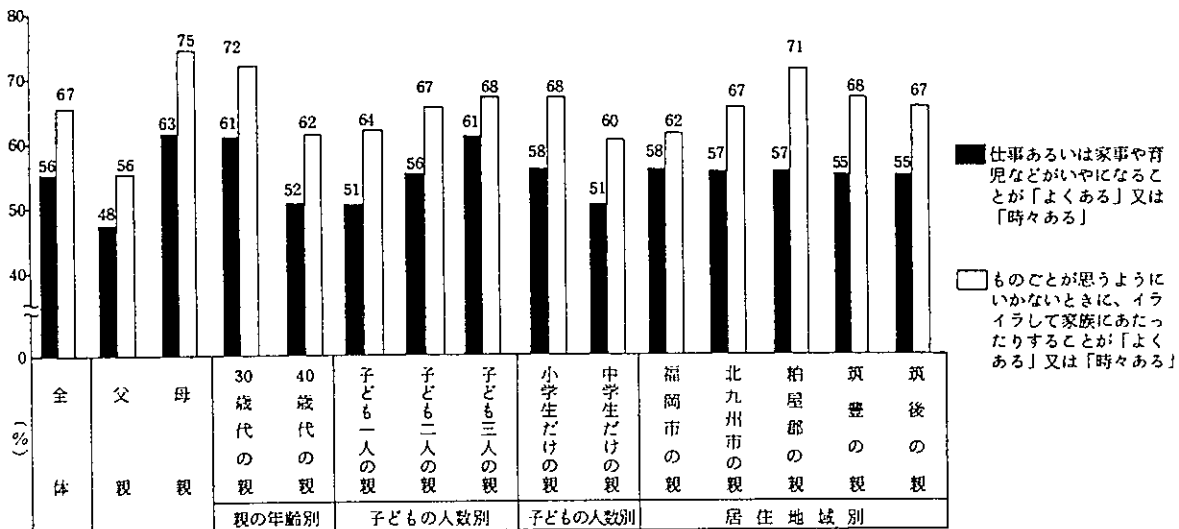


る。そこで、先に述べた八つ当たりの調査結果と比較をしてみよう。

この2つの間には、「いやになることがある」という割合に、ほぼ10%を加えると、「家族にあたりする」という割合になるような関係がある。例えば、全体として「いやになることがある」割合が56%であるのに対し、「家族にあたりることがある」割合は67%である。同じことが、父親では47%に対し56%、母親では63%に対し75%である。他の分類についても同様である。「仕事などがいやになること」と「家族にあたりすること」には明らかな相関があるが、それ以外に、「家族にあたりすること」の割合が10%増しになっている原因は何であろうか。

図127

仕事あるいは家事や育児がいやになることとイライラして家族にあたりすることの関係



(7) 夢(目標)

今の子どもたちには夢がないといわれる。このことは、生活が無気力になっている要因でもある。一方で、子どもたちが育つためには親自身が育たねばならないと語られることもある。親自らが明日を夢みて今日を精一杯生きていくことが大事である。親は、将来に何か夢あるいは目標を持っているのだろうか。

図128 33.あなたは、将来に何か夢(目標)をもっていますか。

※父親・母親別

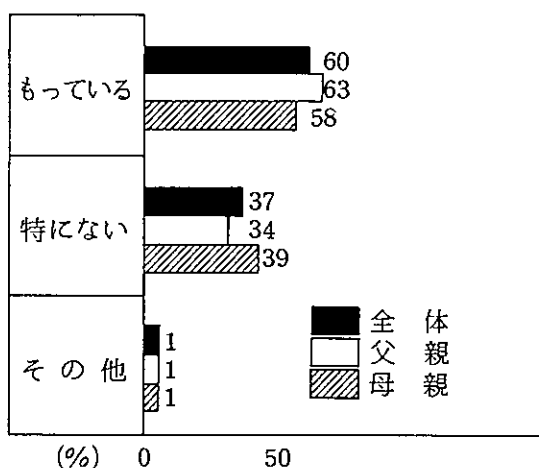


図129 33.あなたは、将来に何か夢(目標)をもっていますか。

※親の年齢別

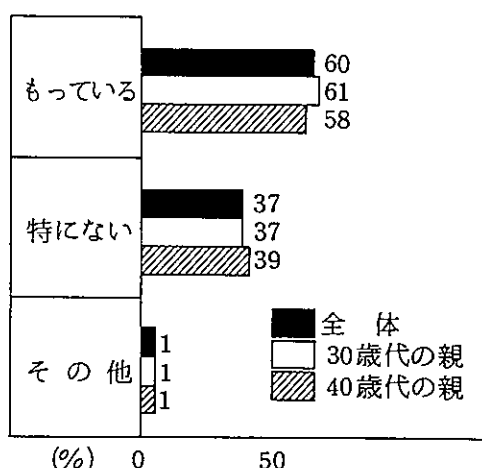


図128に示したように、60%の親が夢をもっている。一方、37%の親は特に目標を意識してはいけなと答えている。この親たちは、将来に夢がもてないと絶望しているのではなく、ただ単純に今の生活が十分に満ち足りたものであるために、ぐっすりとなみりこんでしまって、夢も見なくなっているだけなのであろう。そう考えなければ図113でみたように、毎日の生活が充実していると感じている親が84%の割合もいるという結果を説明できない。

夢をもっている割合は、父親が63%で母親が58%であって、父親の方が割合が高い。男性はロマンチストであり、女性は現実派であるという通念に従えば、父親は自由な夢を、母親は具体的な目標をもっていると推察されるが、本当の中味はどうであろう。

親の年齢別では、40歳代の親が30歳代の親に比べてわずかながら夢をもつ割合が少ないが、この違いは取り上げられるほどのものではない。むしろ、40歳代になっても夢がなくなるということの方が注目されるべきである。

子どもの人数による差異は、夢をもつ割合が子ども1人の場合57%、子ども2人の場合59%、子ども3人の場合63%と、子どもの人数に比例して増加する傾向がみられる。

地域別にみると、筑豊で夢をもつ親の割合が63%と他の地域に比較して少し高い傾向にある。

豊かな生活の中であって、多くの親は夢あるいは目標をもっているが、その夢が一人よがりなものではなくて、子どもたちにとっても魅力のあるものであってほしい。

(8) 生きがい

毎日の生活が充実しているかとか、将来に夢や目標があるかといった判定をする場合には、まず、どのような生きがいをもっているかということが基盤にあるはずである。価値観が多様であるといわれている今、親はどのような生きがいをもっているのだろうか。

調査は、選択時に順位をつけて上位3つを選択してもらったが、集計は、第一位に選択された項目のみを集約した。

図130 6.あなたの生きがいは何ですか。

※父親・母親別

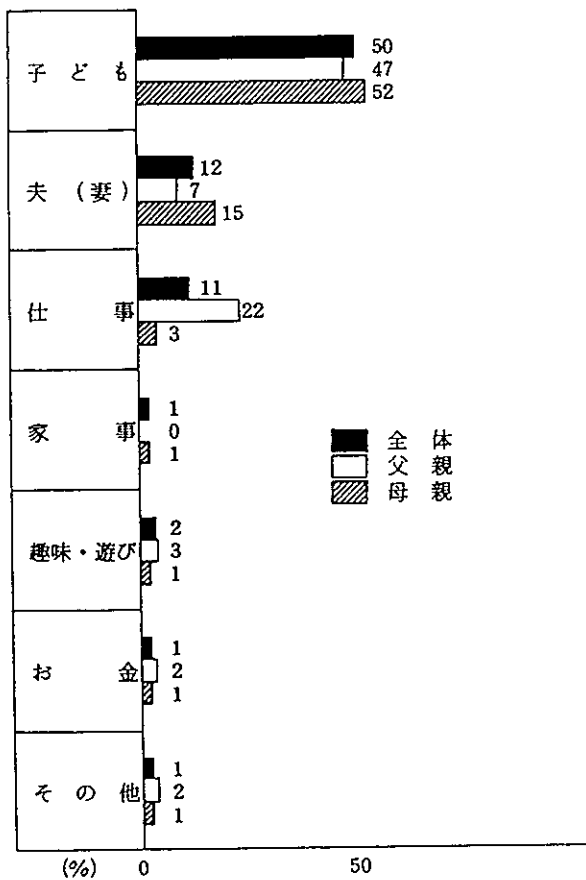


図131 6.あなたの生きがいは何ですか。

※親の年齢別

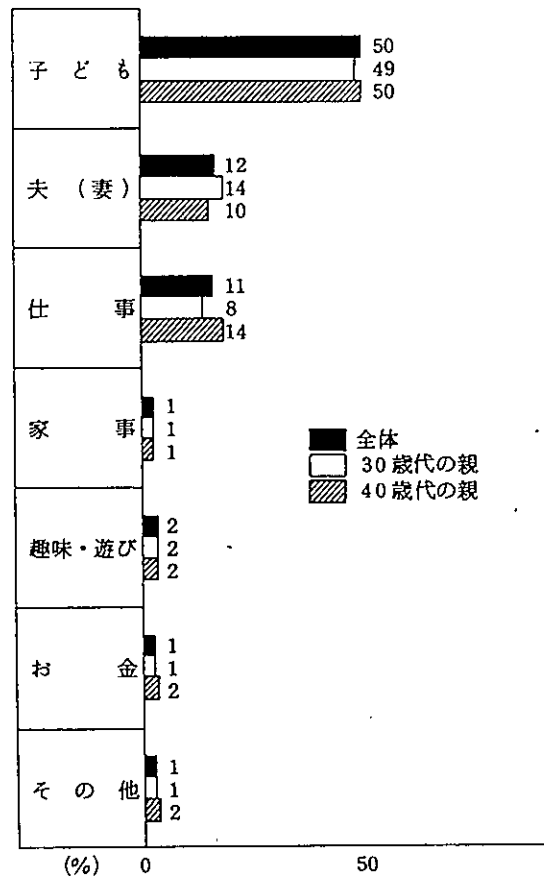


図130に示したように、何らかの生きがいをもっている者の割合は78%である。無回答(無効回答を含む)が22%あるということは、5人に1人の割合で自分自身をみつめることをしていない親がいることを示している。この無回答の割合は、父親で17%、母親で26%である。

生きがいの具体的な対象をみてみると、「子ども」を生きがいとする親の割合が50%であり、他の対象を大きく引き離している。この割合は、生きがいをもっていると答えた者の中での割合に

換算すると64%になる。次に多い生きがいの対象は、父親では「仕事」であるのに対し、母親では「夫」である。父親と母親の違いが顕著に現れている。つまり、母親は「子ども」と「夫」という身近な存在であり、しかも、人間自体を生きがいとしている。この両者を合わせた割合は、生きがいをもっていると答えた母親の91%を占めている。一方、父親は抽象的であり、かつ、個人的な欲求をも充足できるような「仕事」という生きがいを選択している。このことは、父親では「仕事」、「趣味・遊び」、「お金」という、どちらかという人間の姿が希薄な対象が選択された割合が27%、生きがいをもっていると答えた父親の33%を占めていることにも反映している。

父親では「仕事」22%に次いで、「妻」7%、「趣味・遊び」3%、「お金」2%と続き、母親では「夫」15%に次いで、「仕事」3%、「家事」、「趣味・遊び」、「お金」がそれぞれ1%である。

親の年齢別にみると、30歳代の親も40歳代の親も「子ども」を生きがいとする割合がほぼ50%で1番多い。次に、30歳代の親では「夫・妻」の割合が14%、「仕事」の割合が8%と続くのに対して、40歳代の親では「仕事」が14%と増え、「夫・妻」は10%に減っており、30歳代の親の割合と順位が逆転している。年齢とともに社会的な成熟度と貢献度が上昇するに伴い、仕事の割合が増えたものと考えられる。

子どもの人数による差異はほとんどなく、全体の傾向と同じである。ただ、子ども1人の場合、

図132 6.あなたの生きがいは何ですか。

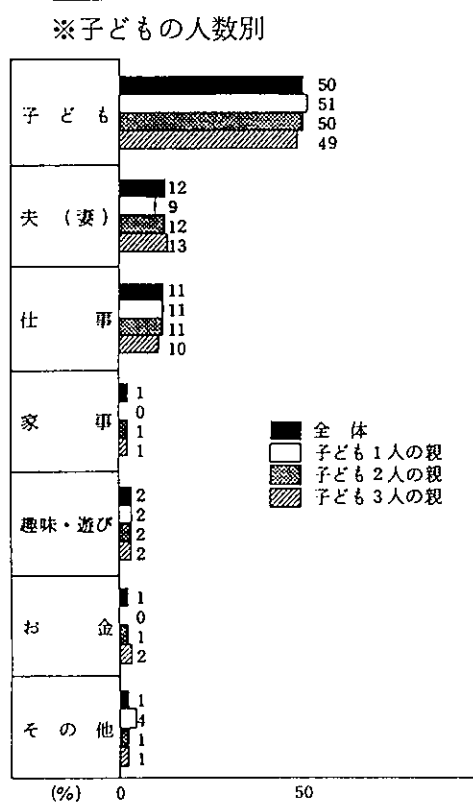
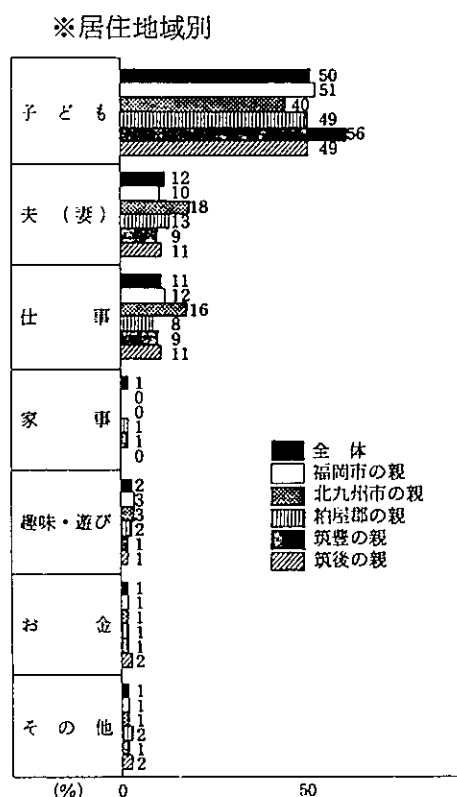


図133 6.あなたの生きがいは何ですか。



「夫・妻」を生きがいとする者が9%であり、他の場合の12%に比べてやや割合が低い。

他の調査項目と異なり、地域による差異がかなりみられる。図133に示すとおり、「子ども」を生きがいとする親の割合は、筑豊が56%と全体での割合50%よりも高く、福岡市、粕屋郡、筑後がほぼ50%、北九州市では40%とかなり低くなっている。北九州市の場合、「子ども」の割合が減った分が、「夫・妻」と「仕事」の均等な増加に変化している。都市部として福岡市と北九州市を比較すると、北九州市の方が「子ども」より「夫・妻」を生きがいの対象とする傾向が強いといえる。また、都市部と地方部を比べると、都市部の方が「仕事」を生きがいとする者の割合が高い。「夫・妻」と「仕事」が、割合に違いはあってもどの地域でもほぼ同程度であるのに、粕屋郡だけが「夫・妻」の割合が「仕事」の割合よりも5%高くなっている。

2 良い親の条件

(1) 良い大人のモデル

これまでに見てきたことから、平均的な親の姿として何らかの生きがいを持ち（78%）、将来に夢をいだき（60%）、毎日を充実した気持で生活している（84%）けれども、ときには仕事（役割）がいやになり（56%）、イライラして子どもにあたってしまう（67%）という特徴が現れてきた。

このような自分を知っている親は、はたして子どもにとって良い大人のモデルであると自信をもっているだろうか。

図134

38.あなたは、お子さんにとって良い大人のモデルだと思いますか。

※父親・母親の別

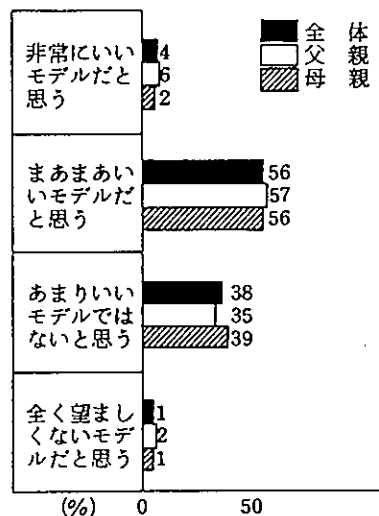


図135

38.あなたは、お子さんにとって良い大人のモデルだと思いますか。

※親の年齢別

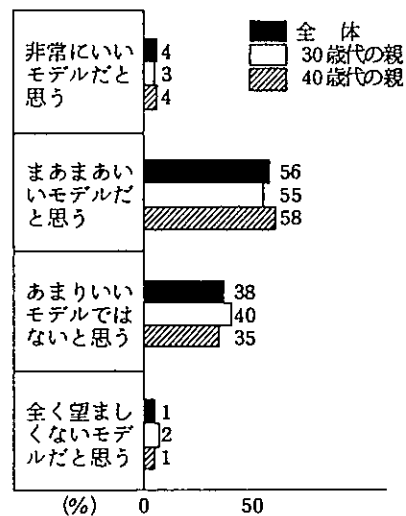


図134に示したように、「非常にいいモデルだと思う」と自信をもっている親の割合は4%、「まあまあいいモデルだと思う」と答えた親が56%であって、両方を合わせると60%である。「あまりいいモデルではないと思う」と反省している親の割合は38%であり、「全く望ましくないモデルだと思う」と自己評価が厳しい親の割合は1%である。

父親についてみると、良いモデルだと思っている割合は、「非常にいい」と「まあまあいい」を合わせて63%であり、これは、母親での58%に比べると割合が高く、父親の自信のほどがうかがえる。この自信は、「非常にいい」の割合が、父親では6%であるのに対し、母親では2%であることにも現れている。

親の年齢別にみても、30歳代の親より40歳代の親の方がやや自信が感じられる。

子どもの人数による差異は、ほとんどみられない。

図 136 38.あなたは、お子さんにとって良い大人のモデルだと思いますか。

※子どもの人数別

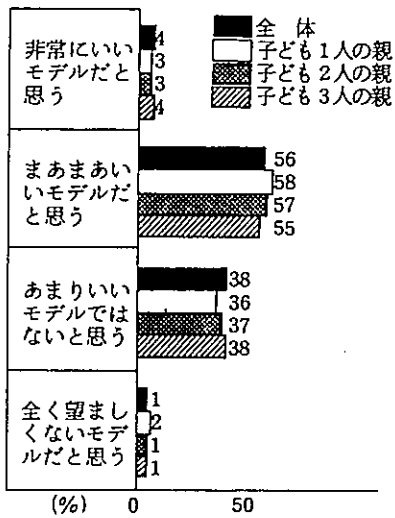


図 137 38.あなたは、お子さんにとって良い大人のモデルだと思いますか。

※子どもの学級別

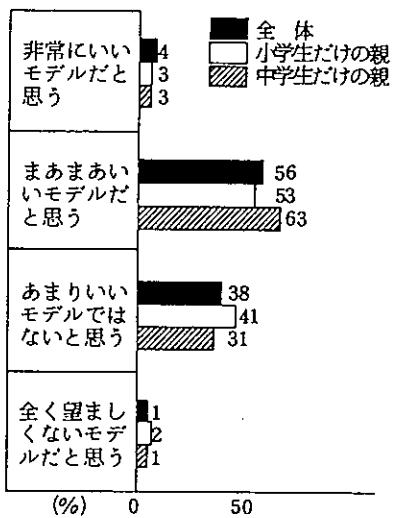
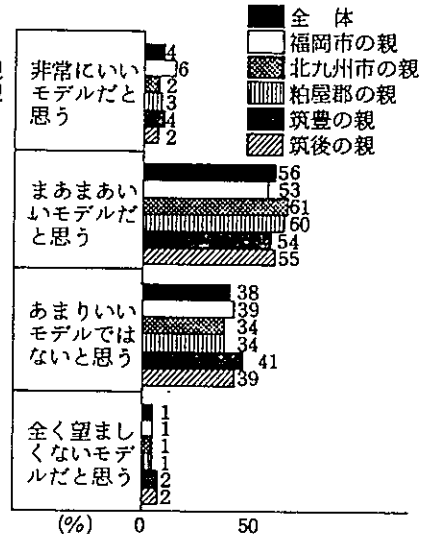


図 138 38.あなたは、お子さんにとって良い大人のモデルだと思いますか。

※居住地域別



子どもの学校別にみると、「まあまあいい」の割合は、小学生だけの親で53%、中学生だけの親で63%であり、子育ての実績に裏打ちされているためか、中学生だけの親の方が自信を持っている。

地域別にみると、図138に示したように若干の地域差がある。「非常にいい」という割合についてみると、福岡市が6%で最高であり、北九州市・筑後が2%で最低である。一方、「非常にいい」と「まあまあいい」を合わせた割合では、北九州市と粕屋郡がともに63%、福岡市・筑豊及び筑後がそれぞれ59%、58%、57%で、大きく2つのグループに分けられる。

(2) 良いモデルの条件

さて、一口に「良いモデル」といっても、その中味はばくぜんとしている。そこで、良い大人のモデル、つまり、望ましい養育者像とは具体的にどのようなものなのか、ということをおさぐってみることにする。この問題は、本調査の目的の1つでもある。

ここでは、このアンケートの回答者にその解答を出してもらうことにしよう。回答者が考えている「良い大人のモデル」像を描き出すために、自分が「非常にいいモデル」又は「まあまあいいモデル」と答えた親をグループⅠとし、「あまり」又は「全く望ましくないモデル」と答えた親をグループⅡとする。この2つのグループに分けて他の質問項目における回答の違いをみる。その結果は、次ページの表7のとおりである。この結果から、「良い大人のモデル」であるか否かを判定する場合に、回答者が何を要因として考えているかが読みとれる。

グループⅠとグループⅡの割合の差が1番大きい選択項目は、「毎日の生活が充実している」(差20%)である。また、「仕事や家事がいやになることはない」(差19%)という選択項目は、

表7. 「良いモデルである」と思うグループ(G-I)と思わないグループ(G-II)の比較

章	内 容	問	選 択 項 目	選択肢	全体	G-I	G-II	差
親 の 日 常 生 活	1.規則正しい生活	1	毎日規則正しい生活をしている	1+2	87%	91%	81%	10
	2.食生活	27	食べられる食物を捨てたりしない	3+4	51	53	47	6
		28	間食をすることはしない	3+4	32	34	29	5
	3.テレビと読書	7	テレビ視聴は一日に2時間以下	1+2+3+4	63	67	58	9
		8	テレビをみながらの食事はしない	3+4	30	32	27	5
		9	ダラダラとテレビを見て後悔しない	3+4	58	63	52	11
	4.生活技術	10	単行本の小説やエッセーを読む	1+2	61	64	57	7
		11	漫画本や週刊誌を読む	1+2	59	57	60	-3
		34	大工道具をこの半年間に使った	1+2	70	72	67	5
	35	裁縫道具をこの半年間に使った	1+2	71	72	71	1	
親 の 社 会 生 活	1.近所づきあい	21	隣近所の人と雑談をする	1+2	86	87	83	4
		22	近所の人と出会えば、挨拶・声かけする	1	87	90	83	7
		23	気軽に行き来できる家が近所に2軒以上	3+4	71	75	64	11
		24	近所づきあいがわずらわしくはならない	3+4	50	54	44	10
	2.社会的活動	15	地域の行事や集会に参加する	1+2	83	85	78	7
		18	町内会育成会など地域の世話役を2回以上	3+4+5	48	48	44	4
		19	P T Aの世話役をしたことがある	2+3+4+5	55	58	50	8
	3.新聞と広報	12	新聞の政治面や社会面をいつも読む	1	51	55	45	10
		13	市町村発行の広報紙をいつも読む	1	56	58	51	7
		14	学校からのプリントをいつも読む	1	72	74	69	5
4.道徳的行動	25	乗物の中でお年寄りに積極的に席をゆずる	1	75	78	71	7	
	26	高校生の喫煙を注意する	1	13	15	9	6	
生 活 観 と 養 育 者 観	1.生活の自己評価	4	毎日の生活が充実している	1+2	84	92	72	20
		5	仕事や役割にやりがいを感じている	1+2	89	94	81	13
		6	生きがいは子どもである	1	50	50	51	-1
		29	必要のないものは欲しくても買わない	3+4	59	62	54	8
		30	いけないと言っていることはしない	3+4	38	45	26	19
		31	イライラしても家族にはあたらない	3+4	32	38	22	16
		32	仕事や家事がいやになることはない	3+4	42	50	31	19
		33	将来に夢や目標をもっている	1	60	66	52	14
		38	子どもにとって良い大人のモデルと思う	1+2	60	△	△	△
	2.親の条件	36	父親に特に必要なものは経済力	8	19	19	20	-1
37		母親に特に必要なものはやさしさ	1	59	58	61	-3	

生活の充実感と裏表の関係にあるとも考えることができるので、同質のものとみなす。従って、「毎日の生活が充実している」ことが「良い大人のモデル」であるための第1の条件である。このことは、グループ間の差の大きさのみならず、「いいモデルだと思う」と答えた親の92%が「毎日の生活が充実している」と答えていることから支持されている。

「毎日の生活が充実している」といっても、それはまだ多分に個人的な価値観に左右されているであろうから、かなり不確定な要素を含んでいると思われる。そこで、さらにもう1歩踏み込んでみよう。2つのグループの間で、2番目に大きな差が出た選択項目は「いけないということを自分でもしない」（差19%）である。この「しない」と答えた割合は、グループⅠでも半分以下の45%であって、問題ではあるが、それよりもグループⅡの割合が26%と低すぎることの方が重要な問題である。グループⅡでは、子どもにいけないと言っていることを自分でしてしまうというマイナス面が、「良い大人のモデル」であるといえなくしていると考えられる。つまり、「しない」からといって良いモデルということとはできないが、「してしまう」と良いモデルであることが否定されてしまうのである。従って、「いけないということを自分ではしない」という条件は、「良い大人のモデル」であるための消極的な条件、すなわち必要条件である。同じことが、「イライラしても家族にはあたらぬ」（差16%）という選択項目についてもいえる。

それでは、もっと積極的に「良い大人のモデル」であるための条件、すなわち十分条件は何であるかみてみよう。それは、表7から幾つか取り上げることができる。便宜的に、グループⅠでの割合が60%以上で、しかも、グループⅡとの差が10%以上の選択項目を拾い出してみると、

- 規則正しい生活をしている
- 仕事（役割）にやりがいを感じている
- テレビを見て後悔することはない
- 気軽に行き来できる家が2軒以上ある
- 将来に夢や目標をもっている

という5つの選択項目である。

これらは次のようにまとめられる。将来に向かって夢や目標をもち、仕事や役割にやりがいを感じ、きちんとした規則正しい生活を心がける一方で、地域の人々としっかりと連携を保っていることが「良い大人のモデル」であるための条件である。回答者が出した解答は、ごく当たり前の条件であったといえる。

この「良い大人のモデル」としての条件を子どもにあてはめてみると、いじめに代表されるように、してはいけないことをしてしまい、大人という将来への夢もなく、学校生活にも真剣に取り組めず、リズムのない日常生活を送り、学校での横のつながりのみで地域での縦のつながりを失っているという工合に、何一つ条件が満たされていない。これは極端な場合であるが、良い大人の条件はそっくりそのまま、良い子どもの条件となることが理解されるだろう。

子どもは親に似るのが1番である。

3 親の資質

親たちは子どもの養育に当って、父親像・母親像をどのように描いているであろうか。昭和57年度の福岡県家庭教育総合セミナー事業での調査では、親の養育態度・行動に「無意識の過保護」と「一部放任」という傾向のあることが明らかにされた。今回の調査では、「親に必要なものは何か」という問いかけを親自身に行い、父親・母親に対する資質や能力に対する期待の状況を探ってみた。

以下は、父親・母親それぞれについて同じ選択肢を9つ設け、上位3つを選んで順位をつけてもらったもののうち、1位となったものだけを集計したものである。

図139 36・37.あなたは、父親・母親に特に必要なものは何だと思いますか。

※父親・母親別

図140 36・37.あなたは、父親・母親に特に必要なものは何だと思いますか。

※親の年齢別

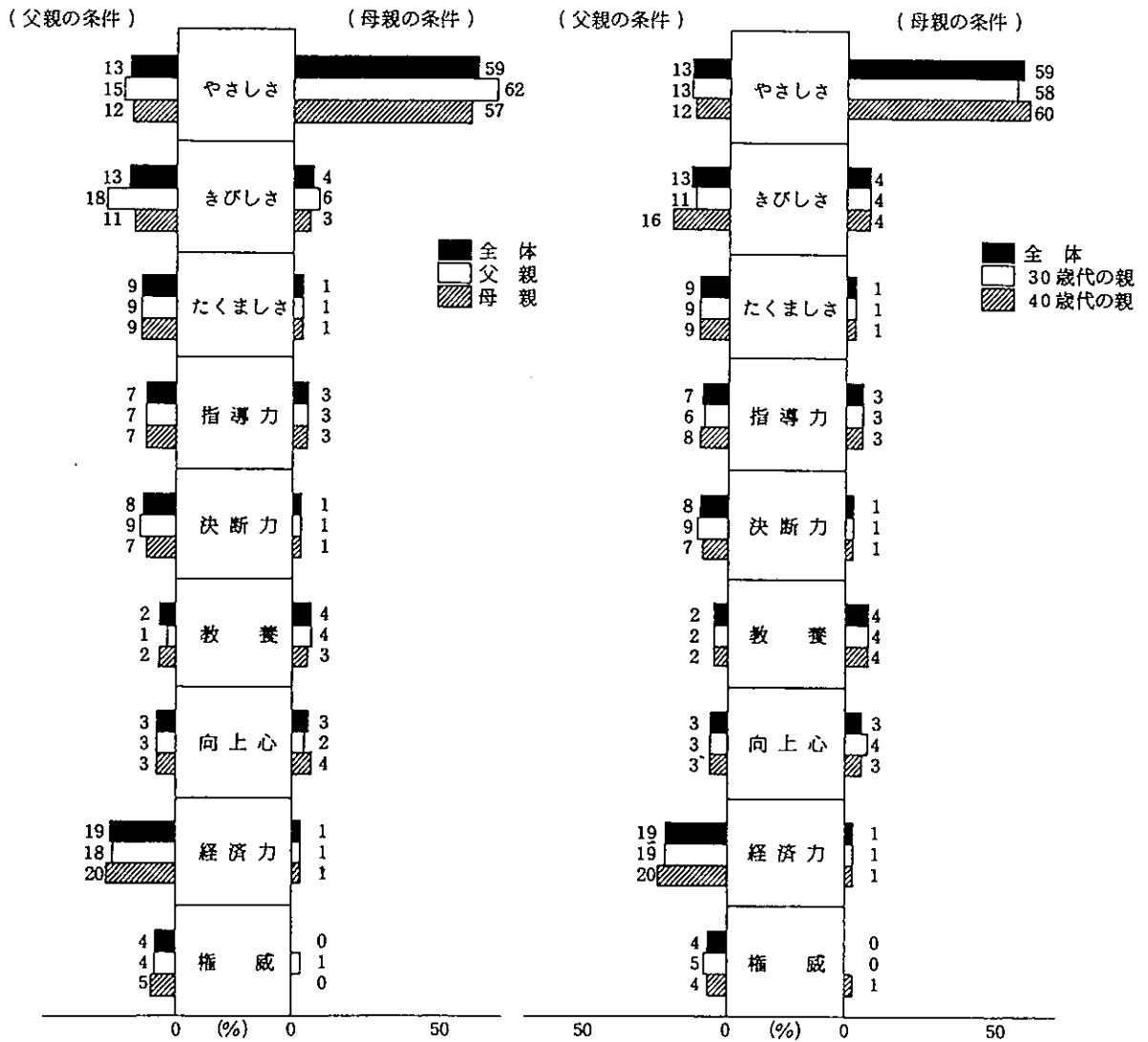


図 130 で考えられることは、父親・母親の別、親の年齢別、子どもの人数別、地域別などに関係なく同じような傾向にあるように見えるが、細かく見ればそこに微妙な意識の違いがあることがうかがい知られる。

まず、父親に必要なものとして、やさしさ、きびしさ、経済力がほぼ同じような数値で上位にあるが、それにしても母親は父親が思っているほどには父親にきびしさを要求してはいないといえる。また、父親にきびしさを求めるのも 30 歳代の親よりも 40 歳代の親の方が多い。このことは、40 歳代の親の子の方が年齢が高く、父親にきびしさを求めようとしていることの表われではなかろうか。それはまた、1 人っ子に対する父親のあり方がきびしさよりもやさしさが期待されていることと似たような考えから出た結果ではないかとも思われる。

図 141 36・37.あなたは、父親・母親に特に必要なものは何だと思えますか。

※子どもの人数別

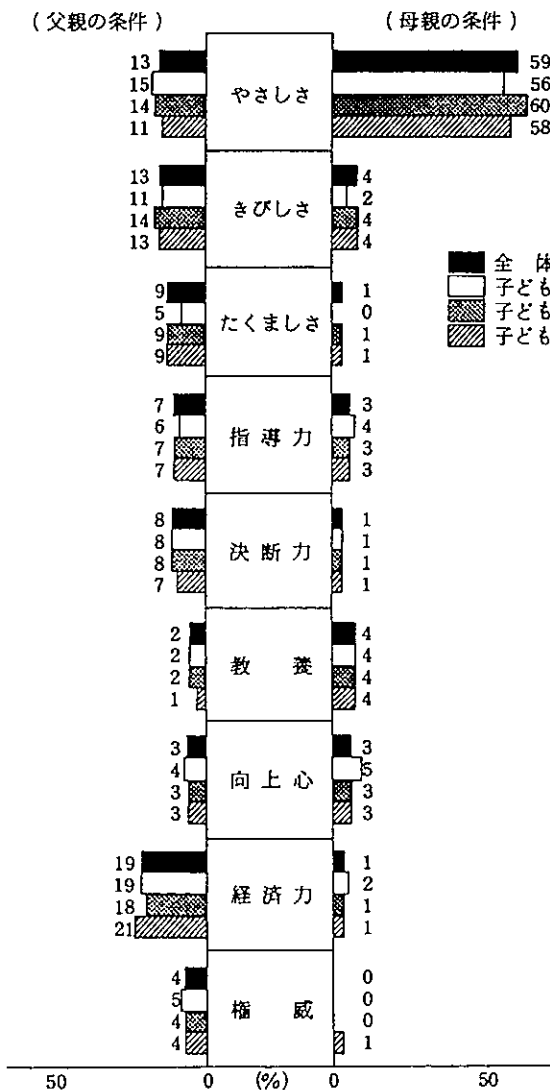
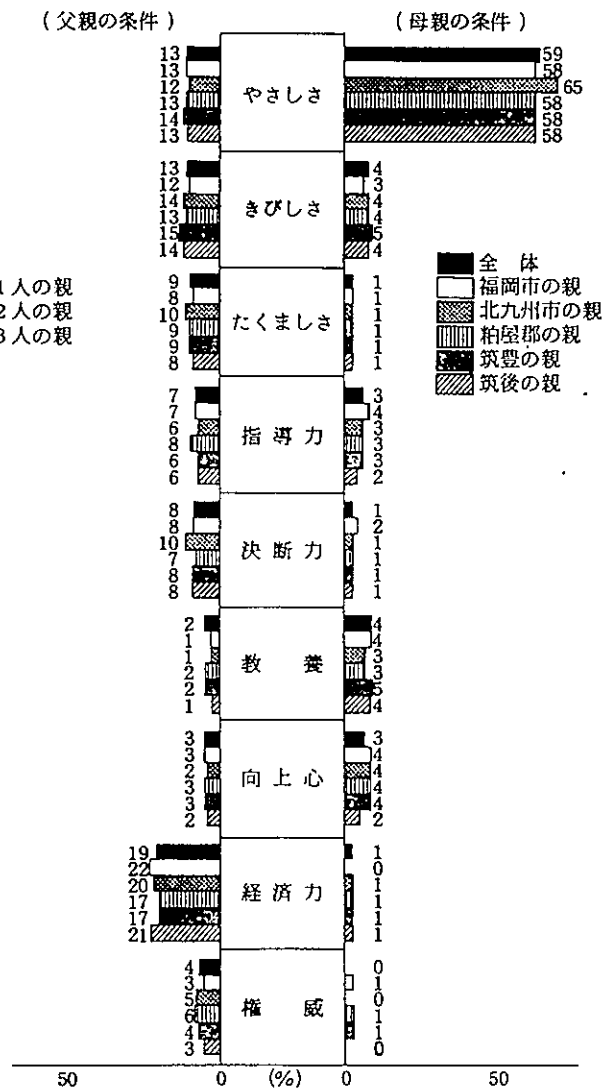


図 142 36・37.あなたは、父親・母親に特に必要なものは何だと思えますか。

※居住地域別



次に、地域によって多少の意識の違いがあることがわかる。父親・母親ともに父親には経済力を期待しているのであるが、都市部つまり福岡市や北九州市の方が粕屋郡や筑豊よりもより多く経済力を望んでいる。このことは、生活環境のちがいがからくるものであろう。ただ、筑後で大都市と同じような傾向が出ているのはなぜであろうか。

一方、母親に期待されるものは何であろうか。図 133 によれば、断然「やさしさ」を期待するものの、北九州市でその割合（65%）が他よりも高くなっている。このことは何を意味するのであろうか。

父親の場合と異なるのは、どの領域においてもほぼ60%の高い割合で「やさしさ」が期待されており、2位の「きびしさ」4%、3位の「経済力」1%など他の項目に対して絶対的なものがある。これは1つには選択肢を父親と母親で同じにしたため、母親の場合には、他に選択する余地がなかったのかもしれないし、あるいは、いわゆる「ガミガミ母さん」が多いことへの反省を含めて、母親には本当に強く「やさしさ」が求められていると親自身が考えているのかもしれない。

次に、親の条件としての調査に対し、父親の場合、母親の場合ともに20%を上回る無回答をどう解釈すればよいだろうか。固定した父親像・母親像のイメージがない、あるいはいろいろな面からの期待や願望があって、とっさに回答がしにくいということであろうか。意味深長なとらえ方ができると思われてならない。

今回の調査結果からいえば、父親はきびしく、あるいはやさしくあってほしいものの、まずは経済力をもつべきであり、母親はともかくやさしくあってほしい、ということになる。一般に、魅力ある親の必要条件といわれる「向上心」については、今回はほとんど見向きもされなかったようである。“子どもは親の後ろ姿で育つ”といいながら、その後ろ姿に「きびしさ」や「やさしさ」だけしか求めているのであろうか。

4 本章のまとめ

この章の課題は、親の生活観はどのようなものか、親は養育者というものをどのようにとらえているのか、そして、親の生活観と養育者観はどのような関係にあるのか、といった問いかけに答えることである。

初めに述べたように、成長とはより良いものへの変化であり、子どもが成長する目標として望ましい大人の姿が必要である。養育者である親は、同時に大人のモデルでもある。そこで、養育者としての親の意識をさぐるために、「良い大人のモデルだと思う」という項目を手がかりにした。親の生活意識を表わす項目の中で、「良い大人のモデルだと思う」という項目と一番の相関がみられたのは、「毎日の生活が充実していると思う」という項目であった。ここに、親の生活観と養育者観の接点がある。この点についてはすでに「1.生活についての自己評価」において述べたとおりである。

この章をまとめるにあたって、1つの指針が必要である。「1.生活についての自己評価」での分析の中で、良い大人のモデルであるための条件には、2種類のものがあることを指摘した。例えば、「してはいけないことはしない」というのは必要条件であり、「仕事にやりがいを感じている」というのは十分条件である。

生活者にとっても、養育者にとっても「してはいけないことはしない」ということは必要条件である。ところが、現実には「子どもにいけないと言っていることをすることがない」、また、「イライラして家族にあたったりすることがない」といった回答は全体の40%以下である。前述したように、「いけないと言っていること」の中味も検討する必要があるとしても、この現状では必要条件が満たされているとは言えない。

必要条件というのはいかえれば、資格である。従って、大人として、また親としての資格に不足があるということになる。この自意識の中での抑止力の不足が子どもに反映してしまったために、学校生活での抑止力の低下がいまって、いじめが発生してきたのだろう。ものごとがうまくいかずにイライラするときに、それをじっと我慢できない弱さも調査結果の数字となって表われてきている。必要条件は他にもあるが、ここで述べた条件が最も深刻な状態にある。

必要条件が満たされていれば、一応、大人であり親である。そこで、次の成長のステップとして良い大人であり良い親であるためには、十分条件を満たさなければならない。この点に関しては、「仕事にやりがいを感じている」と答えた者の割合が89%というように、十分条件を満たしているといえる。しかし、「将来に夢(目標)をもっている」と答えた者の割合は66%とやや低めであることや、「あなたの生きがいは何ですか」という問いに22%の無回答(無効回答を含む)があったことが注目される。将来という時間と自分の存在基盤を意識から脱落させてしまい、現状に永

遠に浸っているつもりなのであろうか。成長をストップしそうな気配がこれ以上大きくならないことを願う。以上のように若干の心配はあるが、十分条件はほぼ満たされているとよい。

父親に特に必要なものとして、第1位に「経済力」が選択されたことも、家庭が成立するための必要条件が食べていくこと、すなわち、「経済力」であるからであろう。人はパンだけでは生きてはいけませんが、パンがなければ生きられないということである。母親の第1位に選択された「やさしさ」は、十分条件である。しかしながら、これは親としての選択であるというよりも、むしろ生活者としての大人の性差に関する選択であって、経済力という必要条件是男性が、やさしさという十分条件は女性が分担するという通俗的選択がなされたものと考えられる。ただ、この条件を分担する形式は、子どもに対して生活の基盤にある2つの条件の存在を明確に意識づけてきた。そのために、父親と母親にそれぞれ必要な役割とこれまで考えられてきたのであろう。

親が養育者であるための必要条件是保護者であること、そして十分条件は良き大人のモデルであることといえる。ところが、現状では十分条件を見落しているために、意識的な養育をすることができず、保護者的役割だけに専念してしまい、結果として無意識の過保護が現れてくる。

以上、親の生活観には幾つかの弱点があり、その弱点がそのまま養育者としての弱点にもなっていることがわかった。そのことを親は意識的にではなくても、心の隅で察してはいるようである。この調査で判明した弱点をいつまでも弱点のままに放置しておくことはできない。特効薬など存在しない今、たとえ対症療法ではあっても、弱点のこれ以上の拡大だけは防ぐことができるはずである。そして、その後に健康な養育者への根気強いリハビリテーションが待っている。

第4章 結論と今後の課題

本調査の結果を分析する場合、次のような背景を常に念頭におきながら検討・解釈を加えていくことが必要であろう。

近年、家庭をめぐる問題として、産業構造の変化、物質的に豊かな社会の到来、核家族化、少子家族化、就労婦人の増加、情報のはん濫、高学歴化、価値観の多様化等々、社会状況が著しく変化している中で、子どもの成長に影響を与える種々の問題状況の発生や家庭の教育機能の低下が指摘されている。また、子どもを取り巻く問題として、テレビの長時間視聴、遊び時間の減少、手伝いの減少等がある。

本調査のねらいとも関連がある親の養育態度に関しては、過保護、過干渉、放任、知育偏重、あるいは家庭における厳母慈父、慈父慈母、父親不在、近隣とのつきあいの減少や子育ての相談相手の減少による不安の増大等の問題が生じている。このため、子どもの成長の過程において達成されるべき発達課題が適時に十分達成されず、基本的な生活習慣、忍耐心、思いやる心等の欠如も生じている。ひいては、このことがいじめ、非行など青少年の問題行動の要因の1つにもなっているとの指摘が多い。

以上のように、子育てを取り巻く問題は複雑多岐にわたっているが、今回の調査は、親が一体どのような日常生活を送り、どういった生活観や養育者観をもって生活しているのかに絞り、その実態を明らかにして、親としての望ましいあり方を探ろうとしたのである。

そこで、結論というより各章ごとの問題点をかいつまんで指摘したい。これらの問題点については諸々の家庭教育に関する会議や集会等の場で検討資料として活用していただければ幸いである。

○第1. 親の日常生活の実態に関する問題点

「子どもの生活リズムの乱れや健康状態に強い関心を示す親が、自分の生活リズムの乱れや健康に関しては案外無関心である」

「不器用になった子どもたちを問題だという一方で、親自身が手先を使うことが少ない」

「テレビの視聴（時間・内容）は、親子ともルーズである。親の読書傾向では、単行本の小説やエッセーを読むことが少ない」

「子どもに食べ物を粗末にはしていないと“しつけ”ながら、親は粗末にしている」

○第2. 親の社会生活の実態に関する問題点

「近所づきあいでは、挨拶や雑談程度はほとんどの親がしているが、親しく訪問できる家をもたない親がかなりいる」

「地域の行事や集会に積極的に参加している者は多いとはいえない。また、地域やPTAの世話役は一生懸命やっているが、経験（日数）は多くない」

「新聞の社会面や政治面は母親が、市町村の広報紙や学校からのプリントは父親があまり読んでいない」

「電車やバスの中でお年寄りに対する思いやりのある行動は示すが、高校生の喫煙に対する注意は大多数の親がちゅうちょする」

○第3. 親の生活観と養育者観の実態に関する問題点

「子どもにしてはいけないとっていることを親自身がすることがある。また、イライラして家族にあたりたりすることがあると答えた親が過半数を占める」

「良い大人のモデルである条件は、規則正しい生活をしていることはもちろんであるが、仕事（役割）にやりがいを感じていること、将来に夢（目標）をもっていることであるとほとんどの親が考えている」

・ 「親に特に必要なものとして、父親には“経済力”、母親には“やさしさ”が選択された」以上が結果の要約である。

現代の子どもたちは、未曾有の環境激変の中に生まれ、育っている。姿・形は昔とさほど変わらないにしても、その心理や性格は全く新しい人類の出現であるといっても誇張ではないように思われる。今の親が自分の子ども時代を思い出して今の子どもの心理や行動を理解したり共感したりしようと試みることは、残念ながらほとんど意味がないように考えられる。それは、子どもの問題行動の多発を思うように防止できないことに例をとっても分かるように、パーソナリティが昔とは大きく変わっているからである。その点についての親の適切な認識のないために、対応にズレが生じているのであろう。

子どものさまざまな問題性が各方面から指摘され始めて久しいが、こうした状況はいくつかの要因が複雑に絡みあって生じていることは周知のとおりである。その中で最も大きな原因は、親の子どもに対する日ごろの接し方、養育態度・行動にあると考えられている。身心ともに健康な子どもを育てるには、子どもにどのように接し育てるか、親の的確な養育処方が問われるというところであろう。過去に考えられていたような「親の後ろ姿」の効用は、現在のような複雑な社会の中では余り期待がもてないのではなかろうか。もっと踏み込んだ親の意思、家族への働きかけが必要となってきた。際立つのは、その言動を支えている周到な現状の認識であり、的確な将来の見通しであろう。

今回は、先述してきたようなことに配慮しながら、親子の関係のゆがみ、行き過ぎを調整し、是正していくためには具体的に親はどうすればよいか、その手がかりの一端として「親の後ろ姿」をみようとした。本報告書が今後の望ましい家庭教育のあり方を探る1つの手がかりの基礎資料として、あらゆる機会に活用されることを切に願ってやまない。

資 料 編

保 護 者 の 皆 様 へ

「小・中学生をもつ親の日常生活についてのアンケート」についてのお願い

このアンケートは、福岡県立社会教育総合センターと福岡県家庭教育企画推進委員会が、現代の家庭教育の中心的な担い手である、小・中学生をもつ父親や母親の日常生活の姿を知ることによって、これからの子育てのあり方を考える資料にしようとするものです。

アンケートにはお名前を書く必要はありません。結果は一括してコンピュータで処理し、個人を問題にすることは決してありません。あくまでも全体的な傾向を知るためのものですので、できるだけありのままお答えください。

お忙しい折り恐縮ですが、よろしくご協力くださいますようお願い申し上げます。

調 査 票

小・中学生をもつ親の日常生活についてのアンケート

※記入の仕方についてのお願い

1. 各質問に対するお答えは、特に指定したもの以外は、回答項目のうち最もあてはまるものの番号（1. 2. 3. など）を1つだけ選んで○でかこんでお答えください。
2. 次の欄に必要事項をご記入くださるようお願いいたします。

お子さんは何人いますか	ご記入くださった方	ご記入くださった方の年齢
1. 小学生の子ども 男 人 女 人	1. 父 親	1. 20代 2. 30代
2. 中学生の子ども 男 人 女 人	2. 母 親	
3. 小・中学生以外の子ども 男 人 女 人	3. その他（ ）	3. 40代 4. 50代以上

1. あなたは、毎日規則正しい生活をしていると思いますか。
 1. 非常に規則正しい生活をしている
 2. まあまあ規則正しい生活をしている
 3. あまり規則正しい生活をしていない
 4. 全く規則正しい生活をしていない
2. あなたは、ふだん何時ごろ起きていますか。（土・日を除く）
 1. 6時以前
 2. 6時～6時30分
 3. 6時30分～7時
 4. 7時～7時30分
 5. 7時30分～8時
 6. 8時以降
3. あなたは、ふだん何時ごろ寝ていますか。（土・日を除く）
 1. 9時以前
 2. 9時～9時30分
 3. 9時30分～10時
 4. 10時～10時30分
 5. 10時30分～11時
 6. 11時～11時30分
 7. 11時30分～12時
 8. 12時～12時30分
 9. 12時30分以降
4. あなたは、毎日の生活が充実していると思いますか。
 1. 非常に充実していると思う
 2. まあまあ充実していると思う
 3. あまり充実しているとは思わない
 4. 全く充実しているとは思わない
5. あなたは、自分の仕事（役割）にやりがいを感じていますか。
 1. 非常にやりがいを感じている
 2. まあまあやりがいを感じている
 3. あまりやりがいを感じていない
 4. 全くやりがいを感じていない
6. あなたの生きがいは何ですか。次の中から上位3つを選んで（ ）の中に順番をつけてください。
 1. 子ども （ ）
 2. 夫（妻）（ ）
 3. 仕事 （ ）
 4. 家事 （ ）
 5. 趣味・遊び（ ）
 6. お金 （ ）
 7. その他（ ）（ ）

7. あなたは、テレビを1日にどのくらい見えていますか。(土・日)
1. ほとんど見ていない 2. 30分以下 3. 30分～1時間 4. 1時間～2時間
5. 2時間～3時間 6. 3時間～4時間 7. 4時間以上
8. あなたは、テレビを見ながら食事をすることがありますか。
1. よくある 2. 時々ある 3. ほとんどない 4. 全くない
9. あなたは、ついダラダラとテレビを見て後悔することがありますか。
1. よくある 2. 時々ある 3. ほとんどない 4. 全くない
10. あなたは、単行本の小説やエッセーなどを読むことがありますか。
1. よく読む 2. 時々読む 3. ほとんど読まない 4. 全く読まない
11. あなたは、漫画本や肩のこらない週刊誌を読むことがありますか。
1. よく読む 2. 時々読む 3. ほとんど読まない 4. 全く読まない
12. あなたは、新聞の政治面や社会面を読んでいますか。
1. いつも読む 2. 時々読む 3. ほとんど読まない 4. 全く読まない
13. あなたは、市町村の発行する広報紙を読んでいますか。
1. いつも読む 2. 時々読む 3. ほとんど読まない 4. 全く読まない
14. あなたは、お子さんが学校からもらってくるプリント(学級だよりやPTAからの連絡プリントなど)を読んでいますか。
1. いつも読む 2. 時々読む 3. ほとんど読まない 4. 全く読まない
15. あなたは、地域の行事や集会に参加していますか。
1. いつも参加している 2. 時々参加している
3. ほとんど参加していない 4. 全く参加していない
- ※ 質問15で1あるいは2に回答した方のみ、次の質問16にお答えください。また、質問15で3あるいは4に回答した方のみ、質問17にお答えください。
16. あなたが、地域の行事や集会に参加するのは次のどの理由からですか。
1. 近所づきあいは大切だから 2. 人間関係を広げたいから 3. 楽しいから
4. なんとなく 5. 参加しないと非難されるから 6. その他()
17. あなたが、地域の行事や集会に参加しないのは次のどの理由からですか。
1. 忙しいから 2. 面倒だから 3. 地域の行事や集会に意義を認めないから
4. なんとなく 5. その他()
18. あなたは、町内会や育成会(子ども会)の役員など地域の世話役を何かしたことがありますか。
1. 全くない 2. 1回ある 3. 2回ある 4. 3回ある
5. 4回ある 6. 5回以上ある

19. あなたは、P T Aの世話役を何かしたことがありますか。
1. 全くない 2. 1回ある 3. 2回ある 4. 3回ある
5. 4回ある 6. 5回以上ある
20. あなたは、地域やP T Aの世話役になった場合、どのようにその役を果たしていますか。(質問19で、2～6のいずれかに回答した方のみお答えください。)
1. 一生懸命やるようにしている 2. ほどほどにやるようにしている
3. あまり熱心にやっていない 4. その他()
21. あなたは、隣近所の人と雑談をすることがありますか。
1. よくある 2. 時々ある 3. ほとんどない 4. 全くない
22. あなたは、近所の人と出会ったとき、あいさつしたり声をかわしたりしますか。
1. よくする 2. 時々する 3. ほとんどしない 4. 全くしない
23. あなたは、気軽に行き来できる家を近所に何軒くらいもっていますか。
1. 全くない 2. 1軒 3. 2軒 4. 3軒
5. 4軒 6. 5軒以上
24. あなたは、近所づきあいをわずらわしいと思うことがありますか。
1. よくある 2. 時々ある 3. ほとんどない 4. 全くない
25. あなたは、電車やバスの中でお年寄りが荷物を持って立っているのを見たらどうしますか。
(あなた自身は席にすわっているとして)
1. 積極的に席をゆずったり、荷物を持ってあげたりすると思う。
2. 席をゆずったり、荷物を持ってあげたいと思うが、実際には声をかけないと思う。
3. 別に席をゆずったり、荷物を持ってあげようとは思わない。
4. その他()
26. あなたは、電車やバスの中で高校生がタバコを吸っているのを見たらどうしますか。
1. やめるように注意すると思う。
2. 注意したいと思うが、実際にはしないと思う。
3. 別に注意しようとは思わない。
4. その他()
27. あなたは、まだ食べられるのに食物を残したり、捨てたりすることがありますか。
1. よくある 2. 時々ある 3. ほとんどない 4. 全くない
28. あなたは、間食をすることがありますか。
1. よくある 2. 時々ある 3. ほとんどない 4. 全くない

集 計 結 果

(凡例)

分類	標 示	内 容	件 数
全体	全 体	調査件数(2,730件)のうち、集計・分析した全数	2,588
性 別	父 親	全数のうち、記入者が「父親」となっているもの	977
	母 親	全数のうち、記入者が「母親」となっているもの	1,575
年 齢 別	30 歳代	全数のうち、記入者の年齢が「30代」となっているもの	1,302
	40 歳代	全数のうち、記入者の年齢が「40代」となっているもの	1,177
子 ども の 人 数 別	1 人 子	全数のうち、記入者の子どもが「1人」となっているもの	226
	2 人 子	全数のうち、記入者の子どもが「2人」となっているもの	1,415
	3 人 子	全数のうち、記入者の子どもが「3人」となっているもの	806
子 学 校 の 別	小 学 生	全数のうち、記入者の子どもが小学生だけであるもの	576
	中 学 生	全数のうち、記入者の子どもが中学生だけであるもの	213
地 域 別	都 市 部	調査実施校(地)が福岡市又は北九州市であるもの	762
	福 岡 市	調査実施校(地)が福岡市であるもの	417
	北九州市	調査実施校(地)が北九州市であるもの	345
	粕 屋 郡	調査実施校(地)が粕屋郡であるもの	690
	筑 豊	調査実施校(地)が筑豊地域(田川市又は嘉穂郡)であるもの	714
	筑 後	調査実施校(地)が筑後地域(浮羽・三井・三潞郡)であるもの	410

(全員)

問	肢	全体	30歳代	40歳代	1人子	2人子	3人子	小学生	中学生	都市部	福岡市	北九市	粕屋郡	筑豊	筑後
総	数	2588	1302	1177	226	1415	806	576	213	762	417	345	690	714	410
1	1	342	158	167	37	178	105	69	39	81	46	35	100	103	57
	2	1904	967	862	156	1045	601	433	143	572	309	263	514	511	296
	3	281	143	123	27	157	84	64	24	86	52	34	67	81	47
	4	45	26	18	4	23	16	9	4	18	8	10	6	15	6
	NA	16	8	7	2	12	0	1	3	5	2	3	3	4	4
2	1	581	256	299	49	284	211	84	51	112	48	64	168	147	154
	2	971	486	448	75	537	302	220	75	270	124	146	257	274	162
	3	651	362	258	64	374	183	173	54	226	137	89	187	179	57
	4	248	131	107	24	138	74	66	19	96	63	33	57	75	19
	5	83	36	44	10	49	21	22	6	31	25	6	16	25	10
	6	46	28	16	3	28	13	9	7	23	19	4	4	12	7
	NA	8	3	5	1	5	2	2	1	4	1	3	1	2	1
3	1	19	6	12	3	8	4	5	2	6	2	4	6	7	0
	2	90	33	44	8	48	32	21	13	20	7	13	17	31	22
	3	179	86	80	20	85	64	42	10	46	15	31	40	70	23
	4	305	144	145	25	172	94	67	15	70	26	44	72	87	76
	5	607	304	286	49	329	189	135	50	154	78	76	164	168	117
	6	664	347	293	61	380	192	152	63	186	100	86	199	184	92
	7	418	217	187	30	226	142	80	31	144	87	57	126	100	46
	8	147	74	68	11	83	46	42	8	54	38	16	40	33	18
	9	145	83	56	16	76	40	28	18	75	61	14	24	32	13
	NA	14	8	6	3	8	3	4	3	7	3	4	2	2	3
4	1	310	151	143	39	156	91	60	36	89	51	38	85	90	46
	2	1866	937	859	148	1054	569	431	138	553	293	260	490	515	298
	3	368	194	153	36	178	135	80	33	109	68	41	104	98	55
	4	31	16	13	2	18	8	4	4	8	4	4	9	8	6
	NA	13	4	9	1	9	3	1	2	3	1	2	2	3	5
5	1	719	322	363	63	382	227	147	58	203	119	84	180	210	123
	2	1578	811	703	136	888	479	357	138	483	256	227	426	419	244
	3	250	152	90	19	129	88	62	11	64	35	29	75	70	38
	4	25	11	13	5	10	7	6	4	6	3	3	6	10	3
	NA	16	6	8	3	6	5	4	2	6	4	2	3	5	2
6	1	1294	640	590	115	714	396	287	99	350	211	139	338	398	201
	2	305	177	119	20	169	103	71	22	103	41	62	89	67	44
	3	272	102	162	24	152	83	59	29	107	51	56	56	63	44
	4	17	8	9	0	9	7	0	0	3	2	1	6	7	1
	5	48	27	19	4	25	18	11	4	21	11	10	17	6	4
	6	34	12	22	8	18	14	5	1	10	6	4	8	8	8
	7	37	19	18	0	15	11	10	4	7	4	3	13	9	8
	NA	581	317	238	55	313	174	133	54	161	91	70	163	156	100
7	1	130	70	58	8	65	46	20	7	31	15	16	44	42	12
	2	151	73	73	4	79	55	26	7	37	16	21	42	36	36
	3	541	260	262	41	295	182	119	49	175	92	83	140	128	97
	4	802	391	376	75	432	251	189	73	241	150	91	224	189	142

(全 員)

問	肢	全 体	30歳代	40歳代	1人子	2人子	3人子	小学生	中学生	都市部	福岡市		北九市	杵築郡	筑 豊	筑 後
											福岡市	北九市				
7	5	625	313	283	68	345	188	147	46	177	93	84	158	196	91	
	6	242	143	89	24	142	60	63	22	74	35	39	67	78	22	
	7	82	47	26	5	49	18	11	8	23	13	10	14	40	5	
	NA	15	5	10	1	8	6	1	1	4	3	1	1	5	5	
8	1	788	370	379	83	439	231	166	82	240	148	92	212	224	109	
	2	1011	504	465	84	549	324	220	79	307	175	132	264	282	152	
	3	468	258	193	38	263	139	124	37	135	64	71	115	134	82	
	4	312	167	135	21	161	109	65	15	79	29	50	99	70	63	
	NA	9	3	5	0	3	3	1	0	1	1	0	0	4	4	
9	1	158	76	72	17	92	41	35	15	55	27	28	41	44	17	
	2	903	443	423	82	500	275	193	75	265	146	119	248	252	134	
	3	1028	526	462	83	561	333	245	87	316	175	141	265	269	175	
	4	471	245	205	40	246	151	100	33	116	66	50	129	143	79	
	NA	28	12	15	4	16	6	3	3	10	3	7	7	6	5	
10	1	468	248	200	45	265	136	111	33	154	81	73	148	116	49	
	2	1119	567	507	95	615	344	242	93	339	182	157	308	306	157	
	3	777	383	365	64	434	245	177	64	213	119	94	189	215	158	
	4	216	100	102	22	99	75	43	23	53	33	20	44	75	44	
	NA	8	4	3	0	2	6	3	0	3	2	1	1	2	2	
11	1	201	117	78	24	105	60	46	17	58	35	23	53	60	29	
	2	1314	699	565	110	740	397	312	104	377	213	164	342	367	221	
	3	840	386	417	66	460	269	176	67	269	141	128	231	217	120	
	4	223	96	112	22	109	75	40	23	56	27	29	63	66	37	
	NA	10	4	5	4	1	5	2	2	2	1	1	1	4	3	
12	1	1326	570	701	107	749	407	294	111	412	227	185	371	361	178	
	2	1073	610	418	96	583	330	238	81	312	172	140	270	291	193	
	3	158	108	45	17	72	56	36	15	33	14	19	42	50	32	
	4	28	13	11	5	11	11	8	5	4	3	1	7	11	6	
	NA	3	1	2	1	0	2	0	1	1	1	0	0	1	1	
13	1	1441	731	659	106	803	451	301	111	392	217	175	421	394	223	
	2	957	472	440	94	519	293	216	85	300	158	142	216	275	165	
	3	149	78	64	20	74	47	46	14	53	28	25	44	34	18	
	4	34	18	11	4	17	12	12	2	15	12	3	8	9	2	
	NA	7	3	3	2	2	3	1	1	2	2	0	1	2	2	
14	1	1855	998	784	163	1015	589	373	161	523	292	231	511	524	287	
	2	582	245	301	47	319	172	168	38	187	100	87	144	149	101	
	3	124	49	71	14	69	35	30	12	47	24	23	29	33	15	
	4	21	8	10	1	10	8	4	1	5	1	4	5	7	4	
	NA	6	2	4	1	2	2	1	1	0	0	0	1	1	3	
15	1	870	470	377	62	472	285	184	66	213	115	98	261	204	186	
	2	1263	636	571	108	694	395	277	105	364	174	190	335	371	189	
	3	361	157	184	40	201	102	91	29	147	101	46	77	108	28	
	4	91	38	44	16	48	21	24	13	38	27	11	17	30	5	
	NA	3	1	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	1	2	

(全 員)

問	肢	全 体	30歳代	40歳代	1人子	2人子	3人子	小学生	中学生	都市部	福岡市		粕屋郡	筑 豊	筑 後
											福岡市	北九市			
16	1	989	513	433	85	551	310	218	86	242	129	113	285	291	168
	2	673	325	322	49	358	224	138	47	195	86	109	171	174	128
	3	102	60	38	10	53	32	26	13	41	22	19	19	28	14
	4	129	67	60	10	83	28	38	8	42	21	21	39	28	19
	5	46	33	12	3	29	12	10	2	9	3	6	12	17	8
	6	73	38	34	3	39	25	12	4	19	11	8	27	16	11
	NA	576	266	278	66	302	175	134	53	214	145	69	137	160	62
17	1	234	95	123	28	127	66	51	21	102	70	32	49	66	17
	2	50	21	28	7	27	16	14	8	22	15	7	8	16	4
	3	31	17	14	1	16	12	4	0	12	8	4	9	7	2
	4	64	26	33	12	36	14	25	8	25	16	9	13	22	3
	5	51	30	18	6	29	11	15	4	17	13	4	9	21	4
	NA	2158	1113	961	172	1180	687	467	0	584	295	289	602	582	380
18	1	622	341	242	82	318	190	182	48	230	144	86	128	188	72
	2	727	412	283	58	423	215	206	43	183	91	92	242	185	115
	3	545	254	273	42	310	159	107	54	132	71	61	150	156	104
	4	278	123	148	18	161	86	34	27	64	36	28	92	67	53
	5	120	55	61	11	56	47	14	15	46	26	20	26	35	13
	6	276	108	161	14	137	101	30	25	103	47	56	47	78	47
	NA	20	9	9	1	10	8	3	1	4	2	2	5	5	6
19	1	1146	564	517	131	628	330	317	89	367	216	151	284	379	115
	2	626	356	249	51	346	197	144	48	139	78	61	216	149	126
	3	346	164	172	19	192	110	52	30	82	40	42	110	71	80
	4	195	106	85	8	98	74	35	13	59	27	32	39	47	48
	5	77	37	37	7	41	27	9	11	27	15	12	18	21	11
	6	173	66	104	6	102	59	15	19	83	38	45	20	40	26
	NA	25	9	13	4	8	9	4	3	5	3	2	7	7	4
20	1	1332	693	601	89	761	414	268	112	399	205	194	384	323	218
	2	383	204	168	37	199	123	72	38	100	51	49	115	94	72
	3	71	33	35	4	40	23	17	6	8	6	2	16	27	20
	4	35	22	10	2	21	9	10	1	4	2	2	6	14	11
	NA	767	350	363	94	394	237	209	56	251	153	98	169	256	89
21	1	807	424	350	63	433	274	157	53	240	143	106	212	201	150
	2	1412	692	659	118	777	432	307	131	388	202	186	393	407	216
	3	299	146	140	35	167	82	93	20	109	65	44	71	81	38
	4	55	30	25	9	28	15	15	5	22	15	7	13	17	3
	NA	15	10	3	1	10	3	4	4	3	1	2	1	8	3
22	1	2257	1137	1026	192	1236	704	491	189	634	341	293	608	632	371
	2	310	153	143	33	166	96	79	23	119	71	48	80	77	34
	3	12	8	4	1	8	3	4	1	8	5	3	2	0	2
	4	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	NA	8	4	3	0	4	3	2	0	1	0	1	0	4	3
23	1	367	167	181	45	214	93	114	30	148	92	56	95	86	37
	2	347	168	163	33	202	99	94	26	105	56	49	81	121	37
	3	572	316	231	38	338	168	110	42	161	81	80	153	165	89

(全 員)

問	肢	全 体	30歳代	40歳代	1人子	2人子	3人子	小学生	中学生	都市部	福岡市		粕屋部	筑 豊	筑 後
											福岡市	北九市			
23	4	490	257	214	43	257	158	93	46	127	75	52	145	126	91
	5	221	111	103	23	108	75	45	19	53	20	33	65	70	32
	6	553	270	265	39	278	202	107	48	158	89	69	142	135	116
	NA	38	13	20	5	18	11	13	2	10	4	6	9	11	8
24	1	154	89	62	17	91	40	51	12	54	32	22	38	37	25
	2	1,134	615	483	85	650	344	271	81	318	176	142	325	315	169
	3	986	464	465	100	524	302	205	91	317	169	148	251	254	160
	4	299	125	159	24	142	115	46	29	71	39	32	72	102	53
	NA	15	5	8	0	8	5	3	0	2	1	1	4	6	3
25	1	1,953	1,012	871	168	1,060	623	438	164	594	333	260	542	525	283
	2	504	232	243	46	287	141	113	35	129	66	63	117	149	106
	3	36	15	19	2	20	10	6	3	13	6	7	6	13	4
	4	71	37	29	9	36	22	15	10	22	9	13	19	18	12
	NA	24	6	15	1	12	10	4	1	4	2	2	6	9	5
26	1	326	130	174	29	174	100	57	35	95	53	42	77	102	51
	2	1,860	954	841	171	1,021	571	423	151	562	306	256	519	472	297
	3	321	185	120	20	185	101	86	16	84	47	37	76	109	51
	4	48	23	22	3	22	21	6	7	15	10	5	8	20	5
	NA	33	10	20	3	13	13	4	4	6	1	5	10	11	6
27	1	104	60	39	13	62	25	29	9	28	17	11	24	36	15
	2	1,155	644	466	106	654	340	262	96	351	198	153	334	308	156
	3	987	478	469	87	526	317	223	88	291	159	132	243	265	185
	4	328	113	198	19	165	120	61	18	90	41	49	87	98	51
	NA	14	7	5	1	8	4	1	2	2	2	0	2	7	3
28	1	418	246	154	34	231	134	111	28	124	67	57	108	117	63
	2	1,343	691	603	124	711	427	262	117	362	204	158	367	381	229
	3	688	305	345	60	384	207	174	60	223	120	103	182	182	99
	4	129	56	70	6	84	36	29	6	49	24	25	32	32	16
	NA	10	4	5	2	5	2	0	2	4	2	2	1	2	3
29	1	127	79	41	12	70	36	40	10	36	20	16	39	32	17
	2	933	501	396	96	500	287	206	82	277	162	115	256	237	158
	3	1,187	570	570	86	663	377	245	93	343	180	163	322	340	179
	4	329	148	163	31	175	102	83	28	103	53	50	71	104	50
	NA	12	4	7	1	7	4	2	0	3	2	1	2	1	6
30	1	138	76	56	18	74	38	38	16	41	20	21	37	42	18
	2	1,456	784	619	124	815	437	348	112	453	235	218	397	380	215
	3	867	392	433	73	462	289	172	72	236	143	93	227	251	152
	4	103	39	57	8	47	39	15	11	24	16	8	23	38	18
	NA	24	11	12	3	17	3	3	2	8	3	5	6	3	7
31	1	204	115	76	16	105	70	43	18	68	31	37	53	56	27
	2	1,539	823	661	128	852	477	354	111	421	229	192	432	429	247
	3	694	306	360	62	378	215	143	68	234	133	101	173	176	109
	4	128	48	68	19	64	38	33	15	37	23	14	27	46	18
	NA	23	10	12	1	16	6	3	1	2	1	1	5	7	9

(全 員)

問	肢	全 体	30歳代	40歳代	1人子	2人子	3人子	小学生	中学生	都市部	福岡市		北九市	粕屋郡	筑 豊	筑 後
											福岡市	北九市				
32	1	105	55	43	7	56	33	28	6	32	19	13	22	34	16	
	2	1,357	740	568	108	739	456	303	103	405	221	184	376	358	209	
	3	891	409	445	90	500	244	204	84	255	141	114	231	248	155	
	4	217	91	110	20	109	70	38	19	67	34	33	58	70	22	
	NA	18	7	11	1	11	3	3	1	3	2	1	3	4	8	
33	1	1,556	795	688	129	833	501	336	124	457	255	202	404	448	242	
	2	964	478	456	89	543	288	229	80	288	153	135	265	255	149	
	3	35	17	15	5	19	9	9	5	10	3	7	9	10	6	
	NA	33	12	18	3	20	8	2	4	7	6	1	12	1	13	
34	1	679	288	347	49	343	239	138	55	171	102	69	169	205	132	
	2	1,135	562	533	101	639	341	275	100	341	179	162	295	324	172	
	3	522	308	197	52	282	162	114	35	176	103	73	150	120	72	
	4	231	136	88	21	138	59	46	19	67	29	38	72	60	29	
	NA	21	8	12	3	13	5	3	4	7	4	3	4	5	5	
35	1	1,071	602	429	92	571	340	208	86	296	169	127	281	317	171	
	2	782	412	340	70	433	244	176	68	231	128	103	225	199	122	
	3	303	114	170	23	163	97	72	27	91	53	38	79	84	48	
	4	392	163	211	36	224	114	112	28	132	59	73	95	106	59	
	NA	40	11	27	5	24	11	8	4	12	8	4	10	8	10	
36	1	342	171	146	35	195	92	74	33	96	54	42	90	101	54	
	2	349	149	187	24	196	108	82	27	98	49	49	89	105	57	
	3	226	121	101	12	123	75	55	15	70	35	35	60	63	31	
	4	173	77	94	14	92	59	32	17	48	29	19	55	42	25	
	5	205	112	86	19	117	56	51	11	69	33	36	45	56	33	
	6	44	21	21	4	31	8	13	0	10	6	4	15	15	4	
	7	76	36	39	9	41	23	19	8	20	14	6	24	22	10	
	8	489	241	232	42	260	170	99	38	159	90	69	119	124	85	
	9	113	64	45	12	61	34	23	12	29	12	17	39	32	12	
	NA	571	310	226	55	299	181	128	52	163	95	68	154	154	99	
37	1	1,522	752	710	126	852	467	340	124	463	240	223	400	412	238	
	2	103	50	51	5	62	31	21	7	26	13	13	26	35	16	
	3	25	14	10	0	11	12	3	1	7	5	2	6	9	3	
	4	79	37	39	8	36	27	17	8	25	16	9	21	24	7	
	5	29	17	12	3	18	6	9	3	9	7	2	8	9	3	
	6	100	49	48	9	55	31	18	6	28	16	12	23	34	15	
	7	90	54	34	12	47	28	29	7	29	15	14	26	26	9	
	8	24	10	14	4	12	7	3	5	5	2	3	6	8	5	
	9	12	2	8	0	5	5	1	0	4	3	1	4	4	0	
	NA	604	317	251	59	317	192	135	52	166	100	66	170	153	114	
38	1	91	41	47	6	43	31	20	7	31	23	8	24	26	9	
	2	1,455	712	687	132	805	444	308	135	430	219	211	411	383	226	
	3	971	516	408	82	529	310	235	65	280	161	119	238	290	158	
	4	38	23	13	4	20	11	11	3	10	6	4	7	13	8	
	NA	33	10	22	2	18	10	2	3	11	8	3	10	2	9	

(父 親)

問	肢	全 体	30歳代	40歳代	1人子	2人子	3人子	小学生	中学生	都市部	福 岡 市			筑 豊	筑 後
											福岡市	北九市	粕屋部		
総	数	977	354	572	83	534	307	244	83	310	159	151	229	269	168
1	1	107	38	62	17	47	36	27	12	27	14	13	26	35	19
	2	652	220	399	48	364	207	165	53	213	106	107	160	169	109
	3	180	77	92	14	105	52	44	13	54	33	21	39	53	34
	4	31	14	17	2	15	12	7	2	13	5	8	4	9	5
	NA	7	5	2	2	4	0	1	3	3	1	2	0	3	1
2	1	127	38	76	13	64	42	26	11	27	10	17	29	41	30
	2	293	86	193	28	153	96	73	24	95	37	58	65	72	61
	3	261	96	152	20	146	78	71	22	81	44	37	72	66	42
	4	176	77	91	13	98	57	45	15	60	34	26	43	54	18
	5	75	32	41	5	47	21	18	4	26	20	6	16	23	10
	6	39	23	15	3	22	12	9	6	18	14	4	4	11	6
	NA	6	2	4	1	4	1	2	1	3	0	3	0	2	1
3	1	13	4	9	2	5	3	3	1	4	2	2	4	5	0
	2	50	12	30	4	28	16	10	11	10	4	6	6	19	15
	3	86	33	48	8	39	35	21	4	28	6	22	13	33	12
	4	116	42	68	7	61	43	29	3	32	11	21	26	27	31
	5	215	70	139	17	114	71	51	19	58	29	29	56	51	49
	6	226	76	138	23	141	50	59	22	70	33	37	62	68	26
	7	145	55	83	10	78	51	33	11	53	38	15	38	37	17
	8	57	26	27	5	31	17	20	4	19	9	10	14	16	8
	9	60	32	25	5	32	19	14	6	32	26	6	9	11	8
	NA	9	4	5	2	5	2	4	2	4	1	3	1	2	2
4	1	107	40	62	15	56	30	25	14	37	22	15	28	25	17
	2	701	256	414	54	394	218	180	52	228	111	117	163	195	114
	3	149	52	83	13	75	51	35	14	39	22	17	36	43	31
	4	15	5	9	0	7	6	3	2	5	4	1	1	5	4
	NA	5	1	4	1	2	2	1	1	1	0	1	1	1	2
5	1	333	131	187	29	182	104	80	30	106	61	45	71	94	61
	2	538	185	324	46	297	168	137	46	180	88	92	134	133	91
	3	89	31	51	6	48	28	22	5	20	8	12	23	33	13
	4	14	5	9	1	6	6	4	1	3	2	1	1	7	3
	NA	3	2	1	1	1	1	1	1	1	0	1	0	2	0
6	1	463	167	268	47	246	144	122	39	115	64	51	111	150	86
	2	66	25	36	3	38	20	17	5	32	11	21	15	12	7
	3	216	75	133	16	126	66	49	22	87	41	46	48	47	34
	4	2	1	1	0	0	2	0	0	1	1	0	0	1	0
	5	25	13	12	2	12	11	6	2	10	4	6	8	4	3
	6	23	6	17	0	11	11	4	0	7	4	3	4	5	7
	7	15	5	10	3	6	4	3	3	4	1	3	4	3	4
	NA	167	62	95	12	95	49	43	12	54	33	21	39	47	27
7	1	27	8	19	2	15	7	5	1	10	2	8	6	6	5
	2	45	11	32	0	26	16	8	2	9	2	7	17	11	8
	3	179	59	112	11	100	62	42	14	73	35	38	39	33	34
	4	347	129	200	32	184	112	94	35	109	60	49	78	89	71

(父親)

問	肢	全 体	30歳代	40歳代	1人子	2人子	3人子	小学生	中学生	都市部	福岡市	北九市	粕屋郡	筑 豊	筑 後
7	5	251	92	143	25	137	78	64	18	70	39	31	63	81	36
	6	96	47	45	10	57	21	29	8	27	12	15	23	33	13
	7	26	7	16	2	13	8	2	4	9	7	2	3	14	0
	NA	6	1	5	1	2	3	0	1	3	2	1	0	2	1
8	1	357	134	204	36	200	104	85	43	116	71	45	84	106	50
	2	364	125	218	26	201	117	91	23	117	56	61	83	100	64
	3	157	58	91	14	82	51	47	11	50	23	27	34	42	31
	4	95	36	56	7	49	33	20	6	26	8	18	28	20	21
	NA	4	1	3	0	2	2	1	0	1	1	0	0	1	2
9	1	54	16	33	3	33	15	9	6	18	10	8	13	16	7
	2	330	104	207	32	185	96	75	32	96	48	48	88	96	50
	3	386	156	210	30	200	139	106	33	136	68	68	83	99	68
	4	200	75	118	16	113	55	52	11	58	32	26	45	56	40
	NA	7	3	4	2	3	2	2	1	2	1	1	0	2	3
10	1	158	54	93	16	86	52	39	12	60	29	31	44	34	20
	2	345	117	209	26	193	105	84	28	116	63	53	82	97	49
	3	368	145	208	29	209	114	97	31	106	50	56	85	103	74
	4	103	38	59	12	46	33	24	12	27	16	11	18	35	23
	NA	3	0	3	0	0	3	0	0	1	1	0	0	0	2
11	1	89	44	44	9	47	28	18	13	28	18	10	24	23	14
	2	501	200	282	40	284	153	141	39	152	80	72	115	144	89
	3	302	88	190	24	161	98	73	21	104	50	54	75	78	45
	4	82	22	54	8	42	27	11	9	26	11	15	14	23	19
	NA	3	0	2	2	0	1	1	1	0	0	0	1	1	1
12	1	681	216	430	51	379	217	159	61	224	113	111	168	184	104
	2	268	122	132	29	143	80	79	19	81	43	38	56	73	58
	3	19	12	6	1	10	6	5	1	3	1	2	4	8	4
	4	8	4	3	2	2	3	1	2	2	2	0	1	4	1
	NA	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
13	1	383	116	249	31	202	128	86	36	105	61	44	96	109	72
	2	470	179	263	38	268	139	116	36	156	71	85	95	136	83
	3	99	46	50	12	50	32	34	8	37	17	20	32	20	10
	4	22	11	9	1	13	7	8	2	11	9	2	6	4	1
	NA	3	2	1	1	1	1	0	1	1	1	0	0	0	2
14	1	377	117	234	34	200	124	72	41	99	56	43	80	109	79
	2	455	179	257	33	256	140	137	28	160	78	82	107	121	67
	3	123	49	70	14	69	34	30	12	46	24	22	29	33	15
	4	19	8	9	1	8	8	4	1	5	1	4	4	6	4
	NA	3	1	2	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	3
15	1	254	87	156	23	130	85	69	24	57	29	28	65	62	69
	2	456	169	262	28	255	150	101	32	144	60	84	112	124	76
	3	205	77	117	24	116	55	56	20	79	50	29	44	66	16
	4	60	21	36	8	33	15	18	7	30	20	10	8	17	5
	NA	2	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2

(父 親)

問	肢	全 体	30歳代	40歳代	1人子	2人子	3人子	小学生	中学生	都市部	福岡市		粕屋郡	筑 豊	筑 後
											福岡市	北九市			
16	1	317	109	189	24	173	107	77	19	81	39	42	85	88	63
	2	259	92	155	14	142	87	55	23	70	24	46	63	67	58
	3	34	12	19	6	19	7	10	7	16	10	6	8	7	3
	4	33	13	20	2	17	10	10	1	17	7	10	5	6	5
	5	12	7	4	0	7	4	3	1	3	1	2	3	5	1
	6	27	10	16	1	15	10	8	0	5	3	2	6	9	7
	NA	295	111	169	36	161	82	81	32	118	75	43	59	87	31
17	1	138	51	78	15	79	36	37	12	59	36	23	28	39	12
	2	34	12	21	5	18	11	10	6	16	9	7	4	12	2
	3	16	7	9	0	8	6	1	0	5	4	1	7	3	1
	4	33	10	20	7	17	8	13	6	15	9	6	5	11	2
	5	30	13	16	5	17	6	10	2	9	7	2	5	13	3
	NA	726	261	428	51	395	240	173	57	206	94	112	180	191	148
18	1	362	152	188	41	193	106	102	31	144	86	58	63	114	41
	2	228	89	128	15	140	66	67	12	68	28	40	73	51	36
	3	154	49	97	12	88	47	37	17	32	13	19	43	46	32
	4	78	21	54	8	39	28	15	10	15	8	7	23	18	22
	5	34	9	24	2	14	15	5	1	9	4	5	10	10	5
	6	114	33	75	5	57	41	18	12	40	19	21	16	29	29
	NA	7	1	6	0	3	4	0	0	2	1	1	1	1	3
19	1	690	275	380	67	396	194	200	58	243	130	113	160	216	71
	2	137	46	84	8	67	54	23	12	26	13	13	41	25	45
	3	58	12	43	5	30	19	10	3	9	5	4	15	10	23
	4	29	6	22	1	7	16	4	1	6	1	5	3	3	17
	5	14	3	9	1	6	7	1	3	4	1	3	3	5	2
	6	40	10	28	0	22	15	4	5	19	6	13	3	8	10
	NA	9	2	6	1	6	2	2	1	3	3	0	4	2	0
20	1	371	122	230	25	206	119	76	37	105	46	59	94	89	82
	2	105	38	62	11	52	35	23	6	26	9	17	31	23	25
	3	30	8	20	0	18	11	8	2	4	3	1	6	9	11
	4	11	8	3	0	7	3	4	0	3	1	2	2	3	3
	NA	460	178	257	47	251	139	133	38	172	100	72	96	145	47
21	1	252	78	160	18	131	89	48	18	58	36	22	57	69	67
	2	527	189	309	44	288	165	131	51	161	73	88	131	152	83
	3	162	72	82	14	94	46	56	8	73	39	34	35	39	15
	4	32	13	19	6	18	7	8	3	17	11	6	5	8	2
	NA	4	2	2	1	3	0	1	3	1	0	1	1	1	1
22	1	780	271	464	64	425	246	187	71	228	110	118	185	220	146
	2	185	75	104	18	100	59	53	11	75	45	30	42	48	20
	3	10	7	3	1	7	2	3	1	7	4	3	2	0	1
	4	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	NA	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1
23	1	229	89	128	26	132	61	71	21	106	63	43	63	41	19
	2	148	61	77	13	91	39	45	12	50	23	27	30	48	20
	3	177	65	101	9	111	48	35	11	56	24	32	38	54	29

(父 親)

問	肢	全 体	30歳代	40歳代	1人子	2人子	3人子	小学生	中学生	都市部	福岡市	北九市	粕屋郡	筑 豊	筑 後
23	4	143	50	87	6	75	53	27	9	34	18	16	35	38	36
	5	54	16	37	5	22	21	12	5	12	2	10	16	20	6
	6	211	71	132	21	96	80	49	23	47	26	21	43	65	55
	NA	15	2	10	3	7	5	5	2	5	3	2	4	3	3
24	1	60	28	30	3	35	18	18	4	24	15	9	12	13	11
	2	421	159	247	34	241	123	116	30	133	68	65	98	124	66
	3	356	123	208	33	190	114	85	35	127	62	65	83	85	61
	4	136	42	85	13	64	52	24	14	24	13	11	34	47	30
	NA	4	2	2	0	4	0	1	0	2	1	1	2	0	0
25	1	635	239	366	48	349	208	163	54	221	119	102	147	178	88
	2	263	90	156	24	148	74	64	16	63	31	32	65	69	66
	3	25	9	15	2	13	7	6	3	10	4	6	4	8	3
	4	40	16	23	8	17	12	10	9	13	4	9	8	10	9
	NA	14	0	12	1	7	6	1	1	3	1	2	5	4	2
26	1	226	85	127	20	125	69	46	23	71	34	37	45	69	41
	2	255	193	333	50	303	172	153	45	185	97	88	141	131	97
	3	151	65	80	9	90	44	43	8	41	22	19	35	51	24
	4	29	11	17	2	11	14	2	5	9	6	3	3	13	4
	NA	16	0	15	2	5	8	0	2	4	0	4	5	5	2
27	1	34	16	15	4	19	9	12	3	7	5	2	8	13	6
	2	326	122	187	27	184	10	87	22	122	65	57	85	76	43
	3	405	146	236	40	220	120	105	43	120	59	61	95	114	76
	4	209	68	134	11	110	77	40	14	61	30	31	41	65	41
	NA	3	2	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0	1	2
28	1	112	47	59	12	56	37	36	6	35	20	15	21	36	20
	2	384	135	231	32	209	119	78	36	110	63	47	89	114	71
	3	376	133	219	34	203	120	109	34	122	58	64	98	94	61
	4	101	38	61	4	64	30	21	6	41	18	23	21	25	14
	NA	4	1	2	1	2	1	0	1	2	0	2	0	0	2
29	1	40	20	15	4	17	17	12	6	9	6	3	13	12	6
	2	277	103	162	31	140	91	63	28	90	46	44	67	68	52
	3	484	172	285	34	277	147	123	34	150	75	75	123	139	72
	4	171	58	106	14	97	50	46	15	59	31	28	26	50	35
	NA	5	1	4	0	3	2	0	0	2	1	1	0	0	3
30	1	52	23	26	5	28	16	14	7	12	7	5	11	22	7
	2	518	200	295	44	292	151	135	43	173	76	97	127	129	88
	3	342	113	206	29	182	116	85	26	103	64	39	76	102	61
	4	56	16	38	4	25	23	8	6	18	0	8	13	15	10
	NA	9	2	7	1	7	1	2	1	4	2	2	2	1	2
31	1	69	26	36	4	34	24	12	6	23	9	14	12	21	13
	2	480	178	281	40	256	157	129	30	137	71	66	126	133	84
	3	339	121	200	24	194	104	78	33	126	65	61	75	85	52
	4	82	27	50	15	44	21	24	13	24	14	10	14	29	15
	NA	7	2	5	0	6	1	1	1	0	0	0	2	1	4

(父親)

問	肢	全体	30歳代	40歳代	1人子	2人子	3人子	小学生	中学生	都市部	福岡市		北九市	杵築郡	筑豊	筑後
											福岡市	北九市				
32	1	37	16	18	1	19	15	10	3	9	5	4	5	13	10	
	2	417	152	246	31	219	145	103	29	144	70	74	89	111	73	
	3	403	145	239	37	227	118	106	36	126	65	61	101	108	67	
	4	113	38	65	13	64	28	24	14	31	19	12	33	35	14	
	NA	7	3	4	1	5	1	1	1	0	0	0	1	2	4	
33	1	620	233	348	53	328	200	155	56	193	101	92	147	173	107	
	2	335	116	209	29	195	98	87	25	112	56	56	78	90	54	
	3	14	3	10	1	7	6	2	2	4	1	3	2	5	3	
	NA	8	2	5	0	4	3	0	0	1	1	0	2	1	4	
34	1	401	133	238	34	201	144	95	34	106	54	52	88	120	87	
	2	410	142	253	30	245	117	106	34	140	73	67	98	111	60	
	3	112	52	55	13	60	31	33	8	47	27	20	28	26	11	
	4	48	24	23	5	24	14	10	6	14	4	10	14	12	8	
	NA	6	3	3	1	4	1	0	1	3	1	2	1	0	2	
35	1	74	20	47	6	32	25	12	8	25	17	8	15	26	8	
	2	217	70	135	14	124	71	47	21	62	30	32	42	61	51	
	3	268	93	161	22	140	90	65	22	81	47	34	72	70	45	
	4	386	162	208	36	220	112	112	28	131	58	73	93	104	58	
	NA	32	9	21	5	18	9	8	4	11	7	4	7	8	6	
36	1	149	56	80	18	79	43	41	16	43	20	23	35	42	28	
	2	176	60	107	10	106	50	40	14	46	21	25	51	49	29	
	3	84	32	50	7	36	31	19	7	23	11	12	22	20	19	
	4	65	19	45	5	34	25	16	7	22	16	6	14	19	10	
	5	85	41	43	9	51	21	28	3	30	12	18	13	27	15	
	6	14	6	7	1	11	2	5	0	5	2	3	2	6	1	
	7	26	4	21	2	16	7	6	3	10	6	4	6	8	2	
	8	175	59	109	16	92	60	43	15	62	31	31	34	44	35	
	9	40	17	19	5	17	15	7	6	13	7	6	15	11	1	
	NA	164	60	91	10	92	53	39	12	56	33	23	37	43	28	
37	1	603	224	352	55	330	188	155	53	190	85	105	145	160	107	
	2	55	22	31	4	29	18	11	6	14	7	7	11	20	10	
	3	8	1	6	0	5	3	3	1	2	2	0	1	4	1	
	4	25	9	14	1	13	9	7	2	8	6	2	7	8	2	
	5	7	3	4	1	3	2	2	1	3	3	0	1	2	1	
	6	43	14	27	4	21	14	10	2	15	8	7	4	17	7	
	7	23	8	15	1	13	8	7	2	10	5	5	3	9	1	
	8	9	2	7	3	2	3	1	3	3	2	1	2	3	1	
	9	8	1	5	0	3	3	1	0	3	2	1	2	3	0	
	NA	196	70	111	14	115	59	47	13	62	39	23	53	43	38	
38	1	57	19	35	4	26	20	14	6	19	13	6	15	15	7	
	2	553	207	324	42	313	171	129	48	176	85	91	140	137	100	
	3	338	118	195	35	178	108	97	25	105	55	50	70	109	54	
	4	16	7	9	1	8	6	3	3	5	3	2	1	7	3	
	NA	13	3	9	1	9	2	1	1	5	3	2	3	1	4	

(母 親)

問	肢	全 体	30歳代	40歳代	1人子	2人子	3人子	小学生	中学生	都市部				粕屋部	筑 豊	筑 後
											福岡市	北九市				
総 数		1,575	938	599	135	864	495	321	125	443	252	191	455	428	240	
1	1	230	119	105	18	130	68	41	25	52	32	20	73	66	38	
	2	1,226	740	458	102	669	391	258	88	353	198	155	350	329	186	
	3	98	64	31	13	50	32	20	10	31	18	13	27	27	13	
	4	14	12	1	2	8	4	2	2	5	3	2	2	6	1	
	NA	7	3	4	0	7	0	0	0	2	1	1	3	0	2	
2	1	448	217	223	34	219	166	56	39	83	38	45	138	103	124	
	2	663	397	250	44	376	205	144	49	173	85	88	189	195	99	
	3	380	262	106	42	222	105	98	30	142	91	51	114	107	15	
	4	69	52	16	11	38	17	20	4	34	27	7	13	21	1	
	5	6	4	2	4	2	0	3	2	5	5	0	0	1	0	
	6	7	5	1	0	6	1	0	1	5	5	0	0	1	1	
	NA	2	1	1	0	1	1	0	0	1	1	0	1	0	0	
3	1	5	1	3	1	3	1	2	1	2	0	2	1	2	0	
	2	36	21	14	3	19	14	9	2	9	3	6	10	10	7	
	3	88	53	32	10	45	29	19	6	17	8	9	27	33	11	
	4	182	100	77	17	107	50	37	10	37	14	23	44	56	45	
	5	385	232	146	28	212	118	79	29	93	48	45	107	114	68	
	6	436	270	154	38	237	142	93	41	116	67	49	137	115	65	
	7	266	159	102	20	143	90	47	19	89	47	42	87	60	28	
	8	88	47	40	6	51	29	21	4	34	28	6	26	17	10	
	9	84	51	30	11	44	21	14	12	43	35	8	15	21	5	
	NA	5	4	1	1	3	1	0	1	3	2	1	1	0	1	
4	1	198	110	80	22	99	60	35	20	51	29	22	56	63	28	
	2	1,138	675	441	88	646	349	240	85	319	178	141	323	306	183	
	3	215	139	69	23	101	83	45	17	68	44	24	67	54	24	
	4	16	11	4	2	11	2	1	2	3	0	3	8	3	2	
	NA	8	3	5	0	7	1	0	1	2	1	1	1	2	3	
5	1	377	190	175	31	199	121	63	28	96	58	38	109	109	62	
	2	1,019	620	376	86	577	310	214	89	297	164	133	287	278	151	
	3	156	118	37	13	79	59	40	4	42	25	17	51	36	25	
	4	11	6	4	4	4	1	2	3	3	1	2	5	3	0	
	NA	12	4	7	1	5	4	2	1	5	4	1	3	2	2	
6	1	816	471	319	64	460	251	160	58	232	145	87	224	240	114	
	2	232	149	82	16	128	82	52	16	69	29	40	74	51	37	
	3	54	26	28	8	25	17	10	7	20	10	10	7	16	10	
	4	15	7	8	0	9	5	0	0	2	1	1	6	6	1	
	5	23	14	7	2	13	7	5	2	11	7	4	9	2	1	
	6	11	6	5	0	7	3	1	1	3	2	1	4	3	1	
	7	22	14	8	5	9	7	7	1	3	3	48	9	6	4	
	NA	402	251	142	40	213	123	86	40	103	55	8	122	104	72	
7	1	102	61	39	6	49	39	15	6	21	13	14	38	35	7	
	2	105	62	40	4	53	38	18	5	27	13	44	25	25	28	
	3	356	199	150	30	190	119	74	35	100	56	41	100	92	63	
	4	446	262	174	40	247	137	91	38	131	90	53	146	94	71	

(母 親)

問	肢	全 体	30歳代	40歳代	1人子	2人子	3人子	小学生	中学生	都市部	福岡市		北九市	粕屋部	筑 豊	筑 後
											福岡市	北九市				
7	5	362	215	139	39	202	110	80	25	105	52	23	90	111	54	
	6	142	95	44	13	84	39	34	13	45	22	8	44	43	9	
	7	54	40	9	3	34	10	8	3	13	5	0	11	25	5	
	NA	8	4	4	0	5	3	1	0	1	1	0	1	3	3	
8	1	420	234	174	41	234	127	74	38	120	75	45	126	114	58	
	2	636	375	244	57	343	205	128	53	187	116	71	178	178	88	
	3	303	197	102	23	177	87	75	25	84	40	44	81	85	51	
	4	213	130	78	14	110	75	44	9	52	21	31	70	49	42	
	NA	3	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	1	
9	1	103	60	39	14	59	26	26	9	37	17	20	28	27	10	
	2	564	335	214	49	310	178	116	41	167	97	70	158	153	83	
	3	626	364	250	47	353	194	134	51	176	104	72	178	163	107	
	4	262	170	85	23	129	93	44	22	55	32	23	84	82	38	
	NA	20	9	11	2	13	4	1	2	8	2	6	7	3	2	
10	1	306	192	107	28	176	84	71	20	92	50	42	104	80	29	
	2	759	447	295	67	415	237	153	62	220	118	102	223	202	108	
	3	398	234	155	31	220	130	76	32	104	67	37	103	106	83	
	4	107	61	42	9	51	41	18	11	25	16	9	24	38	20	
	NA	5	4	0	0	2	3	3	0	2	1	1	1	2	0	
11	1	108	72	33	14	57	31	27	4	30	17	13	29	34	15	
	2	796	495	281	68	446	243	165	63	222	132	90	224	213	131	
	3	528	294	225	38	294	170	100	43	160	87	73	154	137	74	
	4	136	73	57	13	66	47	28	14	29	15	14	48	41	18	
	NA	7	4	3	2	1	4	1	1	2	1	1	0	3	2	
12	1	629	352	267	52	363	189	129	48	184	111	73	201	170	72	
	2	791	484	284	65	434	247	155	62	229	128	101	211	210	135	
	3	135	92	39	15	59	50	31	11	28	12	16	37	41	28	
	4	18	9	8	2	8	8	6	3	1	0	1	6	6	5	
	NA	2	1	1	1	0	1	0	1	1	1	0	0	1	0	
13	1	1038	610	406	72	592	320	210	72	282	152	130	323	275	150	
	2	476	288	176	54	244	154	98	47	141	86	55	118	135	81	
	3	48	32	13	8	23	14	11	6	15	10	5	12	13	8	
	4	10	7	2	1	4	5	2	0	4	3	1	2	3	1	
	NA	3	1	2	0	1	2	0	0	1	1	0	0	2	0	
14	1	1450	872	547	122	803	462	294	116	418	232	186	418	400	206	
	2	120	65	49	13	58	31	27	9	24	20	4	35	26	34	
	3	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	
	4	2	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	
	NA	2	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	
15	1	604	377	219	37	336	199	113	40	155	85	70	192	137	116	
	2	792	463	306	77	433	242	173	70	216	112	104	222	238	112	
	3	151	80	67	14	82	47	31	9	65	49	16	32	41	12	
	4	27	17	7	7	13	6	4	6	7	6	1	9	11	0	
	NA	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	

(母親)

問	肢	全 体	30歳代	40歳代	1人子	2人子	3人子	小学生	中学生	都市部			柏野部	筑 豊	筑 後
										福岡市	北九市				
16	1	661	401	241	59	373	201	138	66	158	89	69	198	200	103
	2	405	230	167	32	213	136	81	23	125	62	63	107	99	70
	3	68	48	19	4	34	25	16	6	25	12	13	11	21	11
	4	95	53	40	8	65	18	28	6	25	14	11	34	21	14
	5	34	26	8	3	22	8	7	1	6	2	4	9	12	7
	6	44	28	16	2	23	14	4	3	13	7	6	21	6	4
	NA	268	152	108	27	134	93	47	20	91	66	25	75	69	31
17	1	94	44	45	13	46	30	13	9	41	32	9	21	27	5
	2	16	9	7	2	9	5	4	2	6	6	0	4	4	2
	3	15	10	5	1	8	6	3	0	7	4	3	2	4	1
	4	28	16	12	3	19	6	10	2	10	7	3	8	9	1
	5	20	17	2	1	11	5	4	2	8	6	2	4	7	1
	NA	1402	842	528	115	771	443	0	110	371	197	174	416	377	230
18	1	250	187	52	38	120	84	76	15	83	55	28	63	70	31
	2	489	320	154	41	278	147	135	31	113	63	50	168	128	78
	3	383	204	174	30	218	111	69	37	99	57	42	106	106	71
	4	199	101	94	10	121	58	19	17	49	28	21	69	48	31
	5	83	45	36	7	42	31	8	13	35	21	14	15	25	8
	6	160	73	86	9	78	60	11	12	62	27	35	31	48	18
	NA	11	8	3	0	7	4	3	0	2	1	1	3	3	3
19	1	439	287	135	59	224	133	109	29	118	81	37	121	155	44
	2	481	307	163	43	273	142	120	36	112	65	47	169	121	79
	3	285	151	129	14	161	91	42	26	73	35	38	95	58	57
	4	166	100	63	7	91	58	31	12	53	26	27	36	44	31
	5	60	31	28	5	33	20	7	7	21	13	8	15	15	9
	6	133	56	76	6	80	44	11	14	64	32	32	17	32	16
	NA	11	6	5	1	2	7	1	1	2	0	2	2	3	4
20	1	949	563	369	62	548	294	189	73	291	158	133	288	229	135
	2	275	165	105	25	145	88	48	32	74	42	32	82	71	46
	3	41	25	15	4	22	12	9	4	4	3	1	10	18	9
	4	23	14	7	2	13	6	6	1	1	1	0	4	10	8
	NA	287	171	103	42	136	95	69	15	73	48	25	71	100	42
21	1	542	341	189	42	296	183	106	31	178	96	82	153	126	82
	2	866	498	345	71	479	265	170	79	222	125	97	259	247	132
	3	134	74	58	19	72	36	35	12	36	26	10	35	40	23
	4	23	17	6	3	10	8	7	2	5	4	1	8	9	1
	NA	10	8	1	0	7	3	3	1	2	1	1	0	6	2
22	1	1445	856	556	122	795	454	295	113	398	226	172	418	397	223
	2	122	78	39	13	65	37	24	12	43	25	18	37	28	14
	3	2	1	1	0	1	1	1	0	1	1	0	0	0	1
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	NA	6	3	3	0	3	3	1	0	1	0	1	0	3	2
23	1	133	78	52	18	79	32	41	8	41	29	43	31	42	18
	2	194	106	85	19	109	60	47	14	53	31	27	50	72	17
	3	388	248	130	27	223	120	73	31	104	56	32	113	107	60

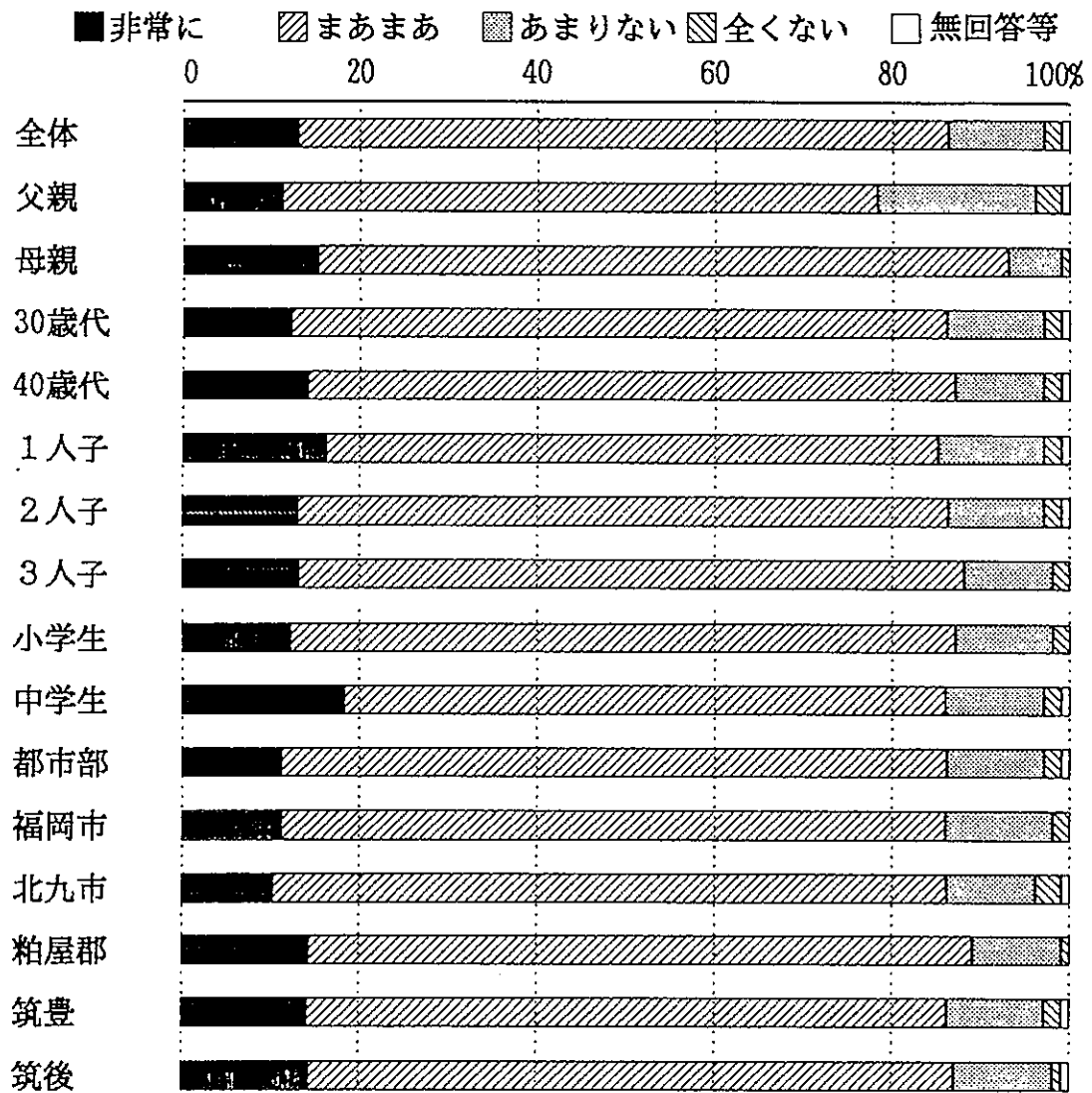
(母 親)

問	肢	全 体	30歳代	40歳代	1人子	2人子	3人子	小学生	中学生	都市部	福岡市		粕屋郡	筑 豊	筑 後
											福岡市	北九市			
23	4	337	204	124	35	176	32	63	34	90	55	16	108	85	54
	5	164	93	66	17	85	60	32	13	39	17	10	49	49	26
	6	337	198	132	17	181	120	57	25	111	63	21	99	66	60
	NA	22	11	10	2	11	104	8	0	5	1	2	5	7	5
24	1	94	61	32	14	56	22	33	8	30	17	13	26	24	14
	2	701	456	231	49	404	219	153	50	182	106	76	225	188	101
	3	613	337	256	63	323	187	113	52	184	103	81	165	161	99
	4	158	81	74	9	77	62	20	15	47	26	21	37	51	23
	NA	9	3	6	0	4	5	2	0	0	0	0	2	4	3
25	1	1291	765	499	114	698	412	266	105	365	210	155	391	336	193
	2	237	142	87	21	138	66	48	19	65	34	31	52	77	40
	3	10	5	4	0	6	3	0	0	3	2	1	2	4	1
	4	28	20	6	0	17	10	4	1	9	5	4	9	7	3
	NA	9	6	3	0	5	4	3	0	1	1	0	1	4	3
26	1	93	42	47	7	45	31	10	9	21	16	5	31	30	10
	2	1,282	756	503	116	708	395	261	105	371	206	165	375	331	198
	3	166	118	39	11	92	57	43	7	43	25	18	40	55	27
	4	18	12	5	0	11	7	3	2	6	4	2	4	7	1
	NA	16	10	5	1	8	5	4	2	2	1	1	5	5	4
27	1	69	43	24	9	43	16	17	6	21	12	9	15	23	9
	2	815	519	276	75	464	239	170	73	227	132	95	249	223	111
	3	572	327	232	44	300	197	116	42	168	98	70	144	148	109
	4	111	45	63	7	51	41	17	4	26	9	17	45	30	10
	NA	8	4	4	0	6	2	1	0	1	1	0	2	4	1
28	1	302	198	94	22	172	97	74	22	88	46	42	86	80	43
	2	940	550	368	86	493	307	177	79	247	138	109	274	259	156
	3	300	169	125	24	177	84	63	23	98	60	38	83	81	38
	4	27	18	9	2	19	6	7	0	8	6	2	11	6	2
	NA	6	3	3	1	3	1	0	1	2	2	0	1	2	1
29	1	86	59	25	8	53	19	28	4	27	14	13	26	20	11
	2	647	395	233	62	356	196	138	54	185	115	70	188	164	105
	3	683	391	281	49	374	227	118	54	186	100	86	195	194	106
	4	153	90	57	16	77	51	36	13	44	22	22	45	49	15
	NA	6	3	3	0	4	2	1	0	1	1	0	1	1	3
30	1	86	53	30	13	46	22	24	9	29	13	16	26	20	11
	2	923	580	320	77	515	286	209	67	277	157	120	268	244	126
	3	507	273	225	39	272	170	81	43	128	76	52	147	141	90
	4	44	23	19	4	21	15	6	5	5	5	0	10	21	8
	NA	15	9	5	2	10	2	1	1	4	1	3	4	2	5
31	1	134	88	40	12	71	46	31	12	45	9	23	40	35	14
	2	1,043	639	376	85	587	319	221	80	280	71	125	304	289	162
	3	341	182	158	34	177	110	60	31	104	65	38	96	84	56
	4	41	21	18	3	19	15	7	2	12	14	4	12	14	3
	NA	16	8	7	1	10	5	2	0	2	0	1	3	6	5

(母 親)

問	肢	全 体	30歳代	40歳代	1人子	2人子	3人子	小学生	中学生	都市部	福岡市		粕屋郡	筑 豊	筑 後
											福岡市	北九市			
32	1	66	38	24	6	37	18	18	3	23	14	9	16	21	6
	2	925	584	318	75	510	310	196	73	256	147	109	286	241	134
	3	473	260	205	48	267	124	92	45	125	74	51	126	133	88
	4	100	52	45	6	44	41	13	4	36	15	21	25	31	8
	NA	11	4	7	0	6	2	2	0	3	2	1	2	2	4
33	1	912	555	336	70	495	298	173	64	257	149	108	253	264	135
	2	620	360	245	59	342	189	140	55	174	96	78	186	161	93
	3	18	13	5	3	11	3	6	2	6	2	4	6	3	3
	NA	25	10	13	3	16	5	2	4	6	5	1	10	0	9
34	1	267	153	107	14	135	95	40	20	63	47	16	79	79	44
	2	709	417	277	66	389	220	165	63	197	103	94	195	205	111
	3	404	251	142	38	218	131	79	26	127	75	52	120	92	61
	4	180	112	64	15	113	45	34	13	52	24	28	58	47	21
	NA	15	5	9	2	9	4	3	3	4	3	1	3	5	3
35	1	979	577	380	82	531	311	191	75	265	147	118	263	283	162
	2	555	338	203	53	305	173	126	46	168	97	71	180	134	70
	3	27	20	7	0	18	7	4	4	8	6	2	7	9	3
	4	6	1	3	0	4	2	0	0	1	1	0	2	2	1
	NA	8	2	6	0	6	2	0	0	1	1	0	3	0	4
36	1	189	114	65	17	113	49	32	16	51	33	18	55	58	25
	2	170	87	80	13	87	58	40	13	52	28	24	36	54	28
	3	140	88	50	5	86	44	36	8	47	24	23	38	42	12
	4	107	58	49	9	58	34	16	10	26	13	13	41	22	15
	5	117	71	43	9	65	34	23	7	39	21	18	31	27	18
	6	30	15	14	3	20	6	8	0	5	4	1	13	9	3
	7	50	32	18	7	25	16	13	5	10	8	2	18	14	8
	8	309	181	121	26	164	109	54	22	94	57	37	85	78	50
	9	73	47	26	7	44	19	16	6	16	5	11	24	21	11
	NA	390	245	133	39	202	126	83	38	103	59	44	114	103	70
37	1	902	524	355	69	512	277	180	69	268	152	116	253	244	130
	2	48	28	20	1	33	13	10	1	12	6	6	15	15	6
	3	17	13	4	0	6	9	0	0	5	3	2	5	5	2
	4	53	27	25	7	22	18	10	6	17	10	7	13	16	5
	5	22	14	8	2	15	4	7	2	6	4	2	7	7	2
	6	55	35	20	5	32	17	8	3	12	7	5	19	16	8
	7	67	46	19	11	34	20	22	5	19	10	9	23	17	8
	8	15	8	7	1	10	4	2	2	2	0	2	4	5	4
	9	4	1	3	0	2	2	0	0	1	1	0	2	1	0
	NA	392	242	138	39	198	131	82	37	101	59	42	114	102	75
38	1	34	22	12	2	17	11	6	1	12	10	2	9	11	2
	2	884	501	361	86	483	271	172	85	248	131	117	268	239	124
	3	616	392	210	43	343	200	134	37	172	103	69	165	171	104
	4	22	16	4	3	12	5	8	0	5	3	2	6	6	5
	NA	19	7	12	1	9	8	1	2	6	5	1	7	1	5

1 規則正しい生活をしていると思いますか

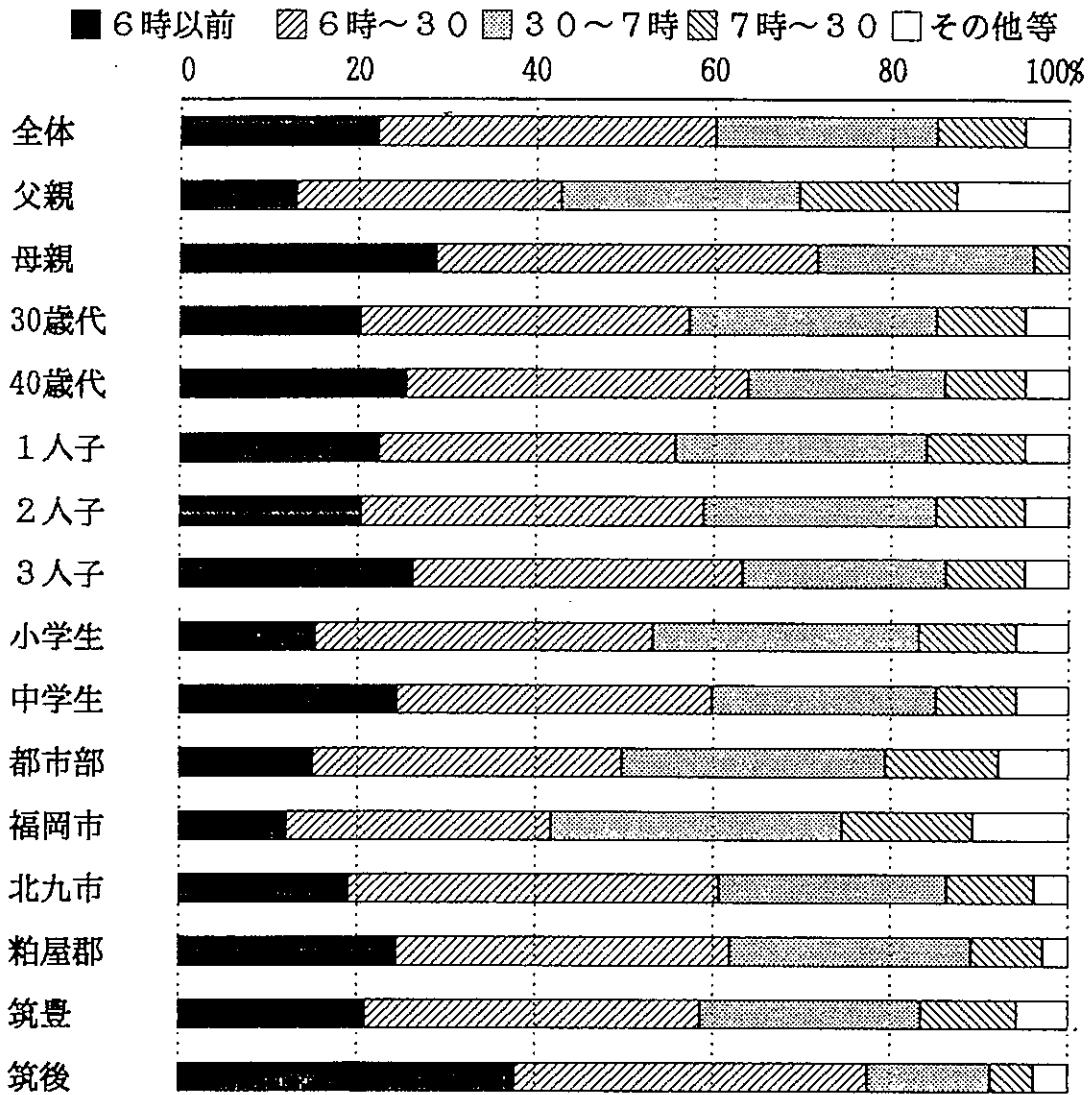


	全体	父親	母親	30歳代	40歳代	1人子	2人子	3人子
非常に	13	11	15	12	14	16	13	13
まあまあ	74	67	78	74	73	69	74	75
あまりない	11	18	6	11	10	12	11	10
全くない	2	3	1	2	2	2	2	2
無回答等	1	1	0	1	1	1	1	0

	小学生	中学生	都市部	福岡市	北九市	粕屋郡	筑豊	筑後
非常に	12	18	11	11	10	14	14	14
まあまあ	75	67	75	74	76	74	72	72
あまりない	11	11	11	12	10	10	11	11
全くない	2	2	2	2	3	1	2	1
無回答等	0	1	1	0	1	0	1	1

%

2 ふだん何時ごろ起きていますか



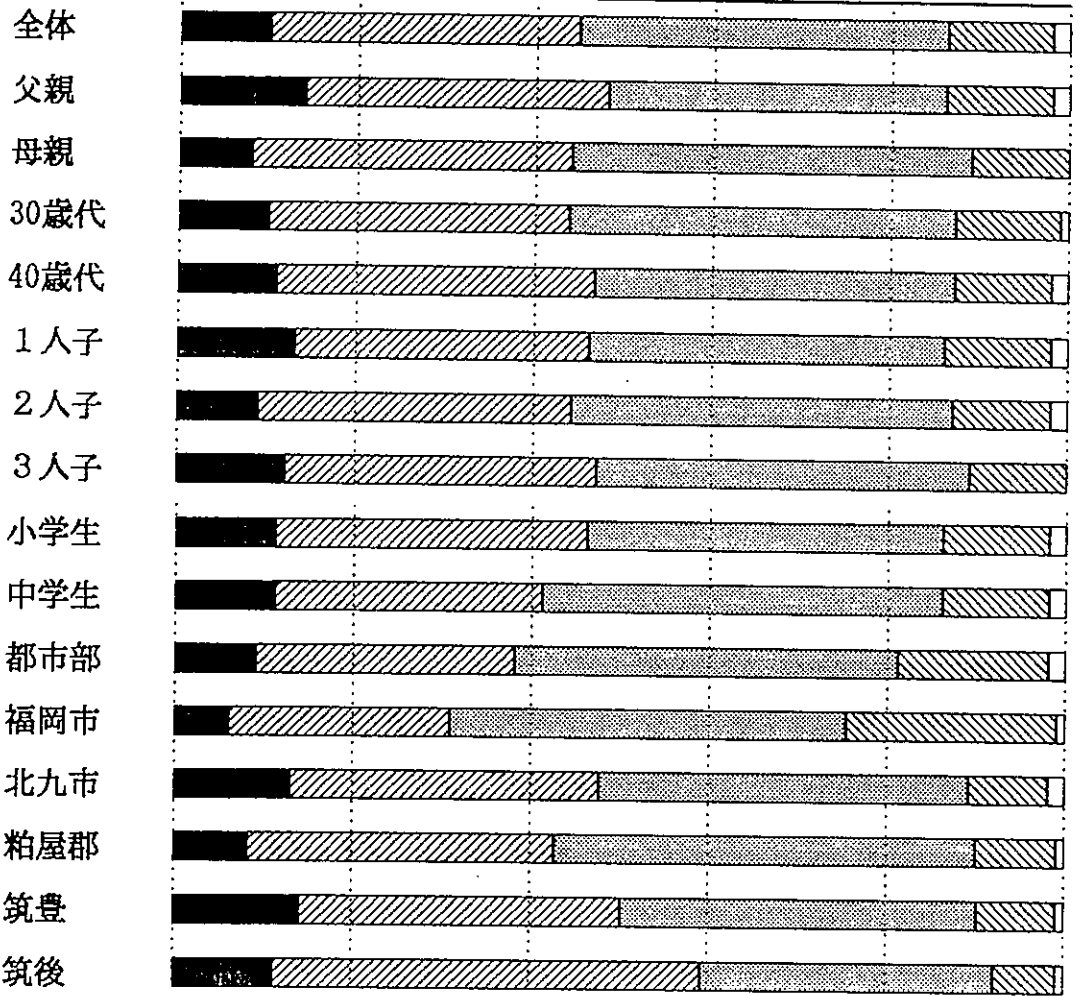
	全体	父親	母親	30歳代	40歳代	1人子	2人子	3人子
6時以前	22	13	28	20	25	22	20	26
6時～30	38	30	42	37	38	33	38	37
30～7時	25	27	24	28	22	28	26	23
7時～30	10	18	4	10	9	11	10	9
その他等	5	13	0	5	5	5	5	5

	小学生	中学生	都市部	福岡市	北九市	粕屋郡	筑豊	筑後
6時以前	15	24	15	12	19	24	21	38
6時～30	38	35	35	30	42	37	38	40
30～7時	30	25	30	33	26	27	25	14
7時～30	11	9	13	15	10	8	11	5
その他等	6	6	8	11	4	3	6	4

%

3 ふだん何時ごろ寝ていますか

9～10時
 10～11
 11～12
 12時以降
 その他等



	全体	父親	母親	30歳代	40歳代	1人子	2人子	3人子
9～10時	10	14	8	10	11	13	9	12
10～11	35	34	36	34	36	33	35	35
11～12	42	38	45	44	41	40	43	42
12時以降	12	12	11	12	11	12	11	11
その他等	2	2	0	1	2	2	2	0

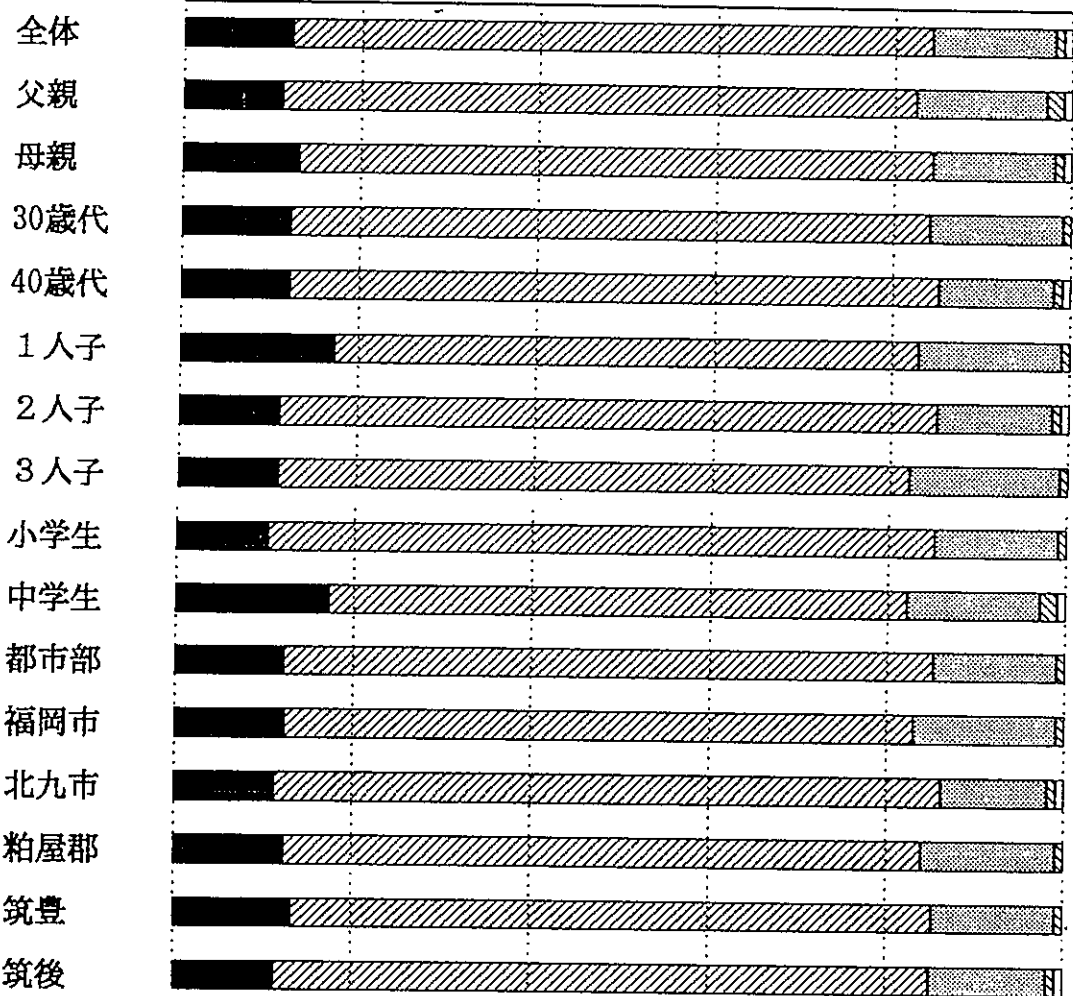
	小学生	中学生	都市部	福岡市	北九市	粕屋郡	筑豊	筑後
9～10時	11	11	9	6	13	8	14	11
10～11	35	30	29	25	35	34	36	48
11～12	40	45	43	45	42	47	40	33
12時以降	12	12	17	24	9	9	9	7
その他等	2	2	2	1	2	1	1	1

%

4 毎日の生活が充実していると思いますか

■非常に ▨まあまあ ▩あまりない ▩全くない □無回答等

0 20 40 60 80 100%

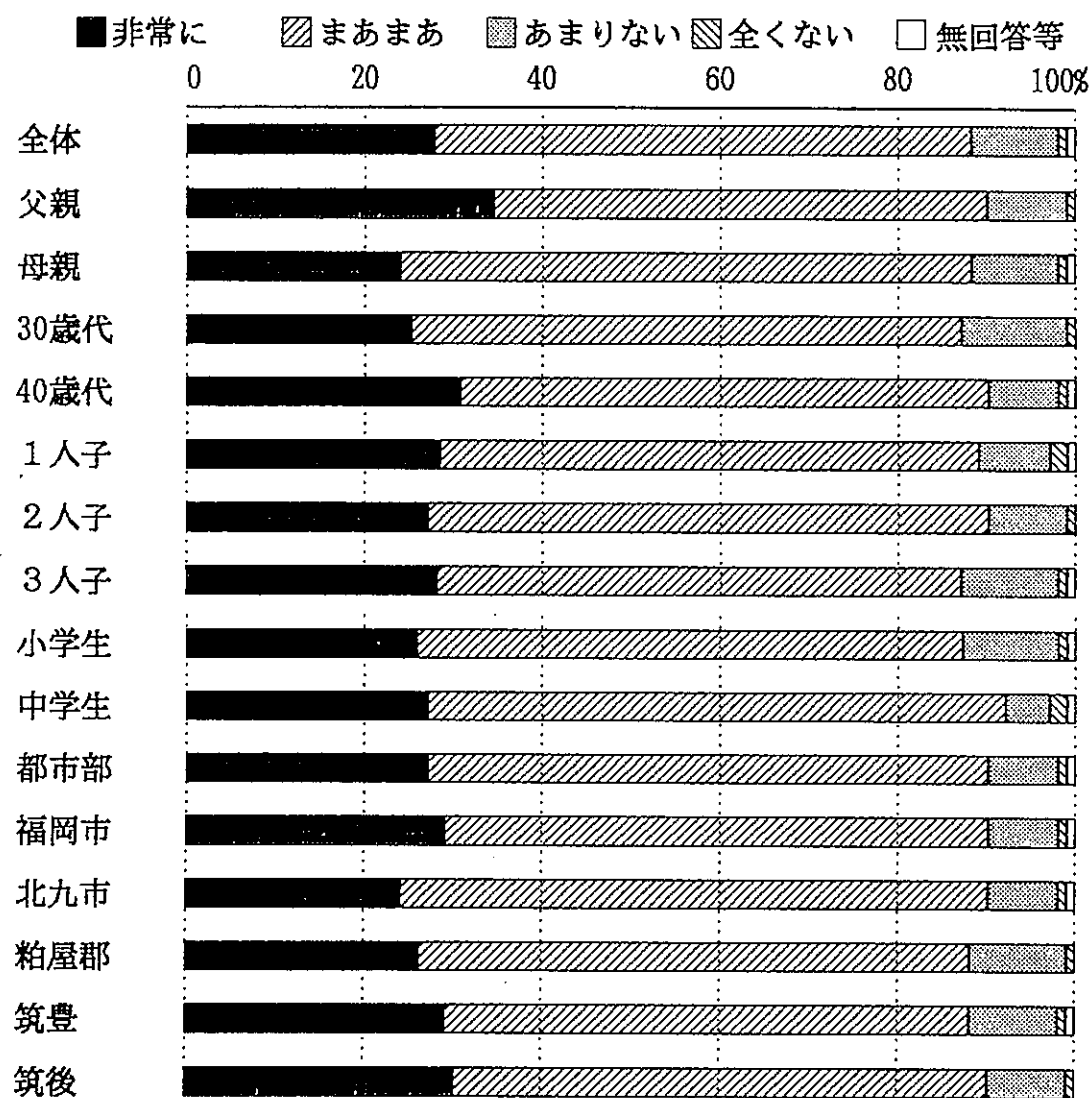


	全体	父親	母親	30歳代	40歳代	1人子	2人子	3人子
非常に	12	11	13	12	12	17	11	11
まあまあ	72	72	72	72	73	65	74	71
あまりない	14	15	14	15	13	16	13	17
全くない	1	2	1	1	1	1	1	1
無回答等	1	1	1	0	1	0	1	0

	小学生	中学生	都市部	福岡市	北九市	粕屋郡	筑豊	筑後
非常に	10	17	12	12	11	12	13	11
まあまあ	75	65	73	70	75	71	72	73
あまりない	14	15	14	16	12	15	14	13
全くない	1	2	1	1	1	1	1	1
無回答等	0	1	0	0	1	0	0	1

%

5 自分の仕事にやりがいを感じていますか

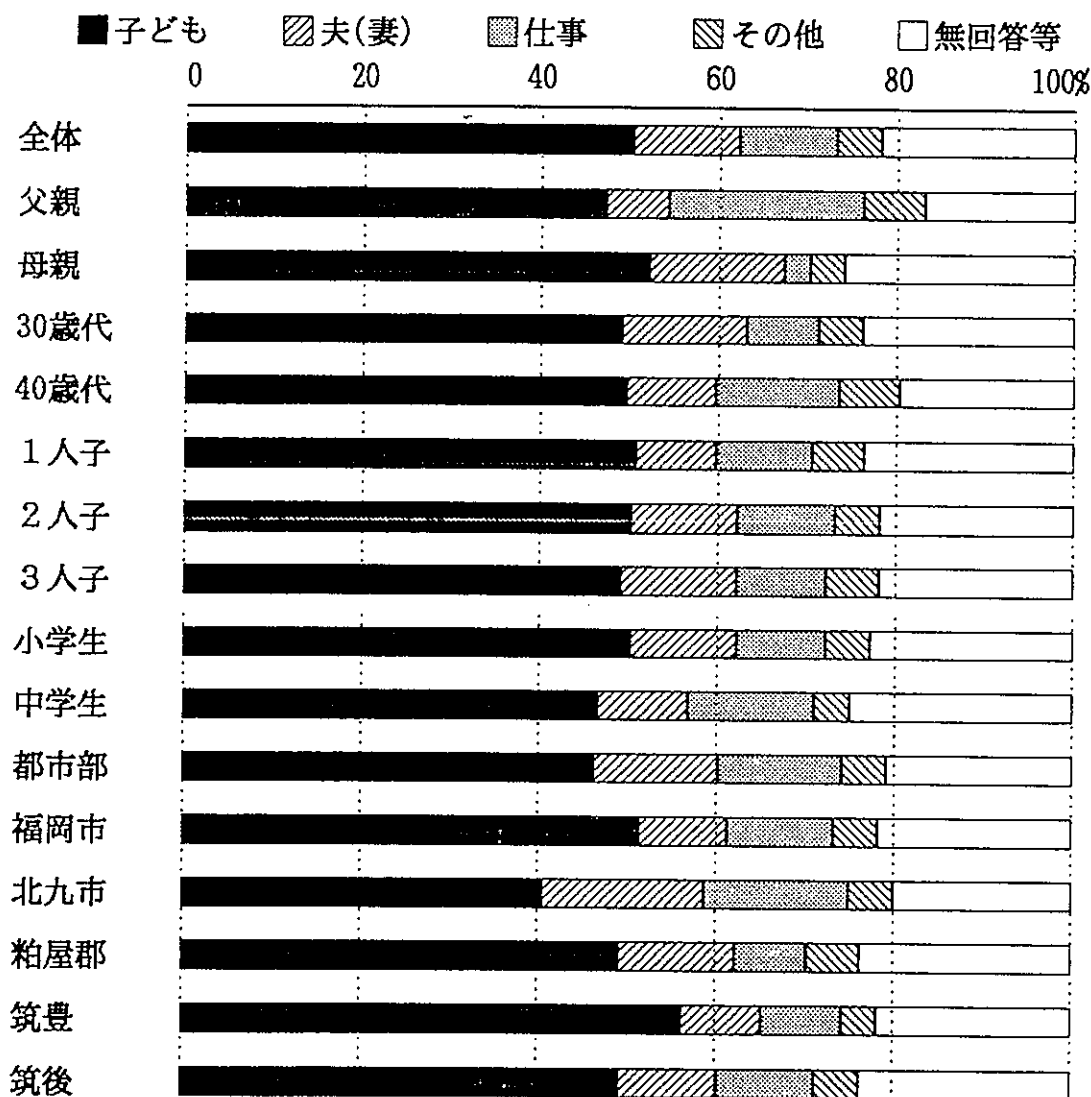


	全体	父親	母親	30歳代	40歳代	1人子	2人子	3人子
非常に	28	34	24	25	31	28	27	28
まあまあ	61	55	65	62	60	60	63	59
あまりない	10	9	10	12	8	8	9	11
全くない	1	1	1	1	1	2	1	1
無回答等	1	0	1	0	1	1	0	1

	小学生	中学生	都市部	福岡市	北九市	粕屋郡	筑豊	筑後
非常に	26	27	27	29	24	26	29	30
まあまあ	62	65	63	61	66	62	59	60
あまりない	11	5	8	8	8	11	10	9
全くない	1	2	1	1	1	1	1	1
無回答等	1	1	1	1	1	0	1	0

%

6 あなたの生きがいは何ですか



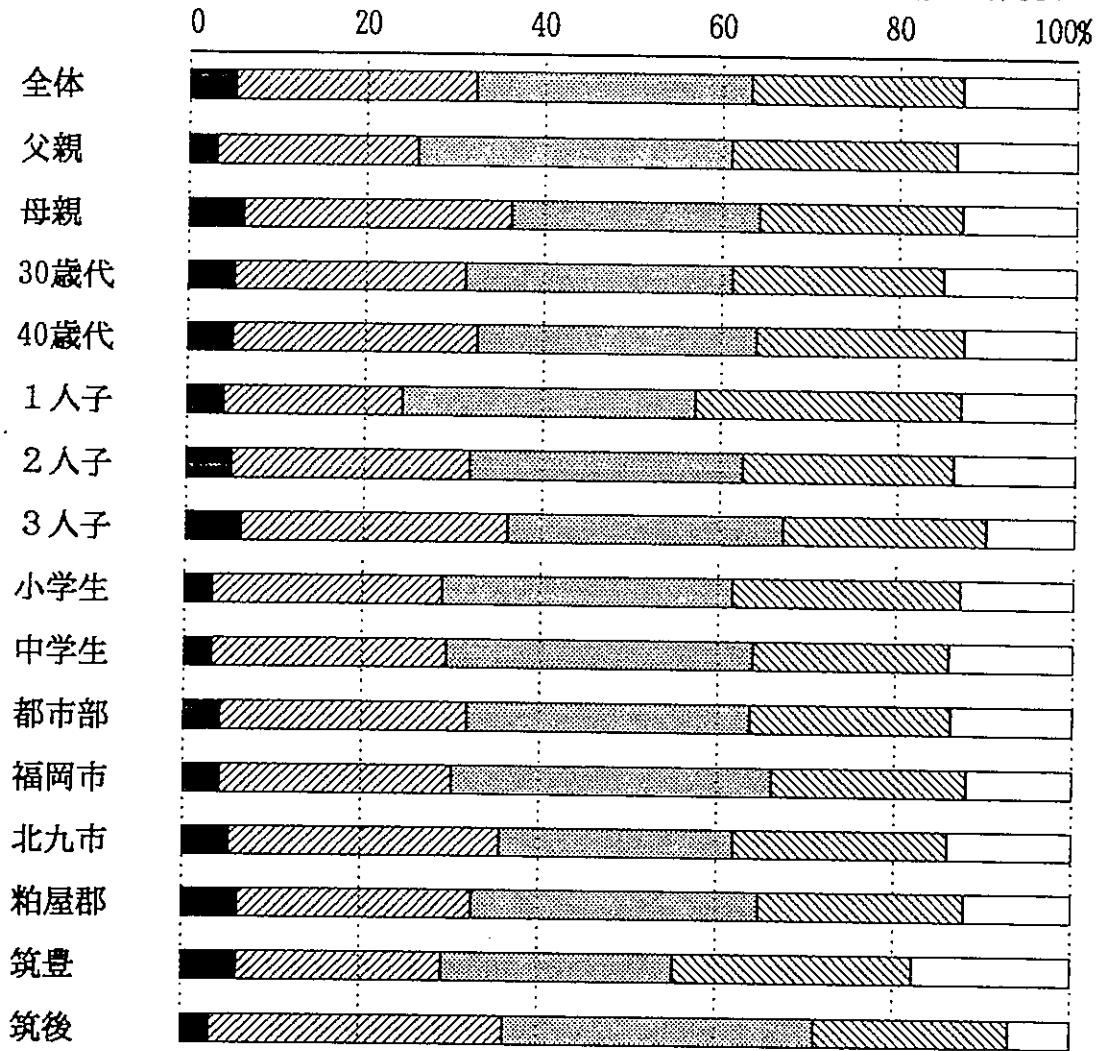
	全体	父親	母親	30歳代	40歳代	1人子	2人子	3人子
子ども	50	47	52	49	50	51	50	49
夫(妻)	12	7	15	14	10	9	12	13
仕事	11	22	3	8	14	11	11	10
その他	5	7	4	5	7	6	5	6
無回答等	22	17	26	24	20	24	22	22

	小学生	中学生	都市部	福岡市	北九市	粕屋郡	筑豊	筑後
子ども	50	46	46	51	40	49	56	49
夫(妻)	12	10	14	10	18	13	9	11
仕事	10	14	14	12	16	8	9	11
その他	5	4	5	5	5	6	4	5
無回答等	23	25	21	22	20	24	22	24

%

7 テレビを1日にどのくらい見ていますか

■ 見ていない ▨ 1時間以下 ▩ 1～2時間 ▪ 2～3時間 □ 3時間以上

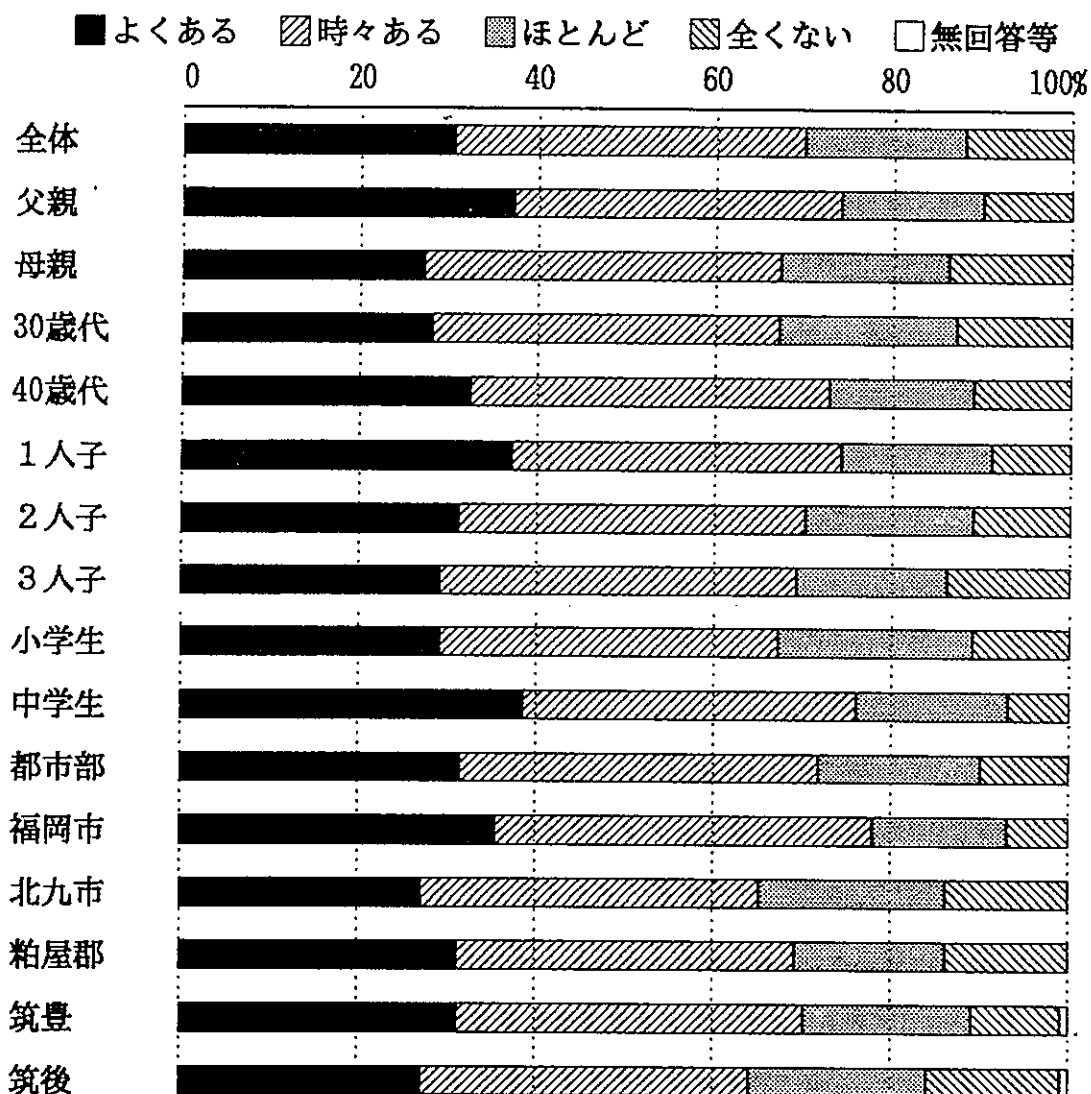


	全体	父親	母親	30歳代	40歳代	1人子	2人子	3人子
見ていない	5	3	6	5	5	4	5	6
1時間以下	27	23	30	26	28	20	27	30
1～2時間	31	36	28	30	32	33	31	31
2～3時間	24	26	23	24	24	30	24	23
3時間以上	13	14	13	15	13	13	14	10

	小学生	中学生	都市部	福岡市	北九市	粕屋郡	筑豊	筑後
見ていない	3	3	4	4	5	6	6	3
1時間以下	26	26	28	26	30	26	23	33
1～2時間	33	34	32	36	26	32	26	35
2～3時間	26	22	23	22	24	23	27	22
3時間以上	13	14	14	12	14	12	18	7

%

8 テレビをみながら食事をしますか

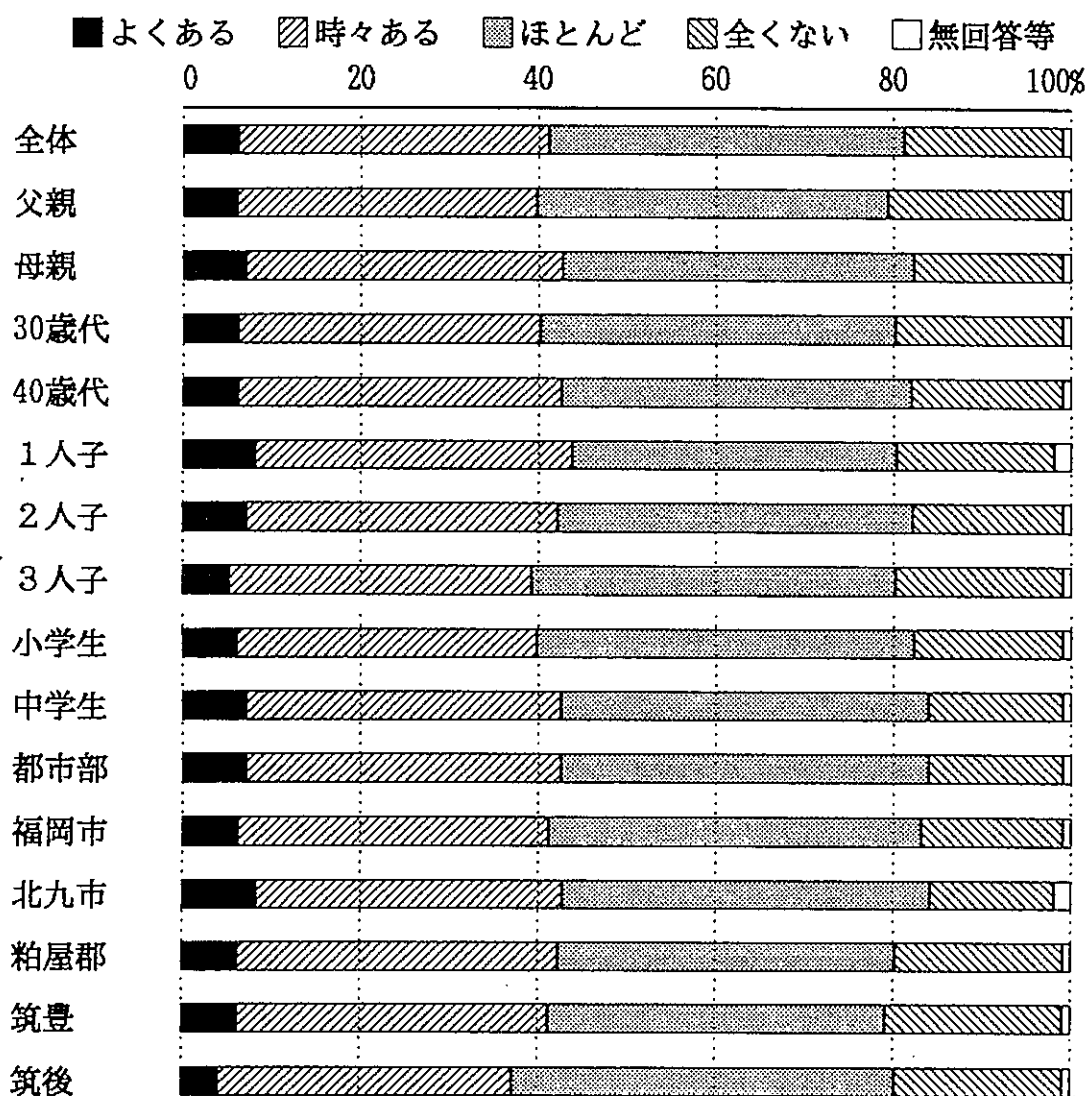


	全体	父親	母親	30歳代	40歳代	1人子	2人子	3人子
よくある	30	37	27	28	32	37	31	29
時々ある	39	37	40	39	40	37	39	40
ほとんど	18	16	19	20	16	17	19	17
全くない	12	10	14	13	11	9	11	14
無回答等	0	0	0	0	0	0	0	0

	小学生	中学生	都市部	福岡市	北九市	粕屋郡	筑豊	筑後
よくある	29	38	31	35	27	31	31	27
時々ある	38	37	40	42	38	38	39	37
ほとんど	22	17	18	15	21	17	19	20
全くない	11	7	10	7	14	14	10	15
無回答等	0	0	0	0	0	0	1	1

%

9 ついだらだらとテレビを見て後悔するか



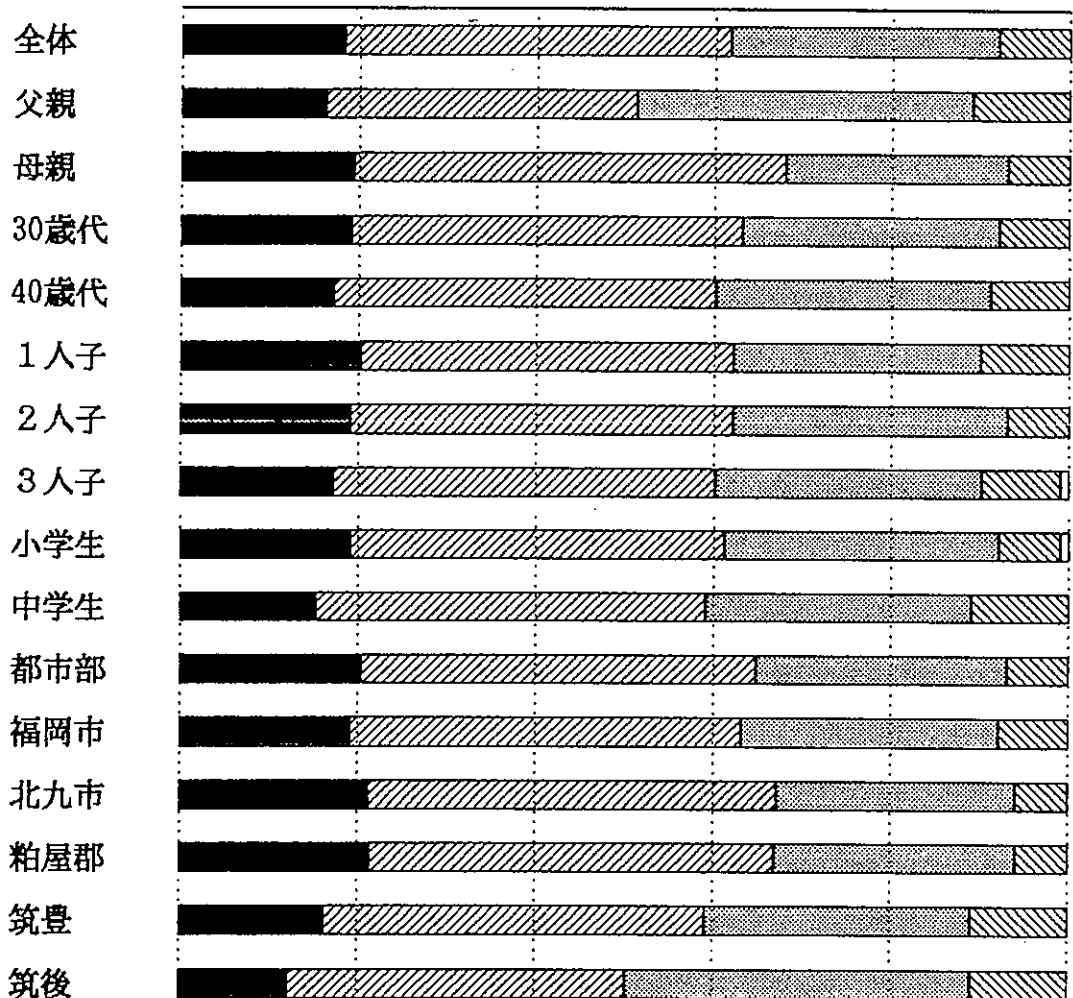
	全体	父親	母親	30歳代	40歳代	1人子	2人子	3人子
よくある	6	6	7	6	6	8	7	5
時々ある	35	34	36	34	36	36	35	34
ほとんど	40	40	40	40	39	37	40	41
全くない	18	20	17	19	17	18	17	19
無回答等	1	1	1	1	1	2	1	1

	小学生	中学生	都市部	福岡市	北九市	粕屋郡	筑豊	筑後
よくある	6	7	7	6	8	6	6	4
時々ある	34	35	35	35	34	36	35	33
ほとんど	43	41	41	42	41	38	38	43
全くない	17	15	15	16	14	19	20	19
無回答等	1	1	1	1	2	1	1	1

%

10 単行本の小説やエッセーを読みますか

■よく読む ▨時々読む ▩ほとんど ▤全くない □無回答等



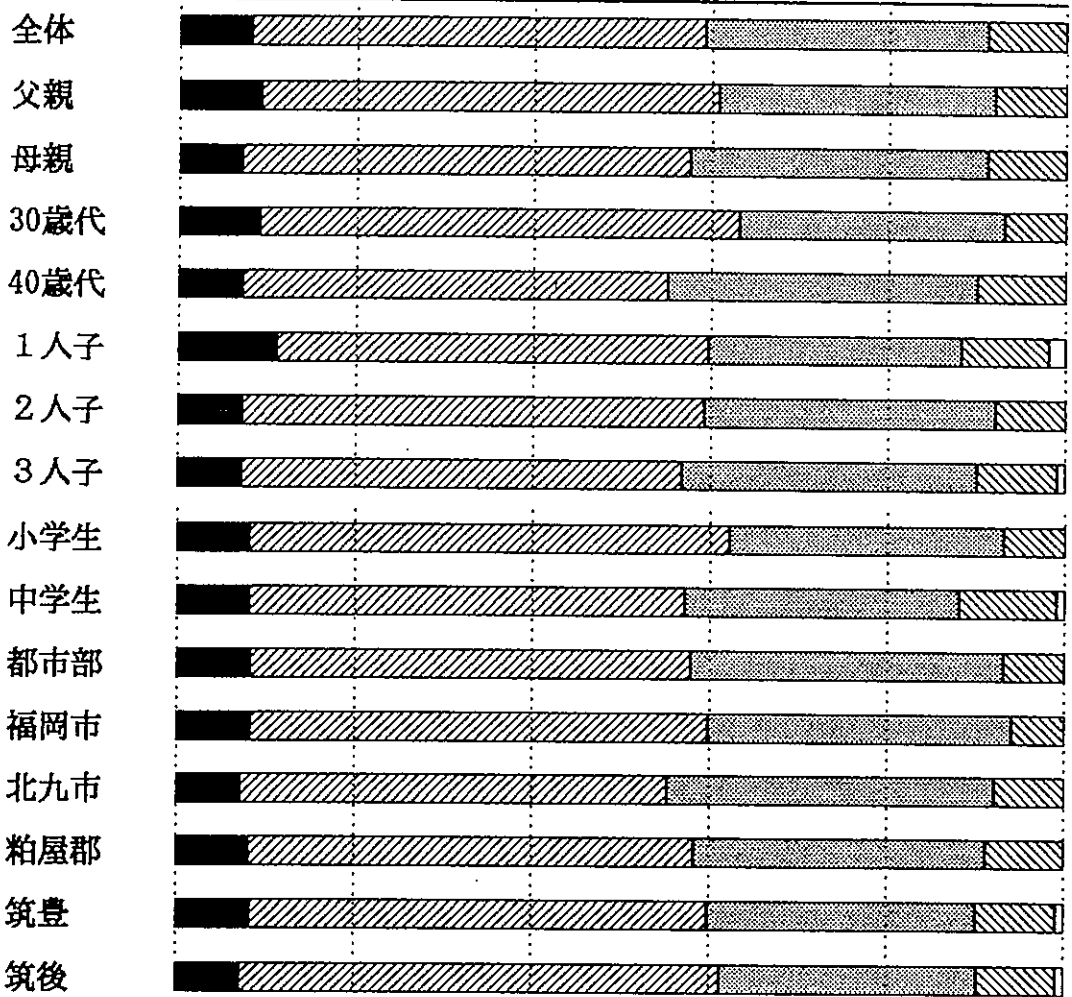
	全体	父親	母親	30歳代	40歳代	1人子	2人子	3人子
よく読む	18	16	19	19	17	20	19	17
時々読む	43	35	48	44	43	42	43	43
ほとんど	30	38	25	29	31	28	31	30
全くない	8	11	7	8	9	10	7	9
無回答等	0	0	0	0	0	0	0	1

	小学生	中学生	都市部	福岡市	北九市	粕屋郡	筑豊	筑後
よく読む	19	15	20	19	21	21	16	12
時々読む	42	44	44	44	46	45	43	38
ほとんど	31	30	28	29	27	27	30	39
全くない	7	11	7	8	6	6	11	11
無回答等	1	0	0	0	0	0	0	0

%

1 1 漫画本や肩のこらない週刊誌を読むか

■よく読む ▨時々読む ▩ほとんど ▤全くない □無回答等
0 20 40 60 80 100%



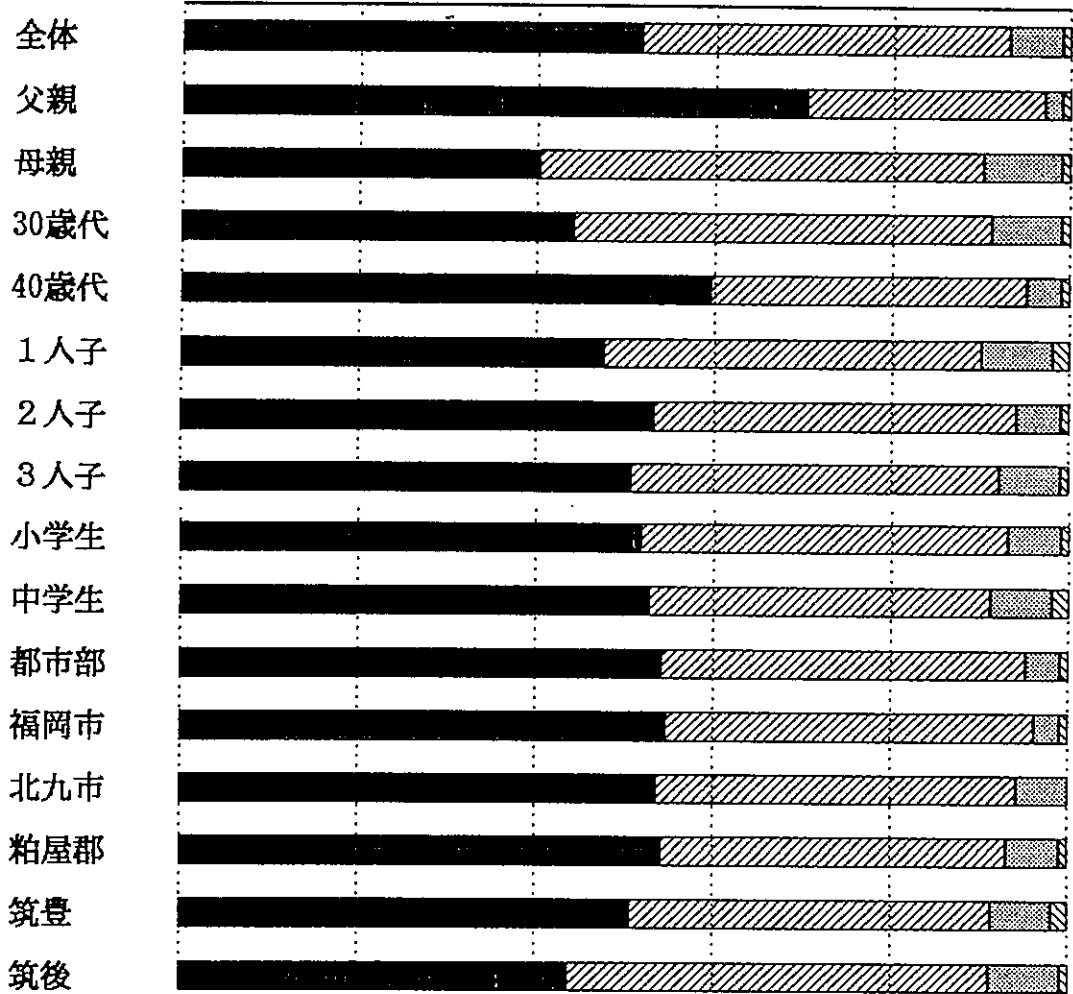
	全体	父親	母親	30歳代	40歳代	1人子	2人子	3人子
よく読む	8	9	7	9	7	11	7	7
時々読む	51	51	51	54	48	49	52	49
ほとんど	32	31	34	30	35	29	33	33
全くない	9	8	9	7	10	10	8	9
無回答等	0	0	0	0	0	2	0	1

	小学生	中学生	都市部	福岡市	北九市	粕屋郡	筑豊	筑後
よく読む	8	8	8	8	7	8	8	7
時々読む	54	49	49	51	48	50	51	54
ほとんど	31	31	35	34	37	33	30	29
全くない	7	11	7	6	8	9	9	9
無回答等	0	1	0	0	0	0	1	1

%

1 2 新聞の政治面や社会面を読みますか

■いつも読む ▨時々読む ▩ほとんど ▧全くない □無回答等
0 20 40 60 80 100%

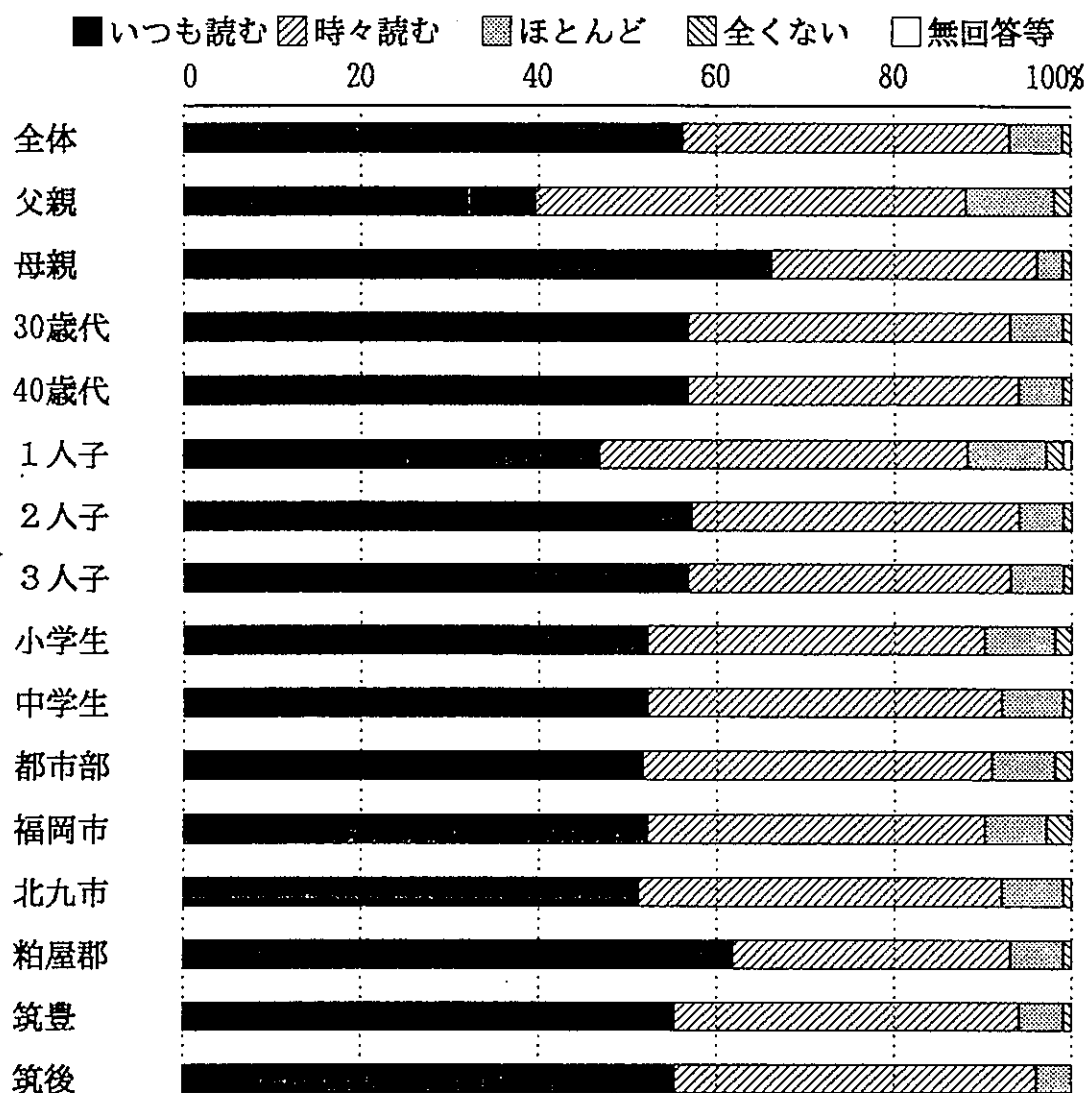


	全体	父親	母親	30歳代	40歳代	1人子	2人子	3人子
いつも読む	51	70	40	44	60	47	53	50
時々読む	41	27	50	47	36	42	41	41
ほとんど	6	2	9	8	4	8	5	7
全くない	1	1	1	1	1	2	1	1
無回答等	0	0	0	0	0	0	0	0

	小学生	中学生	都市部	福岡市	北九市	粕屋郡	筑豊	筑後
いつも読む	51	52	54	54	54	54	51	43
時々読む	41	38	41	41	41	39	41	47
ほとんど	6	7	4	3	6	6	7	8
全くない	1	2	1	1	0	1	2	1
無回答等	0	0	0	0	0	0	0	0

%

1.3 市町村の発行する広報紙を読みますか

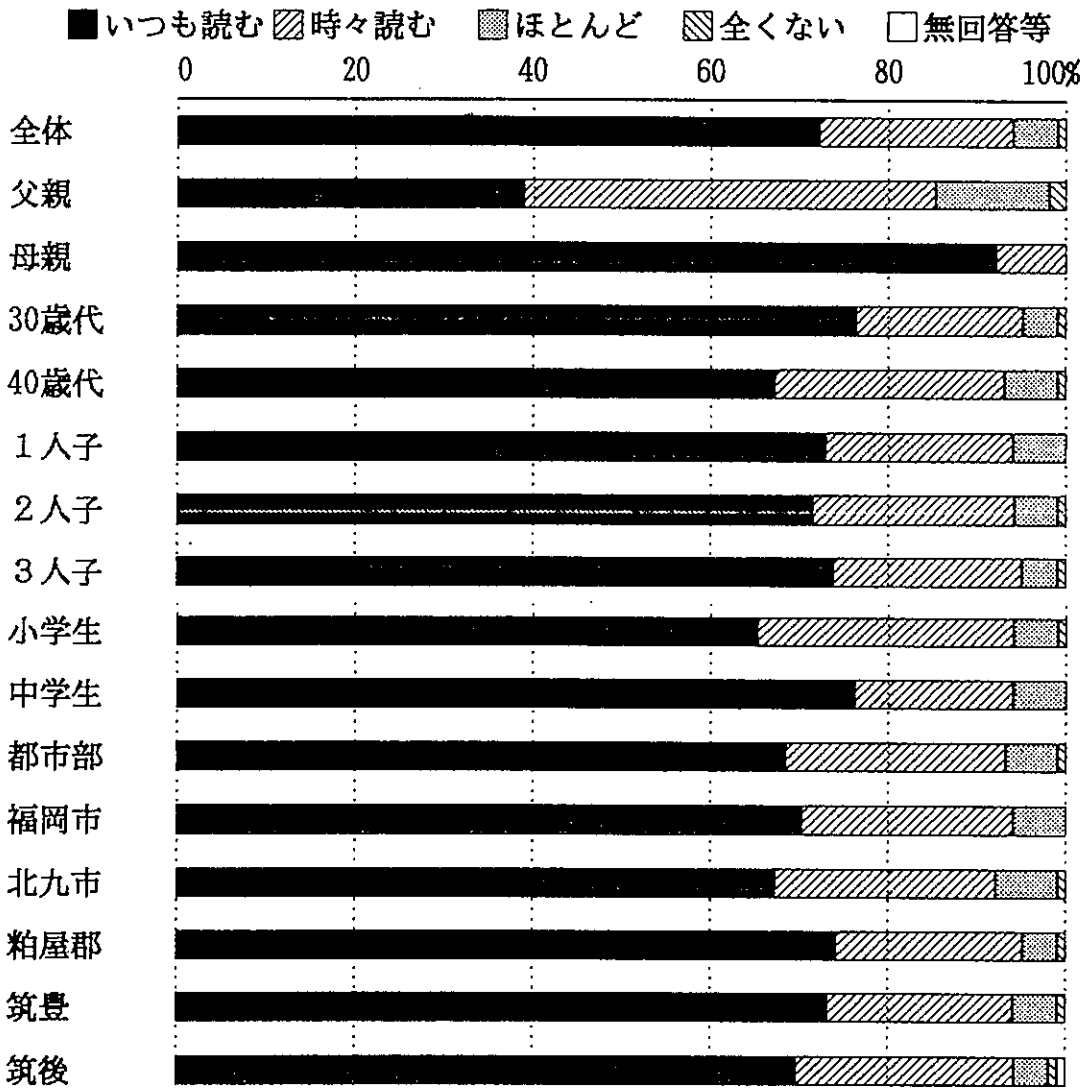


	全体	父親	母親	30歳代	40歳代	1人子	2人子	3人子
いつも読む	56	39	66	56	56	47	57	56
時々読む	37	48	30	36	37	42	37	36
ほとんど	6	10	3	6	5	9	5	6
全くない	1	2	1	1	1	2	1	1
無回答等	0	0	0	0	0	1	0	0

	小学生	中学生	都市部	福岡市	北九市	粕屋郡	筑豊	筑後
いつも読む	52	52	51	52	51	61	55	54
時々読む	38	40	39	38	41	31	39	40
ほとんど	8	7	7	7	7	6	5	4
全くない	2	1	2	3	1	1	1	0
無回答等	0	0	0	0	0	0	0	0

%

1 4 学校からもらうプリントを読みますか



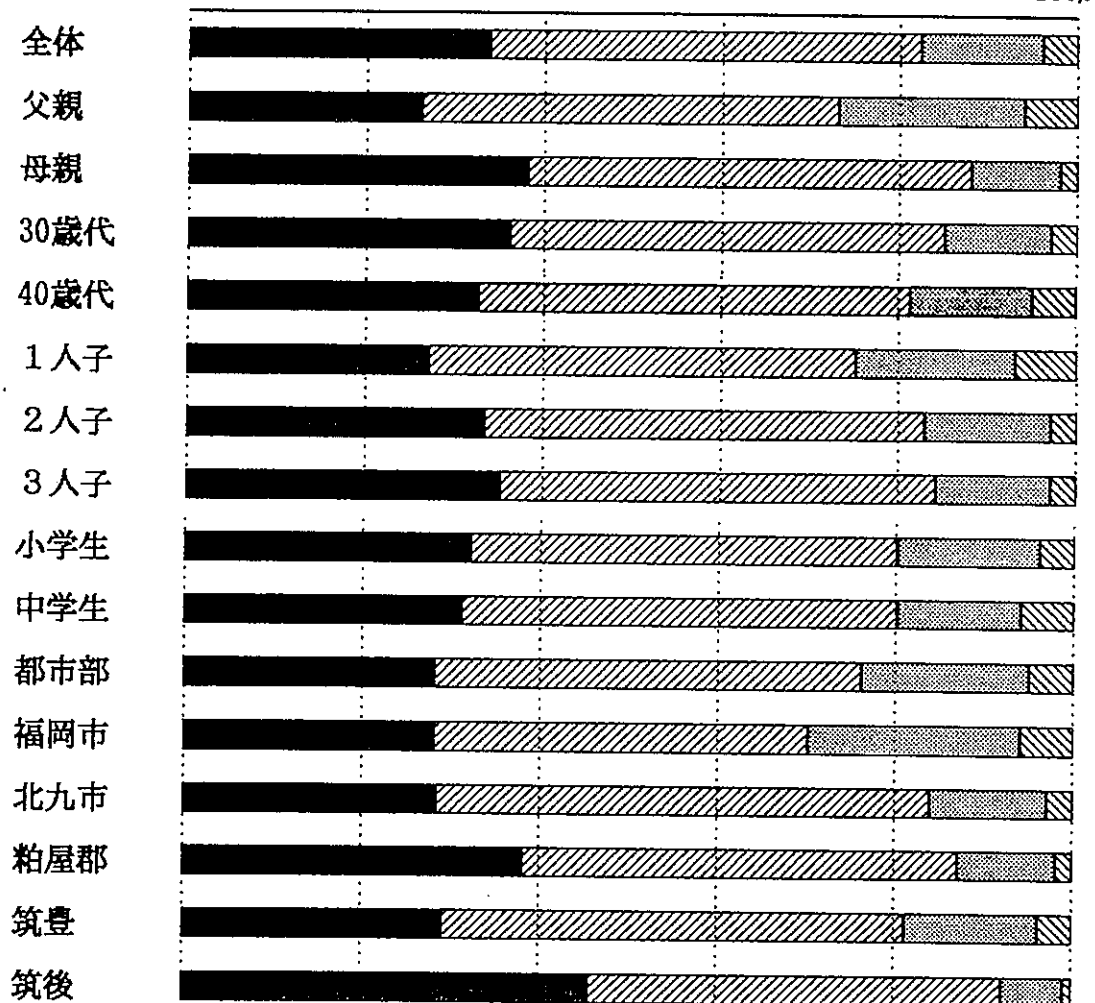
	全体	父親	母親	30歳代	40歳代	1人子	2人子	3人子
いつも読む	72	39	92	77	67	72	72	73
時々読む	22	47	8	19	26	21	23	21
ほとんど	5	13	0	4	6	6	5	4
全くない	1	2	0	1	1	0	1	1
無回答等	0	0	0	0	0	0	0	0

	小学生	中学生	都市部	福岡市	北九市	粕屋郡	筑豊	筑後
いつも読む	65	76	69	70	67	74	73	70
時々読む	29	18	25	24	25	21	21	25
ほとんど	5	6	6	6	7	4	5	4
全くない	1	0	1	0	1	1	1	1
無回答等	0	0	0	0	0	0	0	1

%

15 地域の行事や集会に参加していますか

■いつも参加 ▨時々参加 ▩ほとんど ▧全くない □無回答等



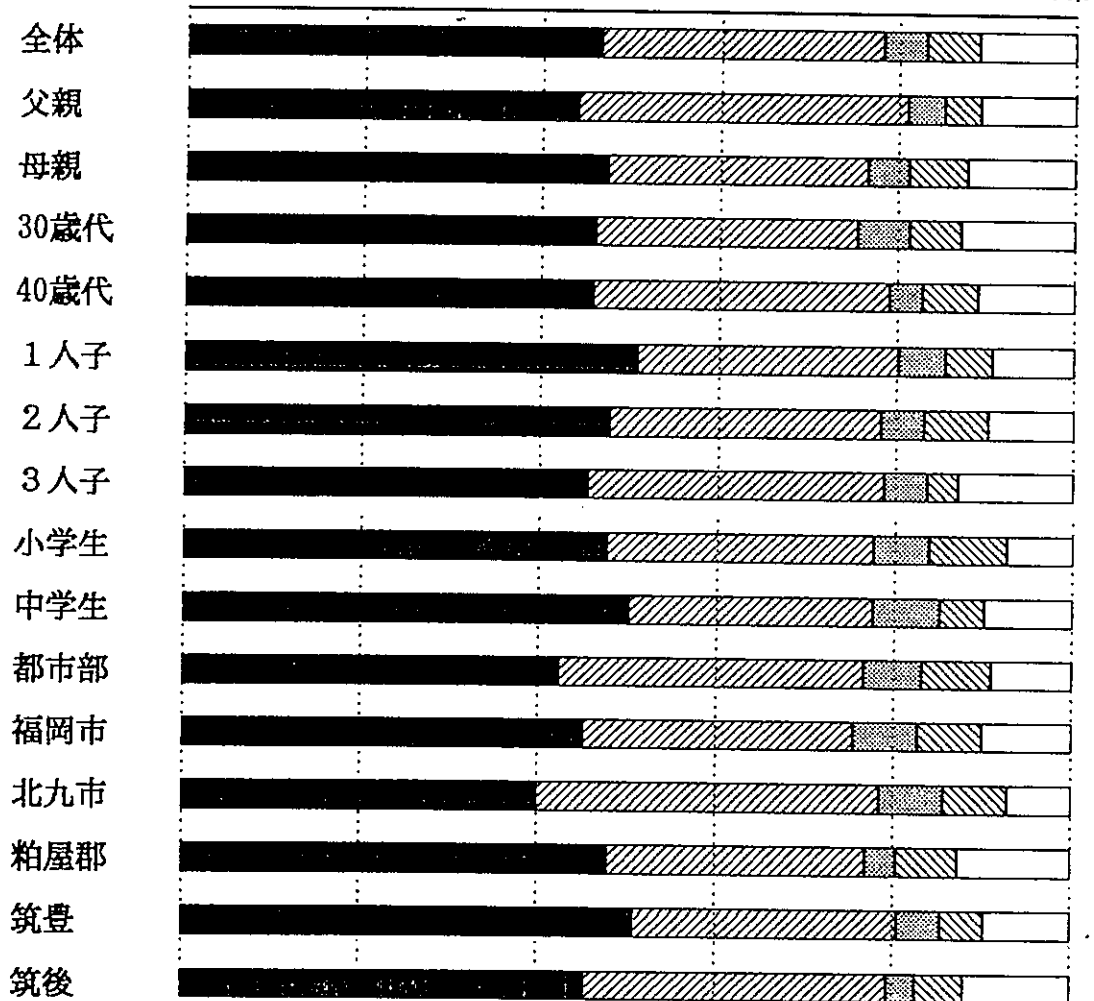
	全体	父親	母親	30歳代	40歳代	1人子	2人子	3人子
いつも参加	34	26	38	36	32	27	33	35
時々参加	49	47	50	49	49	48	49	49
ほとんど	14	21	10	12	16	18	14	13
全くない	4	6	2	3	4	7	3	3
無回答等	0	0	0	0	0	0	0	0

	小学生	中学生	都市部	福岡市	北九市	粕屋郡	筑豊	筑後
いつも参加	32	31	28	28	28	38	29	45
時々参加	48	49	48	42	55	49	52	46
ほとんど	16	14	19	24	13	11	15	7
全くない	4	6	5	6	3	2	4	1
無回答等	0	0	0	0	0	0	0	0

%

16 参加するのはどの理由ですか

■近所付合い ▨人間関係 ▩楽しいから ▪なんとなく □その他等

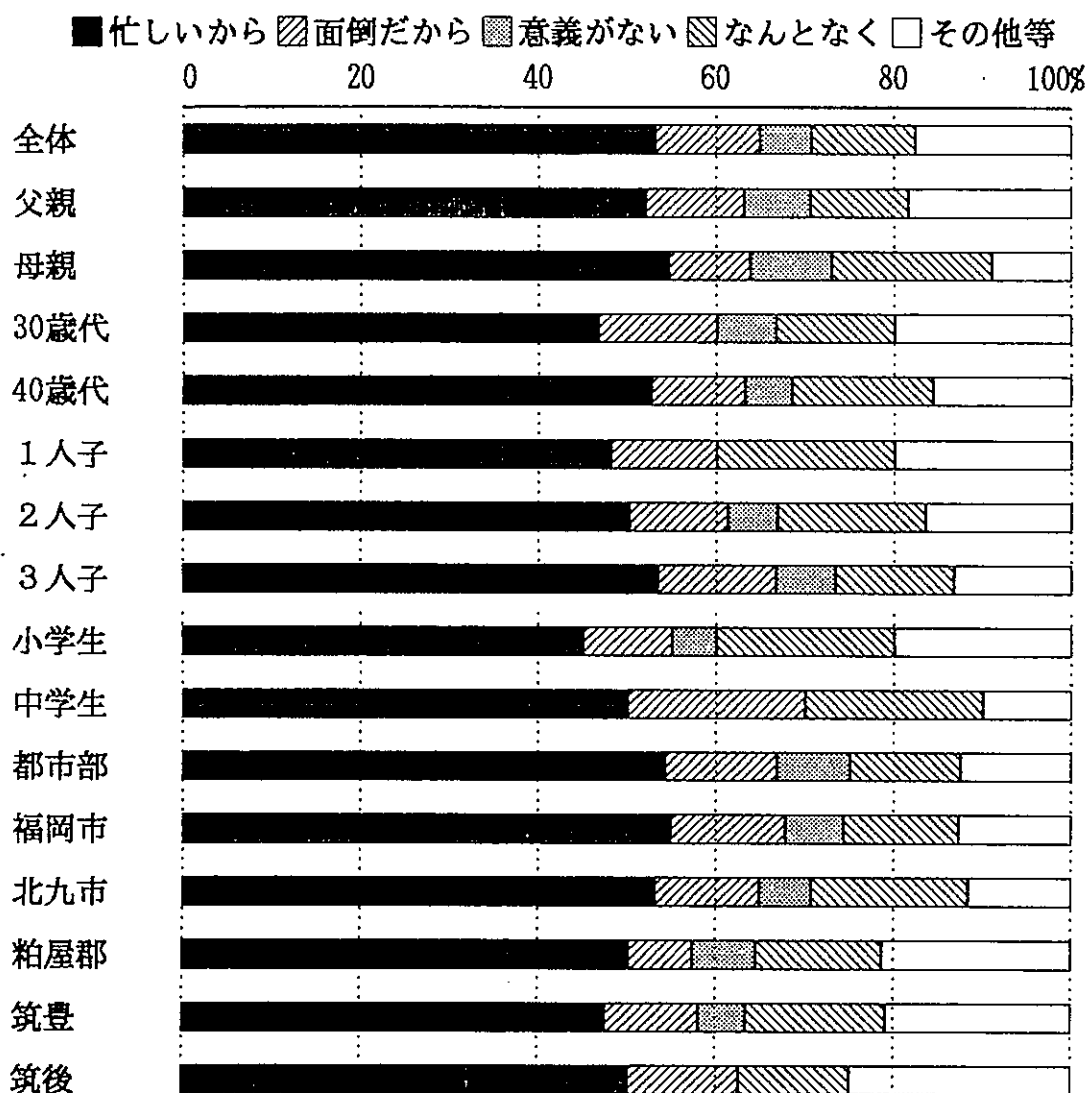


	全体	父親	母親	30歳代	40歳代	1人子	2人子	3人子
近所付合い	38	32	42	39	37	38	39	38
人間関係	26	27	26	25	27	22	25	28
楽しいから	4	3	4	5	3	4	4	4
なんとなく	5	3	6	5	5	4	6	3
その他等	9	8	11	11	9	7	8	11

	小学生	中学生	都市部	福岡市	北九市	粕屋郡	筑豊	筑後
近所付合い	38	40	32	31	33	41	41	41
人間関係	24	22	26	21	32	25	24	31
楽しいから	5	6	5	5	6	3	4	3
なんとなく	7	4	6	5	6	6	4	5
その他等	6	8	7	7	6	11	8	11

%(注)

17 参加しないのはどの理由ですか



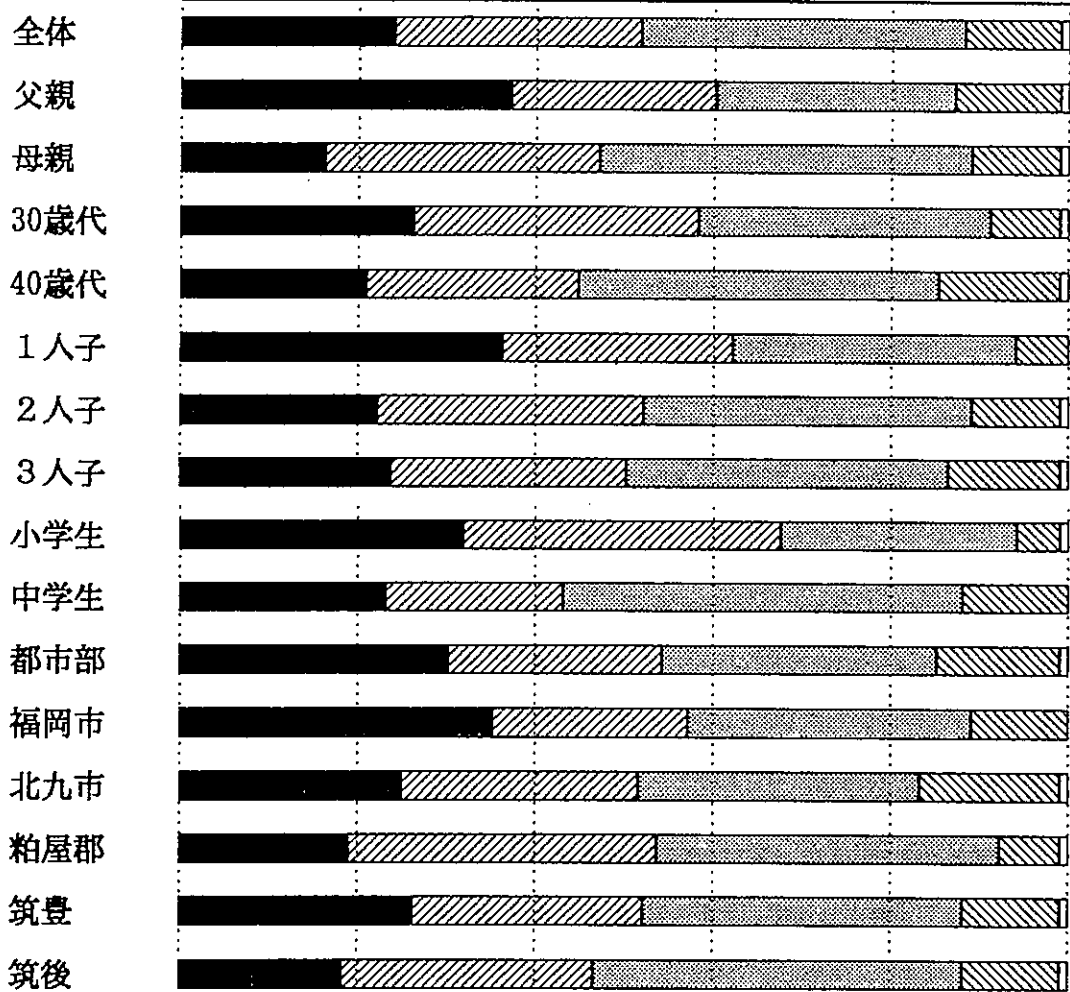
	全体	父親	母親	30歳代	40歳代	1人子	2人子	3人子
忙しいから	9	14	6	7	10	12	9	8
面倒だから	2	3	1	2	2	3	2	2
意義がない	1	2	1	1	1	0	1	1
なんとなく	2	3	2	2	3	5	3	2
その他等	3	5	1	3	3	5	3	2

	小学生	中学生	都市部	福岡市	北九市	粕屋郡	筑豊	筑後
忙しいから	9	10	13	17	9	7	9	4
面倒だから	2	4	3	4	2	1	2	1
意義がない	1	0	2	2	1	1	1	0
なんとなく	4	4	3	4	3	2	3	1
その他等	4	2	3	4	2	3	4	2

%(注)

18 地域の世話役をしたことがありますか

■全くない ▨1回ある ▩2～4回 ▪5回以上 □無回答等
0 20 40 60 80 100%



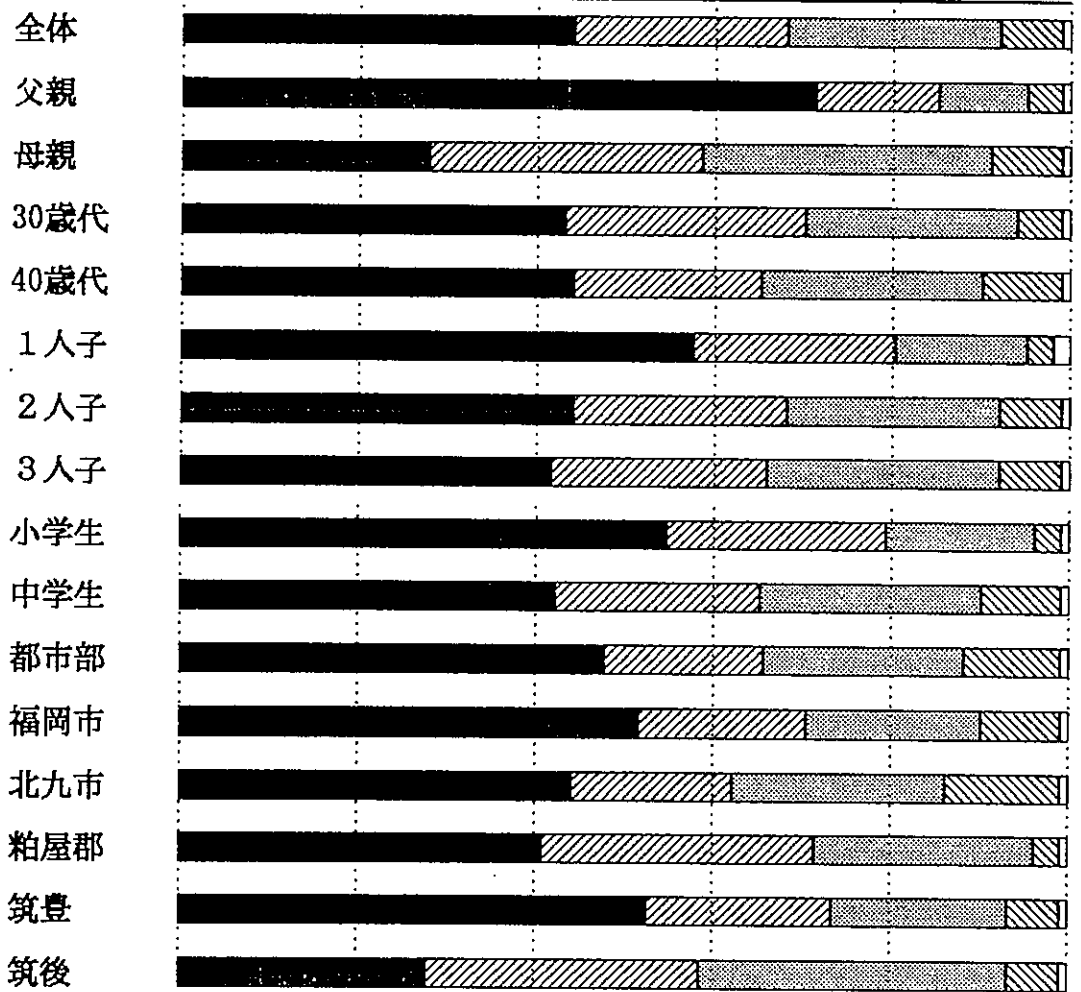
	全体	父親	母親	30歳代	40歳代	1人子	2人子	3人子
全くない	24	37	16	26	21	36	22	24
1回ある	28	23	31	32	24	26	30	27
2～4回	37	27	42	33	41	32	37	37
5回以上	11	12	10	8	14	6	10	13
無回答等	1	1	1	1	1	0	1	1

	小学生	中学生	都市部	福岡市	北九市	粕屋郡	筑豊	筑後
全くない	32	23	30	35	25	19	26	18
1回ある	36	20	24	22	27	35	26	28
2～4回	27	45	31	32	32	39	36	41
5回以上	5	12	14	11	16	7	11	11
無回答等	1	0	1	0	1	1	1	1

%

19 PTAの世話役をしたことがあるか

■全くない ▨1回ある ▩2～4回 ▪5回以上 □無回答等
0 20 40 60 80 100%



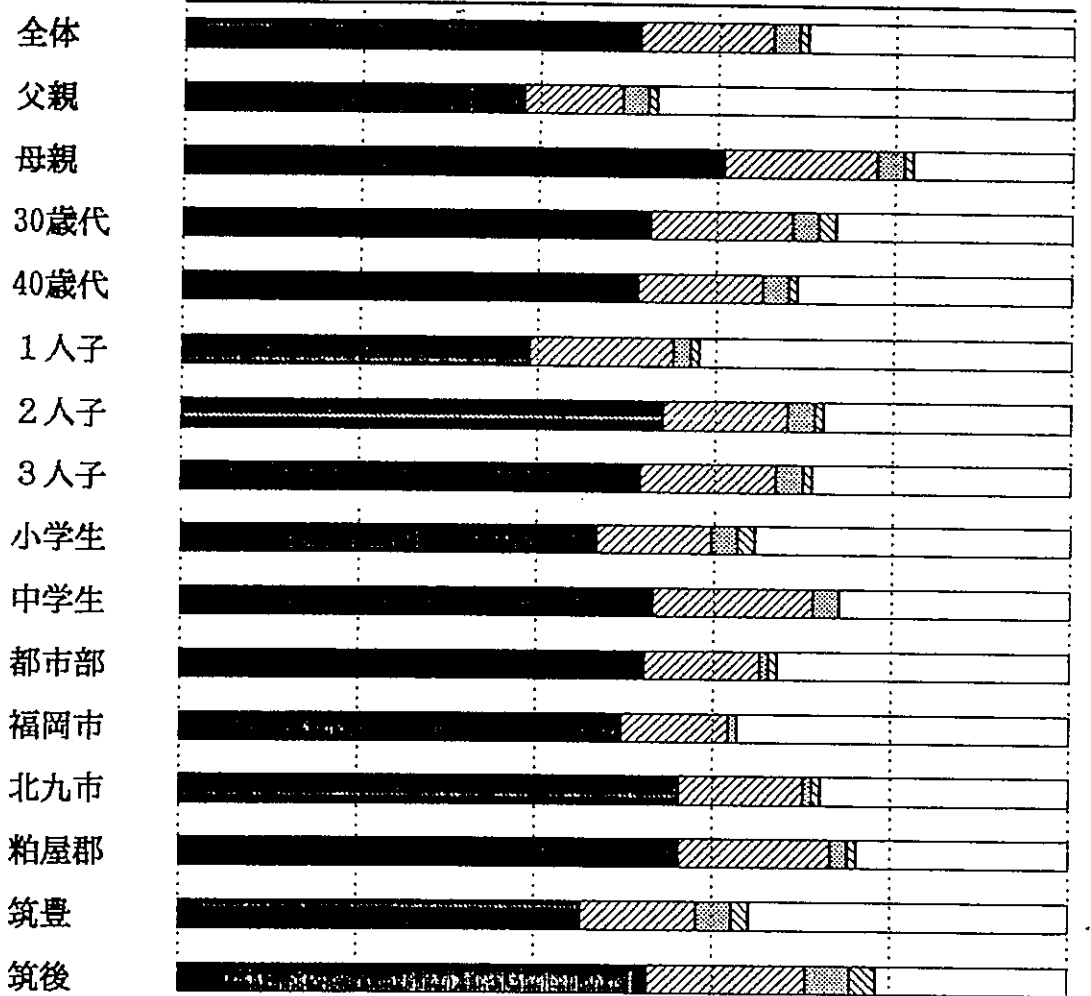
	全体	父親	母親	30歳代	40歳代	1人子	2人子	3人子
全くない	44	71	28	43	44	58	44	41
1回ある	24	14	31	27	21	23	24	24
2～4回	24	10	33	24	25	15	24	26
5回以上	7	4	8	5	9	3	7	7
無回答等	1	1	1	1	1	2	1	1

	小学生	中学生	都市部	福岡市	北九市	粕屋郡	筑豊	筑後
全くない	55	42	48	52	44	41	53	28
1回ある	25	23	18	19	18	31	21	31
2～4回	17	25	23	20	24	25	20	35
5回以上	3	9	11	9	13	3	6	6
無回答等	1	1	1	1	1	1	1	1

%

20 どのように世話を果たしていますか

■ 一生懸命 ▨ ほどほど ▩ あまりない ▪ その他 □ 回答不能等

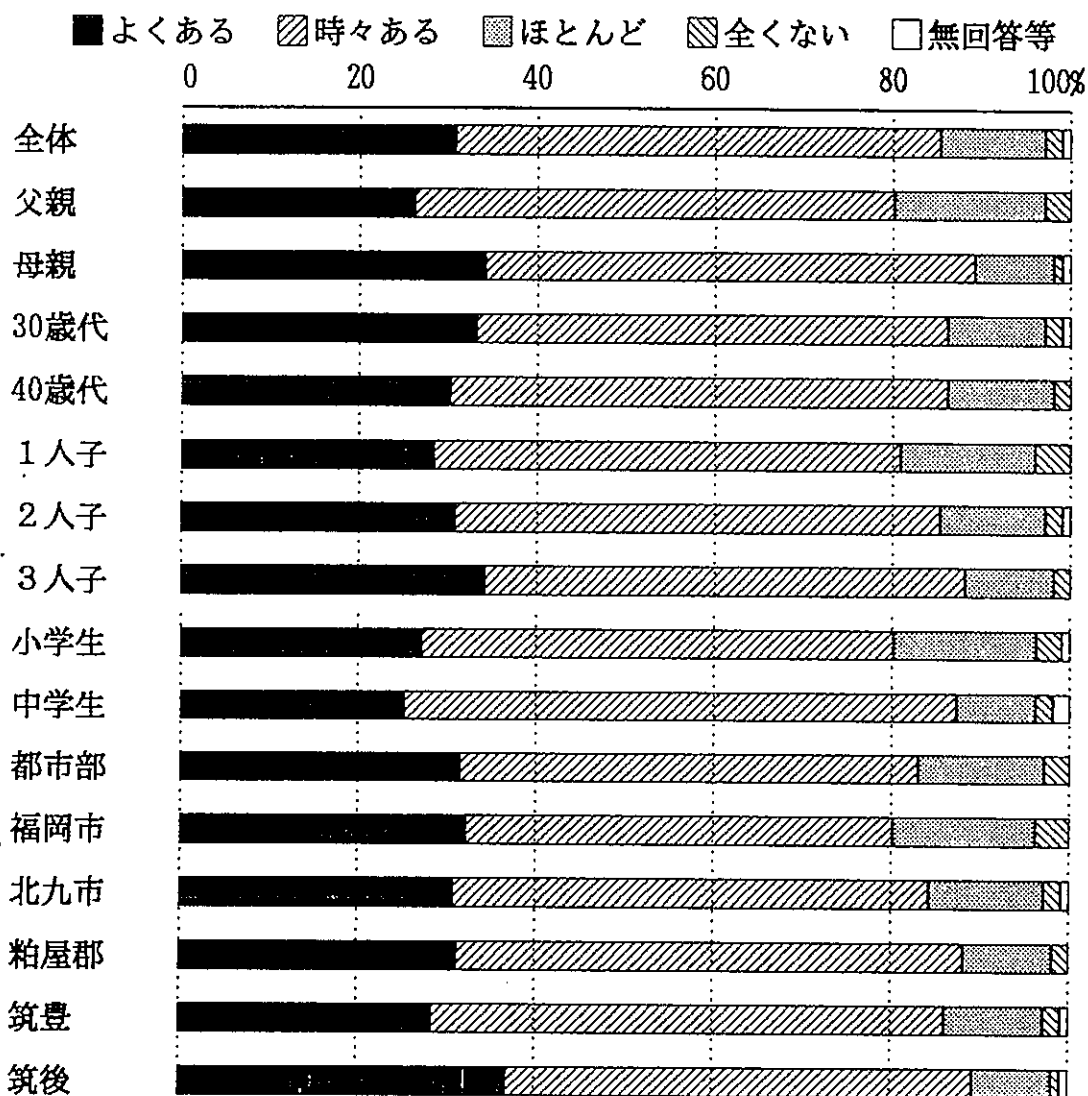


	全体	父親	母親	30歳代	40歳代	1人子	2人子	3人子
一生懸命	51	38	60	53	51	39	54	51
ほどほど	15	11	17	16	14	16	14	15
あまりない	3	3	3	3	3	2	3	3
その他	1	1	1	2	1	1	1	1
回答不能等	30	47	18	27	31	42	28	29

	小学生	中学生	都市部	福岡市	北九市	粕屋郡	筑豊	筑後
一生懸命	47	53	52	49	56	56	45	53
ほどほど	13	18	13	12	14	17	13	18
あまりない	3	3	1	1	1	2	4	5
その他	2	0	1	0	1	1	2	3
回答不能等	36	26	33	37	28	24	36	22

%

2 1 隣近所の人と雑談をしますか

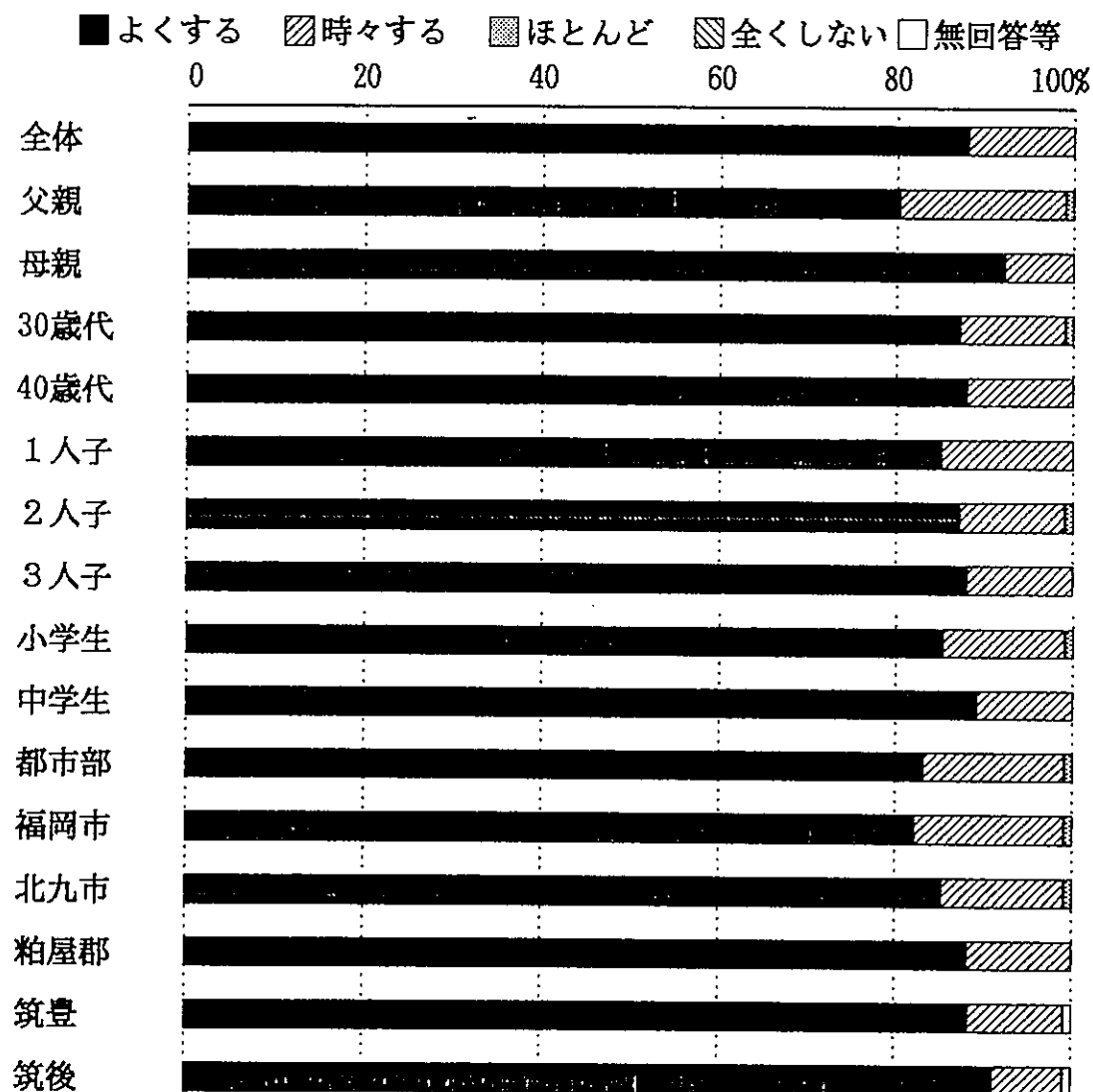


	全体	父親	母親	30歳代	40歳代	1人子	2人子	3人子
よくある	31	26	34	33	30	28	31	34
時々ある	55	54	55	53	56	52	55	54
ほとんど	12	17	9	11	12	15	12	10
全くない	2	3	1	2	2	4	2	2
無回答等	1	0	1	1	0	0	1	0

	小学生	中学生	都市部	福岡市	北九市	粕屋郡	筑豊	筑後
よくある	27	25	31	32	31	31	28	37
時々ある	53	62	51	48	54	57	57	53
ほとんど	16	9	14	16	13	10	11	9
全くない	3	2	3	4	2	2	2	1
無回答等	1	2	0	0	1	0	1	1

%

2.2 近所の人とあいさつしたりしますか

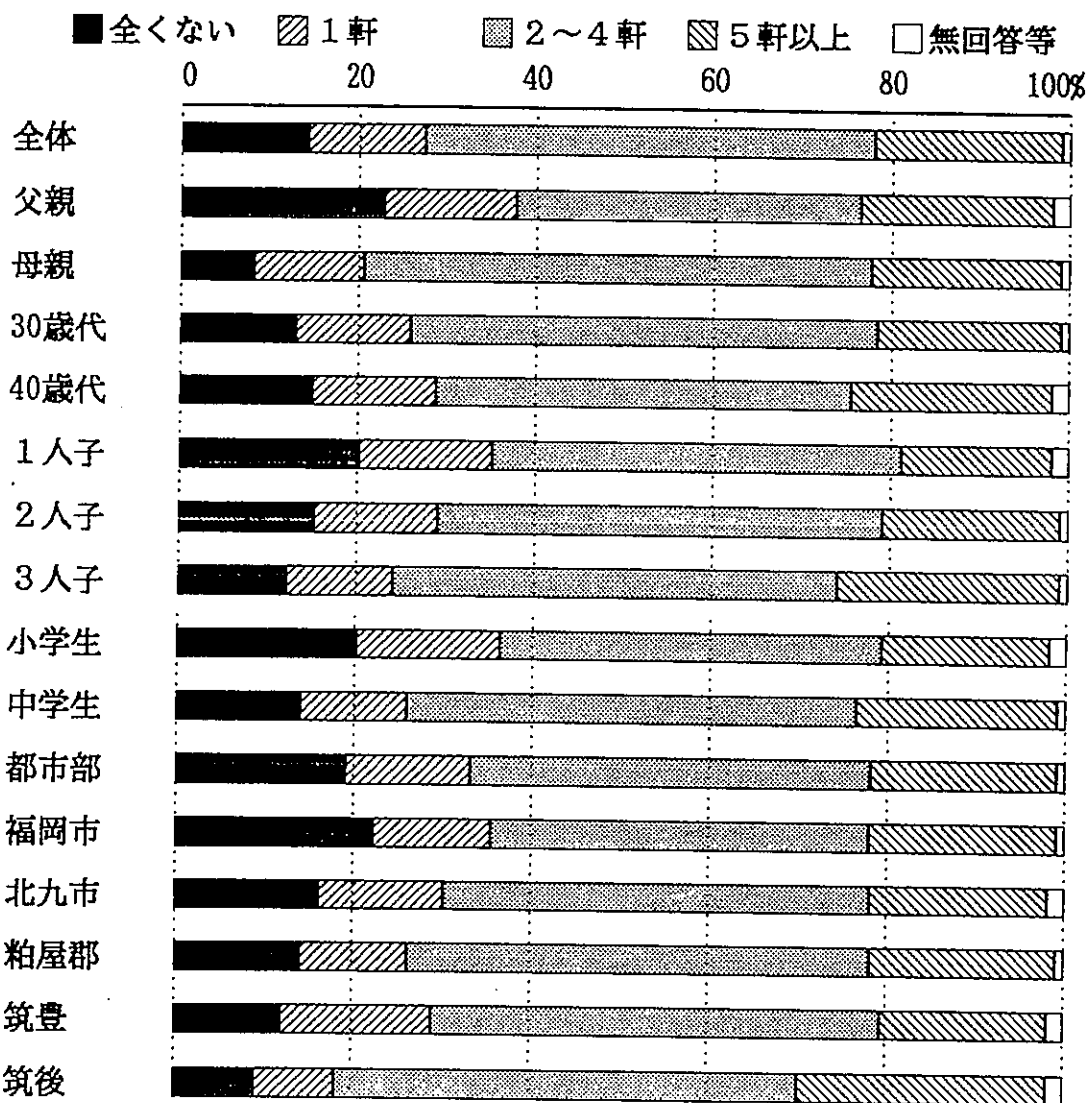


	全体	父親	母親	30歳代	40歳代	1人子	2人子	3人子
よくする	87	80	92	87	87	85	87	87
時々する	12	19	8	12	12	15	12	12
ほとんど	0	1	0	1	0	0	1	0
全くしない	0	0	0	0	0	0	0	0
無回答等	0	0	0	0	0	0	0	0

	小学生	中学生	都市部	福岡市	北九市	粕屋郡	筑豊	筑後
よくする	85	89	83	82	85	88	89	90
時々する	14	11	16	17	14	12	11	8
ほとんど	1	0	1	1	1	0	0	0
全くしない	0	0	0	0	0	0	0	0
無回答等	0	0	0	0	0	0	1	1

%

2 3 気軽に行き来できる家は何軒くらいか



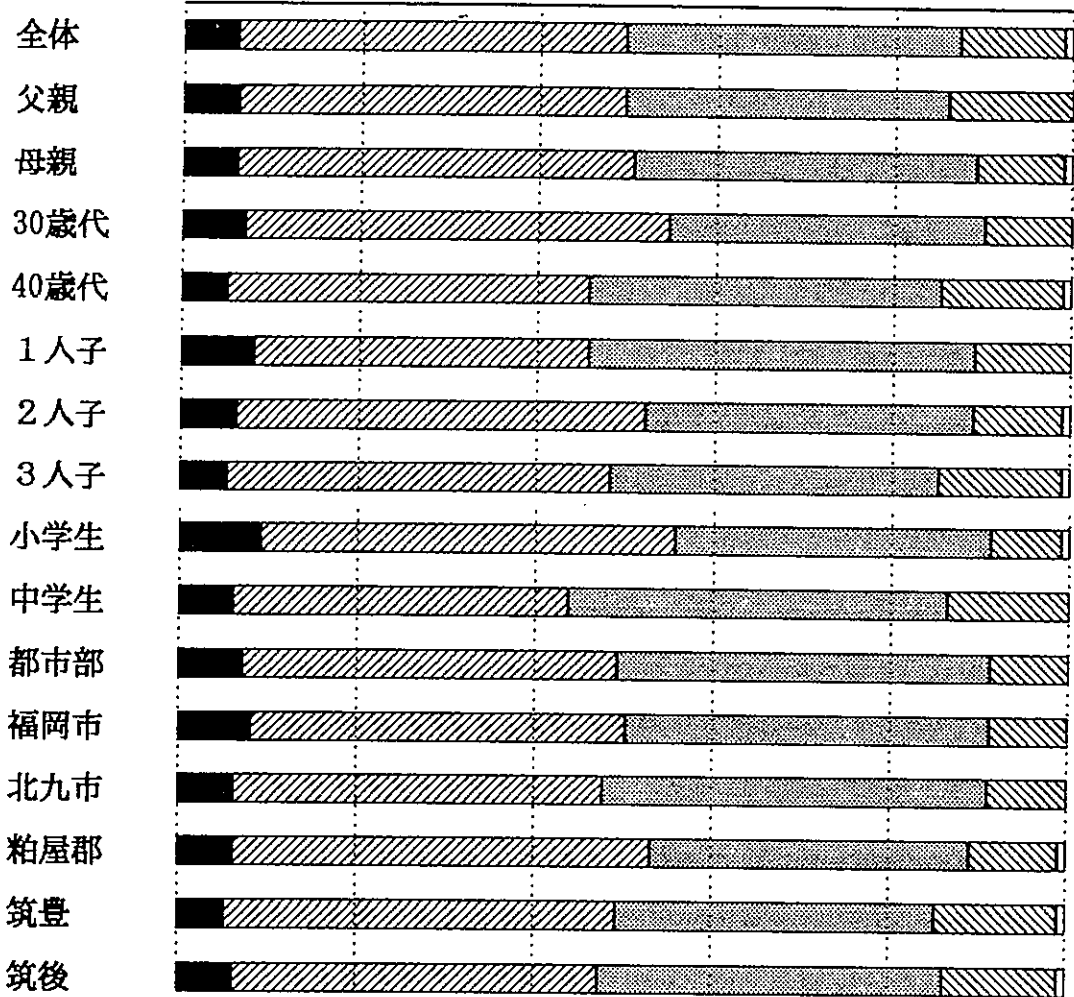
	全体	父親	母親	30歳代	40歳代	1人子	2人子	3人子
全くない	14	23	8	13	15	20	15	12
1軒	13	15	12	13	14	15	14	12
2～4軒	50	39	56	53	47	46	50	50
5軒以上	21	22	21	21	23	17	20	25
無回答等	1	2	1	1	2	2	1	1

	小学生	中学生	都市部	福岡市	北九市	粕屋郡	筑豊	筑後
全くない	20	14	19	22	16	14	12	9
1軒	16	12	14	13	14	12	17	9
2～4軒	43	51	45	42	48	52	51	52
5軒以上	19	23	21	21	20	21	19	28
無回答等	2	1	1	1	2	1	2	2

%

2.4 近所づきあいをわずらわしいと思うか

■よくある ▨時々ある ▩ほとんど ▤全くない □無回答等
0 20 40 60 80 100%

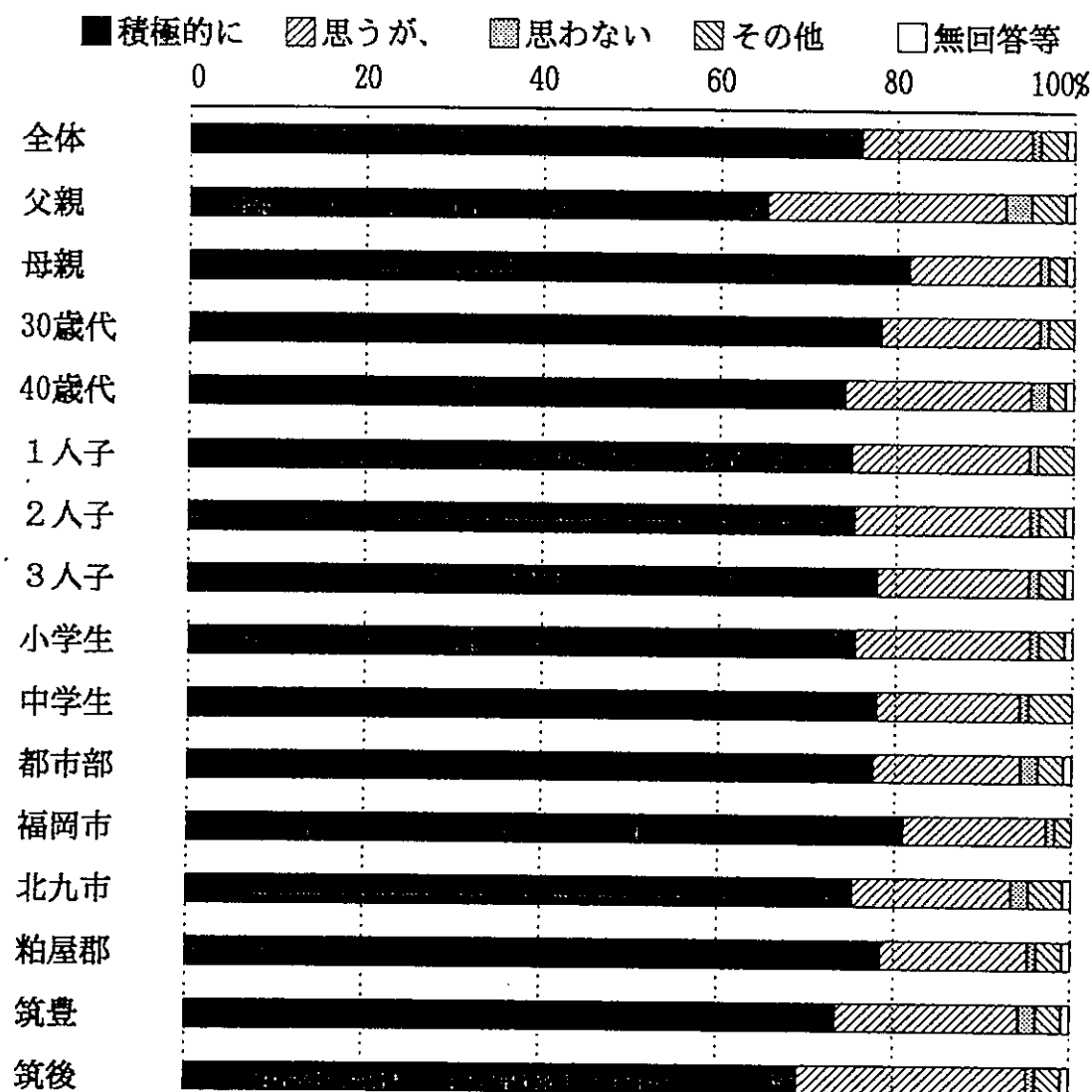


	全体	父親	母親	30歳代	40歳代	1人子	2人子	3人子
よくある	6	6	6	7	5	8	6	5
時々ある	44	43	45	48	41	38	46	43
ほとんど	38	36	39	36	40	44	37	37
全くない	12	14	10	10	14	11	10	14
無回答等	1	0	1	0	1	0	1	1

	小学生	中学生	都市部	福岡市	北九市	粕屋郡	筑豊	筑後
よくある	9	6	7	8	6	6	5	6
時々ある	47	38	42	42	41	47	44	41
ほとんど	36	43	42	41	43	36	36	39
全くない	8	14	9	9	9	10	14	13
無回答等	1	0	0	0	0	1	1	1

%

25 お年寄りが立っているのを見たら、

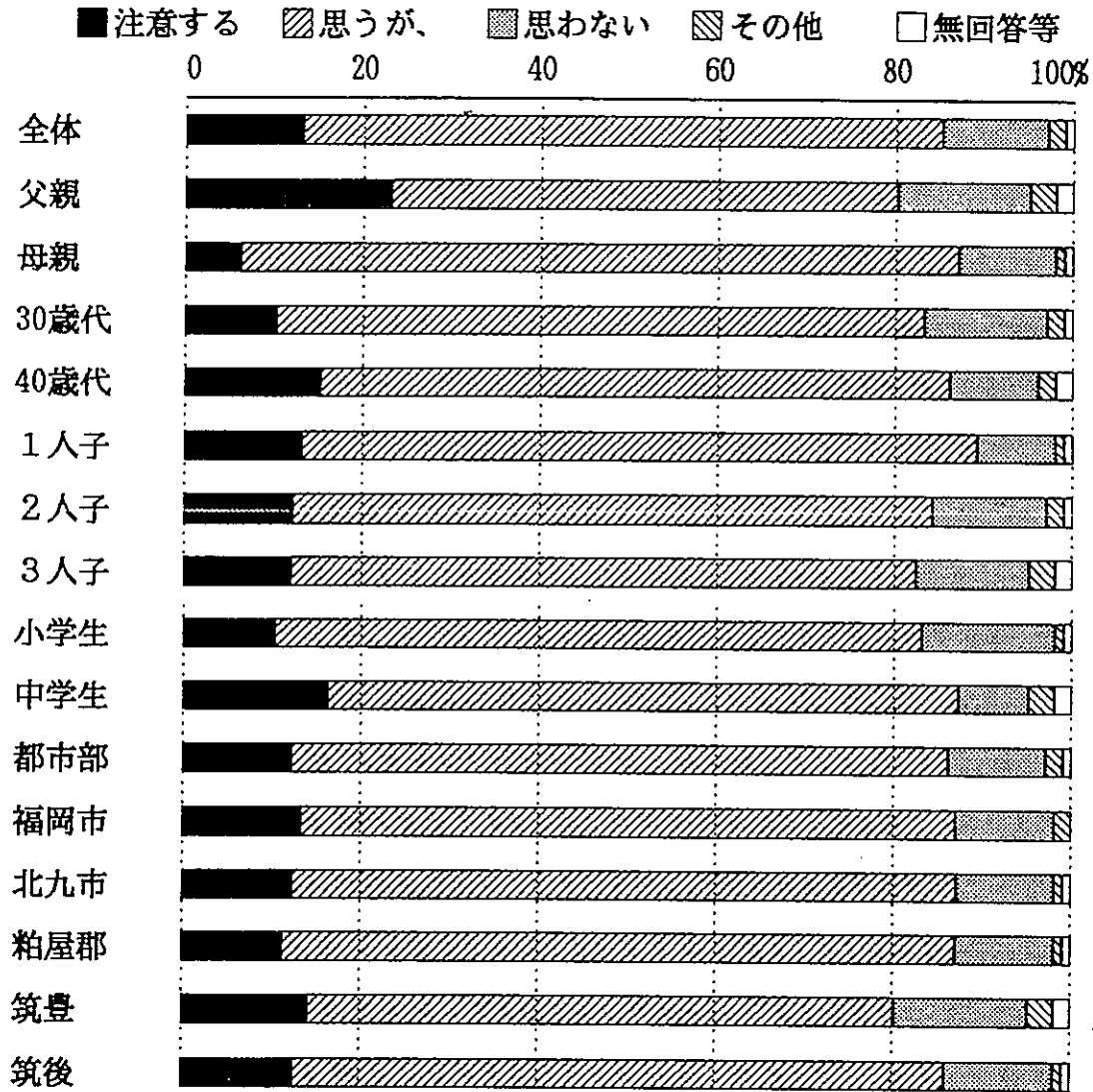


	全体	父親	母親	30歳代	40歳代	1人子	2人子	3人子
積極的に	75	65	82	78	74	74	75	77
思うが、	19	27	15	18	21	20	20	17
思わない	1	3	1	1	2	1	1	1
その他	3	4	2	3	2	4	3	3
無回答等	1	1	1	0	1	0	1	1

	小学生	中学生	都市部	福岡市	北九市	粕屋郡	筑豊	筑後
積極的に	76	77	78	80	75	79	74	69
思うが、	20	16	17	16	18	17	21	26
思わない	1	1	2	1	2	1	2	1
その他	3	5	3	2	4	3	3	3
無回答等	1	0	1	0	1	1	1	1

%

26 高校生がタバコを吸うのを見たら、



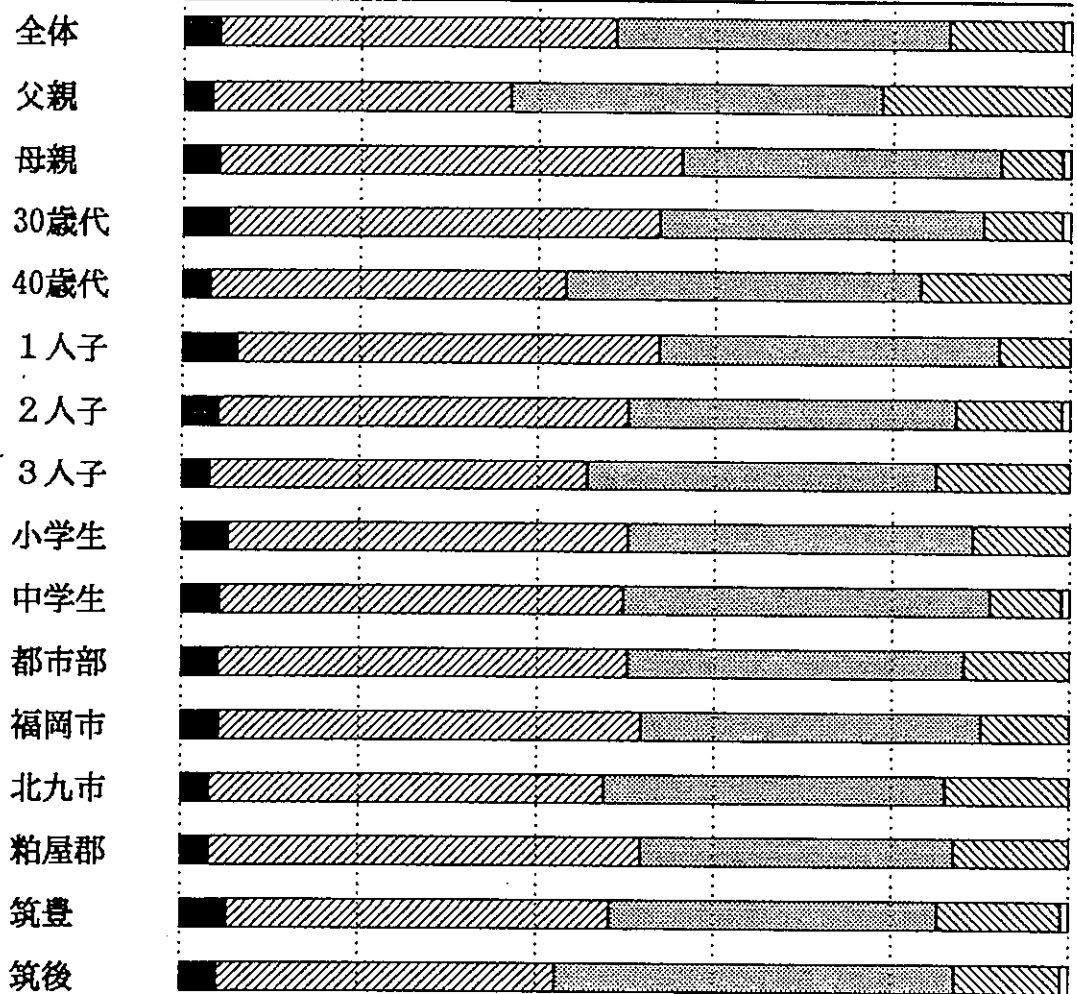
	全体	父親	母親	30歳代	40歳代	1人子	2人子	3人子
注意する	13	23	6	10	15	13	12	12
思うが、	72	57	81	73	71	76	72	71
思わない	12	15	11	14	10	9	13	13
その他	2	3	1	2	2	1	2	3
無回答等	1	2	1	1	2	1	1	2

	小学生	中学生	都市部	福岡市	北九市	粕屋郡	筑豊	筑後
注意する	10	16	12	13	12	11	14	12
思うが、	73	71	74	73	74	75	66	72
思わない	15	8	11	11	11	11	15	12
その他	1	3	2	2	1	1	3	1
無回答等	1	2	1	0	1	1	2	1

%

27 食べられるのに食物を捨てたりするか

■よくある ▨時々ある ▩ほとんど ▧全くない □無回答等
0 20 40 60 80 100%

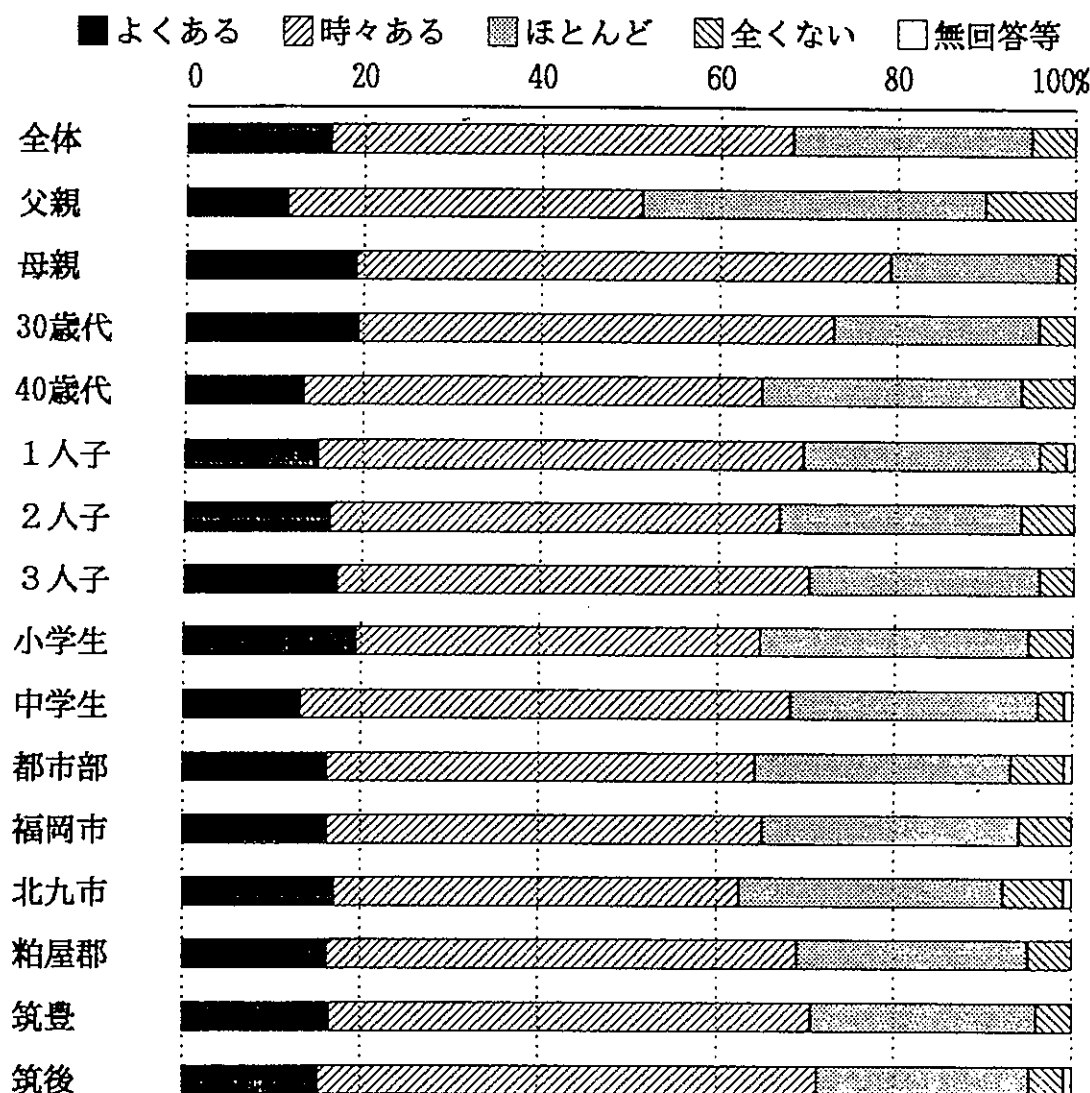


	全体	父親	母親	30歳代	40歳代	1人子	2人子	3人子
よくある	4	3	4	5	3	6	4	3
時々ある	45	33	52	49	40	47	46	42
ほとんど	38	41	36	37	40	38	37	39
全くない	13	21	7	9	17	8	12	15
無回答等	1	0	1	1	0	0	1	0

	小学生	中学生	都市部	福岡市	北九市	粕屋郡	筑豊	筑後
よくある	5	4	4	4	3	3	5	4
時々ある	45	45	46	47	44	48	43	38
ほとんど	39	41	38	38	38	35	37	45
全くない	11	8	12	10	14	13	14	12
無回答等	0	1	0	0	0	0	1	1

%

2.8 間食をすることがありますか

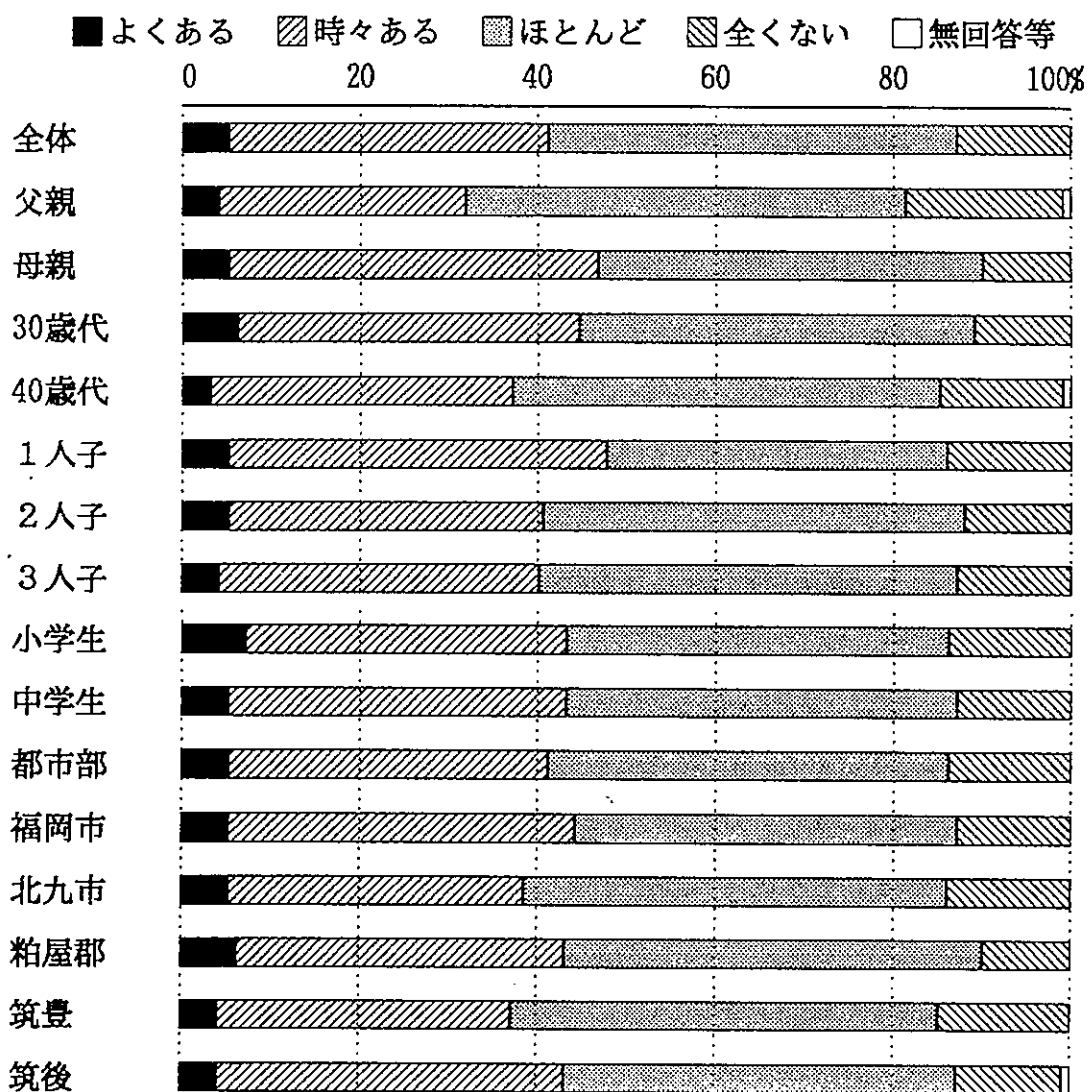


	全体	父親	母親	30歳代	40歳代	1人子	2人子	3人子
よくある	16	11	19	19	13	15	16	17
時々ある	52	39	60	53	51	55	50	53
ほとんど	27	38	19	23	29	27	27	26
全くない	5	10	2	4	6	3	6	4
無回答等	0	0	0	0	0	1	0	0

	小学生	中学生	都市部	福岡市	北九市	粕屋郡	筑豊	筑後
よくある	19	13	16	16	17	16	16	15
時々ある	45	55	48	49	46	53	53	56
ほとんど	30	28	29	29	30	26	25	24
全くない	5	3	6	6	7	5	4	4
無回答等	0	1	1	0	1	0	0	1

%

29 欲しいと思ったらつい買ってしまうか

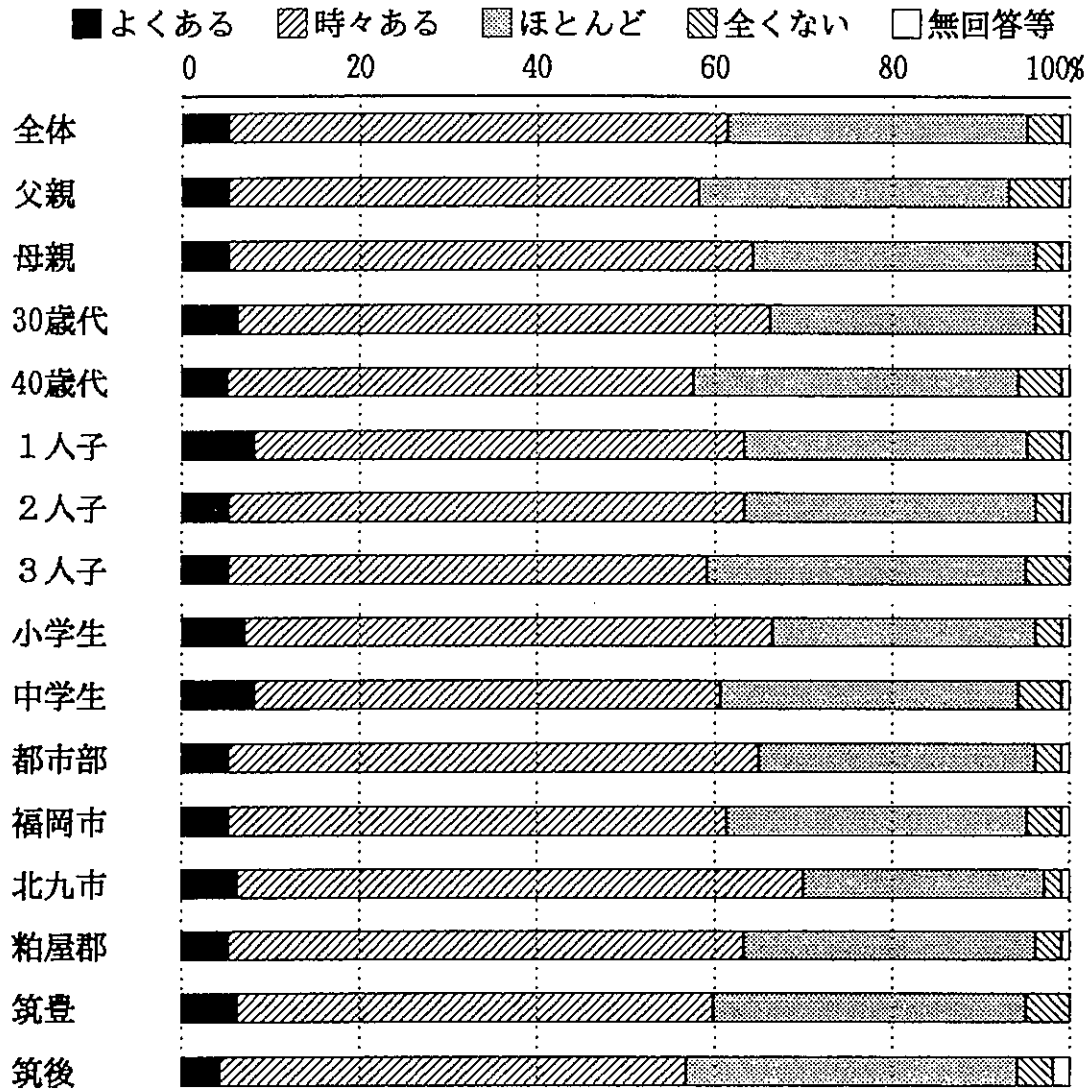


	全体	父親	母親	30歳代	40歳代	1人子	2人子	3人子
よくある	5	4	5	6	3	5	5	4
時々ある	36	28	41	38	34	42	35	36
ほとんど	46	50	43	44	48	38	47	47
全くない	13	18	10	11	14	14	12	13
無回答等	0	1	0	0	1	0	0	0

	小学生	中学生	都市部	福岡市	北九市	粕屋郡	筑豊	筑後
よくある	7	5	5	5	5	6	4	4
時々ある	36	38	36	39	33	37	33	39
ほとんど	43	44	45	43	47	47	48	44
全くない	14	13	14	13	14	10	15	12
無回答等	0	0	0	0	0	0	0	1

%

30 いけないと言うことを自分でするか



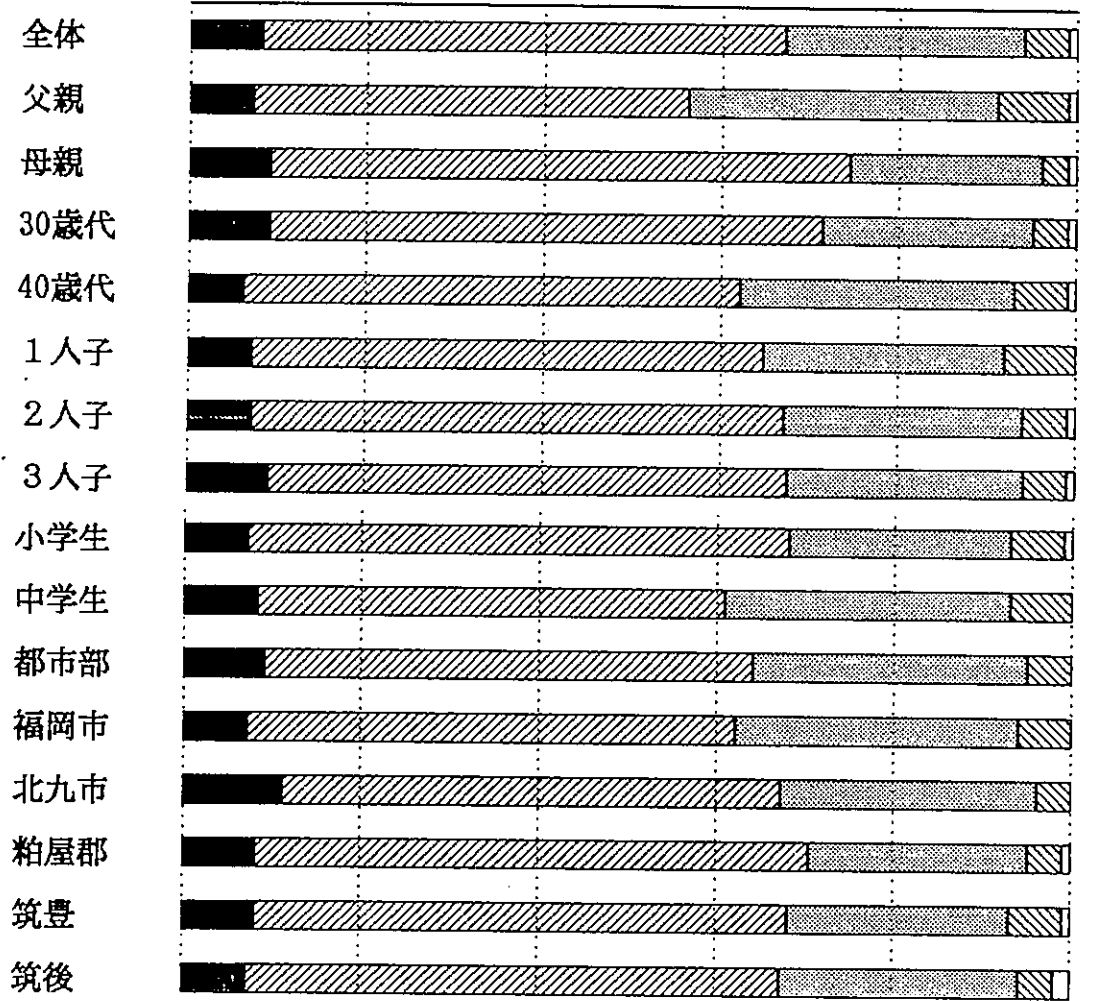
	全体	父親	母親	30歳代	40歳代	1人子	2人子	3人子
よくある	5	5	5	6	5	8	5	5
時々ある	56	53	59	60	53	55	58	54
ほとんど	34	35	32	30	37	32	33	36
全くない	4	6	3	3	5	4	3	5
無回答等	1	1	1	1	1	1	1	0

	小学生	中学生	都市部	福岡市	北九市	粕屋郡	筑豊	筑後
よくある	7	8	5	5	6	5	6	4
時々ある	60	53	59	56	63	58	53	52
ほとんど	30	34	31	34	27	33	35	37
全くない	3	5	3	4	2	3	5	4
無回答等	1	1	1	1	1	1	0	2

%

3.1 イライラして家族にあたりたりするか

よくある
 時々ある
 ほとんど
 全くない
 無回答等



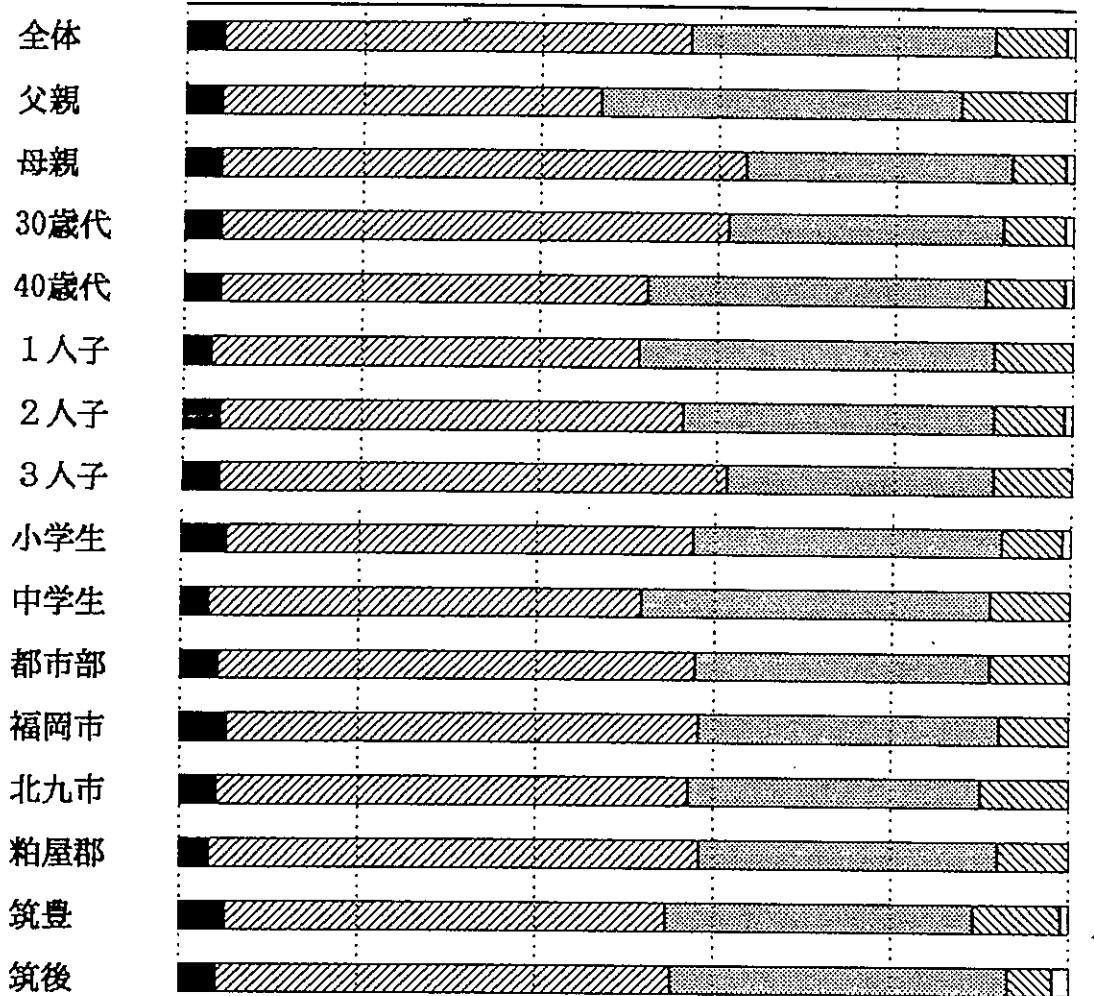
	全体	父親	母親	30歳代	40歳代	1人子	2人子	3人子
よくある	8	7	9	9	6	7	7	9
時々ある	59	49	66	63	56	57	60	59
ほとんど	27	35	22	24	31	27	27	27
全くない	5	8	3	4	6	8	5	5
無回答等	1	1	1	1	1	0	1	1

	小学生	中学生	都市部	福岡市	北九市	粕屋郡	筑豊	筑後
よくある	7	8	9	7	11	8	8	7
時々ある	61	52	55	55	56	63	60	60
ほとんど	25	32	31	32	29	25	25	27
全くない	6	7	5	6	4	4	6	4
無回答等	1	0	0	0	0	1	1	2

%

3.2 仕事や家事などがいやになりますか

よくある
 時々ある
 ほとんど
 全くない
 無回答等

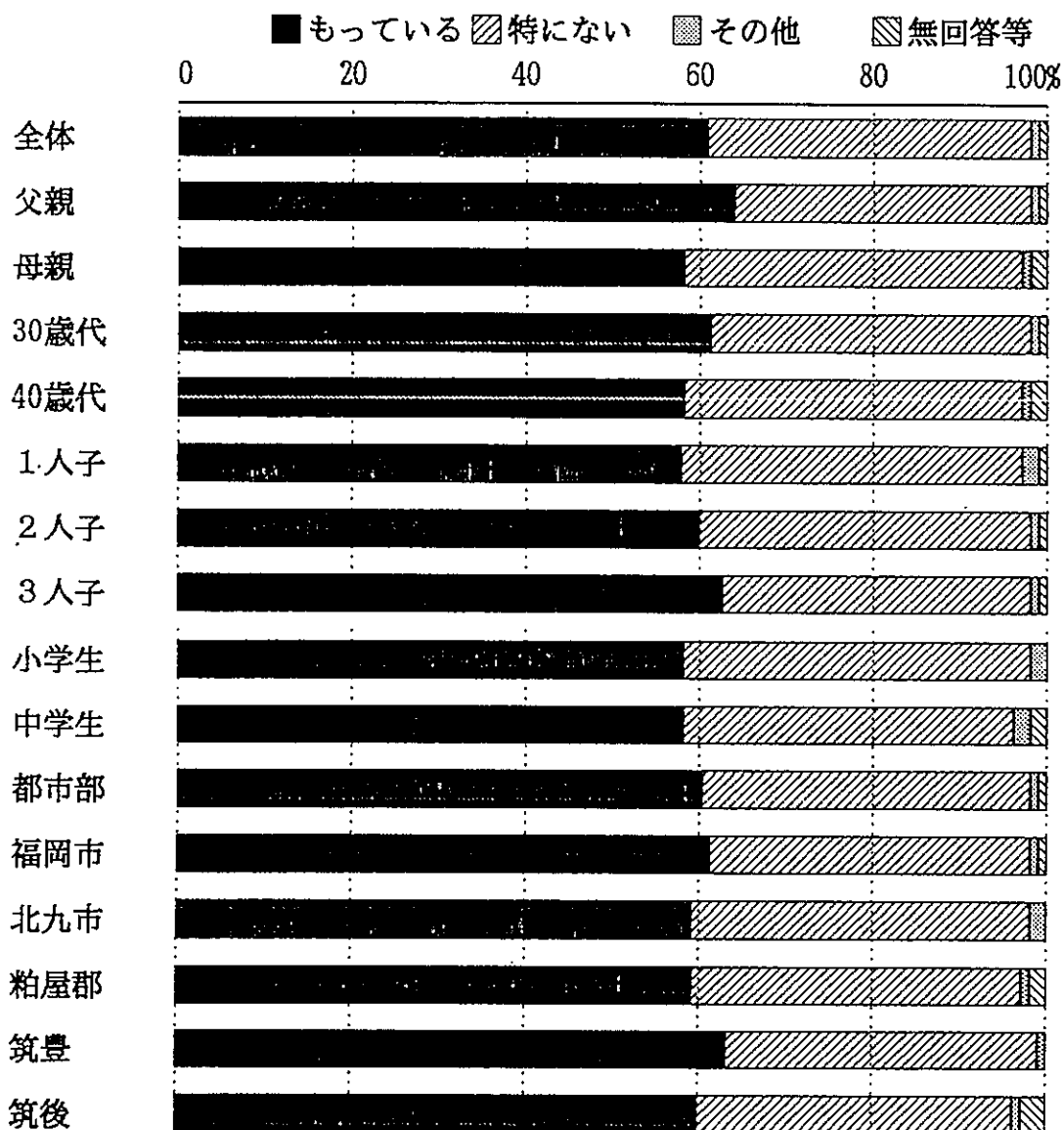


	全体	父親	母親	30歳代	40歳代	1人子	2人子	3人子
よくある	4	4	4	4	4	3	4	4
時々ある	52	43	59	57	48	48	52	57
ほとんど	34	41	30	31	38	40	35	30
全くない	8	12	6	7	9	9	8	9
無回答等	1	1	1	1	1	0	1	0

	小学生	中学生	都市部	福岡市	北九市	粕屋郡	筑豊	筑後
よくある	5	3	4	5	4	3	5	4
時々ある	53	48	53	53	53	54	50	51
ほとんど	35	39	33	34	33	33	35	38
全くない	7	9	9	8	10	8	10	5
無回答等	1	0	0	0	0	0	1	2

%

3.3 将来に何か夢(目標)をもっているか

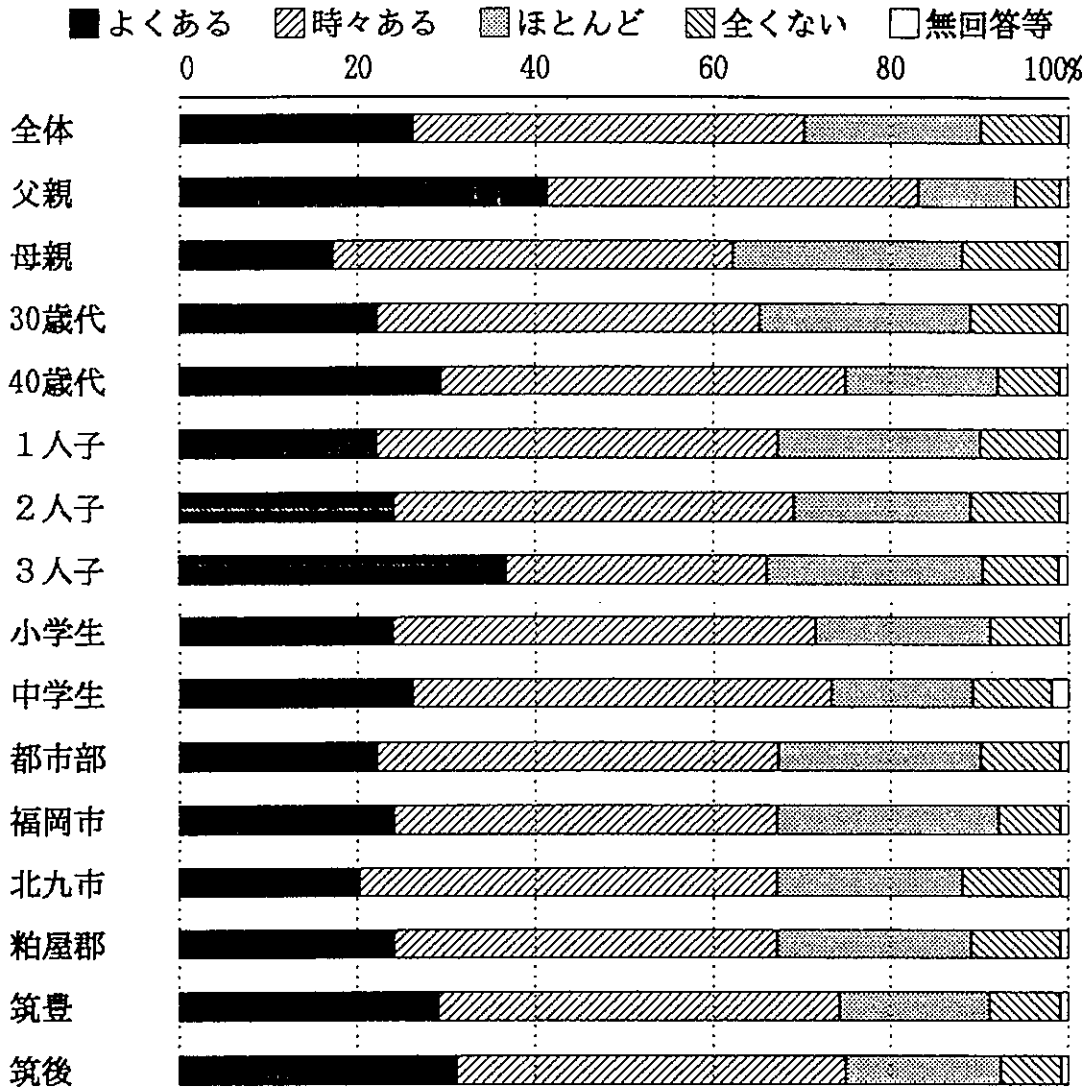


	全体	父親	母親	30歳代	40歳代	1人子	2人子	3人子
もっている	60	63	58	61	58	57	59	63
特にない	37	34	39	37	39	39	38	36
その他	1	1	1	1	1	2	1	1
無回答等	1	1	2	1	2	1	1	1

	小学生	中学生	都市部	福岡市	北九市	粕屋郡	筑豊	筑後
もっている	58	58	60	61	59	59	63	59
特にない	40	38	38	37	39	38	36	36
その他	2	2	1	1	2	1	1	1
無回答等	0	2	1	1	0	2	0	3

%

3.4 大工道具をこの半年の間に使ったか

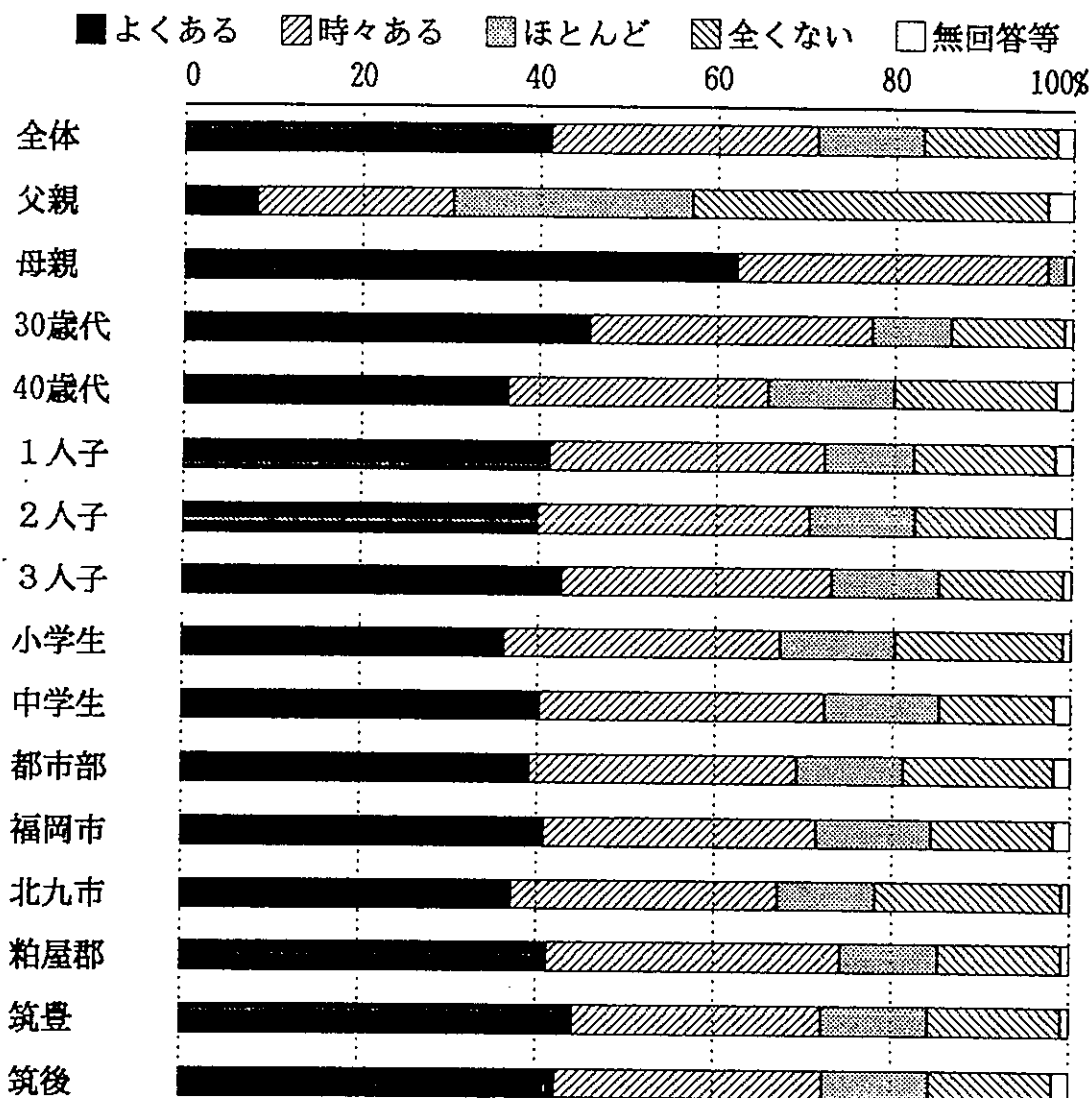


	全体	父親	母親	30歳代	40歳代	1人子	2人子	3人子
よくある	26	41	17	22	29	22	24	30
時々ある	44	42	45	43	45	45	45	24
ほとんど	20	11	26	24	17	23	20	20
全くない	9	5	11	10	7	9	10	7
無回答等	1	1	1	1	1	1	1	1

	小学生	中学生	都市部	福岡市	北九市	粕屋郡	筑豊	筑後
よくある	24	26	22	24	20	24	29	32
時々ある	48	47	45	43	47	43	45	45
ほとんど	20	16	23	25	21	22	17	18
全くない	8	9	9	7	11	10	8	7
無回答等	1	2	1	1	1	1	1	1

%

3 5 裁縫道具をこの半年の間に使ったか

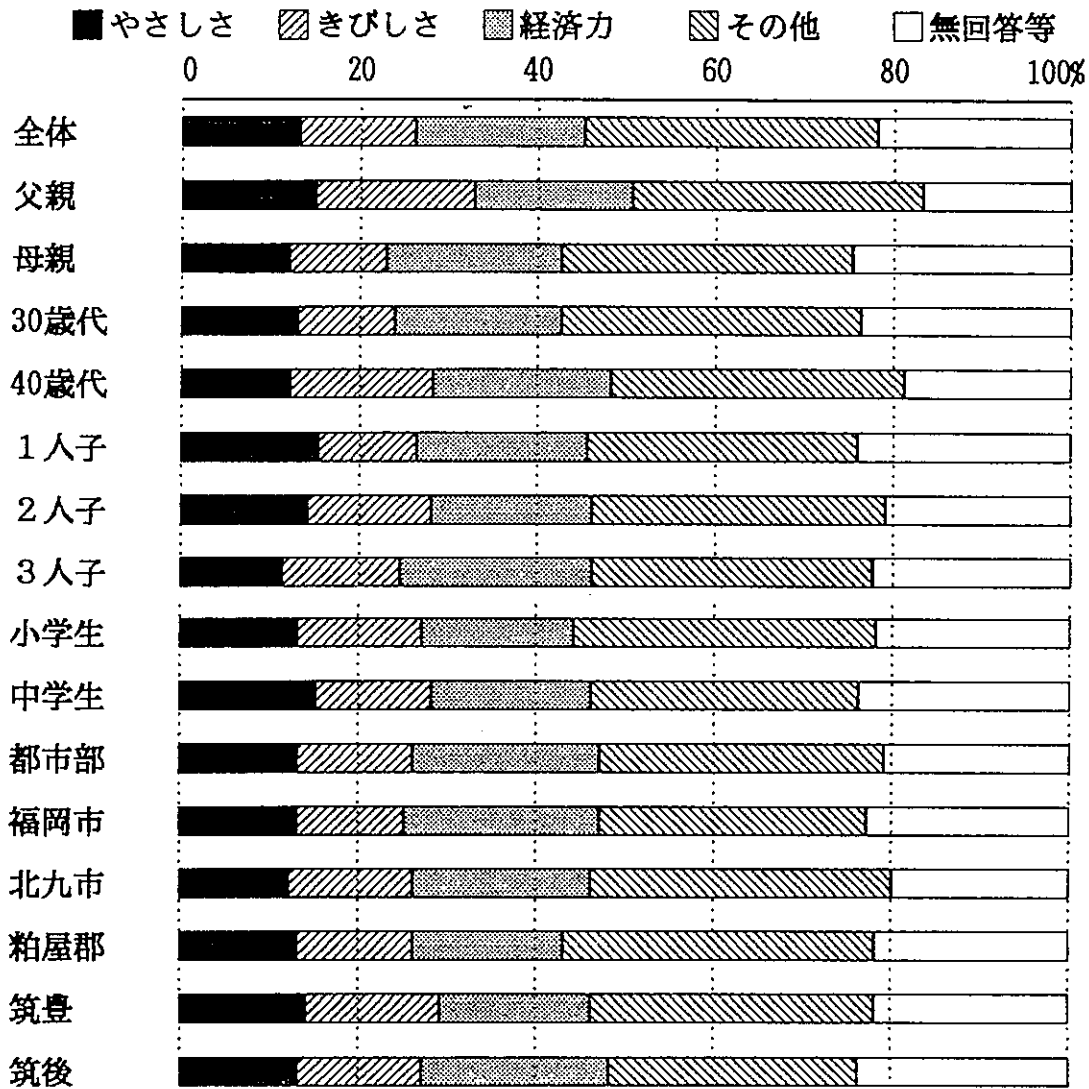


	全体	父親	母親	30歳代	40歳代	1人子	2人子	3人子
よくある	41	8	62	46	36	41	40	42
時々ある	30	22	35	32	29	31	31	30
ほとんど	12	27	2	9	14	10	12	12
全くない	15	40	0	13	18	16	16	14
無回答等	2	3	1	1	2	2	2	1

	小学生	中学生	都市部	福岡市	北九市	粕屋郡	筑豊	筑後
よくある	36	40	39	41	37	41	44	42
時々ある	31	32	30	31	30	33	28	30
ほとんど	13	13	12	13	11	11	12	12
全くない	19	13	17	14	21	14	15	14
無回答等	1	2	2	2	1	1	1	2

%

36 父親に特に必要なものは何だと思うか

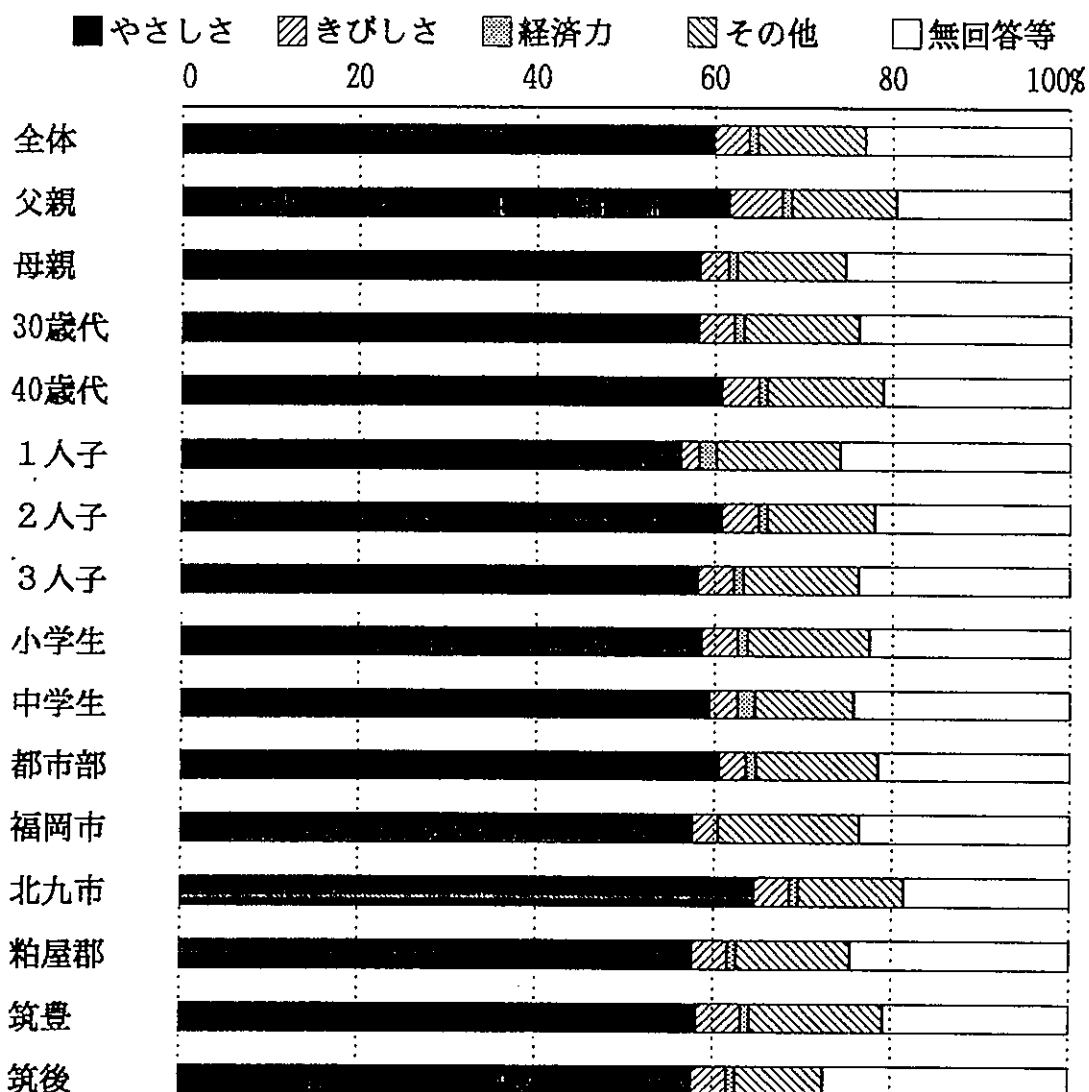


	全体	父親	母親	30歳代	40歳代	1人子	2人子	3人子
やさしさ	13	15	12	13	12	15	14	11
きびしさ	13	18	11	11	16	11	14	13
経済力	19	18	20	19	20	19	18	21
その他	33	33	33	34	33	30	33	31
無回答等	22	17	25	24	19	24	21	22

	小学生	中学生	都市部	福岡市	北九市	粕屋郡	筑豊	筑後
やさしさ	13	15	13	13	12	13	14	13
きびしさ	14	13	13	12	14	13	15	14
経済力	17	18	21	22	20	17	17	21
その他	34	30	32	30	34	35	32	28
無回答等	22	24	21	23	20	22	22	24

%

3 7 母親に特に必要なものは何だと思うか

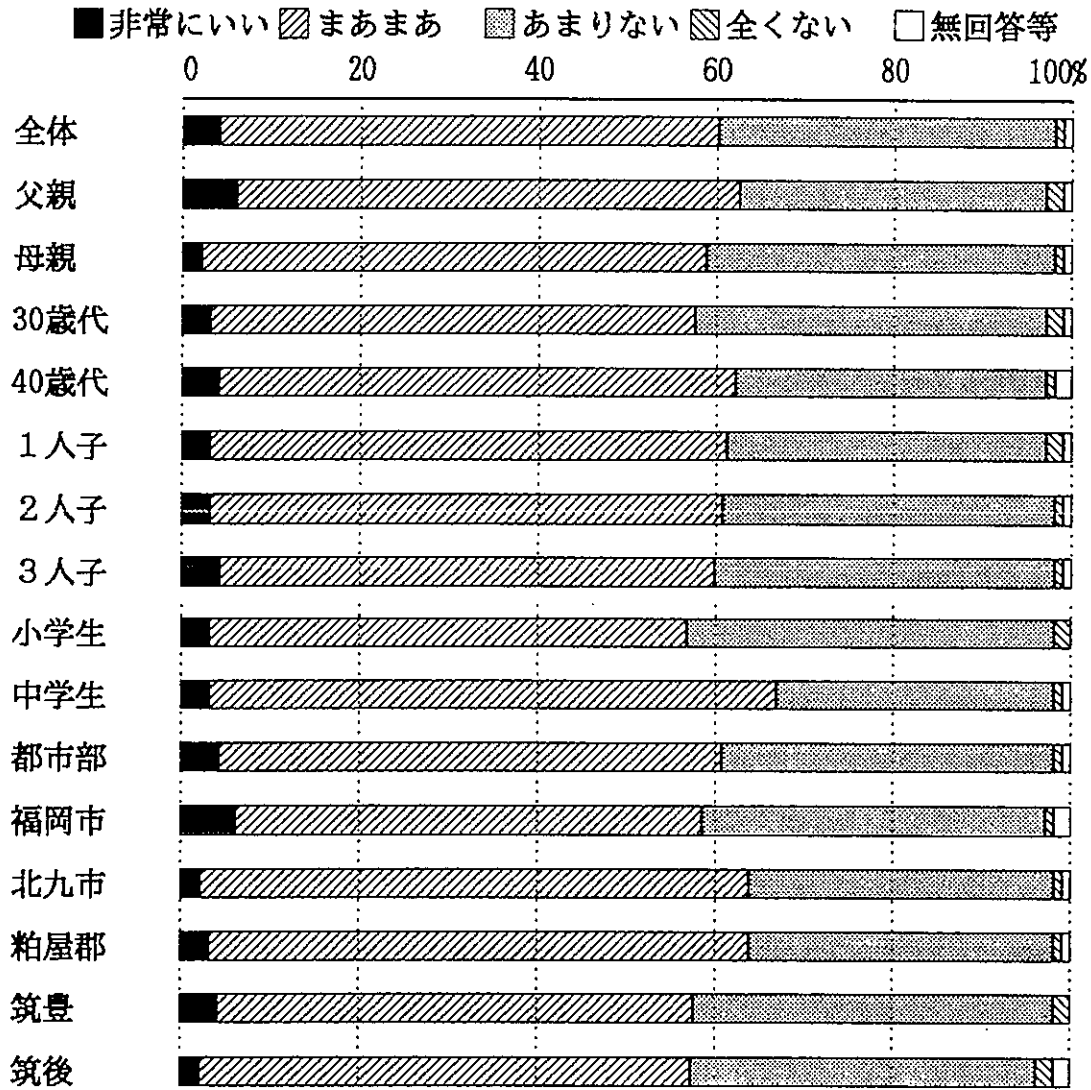


	全体	父親	母親	30歳代	40歳代	1人子	2人子	3人子
やさしさ	59	62	57	58	60	56	60	58
きびしさ	4	6	3	4	4	2	4	4
経済力	1	1	1	1	1	2	1	1
その他	12	12	12	13	13	14	12	13
無回答等	23	20	25	24	21	26	22	24

	小学生	中学生	都市部	福岡市	北九市	粕屋郡	筑豊	筑後
やさしさ	59	58	61	58	65	58	58	58
きびしさ	4	3	3	3	4	4	5	4
経済力	1	2	1	0	1	1	1	1
その他	14	11	14	16	12	13	15	10
無回答等	23	24	22	24	19	25	21	28

%

38 良い大人のモデルだと思いますか



	全体	父親	母親	30歳代	40歳代	1人子	2人子	3人子
非常にいい	4	6	2	3	4	3	3	4
まあまあ	56	57	56	55	58	58	57	55
あまりない	38	35	39	40	35	36	37	38
全くない	1	2	1	2	1	2	1	1
無回答等	1	1	1	1	2	1	1	1

	小学生	中学生	都市部	福岡市	北九市	粕屋郡	筑豊	筑後
非常にいい	3	3	4	6	2	3	4	2
まあまあ	53	63	56	53	61	60	54	55
あまりない	41	31	37	39	34	34	41	39
全くない	2	1	1	1	1	1	2	2
無回答等	0	1	1	2	1	1	0	2

%

昭和60年度 家庭教育総合推進事業

1. 事業の趣旨

家庭を取りまく経済社会状況が変化し、青少年の問題行動が増加する中で、今日の家庭教育の課題に対処するため、家庭教育総合セミナー事業の成果を更に発展させ、総合的な視点から家庭教育の充実方策を推進し、その振興を図るために実施するものです。

2. 事業の内容

(1) 家庭教育企画推進委員会の設置

当面する家庭教育上の諸問題を調査研究し、具体的・実践的な解決方策を探求し、その他の事業の企画、実施及び評価等を行うものです。

- ・ 第一部会主題 望ましい子育てを親が実践する場合の具体的な方法
- ・ 第二部会主題 上のことを社会（主として親）に効果的に啓発する方法

家庭教育企画推進委員名簿

◎は部会長

年度	昭和59年度	昭和60年度
委員長	岡部 弘道（九州大学健康科学センター）	岡部 弘道（九州大学健康科学センター）
第一部会	◎ 大塚 捷道（志摩町教育委員会）	◎ 久家 貞美（福岡県立社会教育総合センター）
	横山 正幸（福岡教育大学）	横山 正幸（福岡教育大学）
	中島 幸一（福岡歯科大学）	中島 幸一（福岡歯科大学）
	岩尾 昌子（宗像保健所）	森 紘（九州大学）
	尾籠 宏子（稲築東小学校）	尾籠 宏子（稲築東小学校）
		福原 桃代（主婦）
第二部会	◎ 河角 英雄（田川市教育委員会）	◎ 河角 英雄（田川市教育委員会）
	永淵 正敏（春日小学校）	井上 正明（福岡教育大学）
	西村 健也（NHK福岡放送局）	本村 辰也（仲原小学校）
	中島 正信（白銀公民館）	西村 健也（NHK福岡放送局）
	渋谷 光男（南筑後教育事務所）	中島 正信（香月公民館）
		渋谷 光男（南筑後教育事務所）
事務担当	菅原 友孝（福岡県立社会教育総合センター）	菅原 友孝（福岡県立社会教育総合センター）
	安川 正郷（福岡県立社会教育総合センター）	安川 正郷（福岡県立社会教育総合センター）

(2) 家庭教育指導者研究協議会の開催

家庭の教育機能を補完する地域活動の活性化を図るため、指導的立場にある人を対象に、地域の実情に即して、今日の家庭教育の課題に対処する具体的・実践的な方策等を研究協議するものです。

- ・共通研究主題 今、親に求められているもの
- ・方法 趣旨説明（企画推進委員）、事例発表、シンポジウム等

・家庭教育指導者研究協議会実施状況

年度	期 日	会 場	参加者	担当企画推進委員	担当教育事務所等
昭和59年度	昭和59年10月21日(月)	田川青少年文化ホール	262人	尾籠・河角	筑豊教育事務所
	昭和59年11月27日(火)	県立社会教育総合センター	408	大塚・中島幸	福岡教育事務所
	昭和59年11月27日(火)	筑後市勤労婦人センター	290	永淵・渋田	南筑後教育事務所
	昭和59年11月30日(金)	遠賀町中央公民館	424	横山・岩尾	北九州教育事務所
	昭和60年1月27日(日)	甘木朝倉市町村会館	300	岡部・西村	北筑後教育事務所
	昭和60年1月27日(日)	行橋市役所市民ホール	259	河角・中島正	京築教育事務所
昭和60年度	昭和60年12月1日(日)	飯塚総合会館	237	久家・河角・中島正	筑豊教育事務所
	昭和60年12月12日(木)	県立社会教育総合センター	308	久家・森・尾籠	福岡教育事務所 社会教育総合センター
	昭和61年1月26日(日)	吉井町ムラおこしセンター	356	岡部・西村・井上	北筑後教育事務所

・昭和60年度家庭教育指導者研究協議会「これからの家庭教育を考えるつどい」概要

〔筑豊会場〕 事例発表／ 学校現場からみた親のあり方についての問題提起、中学生であっても一人前になるまで責任をもち、子どもを信じて、子どもに耐える力や持続力をつけるために全力を尽くして欲しいという発表。子ども会指導者として庄内町長期通学キャンプに参加した経験から、厳しい生活条件の中で子ども達が変わっていく有様を語り、生活作業を1つずつ子どもに教え、やらせ、任せることが大人の務めであるという発表。家庭教育学級の結成についての動機、学級運営の実際と工夫、成果と課題についての発表。

シンポジウム／ 非行へ走る原因となる子どもの心のすき間を埋めるには、①夫婦が仲良くすること ②しつけは夫婦ですること ③家庭内で子どもがかけがいのない一員であることを自覚させることが大切であるという提言。家庭における信頼関係を確立すること、愛し合い、信頼し合う心を大事に育み合う家庭づくり、子どもの心の声がきこえる親になる努力を求めた提言。家庭教育と学校教育とが混乱していること、子どもが成長する段階で親がしつ

けに責任をもつこと、愛他心を育てる親子関係が大切であるという提言。家庭教育学級の実態、現代っ子が五無主義に陥っているというが、これをそっくり親に返上したい、親が変われば子は変わるという提言。子育てについて、けんかの仲裁のあり方やきょうだいの比較、我慢を教えること、仲間づくりのあり方、子どもの自主性を育てる親の姿勢についての討議。進路指導や家庭教育学級の方策、仲間に広げていくことについての討議。

まとめ／ 親に求められているものとして、①親がしつけること、特に基本的な生活習慣、②話し合い学習の成果を毎日の日常実践の中で生かしていくこと。

担当者所見／ 本事業に対する関心の高まりがみられる。今回は、親が変われば子も変わるという指摘で終わった。今後は子どもがどんな時、どう変わったかの具体例をもとに、家庭を変え、地域を変える方向で企画・運営に当たりたい。

〔北筑後会場〕 事例発表／ 家庭教育学級でのアンケート調査に基づく親の養育態度の実態から、ふれあい教室などの取り組みが生まれ、親子の菊づくりを通じた健全育成についての発表。PTAと青少年の健全育成、特に学校のゆとりの時間と地域伝統文化継承発表の取り組みや自分の子育てについて、親子のふれあいを、月曜日テレビを見ない日をつくる実践に求めた発表など。テレビと子どもの生活、家庭教育学級のあり方などの質疑等。

シンポジウム／ 自分の子どものぐ犯行為を基点とした家庭全員30分早起きによる祖父母を含めた家庭のあり方についての提言。専業農家での子どもの労働体験をどのように育てていったか、その段階的手法や親子のふれあいと家族の団らんをトランプを通して作りあげたことからの提言。婦人会活動の中での自己の高まりと我が子への養育態度が変わったこと、子どもは自分だけの子でなく、地域ぐるみの子として育てる必要性についての提言。子どもの基本的行動様式の定着への家庭・学校が連携しての取り組み、PTA・学級集会などの実践等の成果についての提言。現代の青少年の意識の実態についての意見。

担当者所見／ 登壇者との打ち合わせも十分に行われ、発表・意見が建前のみでなく、実体験であったことが高く評価できる。家庭教育学級生だけでなく、広く社会教育関係団体を含めた計画であったことは、今後の社会教育の振興と地域づくりに役立つ。関係団体等との計面前からの連絡が必要。発表・意見のみに終わりがちで、これから地域にどう深めていくかの論議にまで深まらない傾向がある。

〔福岡会場〕 事例発表／ 就学前教育について、親のかかわり、連帯感に関する発表。乳幼児の母親の現状とあるべき姿についての発表。子ども会連合会を通じてみた地域の子どもたちとそれを取り巻く状況についての発表。家庭教育学級の現状と問題点等についての発表。

シンポジウム・所見／ (略)

(3) 家庭教育電話相談の実施（「家庭教育110番」）

少年の問題行動の増加状況にかんがみ、主として乳児期及び少年期の子どもをもつ親を対象に、家庭教育全般にわたる相談に電話で応じるものです。

- ・名称及び番号 家庭教育110番 電話092-947-3515（専用電話）
- ・設置場所 県立社会教育総合センター（調査研究課）
- ・実施日時 原則として毎週月～金曜の9時30分～12時及び13時～16時30分
- ・相談員 学識経験者等に委嘱又は任命

家庭教育110番利用状況（59.4～60.11）

年 度	総 件 数	相 談 者			対 象 者						地 域							内 容						
		母 親	父 親	そ の 他	乳 児	小 学 生	中 学 生	高 学 校 生	そ の 他	福 岡 市	北 九 州 市	福 岡 地 区	筑 後 地 区	北 九 州 地 区	筑 豊 明	不 明	健 康 等	情 緒 等	生 活 等	社 会 性 等	学 業 等	非 行 等	そ の 他	
59	184	179	4	2	85	24	45	24	7	63	11	29	14	12	55	19	30	34	16	32	36	20		
60	286	270	2	14	182	25	42	25	12	74	10	50	18	20	114	34	48	52	35	41	24	57		

(4) 家庭教育指導資料の作成・配布

各事業の成果を企画推進委員会が取りまとめて資料を作成し、関係行政機関、関係団体、学校等に配布して、その活用を図るものです。

資 料 一 覧

事業名	年度	資 料 名
家庭教育総合セミナー事業	54	・昭和54年度家庭教育総合セミナー報告書 望ましい家庭教育をめざして
	55	・昭和55年度家庭教育総合セミナー報告書 望ましい家庭教育をめざして －福岡県における小学生をもつ父親・母親の態度・行動の実態
	56	・昭和56年度家庭教育総合セミナー報告書 望ましい家庭教育をめざして －福岡県における小学生をもつ父親・母親の態度・行動の実態（その2） ・－小学生をもつ－あなたの子育てのために
	57	・昭和57年度家庭教育総合セミナー報告書 望ましい家庭教育をめざして －福岡県における中学生をもつ父親・母親の態度・行動の実態（その1） ・－小学生をもつ－あなたの子育てのために（改訂版）
	58	・昭和58年度家庭教育総合セミナー報告書 望ましい家庭教育をめざして －福岡県における中学生をもつ父親・母親の態度・行動の実態（その2） ・－中学生をもつ－あなたの子育てのために
	家庭教育推進事業	59
60		家庭教育の指導のためにⅡ－今、親に求められているもの－ “親の後ろ姿を求めて”

家庭教育110番(092-947-3515)

福岡県立社会教育総合センターは、幼児期及び少年期のお子さんをお持ちの家庭を対象に家庭教育一般に関する電話相談を実施しています。お気軽に気持ちよくご利用ください。

また、医学や心理学等に関する専門的なことなどについては、適切な相談窓口を紹介しています。

- * 日 毎週月曜から金曜まで
(ただし毎月第2月曜と国民の休日及び
年末年始はお休みです)
- * 時 間 9時30分から12時00分まで及び
13時00分から16時30分まで
- * 電話番号 092-947-3515

